臺灣時報

十二月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
DEC 20 1926
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED
內容目錄記入濟

新高山（一三〇三五尺）

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂荘作　大賀基作
今井周三郎　太田吾一
井村大吉　渡邊金造
伊藤兼吉　川崎軍治
岩本多助　簡朗山
西川利藤太　片山三郎
醫學博士 堀内次雄　吉岡荒造
富田松彦　楊吉臣
富地近思　醫學博士 高木友枝
陳鴻鳴　高橋親吉
陳中和　田村武七
林熊徵　田村藤四郎
林獻堂　田賀奈良吉
林烈堂　高山仰
林鶴壽　瀧田傳吉
李延禧　武田英一
大竹勝一郎　津田毅一
農學博士 大島金太郎　津久井誠一郎
大苣大藏　鼓包美
妻木栗造　近江時五郎
永田隼之輔　坂本素魯哉
宇賀四郎　佐々木紀綱
草鹿砥祐吉　櫻瀬軍之佐
醫學博士 倉岡彦助　皿谷廣次
久米孝藏　蔡蓮舫
松岡富雄　齋藤透
牧山清砂　佐藤得太郎
松本晃吉　木村久太郎
藤野幹　木村泰治
古木章光　許廷光
小松吉久　喜多孝治
吳昌才　木下信
辜顯榮　水谷將三郎
古賀三千人　三好德三郎
黃欣　三浦碌郎
吳汝祥　生野團六
黃春帆　白勢黎吉
後藤和佐二　徐杰夫
枝德二　遠藤所六
鄭神寶　平山寅次郎
赤石定藏　森廣藏
赤司初太郎　本山文平
後宮信太郎　鈴木重臣
荒卷鐵之助　諏訪禮次郎
相原祐彌

編纂委員

猪股松之助　林田軍五郎
今川淵　原口竹次郎
生駒高常　大澤清高
服部武彦　大竹勇

常務員

和田一次　深川繁治
和田博　古山榮三郎
鎌田正威　青木敬一
横光吉規　淺野安吉
田端幸三郎　佐藤續
中瀬拙夫　水越幸一
中田榮次郎　城間垣人
中田秀造
内田隆

編輯係
秦滿　眞倉民治
鷹取田一郎　安藤泰夫
泉芳德　鈴木重男
葉山石雲　伊藤憐之助
栗山新造

大正十五年十二月十三日印刷
大正十五年十二月十五日發行（每月一回十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者　中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七・二十八番地
印刷所　松浦屋印刷部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店 東京、京橋(東京)、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、(大阪市内)南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店 臺北市本町二丁目

(電話三四、五六、二一九五)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十五年十二月號　目次

口繪　▼全國中學校長會議

□時　言□

一、二等郵便局長會議に於ける後藤總務長官訓示要領……一

一、二等郵便局長會議に於ける生野交通局總長演達……五

三等郵便局長協議會に於ける生野交通局總長訓示……一三

全國中學校長會議に於ける後藤總務長官の歡迎の辭……二三

臺灣の學術的價値……幣原坦……二五

時報……三五

汎太平洋學術會議　島內郵便局長會議　長慶天皇皇統譜奉列報告祭　臺灣山嶽會創立　新高登山道路開通　上山總督澎湖巡視　後藤總務長官上京　蘇澳漁業移民到著　全國中學校長會議

□寄　書□

兒童生活の改善……石川彥太郎……三八

南洋概觀……見本了……五四

A44 KM I71

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□講　演□
簡易生命保険に就いて……龜田豐治朗……七二
□說　苑□
初冬漫策……石川欽一郎……八七
□調查研究□
佛領印度支那法制調查……板倉貞男……九八
佛領印度支那の糖業……冬城完……一一四
島情……一三〇
大正十五年度前期分地租附加税徵收成績……內務局地方課……一三〇
臺灣貿易統計……總督府税關……一三一
文苑　詩壇、俳壇……一三七
臺灣日誌　人事消息　任命……一三三
支那及南洋情報……總督官房調查課……一一六
支那及南洋其他海外重要記事索引……同上……一一七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

株式會社 臺灣銀行（臺北）

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

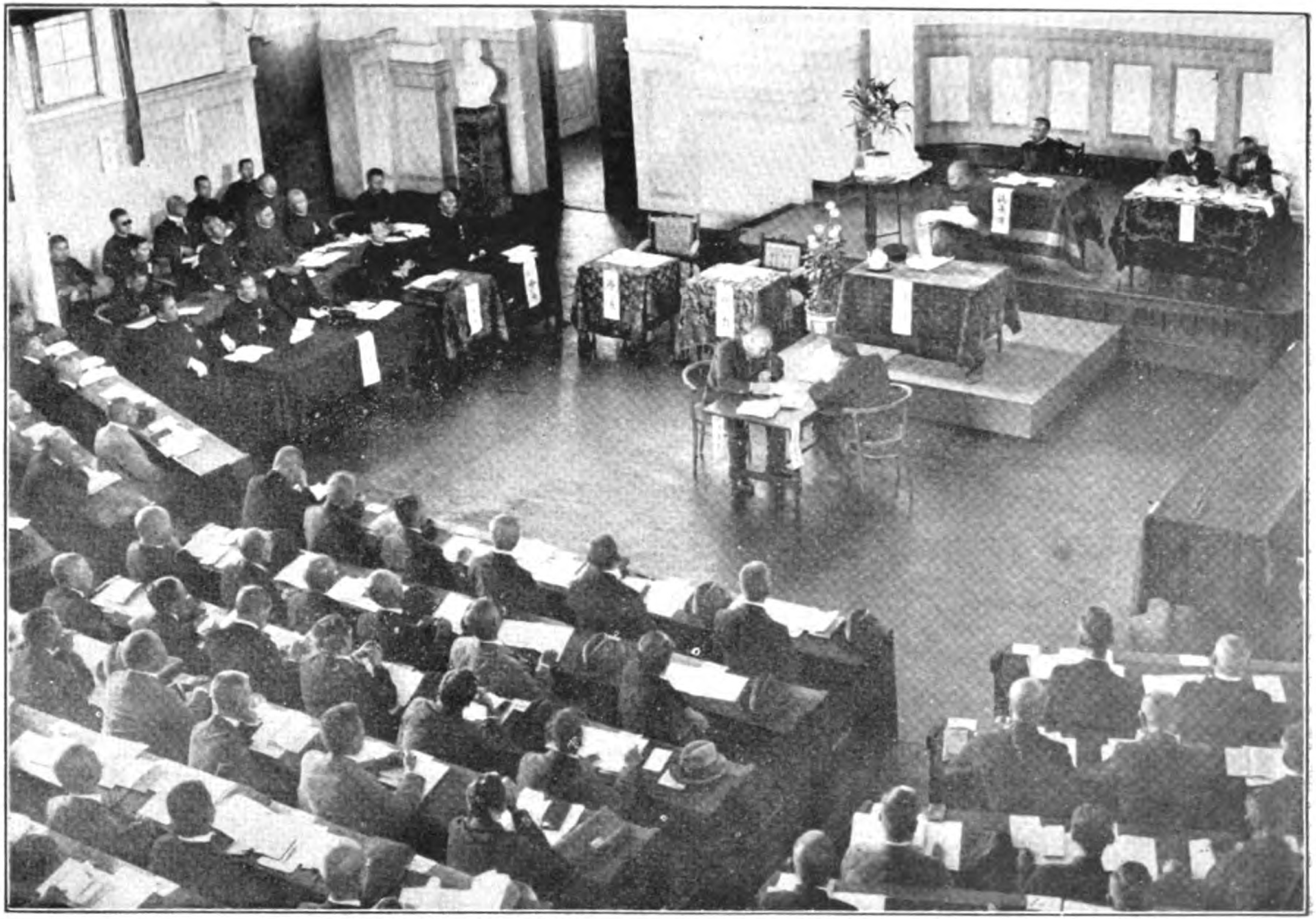
スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカッタ　倫敦　紐育

内地

神戸　大阪　横濱　東京

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



全國中學校長會議

（十一月二十二日、醫學專門學校講堂ニ於テ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年
十二月號

一、二等郵便局長會議に於ける 後藤總務長官訓示要領

本日から一、二等局長の會議が開かれたるに當りまして一言御話しをする機會を得ました事を誠に幸と考へて居るのであります。每年會議の際に御話しを致して居ますが、又當局の方々よりも種々御注意もし、又御協議もして居りまして、今更改めて申上げる程の事もありませんが、只思ひ付きました事一、二を御話したいと思ひます。

通信事業の進步發達に關しまして諸君が絕へず努力せられ、年を追て堅實なる進步を見つゝある事は誠に御同慶の至りでありますが、時勢の進步と共に將來益々此の事業の成績を擧げて優秀なる通信機能の發揮を致さなければならぬと思ひます。夫れに關しましては二、三特に心懸けを要する事があると思ひます。

第一には此の仕事に從事する人の氣分を緊張させ、潑溂たる英氣を以て之に當る樣にしなければならぬ。殊に一刻一秒を爭ひ、そして又正確を期する通信事業は常に當局者の氣分が緊張して絶へず此の生々として動ひて居ると云ふ事でなければならぬ。而して同時に極く深切に仕事を取扱つて、正確を期すると云ふ事は必要である。生々として且正確に働くと云ふ事の爲めに、當事者の志氣の伸長を圖る事が根本の要點である樣に思ひます。通信事業の主腦者たる位置に居らるゝ人は其の部下の賞罰を明にし進退を愼重にすると云ふ事は非常に大切なる事であつて、人格技倆優秀なるものに絶へず目を止めて之れを激勵すると共に、過失あるならば懇切に訓戒を加へ賞罰進退を明にし、志氣を維持しこれを鼓舞すると言ふことに努めて頂きたい。斯くして通信事業の能率を充分に發揮して、そうして敏速に正確を期するこそ通信事務の眞實の發達を來たす時勢の進歩に應じ、通信機能の發揮を爲す事が出來る樣になるだろうと思ひます。

第二には仕事に關する趣味を從業員をして銘々に持たせると云ふ事に心を留めて頂きたい。矢張仕事を愛して自分の分擔して居る仕事に非常に興味を感ずる樣にして行かなければならん。之れが爲に事業に對する愛著の念を以て自分の仕事其の者を自分の只任務を以てやると云ふよりも、一歩を進めて非常に仕事が可愛ひ、充分に趣味と興味を以てやると云ふ樣な心組に之を仕向けなければならぬ。動もすれば通信事務の如き段々發達すると共に分課分岐して、自己の分擔して居る範圍が極めて單調なものになりがちの者である。單調に見える仕事の中に、複雜に伴ふ種々の變化に能く注意し、發見して、何とか改革して巧妙くやると云ふ事に非常に興味を感ずる樣にし、日々の仕事の上に於て自己の工夫、自己の思ふだけに結果を擧げる所謂君子の爭ひを起し、仕事の上に色々の興味を以て樂しくやると云ふ事にし、結果を擧げると云ふ間に一種の競爭心と申しますか、趣味心を鬪はすと云ふ樣な風に仕向けて頂きたいと思ひます。此等に就ては皆樣に於かれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

まして絶へず適切な指導を加へ、事業に對する愛著の念を同化して事業に對する研究心を助長する様に勉めて頂きたいと思ひます。

第三には通信法規の活用の問題である。元來通信に關する法規は頗る細かい所に迄亘て規定されて居ります。此れは普通の法規と違ひまして順序手續きを決めて居る者が多いのであります。通信機關の如き澎大なる機關が頭と尾と相順應して働く爲には、即ちこの有機的の組織が整然として活動するには極めて細かい規定が必要である。如何にも細かで繁雜である様に思ひますが、其の精神は全部統一した一つになつた首尾相應した活動を期する事柄である。其の徽に入り細に亘つての規定であります、之に依て何人も容易くなり複雜の仕事を過ちなくする事に勉める事が出來ると云ふ事になります。通信に關する法規の細かい事は仕事の性質から如何にも繁雜の事でありますが、能く其の規定の通りに行つてゆくと云ふ事に於て眞實の能率を擧げる事になるのであります。規定を能く了解し規定に從ひ殆んど習慣的に敏速にやると云ふことに訓練しなければならぬ。其の反面に於て考へなければならぬ事は徒に形式に囚はれて杓子定規に流れ勝の仕事である、事業の複雜に伴ひ之れに相當する所の能率を擧げなければならない。單に指導さへすればぐす〳〵やつて何をやつてもよいと云ふのでない。敏速に正確にやり敏速に統一を失はない様にやると云ふ目的の爲めに出來て居る規定である。ぐず〳〵して只規定に從へば宜いと云ふ頭でやつては規定の精神を失う事になり、徒らに形式に囚はれ杓子定規に陷る虞があるから、此の點は能く從業員をして不斷訓練をし事業本來の仕事の規定の範圍を心懸て之れを運用せしむる必要があります。繁劇の業務に從事するものは動もすれば自の興味を失ひ日常の業務に追はれ修養を積み常識を涵養する如きは頗る至難の事でありますが、諸君の指導宜しきを得て法規の精神を解釋し適切なる運用をやると云ふことに訓練をして頂きたい。斯くして法規に就ての精神を

實際に活用する事が出來るのであります、通信事務の能率を擧げる事が出來ると思ひます。

以上の數點は諸君が其の監督者として從業員に臨むに際し特に希望する次第であります。通信機關は申迄もなく産業の進歩、文化發達と極めて密接の關係がありまして、特に内地と隔つて居る本島の開發、文化普及人智向上と云ふ事は通信機關の整備と云ふ事に非常なる關係を有つて居るのであります。當局に於かれても種々此の點に工夫を致し、近く臺北に大無線電信局の建設せらるゝ樣な運びになつて居ります。其の工事も着々進行して居りまして、宜蘭も近く竣工する事になつて居ります。年々歳々繰返せる内臺間の海底電信不通と云ふ樣な事柄も、無線局の竣成の曉には比較的圓滿に事を圖る事が出來ると思ひます。本年の四月内臺間の航路に一萬噸級の優良船を就航させ、内臺間の距離を一層近接せしめる事になつたのは斯の如き見地から出たのであります。一般の郵便、電信、電話、其他に就ても改良を要する點は尠なくないと思ひますが、一には財政に伴はなければならん事でありまして、財政の狀況を圖つて漸次之れが改善の實を擧げたいと云ふ事を考へて居る次第であります。漸次斯の如く通信機關が物質上の整備を致してまいり、同時に各種の完備と共に運用その人を得ると云ふ事が必要となつてくるのであります。直接通信業務運行の中心を形造つて居らるゝ諸君は能く此の點に力を致し、諸君自から修養を怠らないと共に、特に適當なる人材を得て益々通信事務の能率を發揮する樣に不斷の御留意を望む次第であります。

會議の始に當りまして聊か所感を述べる次第であります。尚引續きまして總長及部長始め各關係者に色々御協議を致され、充分に討議攻究を遂げ通信事務の發達に貢献せらるゝ事を切に希望を致す次第であります。

――大正十五年十一月八日、一二等郵便局長會議に於て――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生野交通局總長演達

——大正十五年十一月八日、一、二等郵便局長會議に於て——

唯今總務長官閣下から懇篤にして有益なる御訓示がありましたが、私と致しましても此際二三思ひ付きの次第竝に長官から御指示のありました點に就て尙ほ之れを補足する樣な意味を持ちまして申上げたいと存じます。

先般　北白川宮大妃殿下が本島に御成りになりまして故宮殿下を祭神とせる神社に御參拜又御遺跡地を御巡覽になりまして、本月一日御機嫌特に麗はしく本島を御出發になりました事は誠に御同慶に堪へない次第であります。殿下は申上ぐるまでもなく今回の御臨臺は二度目で在らせられ、此の前に御出の時と比べて本島に於ける文化、產業の發達進步の特に著しいものがあつて是等の事を親しく御覽遊ばされて御感慨の極めて深きものが在らせられたことゝ拜承致して居る次第であります。私命を拜しまして先月二十四日神戶御乘船以來御同船申上げて本島に還りました次第であります。船中に於きましても朝夕殿下に咫尺し奉るの光榮を擔ひ、度々御言葉を賜つた次第であります。私は在京中から殿下奉送迎の事に就て宮內省及宮家と交涉或は總督府當局と打合せを致して參つたのであります、殊に御乘船になりまして以來は船と臺灣との間の通信に依りまして色々と間近かに迫つて參りました事柄に就きまして打合せ申上げ又本島內の官民代表其他から殿下に對し奉り御機嫌を奉伺する等通信が頻々となつて參つた譯であります。斯の如く通信の正確に迅速に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又至極便利に取扱はれたと云ふことは　殿下奉送迎のことに關して極めて重要なることの一つにあつたと思ひます。殿下の御無事御還り遊ばされましたこと又島内に於かせられて非常に御滿足であらせられたことは通信事業に從事するもの丶誠に幸ひと思つて居る次第で、通信事務が何等支障なく執り行はれたと云ふことは本事業に關係して居る一同が熱誠に努力された結果でありますので、私は諸君竝に諸君を通じて從業員諸君に厚く御禮を申上げなければならぬと思ひます。

此機會に於て私は　殿下に咫尺奉りたる爲めに一二の事を申述べたいと思ひます私は　殿下が先月二十二日横濱を御出發遊ばされました際横濱驛の貴賓室で始めて拜謁することを得たのであります。殿下に拜謁致しますと直ちに御言葉がありまして今度は色々厄介になる、御苦勞であると云ふ意味の御言葉を拜したのであります。私と致しましては餘りに御鄭重なる御言葉で頗る恐懼致した次第であります。側近に奉仕される人々に對されましても誠に御親しみのある樣な風に御見受け申上げるのであります。私は島內の御旅行にも列車中御供申上げましたが船内といひ車中といひ屢々御言葉を頂戴して居りましたので一層感慨の深いものがあります、又御言葉の中に成るべく簡素に多數の人に迷惑を懸けない樣にせよと云ふ意味のことが屢々あつたそうであります。尙本島御旅行中内臺人擧つて熱誠に御送迎申上げたることには深い御感動があつた樣に思います。是等多數の民衆に對せられ老幼男女内地人たると本島人たるとを問はず常に同じ樣な御心持で對せられたと云ふことは私は御側で御見上げ申上げたことに依つて明瞭であります。私は殿下の御事に就きまして深く感動致しました一人であります。

私共は通信事業に從事するものと致しましても大いに自から顧みなければならぬ、我々此の通信事業の如き多數の從業員を有する現業機關に於ては其の成績の如何と云ふことは單り局長・部長・課長と云ふ樣な力で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は決してうまく參る筈はないのであります。多數の人々の一人々々が能く其の能率を發揮し誠實に勤勉に己れの職責を盡し協同一致して進むと云ふことに依らなければならぬ、殊に皆さんは直接多數の人々を監督せられる立場に居られるのでありますから　殿下の下々の者に對せられまして御親しみのある御親切の御心持を手本として參るべきであると信じます。我々が事業を遂行する上に規則もあり種々の器具機械もありますが、要するに最後の重要なることは此處にあると考へるのでありますので特に一言申上げた次第であります。

通信事業のことは年々斯う云ふ會合の席上に於て述べらるゝことで且皆さんが能く御承知の次第でありまして漸次堅實なる發達を致しつゝあると云ふことは申すまでもありません。大正十四年度と其前年度と比較致しますと通常郵便、小包、電信等何れも二分乃至六分の增進を示して居る狀態であります、歲計の上から申して見ますと大正十四年度は經常部の歲入に於て二十一萬圓を增し歲出に於て三十八萬圓を減じて居ります。歲出の減少は行政整理の緊縮の結果に因ることであつて常に斯う云ふことは有り得る譯ではありません。本年度は前年度の歲入に比して十五萬圓增加、歲出に於て十七萬圓增加致して居ります。

通信事業は其の性質上國民全體の利便を增進すると云ふことが本來の目的でありますからそう云ふ公益事業と致しまして收入を主と致すべきものではありません。併ながら矢張收入が一方にあつて一方に支出すると云ふ所の事業でありますから收入を全然度外に置くと云ふことは甚だ不贊成であります。時としてはさう云ふことを考へる人もないと限りません、收入、收入と云ふことは宜しくないと申す人があるかも知れません、一面からはさうでありますが收入を考へて支出をきめると云ふことも亦止むを得ない其所に事業の妙味があると考へます。殊に今日の如きは財政難で如何に必要なる事業でも我々が如何に力說しても澤山の金を振り向けることは困難なる實狀であるから可成收入を增加して其機關を充實する進歩を計ることが極めて必

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要なる事ではないかと思ひます。諸君も此の意味に於て相當考慮を煩はすことが必要と考へるのであります。

従業員の採用に就きましては今日の切り詰められたる經費と切り詰められたる人員とを以て事業を圓滿に遂行して行かなければならぬことは餘程御苦辛の事と存じます。無論申すまでもなく優良なる才能のある人格のよき者を選擇することは配慮の事と存じます、けれども偶々情實に因はれると云ふこともないに限りません、之れは矢張何處までも公平無私に能く其人を御選び下さつて極めて優良なるものを得るに御盡力を願はなければならぬ、さればとて優良であつても採用後に於て指導訓練を要することは申すまでもない、殊に従業員は年の若い人が多いのであります。如何に素質が良くても優良な人でも一時の考へ違ひから致しまして不都合の事をする場合もないではない、さう云ふ實例は最近にもあつた樣に考へるのでありますから全く信頼し切つて誤のない人であると考へて下さることは早計であると思ひます。勿論多數の部下を指揮し部下を信認する必要がありますが矢張り人には考へ違ひもないではない、偶然に惡いことを仕出かさないと限らない、日常に本人の態度に就て精々御注意下さつて指導訓練を怠らず益々進歩向上せしむることに御注意を願はなければならぬと考へます。結局する所諸君は是等の人々の朝夕中心となつて居るのであります、皆さんの一擧手一踏足は直接部下たる多數のものに對し非常な影響を及ぼすのでありますから諸君御自身が實踐躬行すると云ふ心懸が誠に大切なることであると考へます。

次に従業員の待遇の問題であります、之れは御承知の通り遞信省に於きましても多年の問題でありまして當局に於ても心配致して居るのであります。本島に於ても常に通信の當局に於ては深甚なる注意をして居る譯でありまして私共と致しましても至極緊要なることゝ考へて居るのであります、けれども今日直ちに此の待遇の改善が速かに出來非常に良くすると云ふことは困難のことでありますが、十六年度の豫算編成に當つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても極めて切り詰めた方針であつて依然として變らないが、幸にして勤勉手當の增率は總督府としては其の必要を認められたのでありますが之れは未だ大藏省が濟んで議會の協贊を經なければ決定を見ることは出來ぬので確かに決定するとお考へ下さることは出來ないが、兎に角こう云ふ樣に進行して居ることを御同慶に存じます。

豫算經理に就きましては終始節約を旨として決つた金を最も有效に用ふと云ふことが常に首腦者たる諸君に於て十分に御考へを願ひ自から其の衝に當つて頂かなければならぬと考へて居ります。動もすれば豫算に對して趣味がないと云ふか或は決まり切つたものと云ふ考へで部下の者に任せて顧みないと云ふこともないではないかと考へます。諸君の中にあるとは考へませんが私自身の經驗に依りますと一般に豫算關係を持つて居る者には折々さう云ふものがないではないのであります、尙器具の購入に致しましても一方に贅澤に近きものを買ひ一方に必要缺くべからざるものを等閑に付すると云ふ場合がないではない、又支出上に於ても購入品の價格であるとか修繕工事の請負料等に就て市價との比較研究を怠るとか必要以上の雇員を定員外に使ふと云ふ遺憾の點が少なくないのでありますから首腦者は斯ることにも細心の注意を願ひたいのであります。豫算關係の上にも今日の如き非常に緊縮せられ切り詰められた豫算に於て少數の人を以て事柄を所理して居る而も其の事業たるや日進月步の狀態にある夫を圓滿に遂行することが必要であるので尙一層の御注意を煩はしたいと考へます。

貯金の事に就きましては昨年十月迄の預入額は九百萬圓を突破して居りましたが、漸次八百萬圓に下つて參りました最近十月末に於ける預入人員が四十八萬七千人金額が八百六十八萬圓と云ふことになつて居ります。之れを前年の同期に比しまして人員に於て一萬二千人金額に於て三十一萬九千圓を減少致して居ります、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之れは夫れ〳〵種々の理由が伴つて居ると考へます、又之を増加することは中々困難なる事情もあるのであります。郵便貯金の利子と云ふことが一面重要なることの一つでありまして本島内に於ける信用組合と云ふものゝ影響も頗る大きいことは申すまでもないのであります、然し本島内に於て最近數年來頓に農民の懷工合が非常に良くなつて居ることは事實であります。是等の人々の金が何處に行くかと云ふと無論信用組合も叅るであろうが一部死藏されて居るものがないとは限らない、諸君がさう云ふ所に意を注いで御考慮になり資金を吸收すると云ふことに御盡力を願上ます。

又學童の貯金は注意を要する所の一つであると考へて居る次第であります。

次に簡易生命保險竝郵便年金の事に就きまして一言申上げます、簡易保險と云ふ問題は本島には時期尙早と考へて居たことであつた樣でありますが、今日は直ちに實施する時期か否やと云ふことに就ては私も確信はありません内地に於きましては非常な盛況を呈して居ることは御承知の通りであります。尙本年十月郵便年金と云ふ制度が設けられましたが此の制度は本島の事情に適合せるものではないかと考へて居るのであります。本島に於ては種々風俗、人情、習慣或は法規上の關係と色々考慮すべきことがありますので直ちに施行するかどうかは問題でありますが、單に時期尙早と云ふて、看過する場合ではないと思ふ、成るべく早く實施する方針の下に調査を施行すべきものであると考へて居りますので、今回特に遞信省の龜田博士に御願ひしまして本島に御出を願ひ、單に調査でなく博士の御意見を聞いて著々進めたいと考へて居ります。同博士の講演は明日と明後日に御願ひすることになつて皆さんに御聽きに入れる筈であります。諸君も充分に御研究を願ひ將來斯う云ふ良い制度は本島内に一日も早く行ふ樣に私としては希望する次第であります。

船舶の事に就きましては長官から御話がありましたが優秀船の配置の爲めに本島と内地との間の通信事業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の上に於て餘程有益なるものがあつたと云ふことは申すまでもないことであります。然し之れが爲めに各局内の服務狀態は複雜になつて御苦辛御菩勞を願ふことが多いことゝ思ひます、從業員諸君にも御禮を申さなければなりません。尙ほ船の問題は今後益々優良船を增加して速力も增進する傾向がありますが之れは通信事業の上に極めて必要なることで、又本島產業の發達上からも非常に大切なるものであると考へて居るので更らに一段と諸君の御考慮を御願ひすることになるであらうと考へて居ります。

無線電信の事に就きましても長官閣下から御話もございましたが、此の問題に就きまして私は一言申述べて置きたいと思ふ。夫れは無線電信の建設は十二年度から着手致しまして五箇年繼續事業で完成することになつて居るのであります、此の間種々關聯した問題が起り外國との中繼問題の如き可成は望ましいことでありまして無線電信の建設に伴ふて種々論及されて參りましたので、之れが爲めに稍々之等の進捗を遲延ならしめた嫌があるのであります。之等の爲め最近確實的に實施計畫を定め最初の方針に則つて十六年度迄に既定豫算の範圍に於て遂行することに致しました。無線電信は日進月步の狀態である今日機械其の他の點の種々の法式に於ても始終變化しつゝあるのであります、さう云ふ事柄の爲めに設計其の他を多少變更しなければならんことが屢々あつたのであります。さう云ふことが實際の上に於て種々の支障になつたのでありま す、併し一方から考へれば遲くなつたのが却つて良かつたかも知れません、最近尤も良い方法に依つて實施することにし其の方法を決定して完成することに努力致す樣になつた次第でありますが、一日も早く完成致して有線の故障の場合にも內臺間の通信の支障のなき樣になることを切望して居ります。如斯して全島內の通信に支障を與へ從て從業員にも苦痛を與へることが稍々少なくなると云ふことを私は非常に期待をして居る次第であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次にラヂオの問題でありますが、內地に於きましては三十萬人の加入がありまして非常な勢を以て進步して居ることは御承知の通りであります。臺灣に於きましてラヂオをどう取扱ふかと云ふことであるが私は未だ確たる方針を決めて居りません。目下百四十八名のラヂオ聽取者の許可を與へて居るのであります。內地其の他のラヂオを自由に聽いて居るのであります、非常に優良なる機械を用いても完全に聽取することは出來ないのであります。今日ラヂオ放送局を假りに造るならどう云ふ樣にするか、內地の放送を聽くには完全に其の目的は達しない本島に局を設ければ良いが聞くことは聞けるが內地に於ても地方で動もすれば放送局が非常な不評判のことがある、放送がうまく參りません、經營が非常に困難であるこう云ふことで、內地でも種々な苦情があつたのであります。一方ラヂオは通信機關として我々は重大に考へなければならぬ。我々は半ば娛樂の樣な意味で作つて居りますが段々改良されて通信機關として完全なものであると云ふことになるのは遠き將來ではないと思ひます。こう云ふ風に成るべく早く完成なければならんと考へて居ります、而して之れは營利事業ではいかない、一私人なり民間の施設に任かす事もいけないと云ふので遞信省に於ては放送事業を統一したのであります。本島內に於ては特に考慮しなければならぬと存ずる次第であります。又ラヂオを充分に實驗することが必要である、最近短波が大變進步したものであると云ふので之も充分研究をしたい。放送は實驗をしたいと云ふ意味に於て十六年度の豫算に計上致しました幸ひに目下の所は總督府の決定を見て進行中である多分さう云ふことになると信じて居ります。是等の實驗に鑑み時勢に應じて我々は善處したいと考へて居ります。尙最後に豫算の事に就きまして一言申述べて置きます、遞信事業の豫算が數年前から緊縮方針に從ひまして非常に切り詰められ困難を致して居ります一方に、無線の新らしい相當の金のかゝるものがある爲めに經常部の方は大分切り詰められて居る樣に考へます。電信電話の如きもの迄保守

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對し費用が充分でないと云ふ嫌があるのであります、是等の普通の維持或は多少の改善すら思はしく參りませんことを痛切に感じます。十六年度から幾らか目鼻をつける方針の下に豫算の編成を致しました、皆さんに於かれましても今日の此の緊縮方針の下に善處して無駄を省き各人の能率を増進して事業を圓滿に遂行し幾分なりとも改善するに最善なる御注意と御努力を願ひたいと考へます。

生野交通局總長訓示

――大正十五年十一月三日、三等郵便局長會議に於て――

本日第十八回の三等郵便局長會議を開催されるに當りまして私としては就任後日尚淺きにも不拘重ねて茲に諸君に御目にかゝるの機會を得ましたことは誠に欣快とする所であります。就きましては二三例によりまして感じましたことを申述べて諸君の御參考に供したいと存じます。

申す迄もなく大正十四年度は行政整理官制改正直後の第一年でありまして我々の施設は云はゞ試驗の時であると申し上げていゝ様な狀態であつたのであります殊に非常に切詰められた豫算と減せられた人員とを以て日進月歩の狀態にある通信事業を如何にして圓滿に遂行するかと云ふことに就きましては甚だ憂慮に堪へないものがあつたのであります然し乍ら十四年を經過し更に第二年である十五年に入りまして漸次此の切詰められた豫算と此の少い人員とによつて此の事業を運行することに就きましては種々の經驗を得て種々なる

苦心の結果幸に大體に於て相當の成績が擧げられた樣に考へて居りますこれは一に諸君の御盡力また御工夫によつて得た所の結果であつて爰に私は通信事業の當局者と致して大に諸君に感謝の意を表さなければならんと考へるのであります。

私はかゝる行政整理の如き必しも我々として望むべきことではないかも知れませんが然し其の現實に直面して見まして初めてそれが非常に幸福であつたと考へて居る一人であります。總て物事は行詰つた時に初めて物の眞相が判ると云ふことは事實であります極く最近の例をとつて申上げますと我々の家庭に於て新婚當時は家族も少なく比較的樂であるので動もすれば其の家政の切盛りは放漫に流れるのでありますまづ妻君は大して意を介しないで何とかしてやつて行くその内に子供がふえる教育はしなければならん給料は上らない家族もふえる病人も出來ると云ふのでだん／＼と家政が困難になると此處に初めて妻君が種々の事情を主人に訴へて近頃どうも非常に困る子供を學校にやらなければならん教育費もいる醫者にかゝらなければならん米も澤山いると云ふ樣になつて來たと云ふことになる妻君は如何にして行くかと云ふことに就て苦心をしなければならん主人も亦家政上のことに就て充分に頭を捻ねつて見て初めて僅な收入で有效につかふといふことに苦心を拂はなければならんと云ふことになるのが實情であると考へます爰に到つて初めて金子の價値も判り無駄のない樣にほんたうに小さな家庭の中に於ても無駄を省き有效に金錢をつかふといふことになるのでありますこれは我々の事業の上に於ても同じであります諸君の局に於ても同じ樣な事情が必ずあると思ひます我臺灣に於ても遞信事業の切盛りに就て同じ樣であると考へます切り詰められた經費と減せられた人員を以て事業を處理する場合に至つて初めて事業の眞相がよく判つて來るのですそこで仕事をやるのにどう部下を使ふか少い金子をどういふ樣にうまく使ふかと云ふことに就て考へ出し初めて所謂能率增進とか無駄を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

省くとか云ふことが徹底すると私は考へるのであります。

一例を擧げますと先般私が地方を巡視致しました際のことです（これは鐵道の方の話しでありますが鐵道の惡口を此處で云ふことはよくないと存じますが惡口を云ふのではありません）鐵道に保線區と云ふのがあります保線區と申しますのは鐵道線路の補修の任務に當つて居る仕事を擔任して居るのであります其の保線區に參りまして君の方の區内の線路の狀態はどうか枕木の交換はずゐぶん厄介だらうねどういふ狀態であるかと尋問をしたところ保線區の人は私にはつきりとした答辯を與へない私は甚だ不滿で近頃隨分鐵道の枕木のことが喧しい枕木が足らないと云ふことを云つて居るが君の方はどういふ樣に足らないかまた足らない所はどういふ樣に處理をして居るかと訊くと惡るい枕木は換へて居ります少し足らないと云ふ樣な曖昧な答辯であつた其處で私は申しましたこれではいかん君の方の苦心が足らない若しほんたうに足らないのならばその樣なぼんやりした答辯はない筈であると我々が給料を貰つてその給料をどう云ふ樣に使つて居るか知らないと同じであるほんたうに足らないのならば必ず何圓經費を使つて居るか無駄はしてゐないかと云ふところに心を注がなければならん遞信事業も人員なり經費なりに不足といふことはほんたうの事實である諸君は今こそ徹底的に事業の眞相を捕ふべき絕好の時ではあるまいかと思ふのでありますさういふ風に我々が考へれば眞に行政整理といふことは我々にとつては非常に幸福なことであつたと考へなければなりません少くも我々は幸福である樣に善用しなければならぬと考へて居ります兎に角大體に於て行政整理の結果として人員の減少經費の不足であると云ふことは事實であるうまく處理をして行くことが出來ると云ふのは諸君の御盡力の賜であると考へます併然しこれに滿足すべきものではない今後一層一步を進めて遞信事業がどういふ狀態であるかと云ふことを見て我々は其の責任を自覺し諸君と共に大に奮勵しなければならぬと考へて居ります

遞信事業の使命が社會民衆の福利增進にあるといふことは申す迄もありません從つて我々事業に携るものは常に社會的に一歩を進めて行くといふ樣な心持で居なければならぬと考へて居ります尚もう一つ重要なことで內地の遞信事業とは異つた所は申す迄もなく本島に於ては從來國語を異にして居つた多數の本島人を對照として居ると云ふ點でありますかういふ特殊の事情があると云ふことは我々の遞信事業本來の使命以外に一つの重大なる使命をも有すると云ふ自覺を要するのでありますもしも運行上に何等かの缺陷があると致しますればそのことは直ちに地方文化の向上或は產業發達といふことに對してのみならず本島統治上に大なる影響を來すと云ふことは申す迄もないことであります私は此の事業に就ては素人でありまして自分自身何等特殊の抱負も御座いませんが唯臺灣に於ける遞信事業を現在以上に完全なる狀況に導きたいといふ念慮に於ては諸君に一歩も讓らないのでありますこれが爲には二つの點を注意して居るのでありますそれは現在の設備の充實といふことゝ新たなる施設といふことになるのであります現在の臺灣に於ける遞信事業の各種の設備これは決して私は完全であると申されないと思ひます簡單に一例を申上げますと電柱の取換へは完全にいつて居るかどうか今日の電信が完全なる通信機能を發揮するに支障はないかどうかといふことを考へまして甚だ遺憾の點が多々あるのであります其の他現在使つて居る器具機械が不充分である不完全である舊式である日進月步の今日に於ては新しい器具機械といふものはだん〳〵使はれなければならないのに現在備へてありまするものは頗る不完全であるといふ樣なことも多々あると考へます更に進んで新しい設備これには充分力を盡すといふことは大に必要であります然し乍ら今日はまだ中央政府の方針もさうでありますが整理といふことに專ら重きを置いて參つてから僅に一兩年を經過したに過ぎない從つて總督府の財政と致しましてもなるべく切詰めて欲しい新規事業は萬已むを得ないものでなければならんといふことになつて居る次第で總督

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

府に於ても此の捻出は仲々困難であるけれども只今申上げます樣な方針の下に少しでもその方向に向ふべく我々一同は努力を致して居ります只今具體的に申上げる機會に到達致しませんが十六年度の豫算に於きましても我々の希望して居る一端は現はれて居ると思ひます然し此の切詰められた經費で總て物事を賄つて行かなければならぬ狀態は今後直ちに一年や二年で非常に財源が豐富であるといふことには仲々進まないと考へて居りますそこで我々が尙考へなければならんことは矢張りどうしても無駄を省き各人の能率の增進を計るいはゞ物的の不足を心的に補充して行くといふことの外はないと考へます卽ち遞信事業に從事致して居ります我數千人の人を各の人は各の立場々々に自己の責任を充分に瞭かにして遞信事業本來の使命を充分に了得致し獻身的に努力して總ての人々と協力一致して進むと云ふことになるのであります然し此の事柄は言ふことは甚だ易く行ふことは非常に難いことであります或は諸君の內にはさういふことは從來の遞信局長や部長の常に繰返して居つた常套語であるといふ樣に御感じになりさういふことは言ふべくして行はれないといふ樣に考へられる人もありませう然しさういふ風に御考へになることは非常なる間違である十の事を十行ふといふことは困難かも知れませんが我々の旗印は何處迄も十の處に置かなければならないかの清正が南無妙法蓮華經の旗を押し立て戰線の眞先に立つて行つたといふ樣な心持は最も大事であるさういふことは出來ないと云ふことを頭から貶す人は結局いつまで經ても力を充分に働かし得る人ではないと考へます十のものは十迄行かなくとも少くも三つ五つ七つ八つといふ具合にだん／＼に十迄行く樣に努力することが先づ必要であります次に遞信事業に從事せらるゝ特に三等局の局員の方々の物質的待遇は充分でないと考へます充分に待遇する樣な經費を我々も諸君に差上げてなかつたと考へて居りますが出來得る丈け優遇の道を講ずることは大事であると思ひます尙他に大事なことは諸君の心掛一つで出來得る精神的方面の努力でありますこれは貴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本はいらないのであります三等局從事員の多くは非常にお若い人であり又未婚者も隨分多いと思ひますさういふ青年時代には三等局員に限らず誰でも動もすれば思想が極端に走り又行ひが動もすれば常軌を逸し易く最も人生の危險なる時期であります諸君はかういふ人を部下として使つて居られるのでありますから其の人々を勉めて親切に指導して行くことに努めなければなりませんこれは郵便局の事務を擧げる上に於て最も大事なことの一つであると考へますそれが爲に諸君は色々の苦心を拂はなければならぬ朝來て夜歸る丈のことを御覽下さる丈ではいかぬ平素の行ひはどうか酒は飲まないか料理屋通ひはしないか貯金はどういふ樣にして居るか友人はどういふ者かと云ふ樣なことに就ても細心なる注意を望むのであります平素の行ひに於て何等間然するところがなければ善良なる從事員であるといふことに間違ひはないと考へます毎日の帳簿丈を見て居てそれで充分であると安心して居るところから多くは郵便局の金を使ひ込むと云ふ如き事件が起り易いのであります私はこの事業には素人でありますが事故の報告を拜見致します度に常にさう思ひます從業員の平素の行動に對しては役所の内外を問はず絶えず深甚なる注意を拂ふといふことは極めて大事なことである私は精神的方面の指導といふことに諸君の一段の御盡力を煩はしたいと考へる次第であります然し唯精神的方面丈では仕事は出來ない勿論法規のことに就ても充分に研究させるといふことが最も大事である法規に通曉しなければ事務上に於て幾多の過誤を生じ易い諸君は常に法規に就いての指導に御盡力を願ひます遞信事業の如き大組織の事業に於ては一人一人の仕事丈では完全に行かない總て脈絡のある他とよく連絡を保ち協同して進んで行くこそ初めて事業の圓滿なる進行を期するのであります協力一致他の局と共に仕事をするといふことを念慮に置くといふことは必要かと考へます只今能率增進或ひは事故防遏といふことを一言申上げましたが視察員が地方の局を拜見に度々出るのでありますが其の報告書を見ますると遺憾乍ら經費の不足や

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人員關係の結果ばかりでないと信じられる事故の隨分多いのを發見するのであります簡單なる往復文書の如きに數度督促を受けて處理するが如き速に改善の必要があると思ひます惡い點ばかり申上げて恐縮でありますがさういふことは諸君の御注意によつては改善の實を擧ぐることは眞に易々たることであると考へます倘事務上に就きましては部長から詳細なる御協議のあることゝ考へます次に郵便貯金の件に就きましては前回も諸君と色々協議した次第でありますが現在の狀態に付遺憾に思ふ點一二申上げて見たいと思ひます現在預入人員は四八九、二七五人貯金總額八、七五四、〇〇〇大正十四年七月の人員に比較いたしますと人員に於て八、二一八五人を減じ金額に於て五三三、〇〇〇圓の減少を示して居りますこれには相當原因もあるのでありますが只今申上げた樣に減つた譯は諸君から伺ひました樣な郵便貯金の利子の安いといふのが一つの原因で又本島に於ては信用組合が發達普及して居るといふのが他の原因の大なるものであると考へます然し乍ら利息が安いから駄目であるとか信用組合が普及して居るから駄目であると頭から極めるのは早計であります本島人の眞ん中に於て仕事をして居られる諸君は本島在住三七〇萬の人に接觸し地方〳〵に於て親善の關係を持續することに努力して眞の友達とならねばならないのであります即ち入りては郵便局長として事業の發展局員の敎養に從事し出でては民衆に對し懇切なる友達としての心持を以て郵便貯金の何たるを理解しない人々に了解を求むべく努力せらるゝ樣希望いたします地方局長として大切なことは其の地方の人の信用を得るといふことであります彼の局長さんはいゝ人である親切な人であるかういふ心持を持つといふことになると諸君の信用を得携はる事業の上に直ちに現はれることゝ考へますかういふ心掛けを私から諸君に對して申上げることは釋迦に說法であるかも知れませんが今後一段とこのことに就て御盡力を願ひますれば大變結構であります臺灣の產業は近年著く好成績を收め從つて農村が益々富んで來たと云ふことは私が申す迄もありませ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ん又蓬萊米の產額も本年は稍不成績でありますが今後益々增額することは明瞭であります又果實の如きは總督府の方針と致しまして今後益々奬勵して行くと云ふことを聞及んで居ります我々輸送關係の方から致しましてもなるべく生產品を都合よく運び新販路を求めるといふことに努力致して居るのでありますこれらのことは延いては農村の幸福に益々及んで來るのであるます臺灣の農民は今日に於きましても懷具合は良いと考へます然るに一人當り郵便貯金は非常に少いといふのは必しも信用組合に入つて居るが爲とは考へられませんから諸君の御盡力によつて十分の一二十分の一或ひは百分の一を郵便貯金に吸收することが絕望といふことは絕對にないと考へますどうしても本島人諸君の信用を得て諸君がこれに信任せられてこれらの人を導くと云ふ要領があるではないかと私は考へて居りますかく致しますと單に遞信事業の將來の爲に有益なるのみならずよく人の申します內臺人融和といふ樣なことは非常に難かしいことゝ思ひますが我々各々がさういふ心持で居たならば期せずして或程度迄の目的は達せられることゝ考へて居ります私自身としても及ばずながらさういふ風に少しでも努力致したいと考へて居る一人であります。

次に簡易保險と郵便年金に付て一言申上げます簡易保險は從來臺灣に於きましては時期尙早といふことに取扱はれて居つた樣な事柄でありますがこれはいつまでもさういふ考へて居るべきものではないと考へるのでありますまた最近內地に於ては郵便年金といふものが初まつたといふことは御承知の次第であります郵便年金の制度の如き本島の事情に非常に適合するものではないかと考へで居ります出來得べくんば臺灣に於てもこれらの制度を社會民衆の利便といふことを考へてもなるべく早く施行したいと考へて居るものでありますが風土人情習慣衛生狀態其の他色々の關係から致しまして直ちに實行するといふことは或は困難かも知れませんこれは研究を致しまして出來る丈早い時期に實行することにしたいと考へて居りますこの前回の會議

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でありましたか私はこの會議は諸君の御話を聞くといふことゝ同時に諸君に於ても遞信關係其の他の人々から種々聽取するやうに希望しておきましたが今回保險郵便年金の施設に就きまして其の衝に當たられた龜田博士を今回臺灣に招聘を致しまして諸君に對しても充分に御話を申上げる樣に御願致して居ります。

要するに諸君は遞信事業の第一戰線に立たるゝ人である淸正の南無妙法蓮華經の旗を眞つ先に持つて行く底の人である本事業の盛衰に最も關係の重大なる方々である諸君の一擧手一投足は直ちに此の事業の盛衰に影響を及ぼすものであるといふことは申す迄もないことでありますどうか私が只今迄申述べましたことは私のたゞ感じました一端に過ぎないのでありますが幸にして御參考になり御斟酌下されて總てのことに就いて一段と協同一致して御盡力をいたゞくといふことを切に御願ひ致します如斯して諸君は遞信事業に對する大なる好成績を收められるのみならず延いては本島統治上に非常なる貢獻下さることゝ信ずるものであります。

全國中學校長會議に於ける 後藤總務長官の歡迎の辭

全國中學校長會議を此の島で開いて戴きたいといふことは本島年來の希望でありまして、嘗て數年前に一度その話の進行しかけたこともありましたが、色々の都合で成立に至らず荏苒今日に及んだのであります。ところが此度幸に此の宿望が實現することになりまして、內地各府縣は勿論遠く北海道・朝鮮・滿洲各地より百四十名に餘る多數の方々が會同されましたのは、私の衷心より欣喜措く能はざる所で、之を小にしては我臺灣の爲め、之を大にしては我が帝國の爲めに祝福して已まない次第であります。

今回の會議は僅か一日でありますが、豫て充分に研究され經驗された蘊蓄を御持ち寄りの上のことでありますから、定めし有益な且つ有力な效果を產み出すことゝ信じます。それに會議の前後十數日に亙り、諸君が團體として行動を共にせられる間には、相互意見の交換やら諸般の打合せやらいろ／＼な利益を得られることゝ考へます。尙又氣候風土の變つた本島の事々物々は諸君の見聞を廣める上に多少の御役に立つことであらうと思ひます。以上は今回の會議が齎らす當面の利益でありますが、更にその副產物として私の大に期待して居ることが二つあるのであります。その一つは臺灣に對する世間の誤解を諸君の御力によつて解いて戴きたいといふこと、尙一つは臺灣の使命を充分に御諒解下さつて大に海外發展の氣分を鼓吹して戴きたいといふことであります。

諸君內地の人々は臺灣といへばすぐに恐ろしい所いやな所といふ聯想を起すやうであります。これは明治七年に於ける牡丹社の征伐や明治二十八年に於ける征討軍に從つて備さに艱苦を嘗めた人々によつて廣く全

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國各地に宣傳された結果で、なるほど昔の臺灣は事實その通りであつたらうと思ひます。併し今の臺灣は決してさうではありません。最近二三十年の間に全くその面目を一新して昔恐しかつた臺灣、いやであつた臺灣も今は極めて安全な住心地のよい所となりました。之は諸君が親しく島内各地を御巡視下さつた結果、自然明かであらうと思ひます。かゝる進歩發展を來した事は勿論臺灣の天惠が豊であることもその原因の一つではありますが、幾多の先輩が國家の爲め人民の爲め衛生に交通に產業に敎育にその他各般の事に努力を致し、内數千の者は身命を犧牲として奮鬪せられた賚でありまして、玆に諸君と共に敬意を表し感謝を致さねばならぬことゝ存じます。

然るに世の多くの人々が今尙依然として臺灣は恐ろしい所としてゐるのは、舊臺灣に對する深い印象が先入主となつてゐるからでもありませうが、新臺灣に關する智識が未だ充分でないことも一つの原因だらうと考へます。いづれにせよ同じ帝國領土内でありながら斯くまでに事情が分らず、斯くも甚しい誤解の存して居るといふことは臺灣に取つて迷惑千萬であり、先人に對して相濟まぬといふばかりでなく、帝國全體の上から考へて遺憾此の上もない次第と存じます。此の誤解をとくには色々の手段方法もありませうが、この機會に於て諸君に御願ひするほど力強くて有效な道はなからうと思ひます。何となれば諸君は各地方に於て有力な地位に立つて居らるゝ方々であり、且つ諸君の御膝下には他日社會の中堅となるべき幾千萬人といふ血氣壯んな少年青年が控へて居りまして、諸君の諒解は乃ち此等多數少青年の了解と申して宜しいからであります。

第二に御了解を願ひたいのは臺灣の使命といふことであります。御覽の通り臺灣は進步發達したとはいふもの、今後島内に於て施設すべき事業、研究すべき事項は尙澤山殘されてゐます。併しながら更に眼界を大

きくして南の方支那南洋の天地を望めば、採つて加工すべき原料品は山野到る處に蓄積せられ、穰々たる天與の富は自然のまゝに放棄せられて人の來り拓くを待つといふ有樣であります。換言すれば今後の臺灣は臺灣それ自身の内に活動の餘地も澤山ありますが、更に一歩を進めて南の方廣い世界へ踏み出すべき策源地として平和の戰場へ乘り出すべき第一線として、より多くの價値を有して居ると考へるのであります。此の點に於ては北と南との相違こそあれ朝鮮滿洲方面も同樣の事情と察しますが、兎に角元氣潑剌たる少年青年を指導して、之に紹介するに新しい世界を以てし、人間到處有靑山といふ氣分を極力鼓吹することは、人口問題食糧問題で次第に行き詰らうとしてゐる我が國の現狀に鑑み極めて喫緊なことゝ信じます。

諸君繰返して申上げますが、今日の臺灣は昔と違つて極めて生活上安全な地であるといふことゝ、及び臺灣今後の使命は更に一歩踏み出して南の方廣い世界へ著眼するにあるといふ、此の二つを今度當地へ御出下さつた御みやげとして、生徒の敎育上は勿論あらゆる機會に於て汎く一般人士の間に徹底する樣御骨折あらんことを切に希望する次第であります。

今回の會議を機會に島内の御視察に就ては、臺灣敎育會が東道の主人となつて出來るだけ御便宜を圖るやう努めて居ますが、何分多數の方々が一時に御出でのこと故、自然不行屆の點や御窮屈な場合があらうと存じますが、その邊はどうか惡しからず御諒察下さいまして、充分に御心おきなく御研究あらんことを願ひます。開會の始めに當り御挨拶かた〲所感の一端を述べて歡迎の辭にかへます。

――大正十五年十一月二十三日、全國中學校長會議に於て、木下文敎局長代讀――

臺灣の學術的價値

文學博士　幣原　坦

北方文明の研究は、次第に我國に興つて來た。十數日前にも、東京の帝室博物館で、中央アジャの燉煌の壁畫その他の展覽會があつたが、これは主としてスタイン、ペリオ、ルコック諸博士の將來品の模寫で、帝室博物館・東京帝國大學及び京都帝國大學へ、分藏されるものであつた。

北方文明が次第に研究されてゆく間に、南洋の研究はこれまで取殘されて居た。然るに學界の潮流は遠慮なく流れて、汎太平洋學術會議も、日本で開かれるやうな有樣になつて來た。而してこの南洋の研究は、實は吾人に非常な興味を與ふべきものである。何となれば、日本國民は、嘗て南洋に發展した經驗を有して居るからである。即ち呂宋や、爪哇や、暹羅や、安南には、日本町を持つて居た位である。

故に南洋の研究は、一は日本國民の過去の誇りを究的するやうなものでもある。また今日の如く、到るところに排日に惱まされてゐる以上、南洋の研究は、將來に於ける國民の發展の方向を決するに、重要な資料を與ふるものである。

實に南方文明の究査は、時代の要求ともいふべきである。而してこの究査に最も便宜なところとして、こゝに臺灣が横はつてゐるのである。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣は、日本の領土中、一歩南洋に踏出してゐる唯一の足場である。さうして人文科學の上にも、自然科學の上にも莫大な價値を示してゐる。臺灣は、熱帶に踏出てゐる上に、垂直的には、温帶はおろか、更に寒帶にまで手を延ばしてゐる。それ故植物學・動物學・醫學・氣象學・その他百般の自然科學の研究には、或點に於て、世界に類例稀れなる好對象を提供してゐる。

更にこれを地平線的に觀察すると、東には太平洋とその民族があり、西より南にかけては、南支南洋の錯雜せる民族がある。臺灣は、これ等の民族の中間に介在して、諸種の文化を包容してゐる。而して日本國民が、この地を開發すべき位置に立つて、學術的究査を進めて見ると、中には上代の舊友に邂逅するやうな感を生ずることがある。かくして臺灣は、民族學・言語學・文學・史學・その他あらゆる人文科學の研究にも、また得難い好對象を提供してゐるのである。

漠然かやうな抽象的説話をするのみでは、明瞭でないから、たゞこゝに一つ例を擧げることを許されたい。今の臺東街は、もと卑南蕃の本據地で、今日も卑南蕃は、その附近一帶の地に住んでゐる。さて馬來半島の西にも、全くそれと同じ名の彼南といふところがある。彼南とは、檳榔といふことである。檳の音ピン、榔の音ラングであるけれども、二字續けていふと音便でピナングとなる。彼南も檳榔も、土著人のこの木を呼ぶところの發音にあてはめた漢字であつて、彼南即ち檳榔である。

この名がどうして起つたかといふに、こゝの土著人は、非常に檳榔を重寶とし、その實を嚙んで居れば、口中の邪氣を拂ひ、且つ風采が美しくなると思つてゐる。そこで年中これを口に入れてゐるから、脣は赤く、齒は眞黒に染まつてゐる。

然るに臺灣の卑南蕃もまた全くこれと同樣である。さうして一時は、非常な勢力を有してゐたもので、附

のアミ蕃などから、貢物さへ出させてゐたが、上流に居るもの丶常として文弱に流れ、身體も弱くなつて、今ではアミ蕃に凌駕されること丶なつた。

この彼南と卑南とは、果して偶然の類似であらうか。諸書を渉獵して見ると、卑南蕃は、唐の貞觀年中に、馬來の洪水を避けて、こ丶に移住して來たことが知られる。唐の貞觀といふと、我が國の奈良朝の時代である。而して檳榔の實を嚙んで、歯を黒くしてゐることは、我が國民に全く珍奇な事といひ得るであらうか。何となれば、我が國にも、維新前までは、歯を黒く染める風俗があつて、やはり口中の邪氣を拂ひ、風采をよくするものと考へられてゐたからである。

この卑南蕃の支族に、知本といふのがある。今は知本といふと、温泉場で知られてゐるが、この知本は、英人テイロル氏によつて、日本の植民人であると唱道されたのは、もはや數十年前である。但し我々は、まだ遂にこの説に雷同するに至らない。

然し蕃語に、竹を綴つて舟としたものを、カタマランといふのは、我々の耳に強くひゞく。何となれば、我が國の神代に、舟のことを、やはりカタマといつてゐたからである。カタマとは、元來我が國語では、籠のことであるが、竹を綴つて籠のやうにして、水の入らない工夫をしたものが舟であるといふので、舟を無目籠(マナシカタマ)といつたのである。

蕃人研究の趣味は、なか〳〵盡きないものであるが、今日は蕃人に關する新研究の發表が目的でないから、かやうな部分的な説話は、差控へること丶して、また大體の話に立ちかへり、臺灣とはいかなることか、いつの頃から稱へ出したのか、といふことについて一言して見たい。

一書に曰く、「水の曲れるを灣といふ。灣上樓臺を築く。因て稱して臺灣といふ。」牽强附會も、こ丶に至

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて極まつてゐる。灣といふ名から起つたのではないことは、明末に、臺灣と書かずして、臺員または大員と書いたのでも知れる。するとまた、員の字に拘泥して、さては列子の渤海の東の山名に岱輿とあり員嶠とあるところの岱と員とが、臺灣の名の起原であらうといふ。

然るに明の初めには、大寃と書いてあるから、これもまた字面に捕はれた說であることを知るべきである。坪井博士の說に、西域の國名に「大寃」といふのがあるが、これは支那人が、「外國」といふ意で名づけたものであるとのことである。然るに臺灣を大寃といふのは、必ずしも外國といふことでもないらしい。これは矢張り、土著人の名稱の發音を、漢字にうつしたものであると思はれる。

村上博士の「日蘭三百年の親交」に、バタビヤから派遣せられた和蘭の艦隊が、一千六百二十四年八月に、臺灣のタユワン、卽ち今の安平の地に來て、こゝに商館を開き、ゼーランヂヤ城を築いたとある。そこでこの記事の根據は何によつたものであるかと、同博士に照會して見たが、同博士の答によると、蘭人の臺灣占領前後の文書に、ゼーランヂヤ城を築いた地を、タユワンと記してあるから、タユワンは、安平の地の土名であらうといふことである。

自分は、土名といふよりも、安平一帶の地に住んでゐた種族の名であらうと推考する。全體臺灣の蕃族の名に、ワンと稱するものが甚だ多い。フロワン・マリコワン・ガラワン・カウワン・チカソワン・カネトワン・マカリワン・タロワン・ボタンワン・パイワン・數へ立つれば限りもない。タイワンもその一つであつて、たゞそれが、支那から來る船の到著地に居つた爲めに、早く支那人に知られ、それから一般の名とせられるやうになつたのに相違ない。

蘭船到來の一千六百二十四年は、我が寬永元年で、德川三代家光將軍の時であつたが、それから半世紀は

ど經て、臺灣の鄭氏滅亡の時その都の東寧府を臺灣府と清朝が改めてから、臺灣が公定の名となつたのである。これ清の康熙二十三年、我が德川五代綱吉將軍の時である。

臺灣の名稱、及びその起源が、ざつとこれで見當が附いたから、次の問題に移り、臺灣の名が人に知られる以前には、こゝを何といつてゐたか、また日本國民は、いつ頃からこゝに來たか、こゝに來て何をしてゐたのであるか等を、闡明しておきたい。

話はずつと前に溯るが、我が推古天皇の御宇、(西暦七世紀の初)、隋の煬帝が琉球を征伐したことがある。この時の琉球といふのは、臺灣であるとは、支那學者も夙に唱道して居り、また西洋學者もさういつてゐる。三十年前、リース博士の著作に係る「臺灣島史」にも、やはりさうあるが、然しリース博士は、臺灣のみを琉球とする說を排して、琉球列島から臺灣にかけての總稱であるとせられた。

リース博士のこの著述と相前後して、拙者の「南島沿革史論」が出版された。自分はこの中に、琉球征伐を、今の沖繩の事のやうに書いておいた。それは、隋の琉球傳に載せてある琉球の風俗が、沖繩の風俗によく似てゐるから、さうしておいたまでゞある。近頃臺灣に往來するやうになつてから、隋書の記事を臺灣に思ひあてゝ見て、諸家の著述や說話を參酌して考へるに、その中にある人名や地名までも、臺灣の言葉よりも、寧ろ沖繩の言葉の方が、よく解けるやうに思はれるので、沖繩通の伊波文學士に、先日この話をしたところが、同氏は大いにこれに贊成せられて、盡くこれを沖繩語で解釋せられ、同氏の近著「孤島苦の琉球史」のうちに、詳かにこれを載せられた。

かやうに、隋の征伐といふのは、或は沖繩の方であつたかも知れないと、自分は今以て疑つてゐるのであるが、然し上古の沖繩人が、その本國から臺灣へ移住して來たといふリース博士の說には反對でない。また

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後世臺灣の一地方を琉球といつたことも、事實に相違ない。現に今日も、琉球島や瑯琦といふ名が殘つてゐるので、その事實を承認すべきである。面白いのは、明の初め、(西暦十四世紀の末)、琉球に對して小琉球といふ名がある。琉球が臺灣で、小琉球が沖繩かといふと、(さう思つてゐる人もあるが)、全く反對で、小琉球の方が臺灣である。それを以て見ても、琉球の本場が、沖繩であつたことを知るに足るやうである。リース博士は、上古沖繩人が臺灣の北部から西部にかけて移住し、後ちマレイの移住民に逐はれて、南部に押寄せられたといつて居られるが、自分は、初めから南部に移住したものと考へる。何となれば、沖繩から潮と風とに漂へば、直ちに臺灣の南部に流れ着くこと、かの明治の初め、沖繩人が八瑤灣に漂着して、牡丹蕃に虐殺せられた事實に徴しても、明瞭であるからである。

さて隋の琉球征伐の話から後ち約一千年は、確實な記錄がないから、臺灣の事を明かに知る由もない。我が南北朝の初め、(元の順帝の時)、日本人が臺灣に來たことがあり、殊に源維綱が澎湖島を占領したとあるが、はつきりわからない。

南北朝の末から足利時代にかけて例の倭寇といふことがある。我が永祿年中、即ち足利義輝將軍の時、(西暦十六世紀の中頃)この倭寇が支那の東南岸に敗れて、臺灣に退いたといふが、この頃には、そろ〱臺灣に、日本人の足場が出來てゐたものであらうと推察される。

それから少し後ち、信長時代になつて、ポルトガルの提督リンショウテンが、海上から臺灣の見取圖を製して、これを世に公にした。その地圖によると、臺灣が三つの島になつてゐる。さう見えたのであらう。最南の島の名を、レケオ・ペケノとしてある。支那の「小琉球」といふ名の飜譯である。中の島は、イラ・フヲルサとある。「美島」といふ意味であつて美しく見えたから名づけたのである。最北の島は、小さく書いてあつ

て名がない。つまり當時の臺灣は、支那では小琉球といひ、西洋ではフォルモサの名でこの後ちに知られることになり、さうして我が國ではどうかといふと、タカサゴといふ名で稱へられることになりつゝあつたのである。

それで、秀吉の朝鮮征伐の時にも、(文祿二年)、呂宋に遣はされた原田彌七郎が、臺灣にも立寄つて、秀吉の書を高山國(タカサンゴ)へ傳達しようとした。然るに高山國には、王と稱すべきものもなく、一向目當てがなかつたので、そのまゝその書を持歸つたものと見えて、今現に前田侯爵家に傳はつてゐる。この頃になると、いよ〳〵日本人のタカサゴ在住者があつたことは、疑はれなくなる。

何となれば、それから十一年の後ち、山田長政がタカサゴに渡つた時、立派にタカサゴ通ひの船があつて、大阪・タカサゴ間を往復してゐたのは、タカサゴに日本人の在住者があつたことを徵證するに足るからである。長政は、瀧佐右衛門及び太田治衛門の持船に乘せてもらつて渡臺したのであるが、そこに思はしい事業がないので、暹羅に轉航した。

このやうに、タカサゴ通ひの船まで出來たのは、何故かといふに、支那から來る生絲や、土地で產出する砂糖及び獸皮の類を、日本へ輸入する爲めである。さうしてこの頃、日本人のタカサゴに在住する者は、何をしてゐたかといへば、或は砂金の採取に從事する者もあり、或は小琉球に寄居する者もあり、中には北方の雞籠蕃を攻めて、その地を取つた者もあつた。

さうして見れば、家康の時、有馬晴信を高砂に遣して、支那貿易を開かしめやうとし、村山等安(東庵)に、高砂へ朱印狀を授けて、こゝを伐たしめたことなどは、決して偶然でなく、もはやその機が熟してゐたことが知れるのである。

然らば、そのタカサゴといふ名はどうして起つたのか。多くの書物には、「高砂の浦」の美景になぞらへて、附けた名だとある。フヲルモサは、美景から稱した名だけれども、高砂はさうでない。これはやはり、タイワンと等しく、土族の名稱の發音のまゝなのである。一般に認められてゐるのは、今日の高雄、卽ち支那人が「打狗」の字をあてたタカヲサンから起つたことゝなつてゐる。一說には、今日の淡水に、タコサング、卽ち支那人が「卓高山國」の字をあてた蕃族が居つて、その名稱から起つたのであらうといふ。

德川三代家光將軍の時になつて、和蘭人が安平に來た。これがかの一千六百二十四年、卽ち寛永元年である。來て見ると、日本商人が、盛んに生絲や、獸皮や、砂糖を積出してゐる。これはよい處を見つけた。この盛んな生絲貿易の利は、我が手中に收めなければならぬといふので、早速ゼーランヂャ城を築いたのである。

蘭人到著の後ち二年、スペイン人がまた、その植民地のマニラから高砂に來て、雞籠に上陸し、日本人の居る處に築城して、サン・サルバドルと稱した。かやうな次第であるから、蘭人の來た處もスペイン人の來た處も、皆共に日本人の根據地であつたのである。

然るに蘭人は、安平に築城して以來、住民から稅を取立て、特に輸出入品には重稅を課した。これ全くバタビヤ總督府が貿易を獨占しようとして、訓令を發したのに因るのである。何分蘭人は、城に據つて武力を擁してゐるから、土著人も支那人も、これを恐れて、蘭人の言ふがまゝになつたが、そこになると、日本人はなか〳〵聽かない。勢ひ蘭人との衝突が起らざるを得なくなつた。

安平長官スイツは、わざ〳〵日本へやつて來て、日本船の渡航を禁ずるやうに、幕府に乞ふた。長崎代官末次平藏は、豫て高砂通航の保護者であつたから、スイツの運動に反對した。スイツは遂に意を達すること能はずして、ゼーランヂャ城に歸つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そこでスイツは、臺灣において、日本船を妨害した。これがかの有名な濱田彌兵衞事件を生ずる原因となつたのである。濱田彌兵衞事件は、プロビデンチャ城で起つたと書いてある書物が、可なり多いが、これはゼーランヂャ城の誤である。何となれば、プロビデンチャ城が臺南に築かれたのは、これより後ちの事であるからである。またこの事件の主動者は、柏原太郎右衞門で、濱田彌兵衞でないと書いてある書物も多いが、これも、やはり、濱田彌兵衞でよろしいのである。何となれば當時の蘭人の記錄に、委しく彌兵衞の事を書いてあつて間違ひがないからである。

この事件から日蘭貿易に一頓挫を生じたので、バタビャ總督府は、その申開きの爲めに、スイツ長官を日本に送つた。それで日蘭貿易は復舊されたもの丶、スイツ長官は、日本に幽囚の身となつた。後ち和蘭から珍らしい燭臺などを幕府に献上した、漸くにスイツの保釋を許された。かの日光の廟に、今も猶ほ異彩を放ちつ丶ある「和蘭燈籠」といふのは、この記念品であることを思ふと、臺灣の影響が日光にまで及んでゐるのに、我々は興味をひかれる。

かくて和蘭の支配は、三十七年續いた。その間和蘭人は、日本人の勢を抑へ、北方に盤據したスペイン人を逐ひ、土著人に耶蘇敎を布き、和蘭語を敎え貿易の利を壟斷してゐた。その主要な輸出品は、日本へ出る砂糖であつたこと、言を待たない。

この和蘭人を逐出したのは、國姓爺、卽ち鄭成功その人で、德川四代家綱將軍の時であつた。成功が純粹の日本腹の子であつたのは、世間周知のことである。國姓爺は、リース博士には惡くいはれてゐるけれども、我々日本人から見れば、否東洋人の立場から見れば、一の恩人といつてもよい。何となれば、この時この人が無かつたならば、臺灣も爪哇の如くに、永く西洋人の臺灣となつてしまつて、東洋人の臺灣でなかつたか

らである。但し和蘭人は、その支配の間の記録を後ちに殘しておいて、現にそれが臺北の圖書館に保存されてゐることは、我々に貴重な史料を提供するものである。

國姓爺の子孫が臺灣を支配してゐたことは、僅かに二十一年、三代にして亡んで、それから清朝の支配に移つた。これが日清戰爭の時まで續いて、二百十二年の久しきに及んだ。

この二百年間に西洋人は度々臺灣をねらつた。米國の提督ペリーは、これを占領するの案を政府に提出し、遂に納れられずして終つたが、佛國の提督クールベーは、實際一時こゝを占領した。然し我が日本も、かの沖繩人の虐殺せられたのに憤慨して、征臺の師を起した。

明治二十七八年戰役は、臺灣の領土問題に新展開を生じて、全く日本の有と決定した。表面だけを見てゐると、臺灣がぽつくり日本の領内へ入つて來たやうに思はれるけれども、前陳の如く、從來の經過を究査して見ると、足利時代以來の國民的希望がこれによつて達せられたものともいふべきである。

それ故、我々の景仰して措かざる北白川宮殿下の御靈威によつて、臺灣が完全に領有せられてより以來、我が國の上下は、この領土を良くし、生民の幸福を圖ることに全力を盡した。土匪の全滅・市街の造營・交通機關の改善・電信電話の架設・港灣の修築・衞生の施設等よりして、財政の獨立・生命の安固・慈善事業の普及、殊に敎育の勃興となつて、遂に今回大學の創立までに進んだ。這般の文明的福祉は、實に臺灣あつて以來の盛事であり、こゝに生民あつて以來の慶幸である。

以上のお話は、唯人文科學の一部たる、歷史的究明の一端に過ぎないが、要は、學術上、臺灣が大なる價値を有してゐることの諒解を得ればそれで願が足る。若し夫れ、自然科學の價値の豐富なるに至つては、これに幾倍蓰するか、殆ど測知ることが出來ないのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

汎太平洋學術會議

世界の碩學六百餘名を一堂に會する第三回太平洋學術會議は、十月三十日から十一月十二日まで東京に於て開かれた。本學術會議は、太平洋に面する各國、及び該地方に植民地を有する諸國例へば佛蘭西・和蘭竝びに此等植民地の科學者を集め、太平洋及び該地方に關する科學的問題、特に同地方諸民族の繁榮幸福に關係深き問題を各方面から攻究し、問題の解決を速かならしめ、併せて各國間の和親を促進せんとするもので、該會議の第一日は十月三十日東京帝國大學講堂に開かれ、關係各國の代表者及び日本代表者等約六百餘名出席、閑院宮總裁殿下の令旨、若槻名譽會長・櫻井會長竝に海外代表者の挨拶あり、第二日以後は衆議院議事堂に於て、各部會竝に聯合會が開かれ、有益にして興味ある研究は續々發表され、我國空前の大學術會議は太平洋をめぐる諸民族の爲めに偉大なる貢献を爲し十一日午後大成功裡に散會したが、臺灣からは大島博士・原口統計官の二氏が出席された。

島内郵便局長會議

島内一二等郵便局長會議は十一月八日から十一日まで四日間遞信部會議室に於て開かれた。該會議第一日(八日午前九時開議)は、後藤總務長官の訓示、生野交通局總長の演達があつて議事に入り、諮問事項二件、協議事項郵便九件・電信九件・電話七件・爲替貯金五件・庶務會計十三件、參考事項六十四件を四日間に亙つて議了した。

尙島内三等郵便局長協議會は、過る十一月三日から六日まで四日間遞信部會議室に開かれ、交通局總長の訓示竝に遞信部長の演達あり、諮問事項二件・建議事項四十一件・協議事項四件を議了して十一月六日閉會した。

因に一二等竝に三等郵便局長會議に於て龜田博士の郵便年金竝に簡易生命保險に關する講演があつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長慶天皇皇統譜奉列報告祭

長慶天皇皇統譜奉列報告祭は十一月十二日午前八時、臺灣神社に於て舉行された。上山總督始め後藤總務長官其他官民百七十餘名參列、山口宮司の祝詞、諸員の奉拜あつて式を終つた。

臺灣山嶽會創立

本島は新高の最高峯を筆頭に八千尺以上の高山一百有餘、行樂の山は隨所に在り、而かも世界に誇るべき動植物の珍稀亦尠くない。從つて臺灣山嶽會の設立は豫て各方面から熱望されて居つたが、臺灣山嶽會創立委員は十一月八日總督府に於て同會規約竝に趣旨書を決定し、會長に後藤總務長官、副會長に木下內務局長・井村臺日社長を推し、近く會員募集に著手することゝなつた。

因に同會の目的は山嶽の愛護、山嶽に關する調査研究及び登山界の善導を爲すにあると。

新高登山道路開通

前人未踏の神秘境阿里・新高兩山間の登山道路、直線工程十餘里の新鑿工事は豫定を短縮して十一月十三日全部の工事を完了し、十四日午前鹿林山頂に於て盛大なる開通式が擧行された。

上山總督澎湖巡視

上山總督は本山警務局長・竹屋祕書官其他を隨へ、十四日午前臺北驛發、十五日午後馬公入港、三日間澎湖廳內を巡視し、十七日午後馬港發、同夜高雄發列車にて十八日午前歸北された。

後藤總務長官上京

後藤總務長官は北白川宮家への御禮言上と來年度豫算審議の爲め、一戸祕書官・河野屬を隨へ十一月十六日午後基隆出港の蓬萊丸にて上京された。

蘇澳漁業移民到著

蘇澳漁港發展策として招致した第一次の漁業移民は、十一月十五日基隆入港の笠戸丸で到著した。流石漁師だけに航海中も頗る元氣で、二十戸八十九人いづれも一家を擧げて移住したもので、同日夕該南方澳の移民村に到著し、當局の施設歡待に感謝し夫々指定の家に落著いた。

この漁業移民の經費は移民一戸當、家屋漁具等合せて約四千圓に上るが、家屋は無償であり漁船も其半額を十箇年間に償却することになつて居るので漁民に對しては非常な厚遇である。同地は今回の移民來住によりて茲に完全なる內地漁業移民村が出現

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、從來の漁業者と相俟つて今後その發展は期して待つべきものがあらうと。

全國中學校長會議

多大の期待を以て迎へられた全國中學校長會議は、十一月二十二日午前九時から臺北醫學專門學校講堂に開かれた。全國中學校長百四十七名、竝に島內中學校長九名出席、木下臺灣教育會長以下本島教育會關係者二十餘名列席し、開會劈頭中學校長協會を代表して同協會理事千葉中學校長西村房次郎氏開會の挨拶を爲し、議長選擧に入り臺南第一中學校長廣江萬次郎氏を議長に推し、同氏の就任挨拶あつて、木下臺灣教育會々長は後藤總務長官の歡迎の辭（別項時言欄所載）を代讀し、太田臺北市尹の歡迎の辭あつて議事に入る、即ち

一、植民的氣風を作興せしめん爲め中等教育上改善を要すべき事項如何（全國中學校長會常務理事提出）

二、學校教練を一層有效ならしむる方案如何（在臺中學校長提出）

を議題として提案者砂崎東京第七中學校長・濱武臺北第一中學校長の說明竝に各會員より意見の開陳ありて委員附託とし、更に委員會にて作成せる決議案を可決して議事を終つた。かくて增戶奈良部山中學校長は一同を代表して臺灣教育會に謝辭を述べ、非常な緊張裡に午後一時會議を終つた。

それより一同は圓山に於ける公學校兒童の運動會高等商業學校に於ける全島兒童作品展覽會竝に講演會に臨み、若槻視學官の「臺灣教育の現狀」、幣原博士の「臺灣の學術的價値」と題する講演あり、終つて一同は總督官邸に於ける總督主催の茶話會に列した。

因に同會議に於て可決された決議案は左の通りである。

第一議案決議

一、勇往敢爲の氣象を養成すること
一、協同一致の精神を振興すること
一、國際的精神の涵養に努むること
一、教科の內容を改善する事
一、植民的地方に關する實情を正解せしむる樣諸般の施設をなす事

第二議案決議

一、學級數に應じて一校の配屬將校の配屬數比例を定むること已むを得ざる場合は一人の配屬將校に所要數の下士を附屬せしむるやう建議すること
一、中等學校の教練教材を一層簡單にし且つ教授細目の公布を速かにせられるやう建議する事
一、現用銃器（一人一挺）及附屬品等の配給を速かに完了せらるゝやう建議すること
一、彈藥を官給とし且つ演習費其の他を補助せらるゝやう建議すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兒童生活の改善

臺北市樺山小學校長　石川彦太郎

一　緒　言

近來この生活改善と云ふ言葉は各種の方面に用ひられて居るが、多くは經濟の基礎の上に立つた物質的生活の改善の方に此の語を用ひられて居る樣である。兒童の生活改善と云ふことは、自分は斯う云ふ意味に解釋して居る。卽ち衣食住の側から見て、兒童の物質生活も這入るが、主として精神生活卽ち智情意の側に重きを措いて考察して見たいと思ふ。

然し是等の物的及び人的の兩方面の生活が學校生活・家庭生活・社會生活と云ふ各方面で營まれて居る爲めに、兒童生活卽ち教育、教育卽ち生活と云ふ樣に考へ得ることになつて、兒童生活の改善と云ふことは結局

は教育改善と云ふ意味にもなるのである。然しさう云ふ方面を網羅して系統立てゝ述べると長くなるから茲には日頃自分が子供を相手に生涯を送つて居る爲めに、始終子供の生活に物足りない感じを有つて居る點を改めたいと思ふ節々につき、ほんのあらましを斷片的に述べよう。こゝに云ふ兒童は臺灣の兒童、就中臺北市の兒童、而かも小學兒童、斯う云ふ様な意味に於て、主として述べようと思ふ。

二　兒童觀

先づ兒童生活の改善に關し第一線に立つて考へなければならぬ問題は、兒童の見方、即ち兒童觀とでも申しませうか之れが最初に一考を要する問題であらう。子供と云ふもの丶見方、考へ方に就ては之れは教育的に種々考へられる様である。普通に子供と云ふもの丶意味なり價値なりに就きては、兒童の父兄と云ふ立場から觀ても、時に漠然と考へられて居ることが多いのではないかと思はれる。

今から千二百年位前奈良の都の頃に山上憶良と云ふ歌人があつた。此人が「白金も黄金も珠も何にせん勝れる寶子に如かめやも」と云ふ有名な歌を詠んで居るが、之れが我が日本で詩人の眼に映じた最初の兒童觀を詠んだものと思はれる。白金も黄金も珠も何んにするか、勝れる寶は子に如かぬ。子と云ふものは金銀財寶以上の家寶だと、既に一千年以前に我が祖先に於て兒童を觀察して居るのである。

此兒童生活に於て果して金銀財寶以上に見るべき價値のある、意義のあるものを金銀財寶よりも總べて以下に見る様なものは稀にはありはしないだらうか。多くの親は子供を見るに子供と云ふものは自分の子供であると考へる。成る程自分の子供には相違ないが、自分の獨占する者と云ふ考へは如何であらうか。彼の德川時代或は鎌倉時代には時に、生殺も自分の自由であると云ふ風に考へて居た兒童觀を有つ者も數々あつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

樣に見受けられる。勿論親の子には違ひなく、子供は親に從屬すべき性質のものではあるが、一方から見ると親の子であると同時に、又家の子である。祖先の生命の延長であると言はなければならぬ。而かも子々孫々に永續すべき生命の連續であると云つてよからう。

例へば假りに私が新田家の子孫であつたとしたならば、新田と云ふ家は源氏から出で、源氏は淸和天皇から、淸和天皇は神武天皇から、神武天皇は天照皇太神から、こんな風に考へて來ると、我が大和民族は結局大多數は畏くも天照皇太神の御末である。假りに此の講堂に一千二百名の我が民族の兒童が集まつて居れば、是れ皆神の御末で、畏くも我が皇室と血を同じうする所の子供である。其子は決して親丈けの子ではない。祖先の生命の延長である。又永久無限の引續いた所の生命の延長すべき一部を占めて居るものである。

斯う云ふ意味からすれば子供の生命は親から與へられたものではあるけれども、親丈けのものではない。そして其の身體と云ふものも決して死んだ體から生きた體が生れ出て居るのではない。生々とした親の體から生々とした子の身體が引延ばされ、生み出されて居るものである。此意味からすれば吾々の身體と云ふものに就ても今迄多くの人の考へ方が少し物足りなく思はれる點もある樣である。

或る一部の宗敎家から「靈魂不滅」と云ふことをよく聞かされるが靈魂は不滅であらう、然し身體も亦不滅ではあるまいか。靈肉不滅と云ふ言葉は餘りに聞かない詞であるが、元來肉體が死ぬといふものは、新らしい芽が出た爲めに古葉が枯れて落ちる樣なもので、古葉や枯枝が落ちたとて、新芽が延び若葉が茂つて行けば木の生命は益々延長される譯で、隨つて心身の永續、靈肉の不滅と謂つてもよからうと思はれる。私は斯ういふ樣に兒童の心身を意義づけ價値づけたいのである。斯くてこそ敎育の意義も價値も確かになり、體育の根據もすつかり固まつて來るのではあるまいか。今迄肉體と云ふものを兎角に輕視して居る。道學先生等は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神と云ふものにのみ八釜敷く言つて身體と云ふものに付ては、之れを輕視し、且つ卑められることも多い樣である。洵に遺憾の至りである。

斯う云ふ意味から子供は眞に家の寶、國の寶、何よりの家寶、何よりの國寶であると思ふ。金銀財寶以上の絕體價値を有つて居る家寶であり國寶である。親のみ獨占すべき性質の者でない所の大切な素質を有つて、永久に生命を連續する其の一部を占めて居る所の責任躰であると云ふ風に子供を見詰めて見たいと思ふ。

又子供は一方から見ると家庭の花と言つて差支ないと思はれる。純眞無垢の子供の笑顏は眞に美其のもの、詩其のものである。永い間の年月は夫婦の間にも時に氣まづい點も起らぬとも限らない。若し夫婦が驟て破鏡の恨みを見る間際に於て、子供がすや〳〵と眠つて居る寢顏を見た時に、眞逆に之れを打棄つて出て行くことも出來ないであらう。再び子供の其の愛らしい寢顏を見て、夫婦別れを思ひ止まつたと云ふ實例も決して乏しくない。斯う云ふ意味からすれば子供は家庭の確かに花である。夫婦間を堅く結び付け締め付ける楔である。夫婦の證文に押して居る印紙である。斯う云ふ意味から家庭の花と云ふことも言ひ得ると思はれる。

印度の詩人タゴールは兒童を觀て「王者の權を有つて招くも吾れは行かない。巨萬の財を揭げて富者が招くも行かない。笑を以て美人が招くも行かない。唯海岸で貝殼を弄んで居る子供が招けば吾れは無條件で行く」と言つたが眞に印度のタゴールの如きこそ兒童趣味を感得して居ると言つて宜からう。

斯う云ふ立場に立つて考へて見ると子供の意義・價値・家庭に於ける位置と云ふものは、決して輕々に見すごすべきものではないと思ふ。今迄の兒童觀には確かに不徹底の點が我國に於ても多かつたと思ふのである。

然るに近來此の子供を五月蠅がる傾向が漸く強くなつたやうに思はれる。親が子供と云ふものを五月蠅いもの、一つにし、厄介者の一つであると、斯う云ふ風に考へ又感ずる者が事實に於て殖へて來て居る樣であ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。之れは人口が增加し生產が之れに伴はない結果、生活難と共に此の聲を聞くやうになると云ふことは事實止むを得ない問題とは考へるけれ共、而し今日の經濟の基礎に苦痛を感ずる計りではない。近頃は一つは虛榮と云ふことから出て來て、子供を五月蠅がると云ふ傾が餘程殖へて來たやうに思はれる。

佛蘭西などの婦人が經濟と云ふよりも寧ろ虛榮と云ふものを滿足させる爲めに、個人主義と、利己主義等の思想も互に之れに加はつて其の結果子供を五月蠅いものにして終には子供を多く生まない樣にすると云ふことが今日一つの流行の處世觀となつてとう／＼國家として人口が殖えないで世界の第一等國から第二等國に蹴落されると云ふ狀態となつたのは全く佛蘭西婦人の兒童觀の誤りに基礎を置いてるのではないかと寒心に堪へない。斯う云ふ點から考へて見ると子供の數が多ければ多い丈け生活に苦痛を感ずることも多い、生活の苦痛と子供の數とは正比をなして進退して居ると思はれるのである。之れは確かに現在の傾向であり、兒童觀の上に一考を要する問題である。

三　兒童の心理を讀め

次には世間の親達に於て兒童の心理を讀むでやると云ふことが、昔ながらに少くないかと思はれる。殊に臺灣に於て父兄の位置に立つて居る人々が、多くは產業方面に沒頭されて居る點から、子供と云ふものに親しむ時間が割合に少ない。從つて子供の心理を讀むで遣ると云ふことが、兎角に缺けて來ることが多いのではないかと思はれる。

例へば子供が今日は祝祭日であるとか、校外教授であるとか云ふ時に子供に著せて居る著物は兎も角、金鎖の時計をつけさして來るとか、或は腕時計をつけさせて來るとか、又は辨當を要すると云ふ時に、わざ／＼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

折詰の辨當を料理屋に仕立てさせて夫れにチョコレートとか香氣の高い西洋菓子などを添へて來る、之れは子供の趣味ではなくして、家庭に於ける父兄の子供に對する考へ方が具體的に現はれて居るので、果して子供の心裡を讀むだ適當な辨當であるか菓子であるかと云ふと、子供の要求は却つてさう云ふ物ではないかも知れない。

そこで日常生活の上にも其の他服装などに就て考へて見ても、子供の眞に要求する洋服を見ても、男兒のづぼんは半づぼんで此のあたり(膝關節の上部)迄のが子供の要求する眞の生活に適切なづぼんであるやうである。夫れで此の膝關節で止まつて居ると云ふのが、子供の眞に要求する服であるとすれば、大人の立場から見て體裁其の他から見て此所迄延びて居るづぼんを穿かせて居るのは子供の心裡を讀むだとは云はれない。

衣食住の上計りではなく、其の他にも尚子供の心裡を理解して讀むでやるべき所が多いやうに思はれる。從つて子供の心裡を讀むと云ふことは、昔から難かしい問題である。

嘗て藤原氏の盛んな時分、後一條天皇樣が御幼少の頃、玩具が御好きで、朝廷の百官に御命じになつて玩具を一品づゝ献上せよと云ふ事であつた。そこで朝廷の百官は何れも苦心慘膽して我れの玩具こそ陛下の御氣に召すやうにと、金銀を鏤めて綾錦を惜し氣もなく使ひつくした美しい玩具、斯うしたものを澤山に作つて、夫れ〳〵献上した。宮中では殿内にズラツト陳列した。恰度今日で言ふと玩具の展覧會のやうなものが開かれた。後一條天皇樣がずつと御覧になつたがどれにも餘り御眼が止まらない。順次に御覧になつて「こまつぶり」今日の獨樂であるが、其の獨樂に村濃の緒を付けて置いてある。

夫れに御眼を止められて、之れは誰のものであるかとの御尋ねがあつた。之れは其當時有名な書家であつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た行成卿の奉つた獨樂で、行成卿が紐で獨樂を色々に廻して御覽に入れると、天皇樣は非常に興せられて、之れは面白いと、夫れから毎日々々之れを御持ちになつて紫宸殿の大廣間で御遊びになつたが、他の金銀を鏤した獻上品の玩具は悉く一括して御庫の中に御仕舞ひになつたと云ふ物語りがある。之れは玩具に對する一例であるが、行成卿は氣の利いた當時の才物であつて、從つて兒童の心裡を能く讀んで居つた。而して男の子の此の位の年齡には玩具はどう云ふ玩具がよいか、女の兒は靜的のものでもよいが男の兒は動的のものを好む、依て此の動的方面に興ずる其の眞理を讀むで作り上げて奉つた行成卿は子供の心裡をよく讀み當てたのであると思はれる。

此の間長慶天皇樣が南朝の御歷代の中に加へさせられ、夫れに就て御歷代が一代殖へたことになるのであるが、其の長慶天皇樣が未だ御幼少の時、寛成親王樣と申上げて居ました頃、御側の臣を御連れになつて、御鷹狩りに栗摘河の邊りへ御出になつた。色々小鳥を捕つて興ぜられて後、河の邊に御休みになつた。所が向ふの岸の淵の邊りに大きな巖がある。其の巖の上に捻けた風雅な松の木が一本生えて居る、夫れを御覽になると、あれを父帝にあの儘持ち歸つて御土産に奉りたいから持ち歸れと云ふ難かしい問題を仰せ下された。

御側の臣がどうも仰せであるから否むことが出來ない、致方がないから畏りましたと云ふ御返事を申上げ、其の後他の事の爲めに成るべくお忘れ下さらばと心に念じながら御殿にお歸りになりますと、松の生えて居た巖を持つて歸つたかと御尋ねになりましたので御側の方が色を蒼くして、どうしたら宜いかと協議して居ると、一人氣の利いた者があつて、私が御引受け致しますと、庭に下りて、小さい石に松の枝を插入れて、殊更ら二人の者で重さうに持つて行つて、之れでございますと差上げた。

處が長慶天皇樣が御覽になつて大變御不興の御顏付きで、こんな小さい物ではなかつたにと仰せられた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

すると御側の方が、左樣で御座います。實は大きな巖に松が生へて居りました。あれを多くの人々が持つて歸りかけました處が、山と山との狹い間に挾まつてどうしても出ないので非常に苦しんで居ますと其處へ山伏が通りかゝりましたので夫れに拜んで貰ひました。處が此の石が順々に小さくなつたので御座います。斯う云ふ風に申上げた。

其處に父帝が御出で遊ばされて、夫れはよい處に山伏が來て結構であつたと父帝が御喜びになつたので、長慶天皇も御氣色を直された。偖て仰せられるに、其山伏を呼んで今度は大きくして見よ。御側の臣は其の山伏は山奥に這入つて仕舞ひましたので今から追跡しても分りませぬ、と申上げますと、夫れでは今後山伏に出逢つたならば必ず連れて參れ。此の石はどうでも宜いが、お前が大嘘を言ふから山伏に拜んで貰つて、其の大嘘を小さくして遣らう。斯う云ふことを仰せられた。御側の方は汗を握つて、何共申上ぐる事が出來なかつたと云ふことである。之れは長慶天皇の御側の方が其の御心裡を讀み奉り得なかつた爲めに失敗した一つの例である。斯う云ふ宮中の物語りを初め、日本の子供で古來心裡を讀むで遣らなかつた親が窮境に立ち、一家に波亂曲折を起した例も多い事である。

臺灣で此の子供の心裡を讀むで遣ることが足りない爲めに、日常子供に屬してゐる各種の指導、其の他に就いて考へて見ると隨分如何はしい事柄も多い樣である。兒童觀と共に兒童心裡を充分に讀むと云ふことに就ては、親としてどうしても必要な問題だと思ふ。以上は兒童觀の中の一部で、今こゝに兒童生活改善の基礎とも思はれるのでこれを述べた。

四　本島小學兒童の生活と其改善

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夫れから本島の小學兒童の生活の方面に就いては內地とは違つて特別の立場に置かれて居ると云ふことを豫め心すべき事だらうと思ふ。今日臺灣の小學兒童に對しては生活上特に內地と異なつた四つばかりの事項につき一考を要する樣に思ふ。

先づ內地と違つてゐる第一は氣候風土の上、自然物、自然現象の違つて居ることである。學校に於ても教授訓練養護の上に、常に兒童の心身に對して內地と異なつた取扱ひを行つて居る。

例へば積極的には自然の迫害壓迫に抵抗する力を養ふ爲めの鍛錬が大切であり、隨つて運動や遊戲を獎勵し、眞夏でも屋外の日光直射下で適當の活躍をさせる必要がある。又消極的には自然に對する防衛の方法を講ずる必要がある。卽ち綠蓋樹を植ゑ芝生を作り、屋內體操場を設け、湯茶給水、其他帽子に至るまで色々と考案をめぐらしてゐることは、兒童の家庭生活、社會生活上にも參照考慮を要するもの、多々あること丶思はれる。

第二には家庭生活である。臺灣の內地人の家庭組織といふものは、內地に於ける內地人の家庭組織と餘程違つた點があるのである。一家の神棚とか佛壇などに於ても、今猶ほ七割しかない、父母が一家の最高權威を持つて居る內地は、お祖父さんお祖母さんが每日神棚や佛壇に頭を下げるが、臺灣に於てはお祖父さんお祖母さんが少ないから、神棚や佛壇には蜘蛛の巢が張つて居るのも多く、一日十五日にも御燈明が上らないと云ふやうな事もある。同じ形式に現はれて居ても實際に敬虔の念と云ふもの丶發揮の仕方が餘程違つて居るかと思はれる。臺灣神社の御祭りに就て子供を透して參拜の狀況を窺つて見ても、大抵神社の祭に一家族の者の參拜すると云ふ者が先づ三割位で、他の七割は參拜しない。內地に於て、氏神の大祭に、家族の參拜する者が三割しかないと云ふことは、殆んど見られ無いレコードと思はれる。又家と云ふ觀念に就ても、臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

灣に居る子供は非常に乏しい。祖先崇拜と云ふ念も餘程乏しく、家の紋などに就いて考へて見ても、同樣であらうかと思はれる。

例へば呉服屋に行つて紋付羽織を注文する時、紋は何ですかと聞かれると、自分の家の紋は抱茗荷であるがあればどうも格好が惡いから、五三の桐にして置きませうかと云へば若い主人が夫れが宜いだらうと云ふので、とう〳〵五三の桐に家紋が急變してしまふ。內地に於ける老人のある家で、若しこんな事を聞かせたなら嘸お眼玉を頂戴することであらう。家の紋と云ふことに對しても考へ方が甚だぼんやりとして居る一つの證據であると思ふ。

斯う云ふ風であるから國民道德に關する家庭道德を基礎とした處の諸種の德目、皇室を中心としてゐる忠と云ふ方面から分派した諸種の德目も、打ちすて置けば漸次減退の傾向がある。國民道德の基礎とも云ふべき忠孝が薄らいで行く傾向は憂慮すべき問題である。內地を解して居ない兒童が今約八割に達して居る。此の數が年々其率を高めて行く傾向にある。最初十年計り前は內地を知らない子供は六割位であつたが今は八割ばかりに達して居る。追々と此の年數が重なるに從つて內地を解することの出來ない子供が增加する。今日の國民道德が漸次薄らいで行くと云ふことは、今後の兒童の道德生活の上に、是非とも一考しなければならぬ大問題である。

斯う云ふ立場から見ると、臺灣の如きは特に國家的の年中行事に對しては主として家庭に於て徹底的に兒童生活の上に改善を及ぼさなければならぬ問題かと思ふ。年中行事の中の國家的方面の行事の如き、例へば國祭祝日などに就ては、畏れ多くも明治天皇の御定め遊ばされたもので國民道德を具體的に表現した所の重大なる意義のあるものであつて、この國民的氣分を發揮し易い大祭祝日に就て、家庭が之れを何う取扱つて

居るかと考へて見ると、內地人は此の點に於て實際問題として不滿の點が多いかと思はれる。卽ち官廳が休み、學校が休む計りで、一般の家庭は門に國旗が立つて居ると云ふだけで、朝から平素の通り仕事を續けて居る。家庭の食卓の上にも何等の影響がなく、子供が學校を休むで居ると云ふ丈けで、家庭に祭日氣分とか、祝日氣分と云ふものが具體的に表現されて居ないのが大多數である。せめて半日計りでも家族が共に休むで、食卓の上にも何等か今日は斯う云ふ意義のある日であるから御馳走を拵らへて遣らふとか、或は辨當を作つて野外に出て何か祝祭日の氣分を兒童に感じさせる丈けの施設をしてやるとか、兒童生活の上に何物かの考案工夫を私は要求したい心持ちが絕へないのである。

又家庭的年中行事の中でも雛祭り、五月のお節句・七夕・月觀とか社會的年中行事の數々に就て考へて見ても行事が大抵形式に於ては正確に行はれつゝある樣であるが、實質に於ては徹底した行事には進んでゐないのも多い樣である。たゞ之れが學校で智識の上に智的に働くのみであつて、情意の上に植ゑ付けると云ふことは中々話だけではいけない。茲に於て情意の上にしみ〲徹底させる爲めに家庭に於て、母を中心として、何か家庭生活上に一つの變つた意味のある催しが欲しいと思ふ。

人間の慾望の中で生命保存の上に食慾が盛んである。子供の慾は食慾にあるのである。喰ふと云ふことは子供の第一に興味の湧き出る處のものであつて、年齡が發達して來ると慾望が種族保存の方に向いて茲に色、慾が發達して來て、子供の樣には喰はないが、子供の時の慾求は喰ふことに基礎を置いて出て來る者が多い樣である。そこを旨く捕へて敎育方針を立てたのが岡山孤兒院を經營した石井十次郎氏である。私は石井君を數回岡山孤兒院に訪ねたが、孤兒敎育の根本方針として滿腹主義を採つて居る。腹一杯喰はせる、住居は狹くても衣服はぼろでも子供には要求する丈け喰はせることが大切であると云ふので、孤兒敎育の大方針と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、滿腹主義を自然に體驗して唱へて居つた。實に之れは子供の慾求の眞摯のことを捕らへたと私は敬服して居る。子供は喰べ物を中心として、家庭に於ける食物や遊戯や其他の娯樂的・趣味的施設が最も大切で此の點に於て今後の兒童生活は、家庭的年中行事・國家的及び社會的年中行事に於て、大いに徹底的に之れが趣旨を發揮する必要があるかと思ふ。

尙ほ臺灣小學兒童の國民性漸減の傾向を矯正する爲めには內地見學が是非必要ではあるまいか。今年夏季休業を利用して尋常六學年生十餘名を引率し約四週間內地見學をしたが其の結果から觀て是非とも內地人兒童には內地見學が必要な施設ではあるまいかと、しみ〴〵感せられたのである。

次ぎには臺灣の社會組織が內地と違つて居る一事である。之れも兒童生活の上に一考を要する大切な事と思ふ。內地であると、何處に行つても到る處に敎育的の資料が滿ち〳〵て居る。三千年の歷史を持つ母國の社會敎育と云ふことに就ては、家庭が特に考慮しなく共、野中の一本松にも無言の偉大な敎育力が現はれて居る。四ッ辻の石一ッにも無言の敎育力を有つてゐるものが橫たはつて居るのである。

臺灣の社會には森の陰に鳥居が見えると云ふことも無く況して野中の一本松や、四ッ辻の石ころ一ッも、敎育力を有つて居ないと云ふ有樣である。斯う云ふ貧弱の上に、社會の組織が、政治的に見ましても、其外各種の方面から考察して見ても、敎育の立場からは困難な事情の下にあるものが多いのである。

臺灣に於ても、田舍は別であるが、臺北市のやうな都市生活としては、子供の日常目擊するものは、人と物件ばかりで動もすれば低級趣味に誘はれ易く、精神生活は漸次荒み易い傾を有つてゐる。是非兒童の生活は今後之れを他の方面に導いて、此の低級趣味に流れる處の傾向を防ぐ必要があると思ふ。此の意味から日曜祭日と云ふやうな日には、子供を中心として、子供から割り出した處の計畫の上に、絕へず兒童を山野の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自然に親しめる計畫が必要かと思ふ。都市生活であると低級趣味に誘はれ易いから、山野に行つて新鮮の空氣を吸ひ、美しい景色を見て、而して運動量を多くし、其の間に知らず識らず心身を鍛錬して行くと云ふ事に向はせる必要がある。

此の點に就ては以前からも注意を拂つてはゐたが、戰後英・米・獨・佛などの諸國は最も兒童生活の上に是等の點を考慮して居る樣である。例へば野原に引率して行くとしても、日本の家庭は父母が子供を連れて野外に出るとしても、その父母は互に世間話を續けて居て、子供は前になり後になつて單獨で歩いてゐるといふ風で、何等相互間の聯絡交渉が見えない。即ち父母は子供等の教育力に向つてどれ丈けの考慮を費して居るかと問へば殆んどゼロである。此の點に於て諸外國は洵に眼醒めた取扱ひを行つて居る。

例へば私が或學年の子供を連れて、圓山・士林方面に行くと假定する。そして兒童と圓山動物園も見、劍潭山の麓に出て、神苑内に辨當を喰はせて休んで居る時「士林・圓山の方面から臺北の方に向つて臺灣人が物を擔つて行く者が澤山ある。其の物は何で有つたか」と尋ねて見る。すると大多數はぼんやりして居つて知らないが然し一ツの學級五十人程の中には大低五六人位は觀察して居つて「豚肉を入れて居ります。葱や卵がありました。大根・文丹とか、蜆・砂糖きび」と色々擧げて來る。私は此處で「夫れ等の品物は何處に運ばれるか」と聞くと「臺北に行くのであります。市場に行くのであります」等と答へる「夫れは何處に供給されますか」「我々の家に供給されます」と答へる。今日の御辨當に卵を持つて居ると云ふのもあり、文丹を持つて居ると云ふのもある。夫れから「此等の農産物は何處から運び出して來るか」と聞くと、「士林方面の百姓の家からです」と答へる。

次には「汽車に乘つて士林・圓山の方へ行く人はどう云ふものを持つて居つたか」と尋ねると、大低は知ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ないが、其の中の五六人は觀察して居つて、反物、或は洋雜貨等のものを二三點擧げる。「夫れは何處から持つて行くか」と聞くと、「臺北の町から買つて來たのであります」。「士林あたりにはないか」と聞きくと、「あちらでは出來ませぬ、百姓は何時も野菜やお米を作るのであんな品物は大抵町から買ふのであります」、斯くて都會生活と田舍生活とは相互に離るべからざる關係になつて、社會組織をなして居ると云ふことが說明出來た。子供は夫れを興味を有つて問答をして居る。

尙ほ西洋で今盛んに子供等を野外の自然に親ましめると云ふ取扱ひをして居る。夫れで野外に行つて休む時にでも、丁度其處に自轉車の輪の跡があると、休んで居る間に之れを指して「斯う云う風に自轉車の跡があると此の自轉車が何處からどの方向に行つたか」斯う云ふ問題を考へさせる。又自動車の轍の跡に就ても此處に低い處がある。そして其處に少し澁れた跡が殘つてゐる。と之れを捕へて「此の自動車はどちらからどちらへ行つたか」斯う尋ねると、之れに就て自動車は此方向を執つて行く、此の自動車は此方に進行して行つた速力は早いとか遲いとか、斯う云う風に其處にあるものを捕へて直ぐに敎育資料にするのである。汽車に乘つて居るとき、斯う曲ると身體がどちらに傾くか等、其の儘に過行けば問題はない樣なものであるが、彼の地では常に斯うして注意して、子供に問題を起させる樣に仕向けて居る。なぜ前に傾くか子供に物理學上の遠心力が解らないとしても「汽車が曲る時斯う傾くのは何故か」斯う云ふ問題を保留させて置く。或は「レールの繼目を少し開けて置くのは如何なる理由か」之等は何でもないが矢張り疑問として解決させる題材とする。

斯んなに歐米の各國では兒童の一擧一動に注意して敎育能率の向上に苦心して居る。我が臺灣の如く、子供は學校へ出して先生に任せておけばそれで澤山だと打ちやつて居るのとは、雲泥の相違がある。野外に連

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れて行つて美しい景色の中に美感を養ふことにも努める必要がある。森林中に猿の啼き聲を聞かせたり、谷の水の流れる音に耳を澄まさせたりする時は實に神秘の帳りの中に居る樣な思ひがして、宗敎的氣分に憧れるものである。實際的に具體的に矢張り科學上の智識の各種の問題にも觸れさせることが出來る。斯う云ふ趣意の下に、何でも引つ捕へて問題にして進んで居るのである。斯う云ふ點は日本の家庭が子供を野外に引率する時とは大いに趣を異にして居る。

此の問題についてゝも私は統計の材料に基いて詳述したいが、限りある紙上であるから之を略するが、最後に一言したいのは入學難に關することである。

五　入學難の解決

中等學校入學難の爲めに子供の生活が脅かされ子供の生活が非常に荒んで來る傾向に在る。子供の身體から精神生活に非常に不都合な現象を呈して居ると云ふことは、事實如何共否むことの出來ない狀態であつて、學校の敎師も之れが爲めに非常な打撃を受けて居る。之れはどうしても解決しなければならぬが、然し解決の道は唯一途、曰く「收容率を多くすること、唯是れのみ」と信じてゐる。從つて敎育者だけで解決する譯に行かない。官廳だけで解決出來る問題でもなく保護者丈けあせつても出來上る問題ではない、各種の方面が一致協力して夫れ〴〵の理解の下に或る交叉點を見出さなければ解決は難かしいかと思はれる。

要するに子供の樂しい落付のある生活を、非常に傷つけて居ると云ふ丈けは確かに事實であらう。之れを解決して遣ると云ふことが大切の問題で、若し此の儘存續すると云ふことになつたならば、斯の心身を傷つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けられた弱い子供が將來國家の重責を背負つて立たなければならぬかと云ふ問題に思ひ至りますと洵に寒心に堪へないのである。

若し歷史家が大正の教育史を書く時に、春秋の筆法を以つて書くならば「大正の國民は兒童を虐待す。大正の國民は兒童に對する罪人なり」と書かれるかも知れないだらうと思ふ。御互に此の問題の解決に十分全力を注いで各種の方面から、早く兒童生活を救つて遣りたいものと私は涙ながらに訴へたいと思ふのである。

（終り）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

南洋概觀

州立臺北商業學校教諭　見元了

南洋を見て歸つたに就て何かお話をしなければならぬといふことで此處に立ちました次第でございます。先づ南洋といふ其範圍でありますが、これは東洋とか西洋とかいふと同じく極めて漠然たるものであつて、亞細亞大陸の東南に突き出て居る半島も南洋であり、臺灣の南の方に竝んで居る馬來の諸島も南洋でありまず、また大戰中我國が占領して今は委任統治となつてゐる彼の小さな島々も南洋であります。人々の見解によつて多少の相違はありませうが、私共日常取扱つて居ります處の南洋と申しますのは、この印度支那半島と馬來諸島とを合せたものを表南洋と申し、それから委任統治のミクロネシアから大洋洲に入つてゐる方面を裏南洋と申してゐるのでございます。

然らば私が今の視察地は表南洋といふことになりますが、僅かに三箇月の日子を以て表南洋の全部を一と亘り見て歸らうといふ考へで日程を作りましたから日數に比べては行程が長いので、從つて一つ處に滯在して調査などするといふ豫定の日を見てなかつたのであります、それで今私が此處でお話を申上げましても皮想の觀察であるといふ批評は免れないと思ひます。

昔、天竺德兵衞は暹羅から歸つて大法螺を吹いたといふことが云ひ傳へられて居りますが、それは察するところ德兵衞自身は法螺を吹いたのではなくして、彼れの南洋に對する豫備的智識が極めて淺薄で、其觀察

力も充分でなく、從つて皮想の觀察に陷つたことが後人を誤つたであらうと思はるゝのであります、斯樣な例は德兵衛に限らず往々あることでありまして、私も亦その一人として世人を誤るのではないかといふことを恐るゝのであります。

殊に私が今回の視察は特殊の用務取調べを帶びて行つたのでなくして、南洋一般の地理事情について見に行つたのでありますから、此處でお話することも何から申上げてよいやら系統立つたお話も出來ず、たゞ見て來たところを雜然と申上げる外ないのであります。今一つお斷りしておきたいことは、視察地全部についてのお話をすることは到底時間が許しませんから何れか一國を限つて申上げやうかとも考へましたが、左樣に偏しても御期待に背くかと思ひ、結局私は斯ういふことにしたいと思ひます、始め半分まわりました半島の方は比較的旅行者が少い方であつて、後半分の諸島の方面は臺灣からも視察に行かるゝ方が多いのでありますから、そこで後半分を略して始めの方の概略を其輪廓だけ申上げることに致しませう。

比律賓

最初基隆を出まして五日目に馬尼刺に着きました、比律賓で見るべき處は馬尼刺の外にミンダナオのダバオがあり、北の方はバギオがあります、處でダバオの方は日程の關係から豫定に入れてなかつたがバギオには是非行くつもりの處を、折柄の出水の爲に汽車が不通になつて中止しましたことは殘念でありました、そこで一日馬尼刺の東南にあるロスバニオスに參りまして途中田舍の狀態を見て歸り、其他八日間は馬尼刺に滯在して其附近を見たのであります。

比律賓滯在中には四日間內務部長と一緒でありました、其時縫田總領事からのお話もありましたが、之は

内務部長からお話になることゝ思ひますから控へます、先づ比律賓で第一に感じましたことは寺院の立派なことであります、又其數も多く馬尼剌の市内はもとより如何なる田舍の山村水廓にも、ローマンカソリックの殿堂伽藍は巍峩として聳えて居ります、今日比島一千萬の人口の中で八百萬以上は此カソリック敎徒でありますから寺院の勢力は大したものであります、三百年の昔西班牙の僧侶の此島に來るや、此處を墳墓の地と心得て其宣傳敎化に努めたことを思へば、夫れも當然のことで、今日米國の官憲が之等寺院の鼻息を窺ふて政治を執るといふ狀態であることも無理のない次第でありませう。此寺院の勢力は特に敎育上に顯はれて居りまして、米國が公立の學校を設けて少年子女の敎育をせうと努力するに關はらず、富豪の子弟は今も多くは寺院附屬のカレージに入學してゐるのであります。この寺院の中には數百萬の財產を有するものが尠くない、一般に寺院の富有なことは世界第一とも云はれてゐますが、これは西領時代に民の膏血を絞つて蓄積したものであります、其當時寺院の富有なのにまかせて僧侶の素行の紊れてゐたことは又甚だしく、夫れは今日至る處に混血兒があることを以て證せられます。

次に日本人のことでありますが、今比律賓には八千人ばかりの邦人が在留してゐます、其うち約六千人はダバオに大集團をなしてアバカの耕作に從事してゐます、約二千人は馬尼剌附近にありまして、此處には日本人倶樂部もあり日本人小學校も出來て居ります、日本人の敎育機關は表南洋に五箇所ありまして、今回其全部を見て來ましたが此處のが最も完備したものであります、現在の兒童數は百五十で文部省・外務省の指定學校として、日本同樣の敎科の外に英語を加へ外國人の敎師がそれを擔任して居ります。然して比律賓は邦人の發展地として如何であるかと云へば、政治上以外には色々都合のよい條件を具へてゐるのであります、第一に其他味風土が日本によく似てゐる、第二には純粹の比律賓人が邦人に對して非常に好感を持つてゐる、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三には人口が稀薄で其密度は臺灣の密度の三分の一にも及ばずさうして開拓の餘地が多い、拓けば今からといふところであつて行き詰つてゐない、第四には甚だ好都合なことは支那人の入國禁止になつてゐることである、凡そ南洋の各地は名は歐米の植民地であつても實際に商權を左右し勞役に從事するものは主として支那人で、それが經濟上の實權を握つてゐるが比律賓にはその厄介がない、馬尼剌在來の支那人が約六萬あつて可なりの經濟力をもつてはゐるが他の南洋の比ではない、また馬尼剌市以外に浸蝕してゐないので、これ等の點からして邦人發展の好適地であるといふことが出來ると思ひます。

然らば比律賓の獨立問題は如何と云へば、之は最早時期の問題に迫つて居りまして、已に米國が領有當時に於て適當の時期に獨立せしめやうといふ條件であつたこと、また民主黨時代に比律賓人の權限を擴張したこと等、今日に於て其機は熟してゐるのでありますが現在共和黨政府である爲に鳴りを靜めてゐるかと思はれます。併し米國でも早晩その獨立を認める時機が來るであらうと思ひますが、玆に妙なことは最近米國では比島第一の未開地ミンダナオ島について色々の調査を進めてゐることでありまして、或は獨立を許す場合となれば此ミンダナオだけは永久に領有して、其他を獨立せしめるの下心ではないかといふのであります。近時比島では土地法を制定して借地面積の制限をなしこれを邦人經營のダバオに適用せんとして居ります、誠に都合がわるいやうでありますが、そこが日本の腰一つであると思ふ、其ダバオに邦人經營の學校なり立派な病院なり其他の機關を充分ならしめて、邦人の安定して事業となすに足るだけの設備をして、最早拔くべからざる勢力を作つて置けば問題はないのでありますが、餘りに遠慮勝ちで國際上の顧慮に過ぎるといふと此六千といふ大集團の日本人村までも臺なしになりはせぬかと憂ふるのであります。

今一つは貿易のことであります、日・比の貿易は今日猶微々たるもので甚だ振はない、比島の貿易總額は五

億三千萬ペソ、其中では日本と年々三千萬ペソ、臺灣とは僅かに三十五萬ペソといふ狀態であります。日本と比律賓との貿易は地理上から見て甚だ便利である、それでも國內の產業狀態が互に同じければ取引もない筈であるが、現在の彼と我との國情は相異つて其產出物は互に補足的の立場にあるのであります、比律賓に產する物產は現在日本の諸工場の原料品として適當なものであるが我國はこれを比律賓よりも遙かに遠い處から買つてゐる、また比律賓人の日用品は我國に多く產出するが、それをば此地に買つてくれないといふ極めて不自然な貿易狀態であります、之は申すまでもなく現在の對米自由貿易の關係によるのでありまして、將來に於て比律賓が獨立するか、然らずとも現在の對米自由貿易が改變せらるゝの日が遠くはあるまいと思ひますから、その時は日・比相互の利益は一層增進し、兩國の貿易關係が次第に密接になり行くことは必然の勢ひでございませう。

佛領印度支那

馬尼剌から南支那海を横ぎつて五日目に佛領印度支那の最北端ホンゲイに上陸しました、その後海防に來ました時に再び內務部長と邂逅して、それから河內、ヴイン・ユエ・ツーラン・フアイホ・ナトラン・西貢といふ順に此國の主要部を視察しつゝ陸路を縱斷しまして、此國に私は十六日間を要したのであります。

ホンゲイは世界有數の良質無煙炭の產地として名高くなつた處であります、炭田の面積は五萬四千英町、炭層の厚さ二百五十尺、さうしてそれが全部露天掘であります、露天掘は昨年滿洲の撫順でも見ましたが、隨分大仕掛で今は千金寨の市街を移轉中であります、處が此ホンゲイでは撫順以上に便利なことは、六千人の工夫が鶴嘴で打砕いて、シャベルで掬つてトロツコに入れると機關車が來て近い港の上まで曳いて行く、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そこには幾つもの起重機があつてトロッコの儘で掴んで汽船に移し込むといふやうに簡單に行きますから、經費が極めて安くて濟むのであります。今は年額百萬噸を出してゐますが、次第に鑛區が擴がつて行くから兩三年の後には百三十萬噸を出すといつて居ります、實に美しい紫色の光澤のある無烟炭であります、これは年々我國に澤山に買ひ込んで日本の有烟炭と混せて煉炭をつくる、この無烟炭六割に日本の有烟炭四割の割合であります、それは此處でも日本の石炭を買つて夫れと混せて煉炭としてゐたのであるが、最近にこの北西の方で有烟炭の炭坑を發見したから今後は日本の石炭を買はないことになると云つてゐます、我國の方では益々多くこの無烟炭を買はなければならぬ狀態であるのは誠に殘念なことであります。

海防は商業都市でありますが河口の土砂堆積が甚だしくて、吃水十八尺以上の船が溯江することが出來ない缺點があります、そこで佛國はこの南の方の海岸にどこか築港をやらうといふ議論もあると聞きました。河内は佛領の首府であり古い町である丈けに見るべき處も多くあります。海防から河内へ來るまで鐵道の沿線は全部水田でありまして、其光景は臺灣の田舍と大した差はありません、たゞ一般に卑濕の土地が多くて排水に不便なことを感じました、それでも此平野から出る東京米は此處の人口稠密の地に有り餘つて、年々百二十萬石を輸出して居ります。安南に入つては山野の風光が非常に日本の內地に似て居りますが、人口はすくなし良田が多く、處によれば未開墾の土地もあり又は東京地方とは反對に灌漑に不便な處も見受けられました、次第に南に行くに從つて水田が少くなつて、ニヤトランから南の方では殆んど耕地がありません。交趾支那に入つてメコン川やサイゴン川の三角洲に近づけば、これはまた一望千里の沃野となります、この平野から年々輸出する米の量は先づ八百萬石と云はれてゐますが、まだ〳〵此平野も三分の一は開墾せられてゐないのであります。一日西貢の西南にあるショロンに行きまして精米の狀況を見ましたが、數十の宏大

な精米所は殆んど全部支那人の經營するもので、近頃佛人がこれに割り込んでやつてゐたが迚も支那人に匹敵することが出來ないと云ひます、結局此國では年々一千萬石内外の米が諸外國に輸出せられてゐるわけであります。

東京地方から安南北部の土人は皆木の皮で染めた澁色の簡單な衣服を一枚纏ふてゐるだけでありますが、だん／＼ユエの方に來ますればそれは少くなつて、下着は純白で上衣には黑か紫かといふ風に品位のある服裝をしてゐるのを見て都に近づいたことを感じます、此處は佛領といつても正式には保護國であつて、此國の皇室は今も連綿と續いてゐるのであります、此處で王城の拜觀を許されまして隈なく拜觀しましたが却々立派なもので、其金銀珠玉の寶物等も大したものであります、もとより支那北京の宮殿に比べては十分の一にも足りませんが、阮家百年の榮華のあとを偲ぶに足るものであります。ユエは誠に氣持ちのよい處であつて、此附近の山中には赤松・黑松等が生ひ茂り、日本と少しも變らぬ風景を呈してゐます、そこには阮家歷代の御陵があつて皆宏大なものであります、佛國政府はこの皇室に對して監視を怠らず、現皇帝は遊學を名として佛國に、其近親は遠きアラスカに送りなどして、今は實に哀れな狀態にあることを見て思はず同情の涙を誘ふのでありました。

ユエの南にツーラン港があります、非常な遠淺のところで良港とは云はれませんが、安南の中央部に良泊地がない爲に、佛蘭西船の定期航路に當つてゐます、これが昔、占城と云つた處で我御朱印船の盛んにかよつた港であります、此附近の田舍は農家の構造やその生活樣式が非常に日本に似てゐることを見て、我邦人との間に深い關係があると思はれました。之から南に十里ばかり行くとフアイホと云ふ町がありますが、そこに日本人橋といふ日本人の架けた橋が殘つてゐて、安南でもこれを大切に數回修繕して昔の面影を存して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐる、一名を來遠橋といつて其由來を石に刻んで橋の袂に建てゝあります、昔はこの橋の附近に數多の邦人が住んでゐたらしく今もこの町を日本人橋通りと呼んでゐるが、現在そこに住む人は皆安南人と支那人のみで一人の日本人もゐないのを見ては感慨無量なものがありました。又この附近の田舍を驅けまわりまして、日本人の墓といふものを三つまで探ることが出來ました、遠くこの異域に南洋發展の先驅をなした英雄の墓は誰弔ふものもなく風雨に曝されてゐるのを見ては斷腸の感に打たれました。

次に貿易の關係でありますが、佛領印度支那と日本との貿易關係は、比律賓とのそれよりも一層極端になつてゐるのであります、云ふまでもなく我國の必需品たる米を始め牛皮や漆や其他色々のものはこの地に產し、また綿織物や絹織物や綿絲マッチ等の此國の必需品は我國に產します、互に之を交換し有無相通ずべき關係にありながら事實は甚だ振はないのであります、これは佛國が日本に對し法外な關稅の墻壁を設けて、殆んど輸入禁止同樣の最高稅率を課してゐる爲であります。此關稅改正の問題は已に十餘年來の懸案であるが今に改正せられない、これが容易に改正せられないといふ譯は、本國にある商工會の團體が當地に手を伸ばし、商業會議所の議員として非常な勢力を有してゐる、總督さへも其商工會の機嫌を損ふては地位が危いとまで云はれてゐます、殊に東京地方の製造會社の重役は皆商工會の中堅人物であつて、外國品を排斥し自己の會社の製品を法外な値段に賣りつけてゐる、そこへ日本の綿布や絹布やマッチなど日用品の優良なものが來ては忽ち壓倒せらるゝ恐れがあるから、自己の產業を保護する爲に關稅の改正をばどこまでも頑張るのであります。昨年山縣大使が此地を訪問した時に改正案が協議せられたが、それも最惠國としての稅率とは云へない、寧ろ中間稅率で、日本としては之に滿足するほどのものではないが、それさへ今に佛國の方で決定しないのであるから、佛國に日・佛親善の誠意があるか否かは疑はるゝのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

それから佛領印度支那と邦人との關係を申上げます、此土地は過去に於ては早くより我邦人の發展した土地であります、現在に於ては我國に缺乏する米の大產地であります、將來にあつても、日本人に好意を有する安南人が折もあらば何事か云ひ寄つて佛國の羈絆を脫せんとする土地であります。斯ういふ土地でありながら今日邦人の在留者がどれくらいあるかと云へば、先づ西貢を中心とする交趾支那に約百五十人ばかりと、其他はユエに三人・ヴインに一人・ホンゲイに三人・海防に約五十人とそれから河內からラムデンにかけて田舍を合せて約六十人といふ人數で、邦家の勢力微々として振はざるは遺憾である、且つそれ等の人々も今では隱忍自重して時機の到るを待つてゐるかの如くであります。或人が云ひますには、佛蘭西は次第に親日態度が濃厚になりつゝあるから今暫く待つて居れば面白くなると云ひました、又或人が云ひますには、この安南人は次第に覺醒しつゝあるから此際日・佛協商などして佛國に親しむやうな態度に出るのは考へものであると云ひました、何れが眞理か甚だ興味あることゝ思ひます。惟ふに佛人の親日態度が濃厚になりつゝあるといふことは事實でありませう、併しそこには別の理由が潜んでゐることも思はなければなりませぬ、最近に於て英米の間が次第に密接になり行くにつれて佛國の蒙る壓迫は愈々甚だしくなり、殊に現在の佛國は國內の事情よりして此遠い方面にまで充分に行き屆きかねる國情である、猶且つ今日では英國は隣國のビルマを經營し、支那の雲南方面の經濟を壟斷し、近くは新嘉坡に大軍港を築造せんとして居ります、此地に在る二萬人ばかりの佛國人が安閑として居られない事情になつてゐることは想像に難くないところであります。そこで賴むところは日本である、成るべく日本をして英國と離れしめ、さうして他日事ある場合に東洋に於てこの方面の番をさせやうとすることは佛國に取つては有り得べきことゝ思ひます、前の歐洲大戰の時には日本が此方面に番犬の役を勤めさせられた、其時英國は東洋に少しも心配が要らなかつたといふ關係もあるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であります、日本は再び斯の如き愚を繰り返すものではあるまいが愼重に考へるべき事でございませう。然らば安南が近き將來に獨立するかと云へばそれは疑問でありまして、去勢された安南人で獨立するといふことは難事であるが、然し漸次に覺醒しつゝあることは事實であります、これはたゞ此土地ばかりではなく白人の領地といふものは、到る處にさういふ氣分が漲つてゐるやうであります。印度の如きは早くより獨立すべきものでありますが、印度では例のヒンヅー教徒とマホメット教徒とが非常な軋轢をやつてゐるので、英國はそれを利用して都合よく操縦して今日に至つてゐるのであります。此際日本としては誠意のない佛國に好意を寄せかけて行くべきであるか、そこはどうぞ愼重に考へて貰ひ度ひと思ひます。

今一つ附け加へて置きますことは、佛國ではこの頃フランの暴落の爲に非常に苦しむでゐる、ところが此地に居る佛國人は之と反對に官吏でも實業家でも隨分贅澤を極めてゐるのであります、先づ月に六十圓收入のある官吏がそれを本國に送りますと、それが千フランになる、實業家で一箇月に六百圓儲けたとすれば本國の金の一萬フランになります、本國で貧民生活をしたものが此處にやつて來て、仕事にありついて月に十五圓も貰へば本國の金の二百五十フランになるといふわけで、この土地の佛蘭西人は如何なる小役人といへどもボーイの四五人を置いて居ります。序にこの地の勞銀は南洋第一に安い、日に二十錢か三十錢であることも附け加へておきます。

暹羅

西貢を出まして海路シャムの國に參りました、また五日目にバンコックに著きまして林公使から當國の事情を聞き、一週間こゝに滯在して一日は舊都アユーチアの方に出かけ、それから馬來鐵道で二日間この沿道

を見つゝ彼南の方に向ひました。

バンコックで先づ見るべきものは何よりも王城と寺院とであります。王城の拜觀を許されまして離宮から本宮と一日それを拜觀しましたが、それはどうも何れも濃厚な色彩で、金光燦然として絢爛の美を呈してゐるとはこの事であります、光彩陸離人目を眩するなどいふ言葉を實際に感じました、併しこの壯嚴はあまり濃厚に過ぎて森嚴の氣はないかとも思はるゝのであります。それからお寺巡りをしました、あちらではお寺のことをワッと申して居ります、王城内にあるワップラチオといふのは日本で云へば宮中の賢所といふ格のもの、ワッポーは王城の隣りにあつて歷代の御陵のあるお寺、その中にある有名な寢釋迦佛は長さが二十四間、足の裏でも三間あるから奈良の大佛も跣足で逃げるのであります、ワッサケのお寺は先年日本へ佛骨を分與せられたところ、ワッベンチャヤといふは先帝と關係の深いもので今に其本堂の中に先帝の遺骸が安置されてあります、其他外觀の宏壯なワッチエンなど數限りなく宏大なものがあるのであります。シャムに入りますと誰でも目を惹くものは途上に彷徨してゐる僧侶の托鉢でありまして、朝の頃は特に多く人の門口に行つて門の開くのを待つて居ります、何れの家でも快よく喜捨するのでありますが、貰つた方ではお禮も云はずに行つてしまひます、御承知の通りシャムの男子は一度は僧侶となつて托鉢しなければならぬので、短いのは數箇月、長いのは三四年もやるのでありますが、上手にやる人は供をつれて獲物を持たせてまわり、晝も晚もそれを嚙つてゐるのであります。

此シャムには二大產業があります、それはシャム米とチーク材であることは云はずと知れて居りますが、米は大概一囘作でありまして、日本とは米作の狀況が大變に違つてゐます、始めに土地を鋤き返して次に土塊を碎く丈けで土地の準備は出來たといふもの、中には苗代を作る處もありますが、大槪はバラ蒔きでその

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

働き返し土塊を碎いただけの土地に蒔き放しで、挿秧もせず除草もするでなし、肥料もやらずたゞ熟するのを待つてゐるのであります、米を作るでなくして米が出來るのであります、何しろ手が足りない土地が廣くて一人の分擔する土地が多いのであるから、植附けにしても收穫にしても日本のやうに一時に出來ません、一方から順々に植附をやつて二箇月も三箇月もかゝるそれが終つた頃には始めの方は刈り取るやうになつてゐる、刈る時は穗の處ばかり鎌で刈り取つて、あとは火をつけて燒き拂ふのでありますから、シャムには藁がありません、穗は精米所に運んで麻袋に入れて出す斯ういふ大ザッパな作り方をしても、年々有り餘つて輸出する額は、西貢と同じく八百萬石と云はれてゐます、それで其藁のない代りに籾殼は山のやうになつてゐるから、それを精米所や電力會社の燃料に使用するので誠に安い動力となります。次にチーク材は北部の森材チエンマイを中心とする地方から伐り出して、筏に組んで早くて三年遲ければ十年もかゝつてバンコックに下し、メナム川の沿岸に竝ぶ數箇所の製材所で製材して世界各地へ送る、これ等の製材所も精米所も皆支那人の經營であります、チーク材は反らない腐らない割れ目が出來ないといふ木であつて艦船車體に適するから、日本へも澤山來ますが臺灣丈けでも年々二萬餘圓を此國から買つて居ります。一箇年の輸出額は三千萬圓といふことで、此米とチークとは當國輸出額の九割以上を占めることになる、それで他の産業は殆んど云ふに足らないのであります。

シャムと云ふ國は面白い國で其國民に二大色彩があります、一は少數の貴族階級であつて西歐皮想の文明を味つたもの、一は大多數の農民で敎育もなく全く無智蒙味の輩である、さうして國民に中産階級といふものがない、中産階級商人連といふものは皆支那人が占めてゐるといふ不思議な國であります。此農民といふものがあまり天惠の裕かな爲に働かない、衣食住にも金がかゝるでなし、生活は簡易なり税金は安し、僧侶

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に喜捨する外は殆んど費用がいらない、從つて慾がないから働かない、金がなくても支那人から掛で品物を買ふ、さうしておいて收穫の時になれば支那人の云うがまゝに暴利を貪られるが、それでも知らないのであります。またシャムでは大臣や大官は皆皇族で、其他にピヤ或はチャオピヤなど云ふ貴族が支配階級になつてゐますが、それ等が非常な贅澤をして猶且つ外國かぶれの見榮えをはるので、政府の財政は皇室費を始めこれ等貴族の食ひものになることが多い、かつて財政整理の爲にと云つて英人を顧問に聘しました、其當時一時は順調に向つてゐたらしいが、現在では其貴族の考へで色々の贅澤なことをやらうとすると財政顧問は直ちに贊成してやらせる、金に窮すれば英國から貸しつけるといふ筆法で、現に國內の鐵道全部は某擔保に入つてゐるが迚も返さるゝ見込はない。これは先年英國がエジプトの實權を、名實共に握つた奥の手でありまして、どうやら此國はその手にかゝつてゐると私は見て來たのであります。左樣に民間の經濟は支那人に握られ、政府の財政は英國に壟斷せられてゐるのは實際氣の毒なことゝ思ひます。

シャムに滯在中一日アユーチアに行きました、これは前王朝の廢墟を吊ひ、また昔の邦人發展の遺跡を探らん爲であります。アユーチア驛の後ろから船に乘つて有名なリバーマーケットを見つゝ行きました、元來此國では都會を一歩出づれば道路がない、通路となるものは川でありますから、川の兩岸には浮屋が竝んでゐます、それは雜貨屋もあれば藥種屋もあり、金物屋もあれば小さな吳服屋もある、八百屋などは特に多いそれが皆船の上に造つた家であつて、大きな七間四方の破風造りの家も船を四五隻竝べて其上に造つたのであるから、時々主人の意のまゝに都合のよい處に移動するのであります。そのなかを漕ぎ上つてアユーチア王朝の趾に行きましたがアユーチアの舊都は草深く茂つて、其中に宏大な堂塔伽藍の殘壘が此處彼處に殘つて哀れを止めて居ります、再び船に歸つて昔の山田長政の居たといふ日本人村へ漕いで下りましたが、思ひ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

も寄らぬ淋しい叢のほとりに著きました、上陸しましてこれが三百年の昔五百の同胞の住つてゐたところかと思つた時には無量の感慨が湧いたのでありました。この國の現在の邦人について申しますればシャムの國全部に約三百の邦人があります、その中の二百五十人はバンコックに居ますが、こゝには比較的長く腰を据えて居る人が多い中には三十年以上も居る人がある、それにしては成功者がないのでありまして、現に三井物產が活動して居る外は殆んど云ふに足らないのであります。日本人小學校は本年の六月に出來たばかりで兒童數が十六人、而して其半數はシャム人との雜種であります。今は日暹條約が改正せられ日本人は自由に土地の所有權を得ることになつてゐますから、此點から申せば南洋唯一の自由鄉でありませう、この際相當の資本と企業的知識を以て入り込めば、有望な土地であると思ふのであります。

以下の行程

旅行の行程は半分も參りませんが時間がだいぶん經ちましたから、以下は道筋丈けを申上げませう、バンコックで再び內務部長と別れまして、これから先きは一人の旅になりました、今度は陸路この半島を傳つて英領馬來の地方に入りました。

英領馬來地方は三つに分れてゐます、一は海峽植民地で、これは彼南とマラッカと新嘉坡と外に小さな島を含むものであります、二は馬來聯邦でペラとセランゴルとネグリスンビランとパハンの四州から成り、三は非聯邦と云つて南のジョホール州と北の方ではケダ州とケランタン州とトレンガヌ州とそうしてペルリス州とを云ふのであります。海峽植民地では彼南と新嘉坡とを見て、聯邦の分では其首府のコーラランポー市を鳥渡のぞいたばかりでありましたが、非聯邦の方ではジョホールの邦人護謨園を見ることが出來ました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度は隨分廣大な面積になつてゐますが、私の行つたのはその中で、スマトラではブラワンデリーからメダンの附近を見て、次にジャワではバタビヤからボイテンゾルグ、さうしてバントンからガルーに行き、ジョクジャ附近を見てスラバヤに出で、トサリからブロモ火山に登りました、セレベスではマカッサーの街から外に行く時間がなかつたのであります。

英領ボルネオでは、北ボルネオのサンダカンの市中から其附近をさまよふた丈けであつて、タワオの日本人村などへ行く豫定がしてなかつたのでありますが、恰度タワオの久原農園の支配人西本さんと、これもタワオに在る折田さんと同船して歸りましたので、都合よく其地の邦人の狀況も聞くことが出來ました。

歸りに香港へ上陸して一日そこに滯在し、それから高雄に寄港し荷物の關係でまた基隆にまわつて歸りました。蘭領でも英領でも南洋と云へば到る處支那人の優勢なことに感心します、其發展力のえらいことゝ云つたら實際裸一貫で本國を出て、苦力から叩き上げて今では數百萬の身代を持つてゐるものが多い、それ等の支那人が各地の商權を左右してゐるその勢力には驚くのであります。

結　末

現在南洋に在留する邦人の狀況を見ますればあまり心强いものではありません、私は旅行中、南洋にある領事館を殘らず訪問致しました、また各地の銀行會社でお世話になりました、又到る處で個人商店にも一二軒づゝ立ち寄りました、私の觀察は誤つてゐるかも知れませんが感じたところを遠慮なく申しますれば。

第一に日本人は個人利益を考へることが急であつて共同利益といふことを考へない、どうも商賣敵になり易くて困る、お互に邦人同志の競爭排斥が多いことは殘念であると思ふ、此點は大いに支那商人に學ばなけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ればならぬ處でありませう。

第二に領事館と其地の實業家との間が渾然と融和してゐない處が多いと思ふ、領事館に官僚氣分の漲つてゐる處もあれば又領事は事勿れ主義で在勤中に事件を起さず、より以上の地位にありつくまで自己の地位を擁護してゐるかのやうに見える處もないではない、却つて領事館のない處の人で仕方なく領事の仕事のやうなことをしてゐる人の方が熱心に在留邦人の幸福をはかるのではあるまいかとも思はれる。

第三に會社の方を見ますればこれは三井の如き有力なものもありまして都合よく事業の開拓をやつてゐるのは會心の至りで、且つそこに在勤する人々が業務に勵精してゐる勤務振りには感服の外ありませんが、概して其餘暇を以て自己の修養に努力して將來の大成を期するといふ若い人々が少くはあるまいか、之は商業上にしても或は其土地の語學にしても或は自己將來の方針にしても、研究的にやる人士が多く欲しいといふことを思ひました。

第四に子弟の教育機關と衛生醫療機關を今少し完全なものに出來るならばと思ふのであります、これは海外に在留する邦人の等しく頭を惱ます問題であつて、土地に落ちついて事業に勵精するには是非共必要なことでありますが、これだけは何といつても經費の問題でありますから、當局に於て近き將來に何とか考へなくてはならぬことでありませう。

最後に一言致します。我國民が南洋に發展すべきか否かといふことは最早問題ではない、如何にして南進すべきかゞ問題であります、夫れも今日では殆んど資本的南進に限るやうに世論が一致して居るのであります、相當の企業的知識をもつた資本家が出て、日本の勞働者を率ひて南進するならば南國の寶庫を開くことは易々たるもので、無盡の富源はその開拓者の來るを待つて居るのであります、處が其資本的南進に附け加

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へて云ひ度ひことがある、それは日本人として國家として其處に充分な度胸が欲しい相當に腰が强くなければだめであると思ひます。

日本が南洋に發展するといふことに就ては從來外國人の間には、日本に侵略的野心があるとか何とか隨分猜疑心をもつて見たものであります、其猜疑心は多少薄らいで居りますが、日本でも口を極めて其辯解に努めて居る狀態であります、或は殆んど一から十まで外國の意志に迎合して其機嫌を損はぬことに腐心するかのやうに見えますが、私は左樣な辯解に努めたり左樣な遠慮をするのが甚だ面白くないと思ふ。一國が內部に充實する勢力を以て外に膨脹するのは自然の原則である、人口過剩の土地から稀薄な未開地に向つて移り行くのも必然の勢ひである、又土地の物產有無相通じて相互に人民の幸福をはかるのも道德上の正理であります、徒に口を世界の平和に藉りて移民を妨げ、殊更に禁止的高率の關稅を設けて之を拒絕するのは自然に逆行する僞善の政策と云はなければなりませぬ。

國家の膨脹に對して之を侵略と云ひ野心といふ如きことは、歐米人は自國の歷史を省るならば左樣なことは云ひ得ない筈である、日本の國力未だ伸びざる前に於て彼等は盛んに外國の領土侵略をやつたでないか、野心を逞ふしたではないか。國力の發展は歐米人にのみ道理にして日本人に不道理といふ左樣な理窟がどこにならうか。又吾々の希望としては我國でも常に歐米の鼻息を窺ふ小細工をやめ、追從方針によらずして堂堂と萬里の波濤を開拓し、國民を海外に雄飛せしむべくやつてもらひたい。

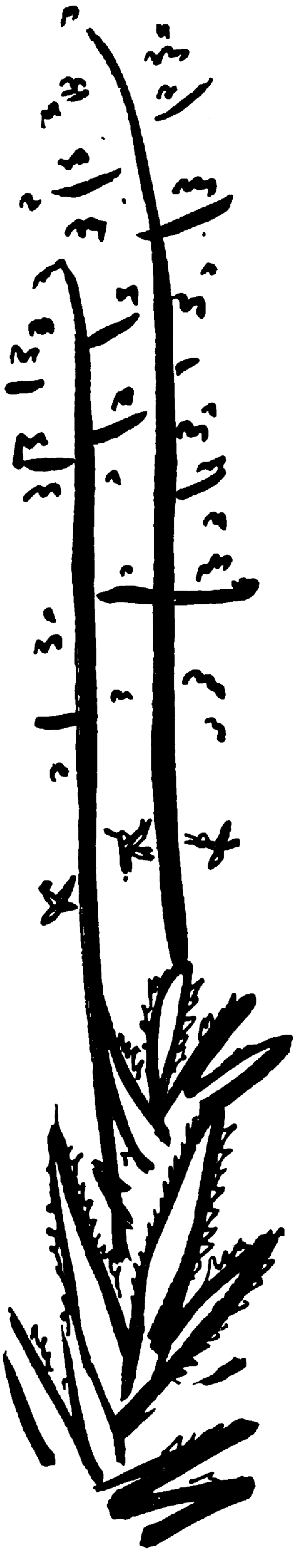
この頃やつてゐる國際聯盟にしても、移民問題は國內問題であると云つて日本人を排斥し、且つ現在の領土保全といふことのみ强調するものであるならば、夫れは畢竟白人の擁護機關といふものではあるまいか。白人ならば嘗つて印度を困憊せしめたヘースチングスの惡辣も、南米インカ帝國を屠り盡したピザロの如き

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殘虐も、メキシコに暴威を振ふたコルテズの如き無道の所爲も、白人なるが故に之を當然とし、日本人ならば移民さへも許さず、今回の南洋會議さへも疑惑の眼を以て、何事を仕出かすかと警戒しつゝあるは矛盾極まるものである。

所詮今日の白色人種の考へは有色人種と平等なことはいやといふのであつて、有色人を奴隷扱ひにしたいといふことに歸著する。米國のみならず南洋でもシャムといふ獨立國の外卽ち歐米諸國の植民地に於ては、或は土地法の制定とか、關稅の墻壁とか、色々の事情のもとに日本の發展を妨げてゐるやうなものである、斯ういふことにいつまでも追從方針をとつたならば遂に自滅する外はない、結局すべての解決は力によつて輸贏を決するといふ覺悟でかゝらなければ、南洋發展も思はしくないではないかと思ふのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



簡易生命保險に就いて

理學博士
遞信省統計課長　龜田豐治朗

私は唯今御紹介を願ひました龜田でございます。簡易生命保險に就きまして大體のお話を申上げたいと思ひます。連日の會議に御疲勞と存じますし、餘り六ッ敷かしいことを申上げるだけの時間もございませんので極大體のお話を申上げたいと存じます。

簡易生命保險法は大正五年十月一日に實施せられまして以來、十年餘の日月を經過して居ります、從ひまして其發達も著しいものがあるのであります。

簡易生命保險とは一體どう云ふものであるかと申しますのに、一口に申せば其れは下級者に對する生命保險でありまして、下級者若くは中流以下の人に對する生命保險であります。此樣な生命保險に就ては既に御

契約になつた人もありませうし、多年日本に行はれて居るからくどくどしい説明するまでもありません、詰り、私共の樣な月給取りであると云ふと平素月給を貰つて生活して居る上に於て生活の安定上大體差支ない譯でありますが、不時の事變が起りまして死亡しますと直ちに遺族が收入を失ふのであります。尤も恩給もあり遺族扶助料もありまするが、之れは相當永い間勤めたものでなければ其恩典に浴することが出來ません。一般の人に於ては尙更らで、勞働賃金に依つて生活して居る、薄給の官吏雇員、傭人と云ふやうな所のものが死亡した時に遺族が直ちに收入を失ふ、商人に致しましても、其他の職業に致しましても一家の大黑柱である所の主人が死亡しましたならば何等かの方法を以て其遺族を保護する必要がある。其趣旨を以て出來た所の一般の生命保險であります。

生命保險は唯今申上げました通り死亡した時に遺族が一千圓なり二千圓なり或は一萬圓と云ふ金額を得て、夫れに依つて生活の補助とするのが一つの目的でありますが、又契約被保險者たるものが五十とか六十とか一定の年齡に達した時に纏まつた金額を得て之れを以て老後の生活を安らかにすると云ふことも目的として居ります。單に修身保險であると、之れは遺族の爲めの保險である。養老保險であると養老の滿期の時に一定の金を支給されるのである。其以前に死亡すれば其保險金額を何時でも得られる、兩方の目的が兼ね備はつて居るのであります。之れは普通生命保險の説明であります、普通生命保險は日本でも澤山の會社がある、四十幾つかが營業して居ります。金額は普通千圓以上である、五百圓以上の契約をする會社も少しはありますが、餘り金額を少なく致しますと云ふと收支が相償はない、そこで千圓と云ふのが普通である。

然るに金額が大きい普通生命保險のやつて居るようなものは一般に普及することはできません、下級者には多額の金額の保險を契約するだけの資本がありません。下級者に適用させる爲めに經費を安くし多少手續

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を簡便にするやうに致しますのが、簡易生命保險である。簡易生命保險は手續が簡便であると云ふので簡易と云ふ名が附いて居ります、目的、必要と云ふものに就ては普通生命保險と殆んど異なる所はないのであります。簡易生命保險はそう云ふものでありますから、本來から申しますれば普通の保險會社のやつて居る總べての保險の種類は下級者に對する生命保險で行ひ得る譯であります。今申上げましたのは死亡に對する保險であるが、子供の中に契約を致して置きまして、二十歲とか二十五歲とか一定の年齡迄生存致すものに對し纏まつた金額を支給するものもやります。斯う云ふものは矢張り金額の小さいものは簡易生命保險に這入る譯であります。日本ではこの種のものも以前から行はれて居りました。徵兵保險とか少年に對する保險が行はれて居つたが、政府は唯今ではやつて居りません。唯今の所では日本の簡易保險は死亡及び養老の二つで、死亡の場合は遺族扶助、養老の場合は本人の生活の補助を目的とする、下級者に對する生命保險と云ふことになるのであります。夫れでは普通の生命保險と簡易生命保險は何處が違ふかと云ふことを一つ一つ申上げて見やうと思ひます。

普通生命保險と簡易との差異は要するに下級者に適用するやうになつて居るか、否かの差別であります。どう云ふ差別であるかと申しますれば、第一に金額が小さいのであります、一方普通生命保險は一千圓以上少なくも五百圓以上と云ふことになつて居り、簡易生命保險は二十圓から四百五十圓迄の金額を取扱ふのであります。保險金二十圓と云へば頗る小さい金額であります、それでも下級者になりますと夫れだけの金額で葬式を出すことが出來るのであります。

普通生命保險であると健康者であるか不健康者であるかと云ふことを一々醫者が行つて打診したり聽診したり、色々面倒な體格檢査をするが、簡易保險と云ふのはそれを省略して居ります。卽ち無診査であるのが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二の特長である。全く醫者の診査は致しませんが、診査しないと云ふてもどんな病人でもとると云ふことではない。診査と云ふことをしなければ此事業は成り立たない。普通の保險では醫者が診査を致しまして一々五圓とか三圓と云ふ診査料を出す。簡易生命保險では醫者に代つて郵便局員、窓口に居る事務員とか局長とかゞ其人の體を見て、血色が惡るければ血色が惡いと云ふて本局に報告するのであります。見た所は弱々しいとか、歩き方が變であるとか云ふ人は、本人の申込書に例へば以前に肺結核に罹つたことがあるとかないとか、そう云ふことを書かせることになつて居ります。醫者が診査するやうに細かい微細に病氣を發見することは出來ない、するには非常に費用が掛かる。素人が見て病人であるか、ないかと云ふことを診査して加入さすと云ふことを無診査と謂ふ。診査の診の字は醫者の診の字を書くのであつて審かと云ふ字を書くのではありません。

第三の特長と致しては、普通の保險では保險金一千圓に對する保險料幾らと云ふて計算して居りますが、簡易保險の方はそう云ふことにすれば銅貨とか一厘錢を非常に澤山持つて集金しなければならぬ所の困難がある。譬へば二十圓の保險を附けたら毎月十一錢八厘何がしとなる、そこで之れを遡に保險料十錢に對する保險金幾らと云ふことにして譬へば十二歳の人が毎月十錢づゝ掛けるとして終身保險に入れば六十二圓二十錢と云ふ保險金がとれる。之れは極端の例であるが三十歳滿期で三十歳になれば十錢に對し四十圓四十錢保險金が取れる。養老保險の十年滿期で十錢宛十年間掛ければ十圓五十錢取れる。料金の書いてあるのは色々ありますが、保險の種類に依つて保險料十錢に對する保險金の契約仕組の計算が出來て居ります之れが第三の特長である。

第四の特長は、郵便局で血色が惡いから入れないとか、或はどうも弱いから斷ると云ふやうなことに致し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ましても矢張り病人等が隱れて這入る恐れがある。そう云ふものに對し保險金を削減するとか全額を拂はない期間を設け保險金を削ると云ふやうな方法があるのであります。最初の一年に死亡した時は拂込んで居る保險金は返さない。二年目に死亡した時には半額しか支拂はない。二年經過したものが死亡した時には全額を支拂ふと云ふ仕組になつて居る。譬へば先の例で申しまして、契約の翌年に死亡すれば十圓五十錢の半分五圓二十五錢を死亡者に支拂ふ、滿二年以上經過すれば十圓五十錢は何時死んでも支拂ふと云ふことになつて居る。斯う云ふ削減期間は成るべくなら置きたくないのでありまして、殊に不時の災難で死亡すると云ふと其人は同情すべきものであるから、初めから全額を支拂ふ。不時の災難と申しますのは汽車に轢かれて死んだとか、ペストに罹つて死んだり、急性の傳染病、即ち九種傳染病、十種傳染病と申します詰り傳染病豫防規則に依つて豫防しなければならぬ急性傳染病で死んだ時には一回十錢しか拂ひ込まないものに對しても契約の保險金を直ぐに支拂ふのであります。

第五の特長としては集金することであります。民間の會社では集金する所もあり、せない所も澤山有るが、簡易保險では每月に集金する。之れは非常な特典であります。即ち簡易生命保險では保險料が一月一圓と契約をすると常に郵便局から集配人が行きまして每月集金して參るので便利ではありますが中々手數がかゝるのであります。又一度で取れると宜いが、今都合が惡いから明日來て吳れと云ふやうなことから何偏行つても集金が出來ない所もあります。之れは例外でありまして普通はそう云ふことはありませんが、頗る面倒なものであります。

此簡易生命保險の事業は一體經營が中々困難であります。外國でこれまでに簡易生命保險を經營致しまして潰れた會社もあります。又今だに繼續して居りますものでも中々安く參りません。日本の簡易生命保險

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は政府の官營の生命保險である。外國では民營が主でありまして官營は頗る微々として振はない。所が其外國の民營の簡易生命保險は一般に非常に料金が高い、それでなければ弊害が多い。此簡易生命保險はどうしても細かいので費用が多くなりがちで費用を出來るだけ輕減するやうにして事業をやつて行くことが必要である。日本では官營として又獨占と致しまして郵便局で此事業は行つて居ります。民間會社では四百五十圓以下の生命保險は行ふことが出來ないと云ふやうに困難な事業であります。

何んで困難であつて、どう云ふ點が缺點であるか、外國の一般の會社に於てはどう云ふ狀態であるかと云ふことを申上げて、然らば日本では標準がどう云ふことになつて居るかと云ふ話に移りたいと思ひます。先にも申しました通り簡易生命保險は普通生命保險に同じく非常に必要なるものであります。其日暮らしの職工とか勞働者と云ふやうな人でも二十錢とか十錢と云ふ金を毎月拂ふことは大した困難でない、それが纏まつて何時死んでも五十圓、百圓と一定の金を貰へると云ふことになると一廉（カド）の役に立つ、十錢二十錢の金は勞働者は直ぐに使つて仕舞ふから、夫れを出來るだけ節約させて零細の金を集め、そうして天災、事變の有つた場合に相當の役に立てると云ふ結構な制度であります。元來此れは普通生命保險と變つて金額の小さい、ちよつと例を取つて見ますと普通生命保險の平均は一千五百圓位になつて居る、近頃は上がつて二千圓の割合になつて居りますが、簡易生命保險の平均はどうであるかと云ふと百五十圓位になつて居ります。平均十倍乃至十三倍位の金額の差がありますから、同じ金額についても簡易生命保險は十人の人から集めなければならぬ、十二三倍の手數が掛かるのであります。併も普通保險の方は一年に一回又は二回拂へばよい、簡易保險は月々取りに行く、尤も向ふから拂ひ込むものと此方から取りに行くものとあるが、同じ保險契約に對し半年一偏とるのと毎月取るのは六倍の手數の差がある一箇年に十二三倍の手數であります。斯んなわけで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

非常な手數が掛かるのであります。之れを普通民營の會社でやつて居るのではとうてい安くいかない。外國のやうに保險會社ですると保險料は非常に高いと云ふ缺點が出來るのであります。卽ち普通の保險よりも五割から六割も高くなると云ふやうな狀態であります。外國で最も批難となつて居るのは高い結果として、そんなに高い保險料は掛け續けることは馬鹿らしいと云ふ考へから直ぐに罷める、罷めると尙更ら經費が高まると云ふことで中々巧妙く行かない。外國でも多くの會社が事業を始めては收支償はないので非常に困難して居る。殊に小さな會社は收支が償はなくなる、從つて信用のある會社に澤山の人が這入ると云ふわけで段々集中されて、大きな會社は非常な利益を擧げると云ふ結果になります。

日本でも、始終外國の例を調査して居たが、議會に提出された時に種々議論があつた、官營にしないでも民營で出來る事業ではないか、と云ふ質問も出ました。此當時民間に簡易保險に手を出したいと云ふ希望を有つていた人もあつたので、議會でも非常に八釜しい問題になつて、政府がやる必要はない、政府がやると しても外國のやつて居る郵便年金のやうに微々たるものになりはしないかと云ふ論もあり、殊に論者は民業を政府が壓迫すると云ふやうな方面から猛烈なる反對をしたのであります。種々外國の事情も調査しました結果、外國の通りの簡易生命保險を日本に普及すると云ふことは面白くない、どうしても民營では澤山の會社が競爭して無理をするやうなことになり其中には潰れるものも出來、偶々非常に成功して澤山の利益を得ると云ふと却つて下級者の不幸が甚しくなると云ふやうな考へから、日本では獨占にするが宜い、幸ひ今まで簡易保險は民間がやつて居りません、內地だけで八千幾らの郵便局が普及して居りますから、それを利用して津々浦々までも誰れでも這入れるやうにして官營で此事業が始められたのであります。斯うして簡易生

命保險と云ふものが官營獨占になつて居ります。

事業を始めて十年間の成績を見ますと頗る順調に進歩して居ります。大正十四年七月の數字は九億二百七十萬圓、現在では十二億圓に達して居ると思ひます。加入者は約九百萬人になつて居ります。內地の人口が六千萬人と致しますと一割五分と云ふものは簡易保險に這入つて居ります、それですから殆んど毎戸這入つて居ると言ふて宜いのであります。富豪の家で簡易の必要はないと云ふものを除き、毎戸一人宛這入つて居ると云つて宜いので、中には三人四人も這入つて居ります。

斯やうに發達して居るのでありまして、契約の條件に就てもお話すると良いのでありますが時間がありませんから極く大體重なる點を申上げます。先程申上げました保險金の問題で例へば十錢掛ければ幾らと云ふことであります。最初、大正五年に始めた當時、保險料が高いと云ふやうな批難があつた、之れには種々なる事情があつて、最初は何處まで發達するか判かりません、收支償ふかどうかと云ふやうな不安もありましたが、其後事業の實施の成績を見ますと云ふと、經費の率が段々下つて唯今の所では收入保險料の一割七分位になつて居ります。これを民間の會社で見ると三割も五割も用つて居る會社があるのであります。經費の非常に節約が出來て一方に於て金利も豫定以上に廻つて率は三分五厘に計算されて居る、實際の利廻はりは五分四厘位に廻つて居ります。

斯んな事情が判明しましたので保險料還付金と云ふ第二表(表は略す)之れを作りました。趣旨は死亡しましても、又此契約が滿期になつても、或は滿期十年まで掛け續けて途中で他の事情があつて止めても、保險料の還付金も他の還付金に含まれて還すと云ふやうな契約である。例へて申しますれば、下から三番目の行を御覽になると判かります、四十年拂込二百六十七箇月分滿期の時に還す分は四十年の四百八十箇月分と他

に二百六十七箇月分、約六割を別に附け加へて還すことに致します。之れは事業が順調に行きます結果として利益も高くなり、經費も非常に節約された結果であります。尙ほもつと增加したいと云ふ希望であります。今日まで三回目の還付金額改正がありまして大正九年頃に一回、十二年頃に一回と三回目の改正であります。

或る人は拂ひ込んでも滿期に元金が取れなくなると申すのでありますが決してそんなことはない、先にも申しました樣に基金よりも餘計に取れると云ふことにもなつて居ります。一體基金と云ふものが掛けた金よりも少ないか多いかと云ふ議論することは間違ひである。保險を始めた時の心持は、若し死ぬやうなことがあれば遺族が困るからそれを救濟すると云ふことであつて、利殖を計る貯金と同じに行かないと云ふことは當然である。貯金なら十年掛け續けて元利合計が元金よりも上になる、保險の方は貯金とは性質が別なのであります。保險では滿期の時に貰つ金は少ないと云ふのはむしろ當然である。貯金は何時傳染病で死亡しても或は汽車に轢かれて死んだとしても掛けた金だけしか還らないが、保險であれば何時死んでも一定の保險金を貰へると云ふので、其人の生活は保證されて居る。譬へば二百圓保險の契約を致しましたなら假に十圓しかそれまでに拂込んで居なくても二百圓の保險金は何時でも取れる。斯う云ふ事情を能く公衆に徹底させなければならぬ。

此の簡易保險と云ふものは多くの人から保險料を澤山に集めて政府が危險を負擔して、若し被保險者中に不幸な人が出來た時にはそれに對し大きな金を拂ふものであるから、滿期になつても貯金よりも得る所は少ないと云ふことになつたとしても止むを得ない。貯金の目的は唯蓄積にある、保險の目的は危險に對する保證であつて、附隨的に蓄積があります。私は貧棒役人であつて未だ恩給にも達して居りませんから、保險は出來るだけ澤山附けて居ります、簡易保險を合せますと一萬四五百圓附けて居ります。それですから保險料

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は年に五百圓位出ます。一偏に支拂ふのは困りますが、一萬五千圓の金が有れば私が何時死んでも、或は臺灣から東京に歸る途中汽車が衝突して死んでも一萬五千圓の金があれば遺族の三年や五年生活に困ることはない。其中に何とか方針が附くのであります。之れが貯金だと、非常に努力をして一年に五百圓の貯金をしても三年で千五百圓である、若し三年目に死んだ場合千五百圓だけとれるが、之ではどうすることも出來ない。そう云ふ風に何時死んでもまづ安心だ、永く生きれば一方に於て長命で目出度いが、保險の方からでは損をするので不幸となると思ふやうな人もあるが、成るべくそれを補つて有利にして行く、そう云ふ目的で出來て居るのが現在の我が簡易生命保險であります。

もう一つ申上げて置きますのは、途中で止めるとどうなるかと云ふと、途中で止めた場合は拂込んである掛金の半分位しか支拂ふことが出來ない。一年以内で止めたりすれば金は一文もやらない。之れはそれまでに經費が非常に掛かつて居るのでありますから、他の人にも迷惑を及ぼすことになりますので、途中で止めると、今まで拂込んだ保險料の中から、經費を拂つた金を差引いて殘りだけ還すのであつてどうしても少なくなることは止むを得ない。私も一萬五千圓の保險を附けまして二千圓程拂ひ込んであります。二千圓拂込んで途中で解約すれば千圓もとれない半分以上損をする。夫れでも私は掛けて置いた方が宜いと思ふ。僅かの保險料で生活の補償が立ち、萬一不幸があつても遺族の生活を保證すると云ふ利益を受けて居るのであります。

細かいことを申せば幾らもありますが尙ほ申上げたいことは、簡易生命保險はそう云ふ仕組になつて居りますが一面に於て別に仕事をして居ります。それは斯うして集めて來ました所の資金、蓄積されて居る資金を何に使つて居るかと云ふと、之れは下級者の爲めの社會政策の經費になつて居るのであります。僅か五十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錢とか一圓、二十錢三十錢とか少さな金額であると各自が勝手に使ふ、無駄に消費されるのでありますがそれが簡易生命保險料として拂込まれると、保險局の方に集められます。集まつた金が既に十三年の末に於て一億圓近くになつて居りますから、現今は一億五千萬圓から二億萬圓近くになつて居ると思ひます。毎年拂込みをして居る金は十二年度に於て四千四百萬圓、唯今では七千萬圓近くになつて居ります。そう云ふ澤山の金額は何に用ふかと云ふと今申した公共事業として、公衆の利益のある所に使用することになつて居ります。具體的に申しますれば、一時非常に住宅が拂底したことがある、此方はどうか存じませんが、二三年前に隨分に住宅が拂底して家賃が非常に高くなつた。そう云ふ場合に住宅資金として貸付けをする、市町村其他に一萬圓とか三萬圓とか貸付け、それで貸長屋を建て下級者に對し貸付ける、少し位は住宅が不足しても、それに依つて家賃は下つて來るのであります。十二年末には、千五百九十萬圓と云ふ金額を住宅資金に貸出して居ります。其他に種々なるものに貸出して居りますして、下級者に對する共同の宿泊所、(一般の木賃宿よりも少し上等であります)そう云ふやうなものにも矢張り市町村、府縣を通じて貸して居ります。それから簡易食堂、購買組合、公設質屋、そう云ふ公共團體で經營するものに資金を貸して居ります。それから實費診療所、醫者に診て貰ふには金が高くて療養に困ると云ふ人の爲めの診療所、そう云ふ所に貸して居ります。更に或は産院、職業紹介所、質屋、託兒所(之れは勞働婦人等が子供を勞働に出る時に預けて置く所で、自分が背負つて出ると思ふ樣に勞働が出來ないから託兒所に預けて自分の用が濟んでから託兒所に寄つて連れて歸る)或は公設の浴場、自作農の創設維持資金等に出して居ります。

日本は農業國であるが、小作農が近頃生活困難であつて小作料も拂へない。之れを政府から補助を致して資金の一部を貸すのであります。低利の資金で自作農小作人を助けて、地主から田畑を買はせて二十年とか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二十五年と云ふ長期間に代償を支拂はせ結局自分のものにさせるのでありますが、さう云ふ資金にも用ふ。又小學校の建築資金に貸す。教育を普及せしめることは社會政策上最も重大なことである。校舍が惡い爲めに教育が充分に出來ない、教場の設備が惡いために教育が巧妙く行かないと云ふのでは遺憾であるから、小學校の建築資金の足りぬ所へ貸して居ります。それから傳染病院、農業倉庫、簡易水道、上水道等の、施設に貸して居る。之れが資金運用の方法であります。

簡易生命保險は今まで色々申しましたやうに大きな仕事をして居ります。第一に、死亡する不幸から人を救ふと云ふ生命保險本來の目的に對する事業である。誰れが短命で誰れが長命するか判からぬから、多數の人を集めて其中の不幸の人を他の多數者が救濟すると云ふ重大なる意義を以て社會に盡して居る。更に他の方では集積された金を資金として方々に貸し付けて、下級者の生活の安定を計る社會事業を發達させるのであります。然らば、現在如何なる施設をして居るか、どう云ふ機關を以つてやつて居るかと申しますと、中央に簡易保險局を置き、各地にある七の遞信局の方に保險課を置いて居ります、それが地方の事務を總括して各郵便局が實際の現業局であります。現業局の仕事としては申込みの受付け勸誘又は這入つてからの種々なる手續、例へば途中に於ての契約の變更或は住所の變更大きな仕事としては保險料の集金、夫れから事故の發生した時の保險金の支拂、途中で止めた時の還付金を出すと云ふやうな事をやらなければならぬ。尙ほ、內地では宣傳を盛んにやつて居ります。斯う云ふ事業でありまして最初中々難かしいものであります。

初めは一體簡易生命保險とはどう云ふものを言ふのであるか一般に了解されて居なかつたが、大正五年に初めた時に一人々々斯う云ふことを說いて居ては迚も全國の國民に徹底せしむることは出來ないと云ふので、講演會を開いて大勢の人を集めて講演をしたり、印刷物を配り或は活動寫眞を見せると云ふやうなこと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を致しましたが、活動寫眞等は隨分效果があつたやうに見える。詰り活動寫眞で保險の實際の效果を見せるのであります。例へば一番初めの活動寫眞は、隣り同志の二人の勞働者があつて、一人は簡易保險に這入つて居るが一方は這入つて居ない、所が其土地に有る礦山が爆發して二人共死んだ。一方は簡易保險に依つて子供を學校に通はして無事安樂に暮して居るが、一方は悲慘の狀態で見すぼらしい姿で居ると云ふ、善惡二つの玉を列べて卑近の例を見せて居ります。尙ほ芝居に仕組んで公會堂などで宣傳を致しました。斯うした宣傳の結果唯今のやうな全國民の一割五分と云ふ人員が加入して來たのであります。然し成程活動寫眞でも見ると直きに這入る氣にもなりますが、矢張り郵便局で聞いたり、人に依つて說明してもらはなければ細かい所は判かりません。成程保險と云ふものは必要であると云ふことは芝居なり活動寫眞に依つて判かりますが、然し手續はどうする、保險金が取れるかどうか、說明して聞かせなければ判からぬのでありました。內地の簡易生命保險事業に就いての大體は朧氣ながらお判かりになつたと思ひます。

然らば臺灣ではどうか、臺灣で之れを實行することが出來るかどうか、之が當面の研究問題でありまして、私は結論を得ますまでにどう云ふ點に特に注意すべきであるか、皆樣の御意見を拜聽することが出來れば結構であります。

內地の保險法は三十二年より三十六年までの死亡統計として出來ました、死亡生產の割合を以て保險料を計算されて居ります。內地在住の日本人ばかりの統計に基いて保險料は計算されたものであります。所が臺灣に居る方も其通りの死亡率で同率なれば何んでもない、同じやうなことで行けば差支ないのであるが、其死亡率の實際を見ますると內地人は內地在住者と變りありませんが、少し年寄が高いやうでありますが、大した影響はないと思ひます。所が本島人に於きましては死亡率が著しく高い、四十歲、三十歲、五十歲と云ふ位の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所で內地人の倍位死んで居ります。純理から申しまして、本島人に就ては保險料を高くしなければならぬことになります。然し殊に保險料を高くすると云ふことは頗る取扱上不便を生ずると思ふ。內地人の保險料が安く本島人には殆んど二割も三割も高いと云ふやうなことでは一時非常な誤解を惹すの虞れがあるので、成るべく同じ保險料で契約が出來るやうにしたい。私は今斯う云ふことが困難の點であると考へて居ります。

今度昨日までこちらの各地方を見せて頂きましたのは、何んとか適當に選擇するやうな方法もあればと研究した次第であります。マラリヤに罹つて居るとか、結核に罹つて居ると云ふ人が早く死んでも百圓か二百圓やるとなれば救濟にはなるが、健康の人はそれでは損である。內地に於きましても選擇するのであつて弱い者は入れませんなるべく強い者を入れる。本島人に於ても相當選擇するならば、內地人と同じやうに行くものであるかどうかと云ふことは目下研究中であります。譬へば都會地の人は選擇も困難ではありませんが、或は蕃地の人、蕃人の如きは到底入れられぬと思はれます。街庄に住んで居る人も血色とか、體格と云ふものによく氣を付けさせて居れば良く行くかも知れぬ、そう云ふことを今研究して居りますが、未だ結論は附くまでに參りません。此死亡率の問題が一番難かしい問題であります。

夫れから現に他の植民地、詰り內地以外の所ではどうなつて居るかと申しますと、樺太、關東廳に於きましては簡易生命保險を實施して居ります。之れは困難はありませんでした、內地人丈けに限ることが容易に出來たからであります。樺太は、アイヌも居りますが殆んど少數でありまして、又入れるにしても殆んど加入しないと云ふ位の程度であります。關東州は外國人、中華民國の人は大勢居りますが他の國の人は入れません。內地人の關東州在宿者は死亡率も內地と差異はありません。此等の地域ではどう云ふやうにして實施

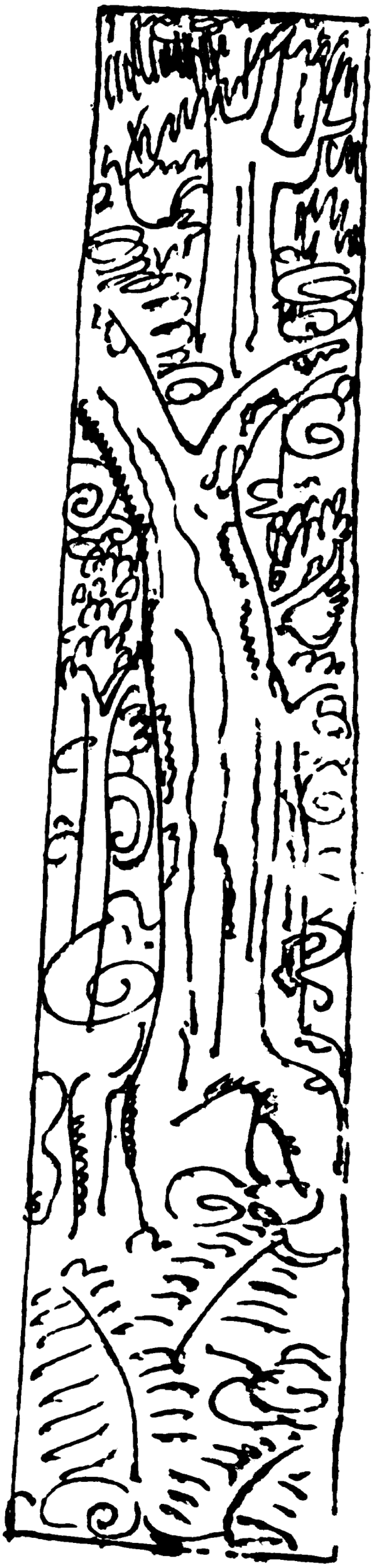
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して居るかと申すと、內地の延長としてやつて居ります。長官に依託して此仕事をして頂くと云ふ仕組でやつて居ります。

朝鮮は未だ調査中でありまして、朝鮮と臺灣は土着の人が多いので、それがため未だ調査が完成しません。之れをどう云ふやうにするかと云ふことは難かしい問題であります。

以上を以て簡單でありましたが簡易生命保險のお話を終ります。

（大正十五年十一月七日、三等郵便局長會議に於ける講演速記）



初冬漫策

石川欽一郎

南國にも冬は來た、日の色は白く木の葉も瘦せて見える。十二月の臺北には木枯らしの氣持が漂ふ。自然の力も衰へて居る。

寫眞機か繪具箱を携げて近郊を逍遙するには今が一番佳い。日向も烈しくない日蔭も陰氣でない程度に、この麗島に限る特有の自然の粧ひが見へる。眠れる勇者の如うな趣きがある。

家を出て何の方向に足を向けるかは逍遙の目的に依つて同じにはゆかない。釣竿の鈴を鳴らし乍ら急ぐ人々は水邊を目がける。銃を肩にする人々は山を目がける。皆それ〴〵の縄張りがあらう。併し我黨の縄張は果して何處であらうか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北の市を離れゝば直ぐに竹藪と赤い農家と水牛とは出逢ふ。惜しむらくはこの竹藪も年と共に刈り取られてしまふ。島都の近郊には竹藪は今は貴重なるものとなつた。それと入れ代はりに赤い屋根の家が殖へて來る、そして水牛の遊び場が減る。仕方なしに市内に這入り込んで草を食ふ。臺北のプールヴアールは斯くして水牛の爲めには樂園となつて居る。

骨が現はれて頭髮の亂れた病餘の老人めいた初冬の竹藪の姿は我等の目ざす好い對象である。日本廣しと雖もこの好畫題は他に求められない。先竹藪を目がけるに如くは無からう。

臺北の近郊に柔らかな曲線を見せて、竹藪と好一對の對象を爲した相思樹の林は、迅うに竹藪と同じ運命を了へて、今は容易に見られなくなつた。假し見られても、都合の好い場邊に都合の好い形ちに現はれて居ない。これらも今のうちによく觀賞して置かなければならまゐ。

赤い屋根の家は、既う澤山だと言ひ度い位に、田をつぶし森を拓いて益々殖へる。只だ時代の付いた美しい色を見せたものは段々に減つて來た。竹藪を繞ぐらし、均勢的の配置に立派に構へた邸宅は、近代的建築の裡に隱くされたり古るくなつて壞はされたりして、今は容易には見付からない。只だ僅少の好位置に殘るものゝみに就て我等の畫想の一端を充たすまでゞある。

水牛の鼠色は什うも美しいとも思はれない。倫敦郊外の水邊に、赤斑や黑斑の大きな牛が悠々遊んで居る有樣は全く繪の如うに美しい。併しこの臺灣の美しい自然の中に、灰色の水牛が幾匹居らうともそれが一向に景象を引立てぬのみか、反つて風景の美しい諧調を壞はすやうな氣がする。その上水牛には愛嬌が無い。繪馬でも牛でも豕でも、家畜類には愛嬌があるものだが、水牛ばかりは頭を撫でゝやらうとも思はれない。繪に描かうと云ふほどの親しみも泛ばぬ。

その代はり、家鴨の群はたゞそのまゝに繪であり詩である。家鴨追の老爺が薄寒い初冬の風に數本の白い顎ひげを吹かせ乍ら、刈取つた稻株の殘つた田の線を家鴨の群の後に何處ともなく隨いて行く姿は、南畫の人物そのまゝである。本人の身になればやはりその日〳〵の稼ぎであらうが、ほかゝら見れば羨やましい程の境遇である。

寫眞黨や寫生黨も水か山を目がけるのが得策である。水邊は毎も畫題に富む。又た山は眺めに豐かである。畫題に乏しい場處でも、何處か小高い丘の上に一寸上がれば景色は悉く見直ほす、そして面白い畫が出來る。臺北の近郊としては景尾から新店も佳い。只だ山にも水にも近過ぎて餘情に乏しい憾みがある。水郷としての懷しみは多く板橋から樹林方面に見出されるかと思ふ。大嵙崁溪の廣い河原に降り立てば、重疊たる蕃地の山には白雲亂れ、風に戰ぐ蘆の葉の彼方を歸帆が動く。河の流れが遠く西に赴く處、觀音山と大屯山とは薄絹の如うな裾を引いて、それが軈て新庄の家竝から立ち昇ぼる淡烔の裡に暈ける。廣大なる天地の中に自分の體軀も消へるやうに感じる。

板橋の街を掩ふ鬱蒼たる森林は林家の別墅である。その綠滴る粧を遠く眺める時に毎も懷しみが增す。代表的の臺灣建築も此處に見ることが出來る。この街はそのまゝに好箇の畫題であり又た詩題である。街の周圍には田園遠く開らけて山に亘り水に連なる。白鷺は低く飛び鐘鼓の音は竹林を洩れる。野趣に充ちた景勝である。

樹林の停車場を出てそのまゝ眞直ぐに行けば忽ち小川の線に達する。小さな流れを狹んで兩岸に人家が竝ぶ。幾條かの橋がその間に架かる。一町ばかり川下に既うこの街は盡きる。其のつきる處に榕樹の老木は川邊に枝を延ばして水の面が暗い。樹下に小さな古るい石の祠がある。この流に沿ふて上みてへ進めば道は大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嵙崁溪に接して人家遠く離れ滿目荒寥たる觀がある。川の水が光つて、山脚の家竝は日に背いて黑々と重なる。

山脚は山を負ひ水に臨んだ小さな里である。人爲よりも未だ天工の豐かなるだけに詩も畫も此處に湧くかの觀がある。停車場が最も高地を占め、町は坂に倚つて段々に降る。坂の下には彼の小川が流れ、その兩岸に數戶の小さな古い家が竝ぶ。流れを一杯に塞ぐほどの大きな古るい水車が一つ懸つて居るが、動いて居ることの稀れであるのは淋しい山村の情趣に相應しい。

此處から更らに小川を上流へ進めば鶯歌へ行く。併し臺北からの詩行には旣う遠う過ぎる。先づ漫策を山脚までに止めて、また別の方面を探ぐることも興は深い。

松山は板橋に比べては水にも野趣にも乏しい。それだけ乾いた氣持ちの土地である。停車場の前を眞直ぐに進めば突當りに大きな廟が在る。その前の廣場には煮賣り店が集まる。廟も煮賣店も一樣に古色蒼然たるものゝみであるだけに、冴へ〳〵した面白味には缺けるが、併も亦たその古るびに懷しみは籠る。此處に憩ふ民衆も、この落付いた色の調和を破ぶらぬ程度に各自に皆古るびを見せて居るのも嬉しゐ。廟の前を左へ狹い町が通じる。可なり掃除も屆いてまた部分的に好畫題を見せる。右へより廣い本道が通じるが、此道から廟の側面を振り返へつた眺めの外には、道が整頓して居るだけに面白い場處が尠い。少し行つて小さな橋を渡るあたりに、家竝の背後には數本の老木が繁つて、今更らのやうに常盤の綠の鮮やかさを感じさせる處、構圖の稍や見る可きものがある。併しそれも人工の町竝に添ふ一部の景趣で、町裏に開らく廣い田圃の自然の姿には餘り面白い變化が無い。その主なる原因は川の流れに乏しいからである。更らに進んで南港に到れば、停車場前の本道に、山の宿場のやうな圖樣が一部分見られる以外には人爲の新らしさが邪魔をする。

開らけた割合にまだ面白い構圖が此處彼處に殘るのは御成町から圓山へかけての郊外地域である。マカイ病院の四ッ角を中心として前後左右を歴周すれば好い對象は可なり多く目に這入る。この四ッ角に近い御成町の道の左右は遠く開らけて、その西側の草原は毎も染物屋の干場となる。京都は出町あたりの河原を連想させる景調である。紺屋の干場がそのまゝに詩であり畫であることは、音樂で云ふ繰返へしの美で、細長い叢條の布片の綜合から現はれるその諧調である。背景には雅趣ある複雜な家竝を控へて天主堂の塔が一段の調子を上げて初冬の灰色の空を劃する。見厭かぬ眺めである。更らに道の東側に向へば竹林は點々として彼方此方に農家を圍み遠く霞む松山方面の山々に續いて居る。まことに田舍らしい趣きを見せる。

更らに圓山方面に向へば竝木の間から神苑が拜まれる。崇高の感は盡きない。この眺めを工合よく仕切れば佳い畫になる。木枯らしの折にも好く、新綠にも興深く、晴嵐にも面白く、時雨の秋にも棄て難いものである。眼を廻らせば大龍峒の佛閣の屋根を壓して觀音山は千古の威容を現はす。これも我黨の領有に任かせられた眺めである。

圓山の背後から士林へかけては部分的に却々好い寫眞材料が見出される。西に河岸へ出ても、東に芝山巖の村へ這入つても、意外に佳い構圖が見當たる。進んで北投の村へ近付く邊は、山には少し接し過ぎるけれども、それを背景として見て、いろ／＼の形や向きに集まつて居る田舍家には風流味が横溢する。併し此處から湯の町に踏み入ることは我黨には餘り巧果は無いやうである。敢てその硫黄の臭ひばかりでは無い。何處の湯の町にも珍らしく無い黄金の臭ひ、遊蕩の臭ひと云ふやうなものが付き纒ふので、無け無しの詩想も害はされ易いからである。湯の町氣分にひたり度くば又たの時に出直はすに限る。

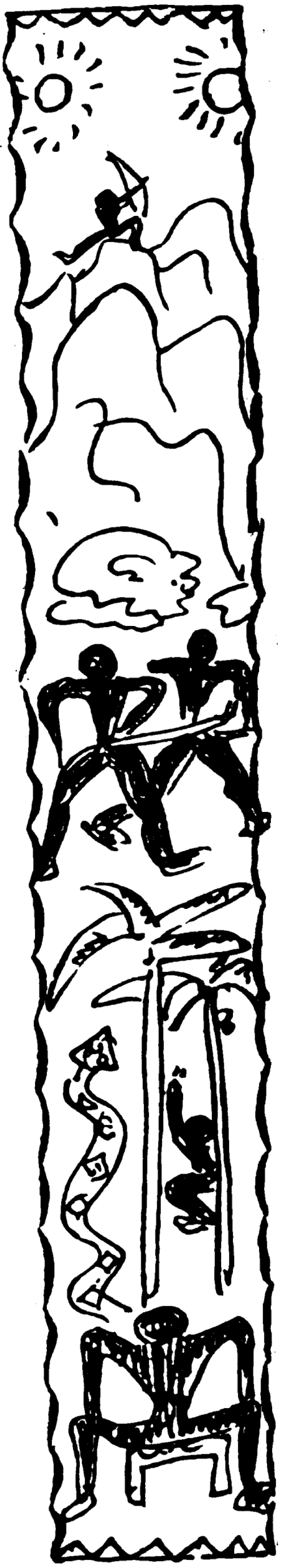
汽車が淡水川に出る前のトンネルは美しいパノラマを見る前の暗道である。再び明るくなると同時に眼界

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は一變する。一と思ひに飛び込み度くなるまでに淸い水は淸い空を映つして愈々澄む。底まで沈む觀音山の影を銜いて赤い帆の船は緩るく流れる。岸の楊は既う葉が尠ない。山に鳴る初冬の風は軈がて水草を傳はつて水の面を拂ふ。その漣が遠く消へる彼方に淡水の港は輕煙を罩める。港に付き物の戎克船も見へる。

淡水の町は豈に獨りゴルフ黨にのみの天惠では無い。水に臨み丘に倚り、山を負ひ更らに又た山を擁する景勝は文人墨客の爲め北部臺灣に於ける樂郷たるを失は無い。近年此港は段々さびれるとか云ふ談であるが、それこそ我黨のためには反つて結構なことで之亦た天惠と謂つても可い。かくして遂に俗化を免れて再び元の幽邃の自然に還へることが出來やう。臺北附近の樹木が槪して貧弱であるのに引換へて淡水は從來舊砲臺のあたり殊に老木の美しさを見ることが出來たが、これらも暴風の度每に尠なからず傷むのは恨みである。坂を上ぼつて賑やかな通りを進んで行けば、家竝は終に盡きて忽ち一望の高原が開らける。坂下の雜踏も此處へ來れば既う忘れたやうに天下は靜かである。我等も落付いて半日を自然と共に語り暮すことが出來やう。如何なることを語るか。それが今我等の詩となり書となつて現はれるのである。

內地の大都市に就て見れば、東京は近郊と云はず遠郊までも人工のために自然の姿は隱れた。大阪も京都も同樣である。僅かに奈良だけがまだ自然の俤を豊かに殘すのは、郊外に餘り交通が開らけぬからである。我が臺北も電車などがかゝらぬ間我々は自然を我が有として樂しむことが出來る。科學は文明を作くる代はりに自然を壞はす。自然に還れと云ふことは科學を忘れろと云ふことなのであらう。



佛領印度支那法制調査（八）

臺灣總督府囑託　板倉貞男

（一）地方統治機關（續き）

三、州行政長官の直接補佐機關

州行政長官の直接補佐機關として長官直屬局課・長官所屬の技術諮問機關・政務及行政檢閲機關の三種がある。以下順次之れを說明する。

一、州行政長官直屬局課

州行政長官は總督令を以て規定する若干の例外を除くの外州令を以て局課の編成を爲すことが出來る。各州中央行政廳（廣州灣を除く）には官房長を課長とする官房を置く。官房は二乃至三局に分ち保安・機密・政務・

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新聞雜誌・參事會又は保護國會議關係及人事に關する事務を分掌する以外土人護衛隊又は民兵隊に關する事項を擔當す。

各州中央行政廳には官房の外左記の局課を置き廣州灣を除き州政務部長之れを統轄す。

交趾支那　四課（庶務課・州豫算會計及倉庫課・一般豫算會計課・地方及市町村豫算課）。

東　京　四課（庶務及歐洲移民課・地方行政及土人課・經理課・人事課）。

安　南　二課（庶務課・會計課）この外順化王室大臣附として州代表委員三名を置く。

東埔寨　四課（庶務課・土人課・會計課二）この外東埔寨王國司法大臣附として州代表委員一名を置く。

老　撾　三課（庶務課・土人課・會計課）。

廣州灣　一課。

以上各州の課は東埔寨及廣州灣を除き更に若干の局に區分す。

二、州行政長官所屬の技術諮問機關

一、州保健委員會　印度支那各州に州保健委員會を置く（廣州灣を除く）州保健委員會の議長は州保健課長（交趾支那・安南・東京・東埔寨）又は醫藥扶助課長（老撾）とし、植民軍將校一名・印度支那事務官一名・關税及收税部官吏一名・商・農會議所代表者一名・醫師・藥劑師・獸醫若干名及州行政長官の指命する委員三名以内を以て編成す。

州保健委員會は三箇月に一回以上會議を開き一般保健及防疫關係事項並に衞生法規の制定につき諮問に答申す。

二、海上衞生會議　老撾を除く印度支那各州に之れを設置す（本部を西貢・海防・フォール・ベイヤール・トゥ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ランヌ・ブノン、ペンとす）會議の編成は各州夫々總督令の定むる所に依り西貢及フォール・ベイヤールは當該州行政長官を、その他は市長を議長とす。議員は州保健課長（西貢）衛生管區保健掛長（海防・トウランヌ）・州行政長官の指定する醫師一名（ブノン、ペン）・管區醫師長（フォール、ベイヤール）税關次長又は檢査官・海籍部長（西貢・海防）印度支那事務官補一名・醫師一名（開業醫）・商農業會議所議員一名を以て編成し、主として所轄區域内に於ける防疫及海上衛生警察に關する一切の問題につき意見を具申す。

外國領事は海上衛生會議に參列を求めらるゝことあるべし。この場合領事は發言權を有す。

三、佛土人學校整備會議　本會議は一九一七年十二月二十一日總督令に依り印度支那各州に設置せられたもので一年一回以上開會する規定である。議長は州行政長官又はその代理者とし議員は教育諮問委員會の州議員・第二級學校々長・同上佛人教員（二名）・州行政長官の指定する補充定員所屬の土人教員（二名）・佛人及土人視學・佛人女子正教員（一名）・土人男子正教員（二名）土人女子正教員（一名）を以て編成す。（保護國に限り保護國政府の代表者たる土人官吏一名を加ふ。但東京は例外として土人諮問會議々長を以て之れに充つ）。

會議の主務は管内小學校の設備及教育の改善進歩を圖り佛土人學校の編成改革に對し意見を具申し、なほ行政廳より附議せられたる請願事項及公立學校の任務に關し關係住民よりの直接提出事項に對し意見を述ぶる以外尋常高等小學教育の進歩に關する一切の問題につき希望を表明するにあり。

四、工務委員會　工務委員會は州又地方豫算支辨の行政官廳建物・道路・堤防・灌漑又は乾水運河・農業水利事業に關する一切の問題に對して州行政長官に意見を具申する一面に於て前記事業の設計案を審査す。

工務委員會は副總督（交趾支那）又は理事長官（その他の各州）を議長とし州政務部長・工務管區技師長・農務課長の外交趾支那に於ては植民會議の選擧したる代表者二名（内一名は土人他の一名は農業會議所議員とす）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を、東京に於ては農業會議所代表者二名及河內海防各商業會議所代表者各一名を、安南及東埔寨に於ては農商混合會議所代表者二名を加ふ。

五、牧畜地方委員會　老撾及廣州灣を除く他の各州に之れを設置す。本委員會は農業・運輸及食糧用に供する總ての動物の飼養問題に關し行政廳の諮問事項を調査するを主務とす。

委員會の編成は州事務官を議長とし獸醫課長・農業會議所議員又は在住民若干名及牧畜業に經驗ある者若干名を議員とす。

委員會は又競馬場設置定款及競馬會施行の認可に關し競馬俱樂部よりの申請事項につき諮問を受く。

六、遊覽案內地方委員會　本委員會は一九二三年七月二十七日總督令に依つて印度支那各州に設置せられたるもので、州行政長官又はその代理者を議長とし、工務管區技師長・地方森林課長・經濟局長代理者 極東佛蘭西學校長代理者・州行政長官指命の民間代表者二名を以て編成し遊覽旅行關係の諸問題の諮問機關とす。

七、河用汽船監督委員會　本委員會は一九〇〇年十一月十八日總督令に依り州行政長官に保留せられたる河用汽船監督に關する權限の行使に對する諮問機關で議長は工務管區內の海事課長又は航海課長（西貢・海防・プノン、ペン）・工務管區長（ヴキアンチアンヌ）・中部安南鐵道管區長（トウランヌ）・南部鐵道管區官吏（バン、ホア）を夫々任命し、議員も亦各地一樣ならざれども工務課の設置ある場合は同課員一名・港務部長又は水上警察署長一名を議員たらしむること各州一樣なり。

八、國有地常置委員會　本委員會は一九二三年九月二十日大統領令の適用に關する同年十二月十九日總督令に依り印度支那各州に設置せられたもので、植民地不動產の提供及住宅拂下の定期審查竝に不用占有地の整理利用に關する調查事項を管掌す。本委員會の議長は州行政長官とし、土地課長又はその代理者・土地所在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地の地方長・行政廳舎課長又は工務課長代理者・植民地會議々員（交趾支那に限る）州商業會議所會頭・州首府の所轄長・（海防・ショロン・トウランヌに關係ある場合は當該市長）を議員とす。

九、刑務所監理委員會　交趾支那・東京・東埔寨の三州に於て首府所在の刑務所の任務は本委員會の監理を受く。委員會は毎月開會し且つ州行政長官を經由して毎年一回委員會の報告書と及司法處分を寛大ならしむるを至當と認むる四人の調査書を檢事總長に提供す。委員會は州行政長官又はその代理者を議長とし、檢事總長の毎年指命する司法官一名・刑務所長及同醫員一名の外西貢及河内刑務所に於ては市會議員二名（内一名は市會に於て選定したる土人とす）プノン、ペン刑務所に於ては市長の指命したる市吏員一名を議員とす。

以上の外戰傷者擁護地方委員會（交趾支那・東京）・活動寫眞フィルム檢閲委員會（交趾支那・東京）・堤防委員會（東京）等がある。

四、政務及行政檢閲課

政務及行政檢閲課は一九一二年十二月三十一日總督令に依つて、廣州灣を除く印度支那各州に設置せられたものであるが檢閲官は印度支那事務官より總督之れを補任す。政務及行政檢閲課は州行政長官に對し且つ州行政長官を介して總督に對し州及州民と不斷且つ直接に接觸する機會を得せしめ命令の徹底及監督統治上の効果及實績を諒知せしむる連絡機關たると同時に政務及行政上の監督機關である。

政務及行政檢閲官は必要に應じ臨時出張の場合を除き毎年管内各地方を巡視し報告書を作製して州行政長官に提出す。檢閲官は管内局課に對して命令權を有せず且つその決定事項に對して責任を負ふことなし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、交趾支那參事會。安南・東京・柬埔寨保護國會議

交趾支那參事會は一八六九年八月二十日大統領令に依り、安南保護國會議は一九〇〇年六月八日總督令に依り、東京保護國會議は一八九八年八月八日大統領令に依り、柬埔寨保護國會議は一八九九年八月二十六日總督令に依り夫々設置せられたものである、以下順次參事會及各保護會議の編成・權限・任務を説明する。

一、編　成

參事會及會議の編成は一九一一年十月二十日及一九一九年五月十九日大統領令の規定する所で議長及議員の顔觸は左記の如くである。

副總督(交趾支那)各州理事長官(以上議長)州政務部長・植民地又は保護國駐屯軍指揮官(指揮官を缺く場合は印度支那軍團司令官の指命する將官又は佐官若くは相等官階の陸軍官憲)・檢事總長(安南及東埔寨に於ては初審裁判所檢事)・工務管區技師長・公民權を有する知名佛人二名(州行政長官の推薦に依り二年の任期を以て補缺員二名と共に總督指命す)・保護國及佛國籍民たる知名土人二名(指命條件上記に準ず)・(以上議員)州官房長(幹事)。

植民地檢閲總監及財務監督局長は會議に參列する權限を有す。州行政長官は各文武局課長に對し所管事項につき決議權を附與して會議に參列せしむ。會議は必要と認むる場合特殊の智能を有する官吏又はその他の者に發言權を附與して會議に參列せしむることを得。

二、權　限

交趾支那參事會及保護國會議は離婚の申請に對し決定權を行使する唯一の場合を除き一般的には行政・特

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別の場合として司法に關する單純なる諮問機關である。離婚の申請に對する決定權は交趾支那に對し一八八三年一月二十七日發布、後ち印度支那各州に適用せられたる大統領令の規定に基くもので交趾支那參事會は交趾支那東埔寨及老撾の佛人に依る結婚契約に對する正規の離婚申請を、東京保護國會議は安南東京及廣州灣の佛人に依る同上の申請を受理又は却下す。本件の申請書は檢事總長之れを作製して會議に提出する規定である。交趾支那參事會及保護國會議の行政及司法諮問機關としての權限は左記の如くである。

A　行政諮問機關としての權限

交趾支那參事會及保護國會議は州行政長官に對しその必要と思惟する總ての問題につき意見を述ぶる以外、左記の諸件に就ては必ず諮問せらるゝ規定である。

一、財務に關する事項

交趾支那植民地會議の決議を經たる交趾支那州豫算を決定及總督府會議に於て總督に依り實施せらるべき保護國豫算を編成に關する件。

前掲の豫算に對する州豫算仕拂命令官の經理事項竝に總督府會議又は同常設委員會に於て總督の決定又は承認を保留し年度內に必要とするに至れる修正豫算の決定又は編成に關する件。

州豫算の副仕拂命令官及關係職員の任命に關する件。

市町村長編成し市町村會又は同委員會の決議を經たる市町村豫算及年度內に於ける修正豫算竝に歲出入の承認及實施に關する件。

大統領令に依り管理せらるゝ特別都市の收稅官の出納檢査に關する件。

西貢商港豫算・交趾支那各地方豫算及その經理事項の決定及實施に關する件。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

價格二萬法以上の工事及物品に對する入札及購買契約の締結に關する件(一九一九、九、一七大統領令)

二、税務に關する事項

總督府會議に於ける總督の承認を保留し各種直接税の設定に關する件。

交趾支那植民地會議の決議を經て大統領令に依る承認(西貢・河內・海防)若くは總督令に依る承認(その他の特別都市)を保留し特別都市の歳入として州豫算編入の直接税廢止決定に關する件。

大統領令に依り管理せらるゝ市町村會が本税の百分の五を超過(每年總督の定むる特別税の最高制限及十二箇年の期間以內に於て)する特別税の設定を決議したる場合に於ける承認及實施に關する件。

總督令に依り管理せらるゝ都市及町村に對する特別税の最高制限の決定に關する件。

租税の免税又は減税竝に不毛地編入の申請査定に關する件。

三、行政に關する事項

植民地會議員選擧區の決定・選擧會の召集・投票場の數と場所の決定に關する件。

植民地會議臨時會の召集及通常會の會期延長に關する件。

植民地會議の決議權の無效宣示及その他の決議に對する承認又は廢除の提議に關する件。

植民地會議及市町村會議に對する安南選擧人名簿の作製、審査及發表手續の決定及市町村會の選擧人名簿に對する異議申請の審理に關する件。

市町村會議の決議權の無效宣示に關する件。

交趾支那地方諮會議の決議承認及三年を超過する土地貸借の許可に關する件。

西貢商港管理會議の臨時停會又は決議廢除に關する件。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方行政區劃及境界の設定に關する件。
保護國に於ける州道路の分類及交趾支那に於ける市町村道路の分類に關する件。
土地收用に關する件。
公有地の假拂下及王領地の假又は確定拂下に關する件。
土地收用法に關する州行政長官の權限行使に關する件。
土人歸化申請の承認に關する件。
私設慈善營造物の閉鎖發令に關する件。
土人農業信用組合の許可又は解散に關する件。
以上の外大統領令又は總督令を以て豫め參事會又は保護國會議に諮問する旨を規定する一切の事項。

B　司法諮問機關としての權限

司法諮問機關としての參事會又は保護國會議は左記の二つの場合に於て必ず諮問を受く。

一、印度支那總督が判檢事に對して現行法の規定に依り懲戒權を行使する場合。

二、印度支那總督が東京重罪裁判所の判決に依る處刑者より提起せられたる抗告を裁決する場合。

三、任　務

交趾支那參事會及保護國會議は州行政長官之れを召集す。會議は常設的のものであつて全部の議員又は正當代理者出席するにあらざれば有效なる決議を爲すことを得ず。なほ又會議は總ての場合を通じて州行政長官若くはその命に依つて會議に附議せられたる事項に限り討議することを得る規定なれども本職議員は何人と雖會議が當然諮問を受くべき事項と認むるに拘らずその事無かりし場合は當該事項につき州行政長官に聲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明書を發するを得。議員は又その意見を定むるに必要なる總ての文書の交附を請求する權利を有すれども州行政長官は會計會類を除く他の文書に對しては交附を拒絶することを得。參事會及保護國會議の決議は過半數制に依る。

六、交趾支那植民地會議

交趾支那植民地會議は嚴密なる意味を以てする人民の代表會議でない。何となれば若干の議員は制限選擧に依り選出せられ且つ行政官憲より任命せられたる職員を以て組織せらるゝ實情にあるからである。然しながら上來記述したる州行政長官の諮問機關である交趾支那參事會又は保護國會議と異り一個の合議機關であつてその權限は單純なる意見の表明以上に重大なるものがある。會議の官制は一八八〇年二月八日大統領令に依つて創定せられたもので、一九二二年六月九日大統領令を以て編成を改革し更に一九二三年十二月十一日修補現在に至れるものである。

一、編　成

佛人議員十名(佛人選擧團體より選出)・土人議員十名(土人選擧團體より選出)・西貢商業會議所佛人代表者二名・交趾支那農業會議所佛人代表者二名。

交趾支那植民地會議々員の任期は四箇年で重任は自由である。會議所代表議員外の佛人議員二名以上が同一會議の議事に出席すること能はざる場合は當該會議を限り交趾支那副總督の推薦に依り總督の任命する官吏にあらざる補缺議員を代り出席せしむ。

佛人議員の選擧法は普選法を適用し、選擧人名簿締切の日に於て一年以上交趾支那に居住する滿二十一歲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上の佛國市民を選擧人とし、選擧の日に於て二年以上交趾支那に住所を有し滿二十五歳以上の選擧人名簿登錄者を被選擧人とす。

土人議員の選擧法は選擧人及被選擧人に對し年齡以外八種類の資格を限定する制限法を適用す。

二、任　務

交趾支那副總督は每年一回植民地通常會議を召集す。通常會議の會期は二十日を超ゆることを得ず。但し副總督は參事會に附議し副總督令を以て會期を延長することを得。

交趾支那副總督は植民地會議の臨時會議を召集することを得。臨時會議の召集に關する副總督令は之れを參事會に附議し會議の目的及會期を決定す。

植民地會議は通常會議開會の都度議場に於て無記名投票に依り議長一名・副議長二名及幹事二名を選擧す。副總督は常に會議に出席する權利を有す。會議は公開とするも三名の議員又は議長若くは副總督の請求あるときは秘密會とすることを得。

植民地會議は議員數二分の一以上出席するにあらざれば有效に決議することを得ざるものとす。出席議員數規定に達せざる場合は議事をその日より第三日に延期す。この場合は出席議員數の如何に拘らず決議を有效と認む。

印度支那總督令に依り植民地會議の中止・解散又は停會を命ずることを得。解散の場合は三箇月以内に選擧を行ふ規定である。

三、權　限

交趾支那植民地會議の權限は會議の決議する事件の性質より見て之れを四種に區別することが出來る。即

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ちA、會議の決議が確定的效力を有する場合。(行政廳がその權限を以て會議の決議を取消して實施を阻止する場合を除く)B、會議の決議の效力が假定的で將來行政官の承認を得るにあらざれば實施し得ざる場合。C、實施力を有せざる單純なる意見の表明に過ぎざる場合。D、決議が何等の效力をも生せざる場合がそれである。

A　決議が確定的效力を有する場合

交趾支那植民地會議の決議が確定的效力を有する場合は左記諸件である。

一、公用に供せられざる動產及不動產の無償又は合意の取得若くは讓渡(土地を入札に依つて讓渡する場合は千エクタール以下は參事會の、千エクタール以上は總督府會議常置委員會に附議して總督の許可を得るを要す)に關する件。

二、期限の如何を問はず小作又は貸借關係の財產に對する賃借料に關する件。

三、植民地の名義を以て訴追又は主張する法律行爲に關する件。(緊急を要する場合は副總督之れを處理す)

四、植民地の權利に屬する處分行爲に關する件。

五、植民地に對する無條件寄附金又は遺贈物件の受納に關する件。

六、植民地道路の分類・管理・編成換に關する件。

七　道路・運河又は植民地の負擔に屬する工事を協助するため町村・組合又は個人より申出づる提供物件に關する件。

八、組合又は個人に對する植民地關係事業の特許に關する件。

九、國家豫算を以て實施する植民地關係の事業費に對する植民地分擔額に關する件。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十、植民地豫算支辨の事業に對する設計・圖面・見積書に關する件。
十一、植民地の動産及不動産の所有權の確保に關する件。
以上諸件に對する植民地會議の決議は交趾支那副總督より權限の濫用又は法令違反として總督に對し總督府會議常置委員會に於て決議取消宣告の申請なき限りは會議閉會の日より二箇月以内に全部實施せらるべし。

B　決議が行政廳の承認を得て初めて實施せらるゝ場合

交趾支那植民地會議の決議が假定的であつて將來行政廳の承認を經て初めて實施の效力を生ずる場合は左記の諸件である。
一、植民地豫算の編成特に交趾支那が都市豫算に委附したる直接税の割當に關する件。
二、植民地の歳入となるべき直接税及その他諸税の基準・税率及徴收法に關する件(關税を除く)
三、公用に供せらるゝ植民地の土地取得讓渡及交換に關する件。
四、植民地の經營に屬する公共事業の開發及料金徴收に關する件。
五、植民地の契約する借款及財政的保證の提供に關する件。
六、植民地に對する條件附寄附金又は遺贈物件の收受に關する件。
以上諸件に對する植民地會議の決議に對する承認は第一、二、三、四に對しては總督府會議又は同常置委員會に附議して總督令を以てし(西貢市の歳入として租税を委附する場合は大統領令に依る承認を要す)第五、六に對しては總督の同意を得たる後本國參議院に附議して大統領令を以てする規定である。

C　決議が單純なる意見の表明に過ぎざる場合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

交趾支那植民地會議は法令の定むる所に依り當然諮問せらるべき關稅問題以外左記の件につき副總督より必ず諮問せらるべきものとす。縣・郡・村の行政區劃變更・敎育及社會事業の一般的發展に關する事項・一般豫算支辨に依り交趾支那に實施すべき大工事・輸入通過稅の稅率に關する件・本國關稅定率に對する除外例の申請に關する件。

右の外會議は副總督の提出する總ての問題に對して意見を述べ且つ行政官廳を經由して植民地の利益となるべき要求書を植民大臣に提出することを得。但政策問題に關係ある決議及希望の表明は總て會議に對して之れを禁止す。

D　決議が效力なき場合

交趾支那植民地會議の決議は左記の場合に於て無效である。

權限外の事項に對する決議事項・會議の開會中にあらざる又は議場外に於てしたる決議・行政官廳の提議以外官吏又は官吏に準ずべき者に直接又は間接に提供する利益問題に關する決議

以上總ての場合を通じ參事會に附議し副總督令を以て決議の無效を宣示すべし。

四、常置委員會

交趾支那植民地會議に常置委員會を置く。（一九一〇、一一、三大統領令、一九二二、六、九改正）常置委員會は五名以上七名以下（内土人二名）の委員を以て編成し植民地會議の通常會議の終りに於て每年議員中より選擧し佛人委員の最年長者を委員長とす。

常置委員會は委任權の範圍内に於て附議せられたる事件を處理し且つ副總督の提議に係る一切の問題につき意見を具申す。なほ緊急且つ必要の場合に限り副總督の提議に依り既定豫算の總額に增減を及さゞること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を條件として官公用事業費豫算に對する割當額の變更を爲すことを得。

常置委員會と行政廳とに意見の阻格を生じたる場合は直ちに植民地會議の臨時會議を召集して之れを裁決す。臨時會議に於て必要と認むる場合は常置委員を改選すべし。

常置委員會は植民地會議の通常會議開會に際し委員會の事業全般を報告し且つ必要と認むる諸般の事項を提議す。

七、土人諮問會議・協議會・諮問會

土人諮問會議を東京及安南に、土人協議會を東埔寨及老撾に而して土人諮問會を廣州灣に置く。以上名稱の示すが如くその任務は孰れも當該行政長官の諮問機關である。議員は行政官憲の任命する者と少數の選擧母體より制限選擧法に依つて選出せらるゝ者とより成り土人住民全般の實際的代表者としての資格に於て交趾支那植民地會議々員より更に一層の遜色がある。

一、東京土人諮問會議

東京土人諮問會議は一九一三年三月十九日總督令(一九二〇、四、九改正)に依り設置せられたもので左記三種の議員を以て編成す。

一、納税者二萬人につき一人の割合を以て特定の選擧母體より選擧したる住民の代表議員。

二、營業鑑札所有者二百人乃至五百人につき一人、五百一人乃至二千人につき二人、二千一人以上三人の割合を以て商人より選擧したる營業鑑札所有者議員(選擧人二百人に滿たざるときは附近の縣と聯合して一選擧區を形成す)。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、關係地方長の推薦により東京理事官長の任命する官吏及有力家議員。

年齢滿二十一歳以上の土人男子にして選擧人名簿に登錄せられたる者は官吏・公務員・處刑者を除くの外總て選擧權及被選擧を有す。議員の任期は三箇年で重任を妨げず。

東京土人諮問會議は理事官長の召集に依り毎年六月下半箇月中河内に開會す。會期は十日間で必要の場合は延長することが出來る。理事官長理由を附して申請するときは總督令を以て諮問會議を解散することを得。

諮問會議は歳入豫算・東京州豫算に繰入れたる經濟及社會的施設に關係ある經費の割當に關しては必ず諮問せらるゝものとす。會議は政策に關する希望の表明を禁せられてゐる。

二、その他の會議

A、東埔寨土人協議會　議員は全部制限選擧法に依り選擧し任期を三個年とす。任務及權限は全く東京諮問會議と同一である。唯協議會を解散する場合は理事官長と協定し東埔寨王令を以てする規定である。

B、安南土人諮問會議　安南土人諮問會議は一九二〇年四月十九日王令(同年五月十二日總督令を以て實施)に依り設置せられたもので會議の組織權限は大體に於て東京に準じ選擧母體の配當に若干の差あるのみ。通常會議の開會期は毎年八月の上半個月中で會期は六日である。

C、廣州灣土人諮問會　一九二二年九月十四日總督令に依り設置せられ廣州灣行政長官又はその代理者を議長とし議員十名を以て編成す。議員は總て制限選擧法に依り選擧し任期を四個年とす。租借地内に生れ又は十年以上居住したる前科を有せざる三十歳以上の支那人は總て被選擧權を有す。通常會議は毎年八月中に開會し會期を八日間とす。諮問會の權限は總て東京諮問會議に準ず。

C、老撾土人諮問會　一九二三年四月二十七日總督令に依り設置せられ議員は選擧に依る者と理事官長の任

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

命に依る者とより成る。通常會議は毎年六月上旬開會し會期も十日間とす。諮問會の解散は廣州灣と同樣行政長官の命令に依る。權限は東京諮問會議に準ず。

八、商業及農業會議所

現在印度支那には(一)商業會議所(二)農業會議所(三)商農混成會議所の三種類の會議所がある。是等の會議所は孰れも副總督又は理事官長の申請に依り總督府會議に附議して總督令を以て設定する規定である。

一、商業會議所

印度支那に於ける商業會議所の現在數は西貢・海防・河内の三で外に支那人の組織する商業會議所が二(交趾支那ショロン市及廣州灣チエ、カム市)あるが之れは印度支那行政官廳の公認せざる私設組合に過ぎずとす。

A、編成　各商業會議所に於ける佛人及土人議員數は總督令の定むる所に依ると雖も十一名を下らず二十一名を超へざる規定で、現行定員は各會議所を通じ佛人十六名安南人四名の議員を以て編成せらる。(外に議員と同數の通信員を所轄地域内に置くことを得)

佛人議員は印度支那に六個月以上居住(この條件は西貢商業會議に所對して除外す)し個人名義又は商工業會社の社長又は代理人として營業税を支拂ふ所轄地域内の年齢二十一歳以上の佛人に依り選擧せらる。技術仲立人又は商品仲立人も亦選擧人たることを得。

土人議員は第四級以上の營業税を納付し所轄地域内に二年以上居住する年齢二十五歳以上の土人商人竝に佛國法に依つて土人の組織する商事會社の代表者に依りて選擧せらる。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

被選擧權の年齢條件は佛人議員は二十五歳以上、土人議員は三十歳以上とし第二級以上の營業免許者たるを要す。同一商店又は會社に所屬する二名又は二名以上の資格者は同時に同一會議所の議員たることを得ず。議員の任期は四個年とし二年毎に半數改選す。

B、任務及權限　各商業會議所は所轄地域内に於ける商業及工業上の利益關係に對する行政官憲の諮問機關としての特別公共團體である。その權限は官憲の諮問事項又は商工業關係問題に對し上申を要すと思惟する事項特に商業法規、商工業一般態樣の改正案、同上發展策、關税率、商業課税及法規關係事項、商業會議所の特設、刑務所勞賃率に關する事項及その他法律又は特別法に規定する一切の事項に對し、會議所としての意見を逃べ且つ資料を提供す。

各商業會議所はその決議に基く獨立豫算を有し主として營業税附加税及州豫算の補助金を通常歳入とし、商行爲の管理に依る收入を特別歳入とす。

二、農業會議所

印度支那に於ける農業會議所は交趾支那農業會議所(西貢)及東京・北安南農業會議所(河内)の二とす。一九〇九年十一月三十日總督令(一九一〇、五、一〇。一九一二、七、二〇。一九一四、三、二七。一九一六、九、二改正)に依つて設置せられたもので組織は商業會議所と略々同樣である。

A、編成　議員の定員は十名以上二十名以内でその五分の一を土人議員とす。土人議員は選擧に依らず州行政長官之れを任命す。

佛人議員は管轄地域内に一年以上居住し公民權を有する二十一歳以上の佛人にして左記各項の一に該當する者より選擧す。

一、耕地所有者共有者又は收益者及之れに準ずべき者
二、佛人地主の小作人又は分益者として農耕業に從事する者
三、佛國に本社を有する土地會社の社長及その代表社員
四、個人又は佛國に本社を有する農事會社の管理者

B、任務及權限　農業會議所は農業牧畜に關する行政官憲の諮問機關であるが商業會議所と異なり特別公共團體たる資格を有しない。權限は商業關係事項を農業關係に變へ商業會議所と略同一である。

三、商農混成會議所

目下印度支那にある商農混成會議所は安南・東埔寨の二個所で、佛人及土人議員を以て編成す。

安南混成會議所はトウランヌ市に之れを設置し商業及工業代表議員としては佛人五名、土人一名、農業代表議員としては佛人四名、土人一名より編成し孰れも選擧制に依る。東埔寨混成會議所はプノン、ペンに之れを設置し議員は佛人十名、亞細亞外國人二名（以上選擧）及土人二名（內一名は安南人一名は東埔寨人とし選擧人少數にして選擧を行ふに足らざる場合は州行政長官指命す）を以て編成す。

九、王國土人中央行政機關

上來記述したる所は總督治下の地方統治機關中、州行政の一般的說明であるが、この機會に於て便宜印度支那保護國たる安南（東京を含む）東埔寨及老撾の一部に現存する王國土人中央行政機關に就て記述する。

一、安南王國中央行政機關

安南王國の最高官として國王輔弼の責に任ずる四柱と稱する四名の官吏がある。內閣は內務・大藏・曲禮・

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

工務・文部・陸軍及司法の七省に分れ各省に主務大臣を置き（現在は文部・陸軍は兼任とす）大臣の下に祕書官長・祕書次長各一名、高等官（各省五名乃至六名）及判任官・書吏若干名を置く。

王國政府の會議機關として理事官長を議長とする內閣會議（國王成年の場合に限り任務を執行し、未成年の間は攝政會議之れに代る）懲戒會議（官吏の執務を監督す）及王族會議（王室に關する總ての事件を處理す）の三がある。

以上の外順化王室の制度として主要なる機關に一、財務局（獨立豫算に所屬する安南政府の豫算管理に任す。豫算歲入の殆ど全部は州豫算の補助金で一九二四年度は一、八三四、二〇〇ピアストルであつた）二、天文臺。三、王室衞生局。四、警衞局。五、王室圖書館の外國王側近に一、尙璽官府（王令の起草、上奏書類の進達等）、二、侍從武官府（侍從及近衞隊（約三百名）より成る）。三、禁裡府（王室內務・國王附樂人及舞人を附屬す）がある。

二、柬埔寨王國中央行政機關

柬埔寨理事官長を議長とする內閣會議國王を補佐す。內閣は內務・宗敎・司法・宮內・大藏・美術・海軍・商農・陸軍・文部の十省に分ち各省に大臣を置く。

以上の外王室特別機關としては一、王室會議（國王の指命する八名の王族より成る）二、調停裁判所（王室內居住者の爭議を調停す）三、宮內官進級會議がある。王室豫算歲入の大部分は州豫算の補助金を以て之れに充つ。（一九二四年度補助金は五〇〇、六〇〇ピアストルなり）

三、リュアン、プラバン王國（老撾）の中央行政機關

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

リュアン・プラバン王國は老撾の一部を領土とするもので國王は四名の顧問官に依り補佐せらる。第一顧問官は敎育及宗敎大臣の任務を執りて第三王と稱し、第二顧問官は内務大臣で第四王と稱し、第三顧問官は王國のモイ土人の監督に任じ、第四顧問官は老撾土人政務の監督官としてヴヰアンチアンヌに派遣せらる。以上の顧問官は國王の命に依り召集せられ、發布すべき王令を審議す。（王令の實施は老撾理事官長の所管とす）王國の豫算は老撾の州豫算支辨とす。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那の糖業

東洋製糖株式會社　冬城完一

佛領印度支那と申しましても製糖技術を專門とせられて居る方々には、はつきり其觀念を頭に浮べる方は少ないと思ひます。事實私に致しましても佛領印度支那に行けと云ふ會社の命を受けました時に、始めはどんな土地であるかと云ふことが頭にぴんと來なかつたのであります。我々が中學時代に地理を習つた、其後今日まで佛領印度支那に就きまして一度も考へる必要もなかつた。斯く製糖技術とは非常に縁の遠い土地であります。從つて今日此方に行つた話をしろと云ふ言ひ付けを受けましても、製糖技術者たる私はお話をする何ものも有たないのであります。其所で唯簡單に佛領印度支那と云ふ所はどう云ふ所であるかと云ふアウトラインだけをお話したいと思ふのであります。

偖て吾々が高雄から内地に出掛ける航程を南に執りましたなら、我々が神戸に著く頃には、佛領印度支那の北部の開港地である海防の地に到著することが出來るのであります。斯の如き近い目と鼻の間に於きまして、我々が其智識がないと云ふことは殘念に堪へない次第であります。近い所に有る關係上臺灣に居る製糖技術者としても、其の概念だけでも得て置くと云ふことは敢て徒事ではないと考へます。佛領印度支那、もう一歩廣く單に印度支那と申しますと、字に依つて示して居ります通り印度と支那との間に介在する、あの廣大なる所の亞細亞の東南部を占める全體を申すのでありましてビルマ、暹羅、マラッカ半島並に所謂佛領

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那を包含して居るのであります。

佛領印度支那は其中の東部全體を占めて居る地でありまして、その廣さはどうかと申しますと朝鮮・臺灣・樺太の植民地を加へた我日本帝國の面積より實は少々廣い位であります。斯の如き廣い地域を有して居る佛領印度支那に居る人口はどうかと申しますと、人口の統計は日本の如く國勢調査はやらない關係上はつきりは致しませんが、全體で一千八百萬と稱して居る程度で、日本に比べて四分の一に過ぎないのであります。人口は斯んなに全體として少ないのでありますが、然し地方に依つて非常に稠密な所もあります。即ち北部の平原並に南部の平原は交通が便利で産業が發達して居り、日本の人口密度と同じやうな所もあるのであります。

住民は大體どんな人間が住んで居るかと云ふと、大部分は所謂安南人と稱する支那民族と云ふより寧ろ馬來民族と稱して居りますものが八割と云はれて居ります。佛蘭西人は二萬に過ぎません。日本人の數は非常に少ない。其點は私は案外に感じたのであります。昔から彼所に往復して居た歴史は殘つて居りますが、現在行つて居りますのは此廣い地域に僅かに四百人と稱して居ります。我日本は土地が狹く人口は年に七八十萬宛增加するので遠方に迄植民しなければならぬと云ふのに目と鼻の間にあるこの廣い處に僅に四百人と聞いては案外で遺憾に耐へなく思ふのであります。

産業の大體を申述べますれば北部と南部に於きまして非常に差異がございます。土地の狀態が違つて居ますので、北部に於きましては鑛山業が多く、その内主なものは石炭と亞鉛でありまして、石炭と申しましてもこれは無煙炭でありまして世界的に名が出て居る産地であります。甘蔗は北部にも南部にも相當造つて居りますが、大して問題にされて居ないのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更らに氣象の關係をざつと申上げますれば、緯度の關係は地圖を御覽になれば判かりますが、北部は臺灣と同じ緯度にあるのでありまして、それから南部に延びて居るので氣温は常に高く、平均温度の如き北部に於ても二十四度餘、南部に於て二十七度と云ふことであります。風は北部は季節風が強く、臺灣と同じ樣に暴風の見舞を受けます。南部は無風帶に屬して、南部の測候所の記錄には颶風は載つて居ないのであります。斯の如き佛領印度支那の氣象から考へますと、甘蔗糖業には適當して居る樣に思はれるのであります。けれども北部と南部とに於ては非常に趣きが變つて居ります。平均温度が違ふ外、北部に於ては雨期と乾燥期の區別はありますが、冬の乾燥期には細雨が多く割合に陰鬱な天氣が續くと云ふ樣な缺點があるが、南部に於ては乾燥期と雨期とははつきりした區別があつて、それに氣温は高い、甘蔗耕作から申せば必要條件が充分に滿たされて居ると言はなければならぬのであります。

然らば製糖業が佛領印度支那に於いては現在如何なる狀態になつて居るかは、製糖技術者と致しましても知つて置く必要があるのであります。製糖業は先きに申述べました樣に、北部に於て相當或程度まで發達したと云ふことは、氣候が温和で人口が稠密であると云ふ關係からの爲めではないかと思ふのであります。自然的の條件から申しまして北部の甘蔗作は餘り適當でない、南部は餘程適當して居る。其所で北部は現在と致しましては多少の產額はありましても、中部並に南部の方が產額が多いのであります。

然らば此南部の製糖事業の現況はどうかと云ふことになりますが、現在と致しましては南部に於ても製糖事業はないと云ふて宜い位に貧弱である。更らに製糖工業と云ふ立場から考へますと、佛領印度支那には製糖工業はないと言ふても過言ではないと思ひます。南部に於ける製糖事業のお話を致しましても、大して皆さん方に必要はないかも存じません。詳しい話は省くと致しますが、大體どんな程度と云ふ概念を申上げます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一例を申上げますと、植付面積は僅かに七八千ヘクター、ヘクターと申しますと一甲歩位であります。極めて僅かの面積に栽培されて居るに過ぎません。夫れから植えました甘蔗は無論單位面積の收量は少ない、甲當りに換算致しますと三萬斤、多い所で七八萬斤で、甘蔗の種類地方に依つて相違がありますが、大體に於て甲當り五萬斤前後と云ふ見當になつて居ります。砂糖の産額を見ますと、之れは此方の樣に消費稅がかゝる譯ではなし、生産ははつきりしたことは判からん。植付甲數を官廳に報告するのであります、これから推算する程度に過ぎない、約二十七萬ピクル之れは三年前の調であります。尤も外國からも多少這入つて居ります。これ等は精製糖及び白糖でありまして僅かに五六萬擔に過ぎない。斯の如く製糖業の現狀は貧弱であります。

御承知の通り西貢米の本場と言はれて居ります交趾支那の東南部、此地方は沃野千里と申して宜しく、自動車で一日、二日飛ばしても米田の外何物をも見ることは出來ないので、カムチアのカの字も見ることは出來ないのであります。今植わつて居る地方はと申しますと、交通灌漑の便利な關係を考慮致しまして、彼の地方の名物である河の流域を利用して居るのであります。河は先きに申述べました通り、佛領印度支那に於て有難い天惠であります。佛領印度支那南部の産業の發達したことは申すまでもなく、メーコン及びドナイ兩川によりて形成されたデルターに依つて發達したのであります。自然河筋の土地は肥沃であると云ふ關係から河筋に多く植えて居りますが、極めて不安定でありまして年に一度は必ず非常な豪雨の爲めに氾濫するので、甘蔗は全滅になることがあると云ふ報告を聞きます。河筋に現在植えて居りますが實に心細いのではないかと思ひます。高地に植えて居ります甘蔗は、反對に乾燥の爲めに生育が非常に惡いのであります。

此地方は一面平野で殆んど北方を向いて以外には山は見られないのであります。一つの平原として見るべ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きものではないかと謂ふ樣な狀態であります。白然、灌漑に要する水を得るに致しましても大變のことであります。現在に於きまして灌漑排水をするには非常に大きな人力を要するのでありまして、佛蘭西政府が產業方面に就て非常に努力を致しましたなら廣く開拓される土地も相當餘計になりはしないかと思ひます。現在と致しましては極めて廣い土地を有つて居りながら、財力の關係で到底之れを充分に開拓して行くことが出來ないやうな狀態である樣に思ひます。現在は斯う云ふ高い土地とか、水害の恐れのある樣な所の甘蔗の發育は不良である。

甘蔗の種類を申上げますとミヤヤンと云ふ種類と、ミヤラウと云ふ種類があり、此二種類が全體を占めて居ると云つてもいゝ、其二種類は性質が非常に異つて居ります。臺灣の昔の竹蔗とローズ・バンブーと云ふ樣な關係になつて居るのであります。即ちミヤヤンと云ふ方は、ミヤヤンは黃蔗と云ふ意味であります、ラハイナの一種と稱して居ります。河筋に植える種類であります。莖も大きい收量も多いのであります。收量と致しましても七八萬斤とれるのは此種類しかないのであります。一方のミヤラウと云ふ方は此方の竹蔗に相當するのでありまして先程申述べました高地に作る種類でありまして、竹蔗の臺灣に於けると同樣非常に不良であつて、甲當り二萬五千斤位に過ぎない土地もあるのであります。

砂糖の種類や製造法はどうかと申しますと、前に此地方には製糖工業はないと申上げました通り、製糖工場と致しまして最も大なりと誇つて居る工場は三百噸の白糖工場が一つある位で、後は七千噸と稱して居るが一つで、白糖工場と致しましては僅かにこの二つであります。改良糖廍に屬するものが三四箇所、其他は全部此方の在來糖廍の、もつと仕掛を小さくしたやうなものが、數だけは非常に澤山で全體で四百と稱して居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

之等の仕事は全部家内工業と云つた樣なもので、自分の所に出來た甘蔗を自分の家で例の石臼で壓搾して居る。出來た砂糖は直ぐに其附近に賣り出す、其過剩は市場に出すと云ふ原始的のやり口になつて居ります。
唯今申述べました製糖狀態は、佛領印度支那の南部と申しても交趾支那に限るのであります。

交趾支那と隣つて居りますカンボチヤは此方面に行きますと又狀態が變つて來るのであります。此地方に於ては甘蔗は殆んど作らない、砂糖は所謂シユガーパルムから取つて居るのであります。此の椰子糖の栽培なり成育狀態、夫れから砂糖を採る方法は皆さんに細かく申上げることは時間を潰すことでありますから省略致しますが、甘蔗の產額は全然地方的に需用を滿たすに過ぎません。砂糖としては日本の樣に甘味を附けると云ふよりも、寧ろ夫れ自身が菓子として皆の口に這入るやうな狀態であります。

以上申述べました通り佛領印度支那の糖業は、現在に於ては我々製糖技術者にとりては一顧の價値はないものであります、然らば之れから先き將來はどうであるかと云ふ問題になるのでありますが、此問題は輕々しく決定する問題ではありませんで、氣象關係或は地味の關係地質の關係等、自然的の關係を研究したゞけでは無論不充分でありまして、交通運輸は勿論、政府の產業に對する方針その他關係を徹底的に調べなければ其前途を考へることは出來ないのであります。併ながら、夫等の點に就て細かいことを申上げますと云ふと時間が許さないのでありますから、後日の機會に讓りまして今日は單に佛領印度支那と云ふ所はどんな所であり、現在佛領印度支那の糖業はどう云ふ風に經營されて居るか、と云ふ所の一端を申述べるに止めて置きます。（終り）

（大正十五年十月二十九日製糖研究會に於ける講演）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島　情

大正十五年度前期分地租附加税徴收成績

内務局地方課

大正十五年度前期分地租附加税徴收成績は、徴收濟額百六萬三千二百五十六圓、收入未濟額一萬一千二百九圓であつて、これを表示すれば左の如くである。

△大正十五年度前期分地租附加税徴收成績表

州別	調定濟額	收入濟額 納期限迄	調定濟額ニ對スル歩合	前年度同期ニ於ケル歩合	歩合増△減	納期限後	收入未濟額
臺北州	一九九,四七九	一九一,一六八	.九五八	.九四九	.〇〇九	四,五九七	三,七一四
新竹州	一八六,五七〇	一八二,五九五	.九七八	.九八四	△.〇〇六	一,八九〇	二,〇八五
臺中州	二七三,〇〇九	二五四,九九一	.九三四	.九七九	△.〇四五	一四,四〇四	三,六一四
臺南州	二三一,一七五	二二八,五一八	.九八八	.九九〇	△.〇〇二	一,七三七	九二〇
高雄州	一七三,〇二三	一七一,二〇一	.九八九	.九八六	.〇〇三	九四六	八七六
計	一,〇六三,二五六	一,〇二八,四七三	.九六七	.九七八	△.〇一一	二三,五七四	一一,二〇九

備考　一、本表ハ定期賦課ニ係ルモノヲ掲記セルモノナリ。二、本表ハ納期限後十日目ノ現計ヲ掲記セルモノナリ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣貿易統計（大正十五年十月）

臺灣總督府稅關

□貿易額比較

外國貿易	十五年十月	十四年十月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
輸出	四,四六二,九七二円	五,四七五,二六七円	四〇,七九八,九八七円	三七,六六一,五九七円	三,一三七,三九〇円
輸入	三,九六八,〇六四	四,四五四,六〇二	四九,九五六,九九八	三九,一四六,八四七	一〇,八一〇,一五一
計	八,四三一,〇三六	九,九三〇,〇七二	九〇,七五五,九八五	七六,八〇八,四四四	一三,九四七,五四一
輸出（入）超過	四九四,九〇八	一,〇二〇,四六二	（入）九,一五八,〇一一	（入）一,四八五,二五〇	一

內地貿易	十五年十月	十四年十月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
移出	九,四七一,〇二三円	七,二三五,八四七円	一七八,〇二三,一五八円	一九〇,八五八,七〇〇円	●一二,八三五,五四二円
移入	一〇,〇五〇,四六六	一二,五五〇,七九八	九八,二二三,二五八	一〇四,二〇五,九九〇	●五,九八二,七三二
計	一九,五二一,四八九	一九,七八六,六四五	二七六,二四六,四一六	二九五,〇六四,六九〇	●一八,八一八,二七四
移出（入）超過	（入）五七九,四四三	（入）五,三一四,九五一	七九,七九九,九〇〇	八六,六五二,七一〇	一

□輸出

品名	單位	十月 數量	十月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減（●） 數量	增減（●） 價額
石炭	噸	六九,八八一	七五四,二三五円	六一八,一二二	六,九一〇,四六一円	五五八,一八二	五,八七二,二四六円	五九,九三九	一,〇三八,二一五円
包種茶	斤	九八三,三七四	七四三,五八二	七,〇〇二,八〇五	五,三四五,三一三	六,四一五,五五一	五,〇五六,二〇八	五八七,二五四	二八九,一〇五
砂糖	同	八五,六〇〇	一三,八四〇	一七,七二〇,五七六	二,四七七,六四四	三四,二八七,七六一	四,八六四,六一〇	●一六,五六七,一八五	●二,三八六,九六六
烏龍茶	同	一,四一五,二六七	九一六,六二四	七,一六八,七三三	四,九九六,七三二	七,三六五,三三八	四,七九九,七七〇	●一九六,六〇六	一九六,九六二
綿織物	碼	一,四五二,八二〇	四四八,〇九一	一五,九〇九,八七二	四,三一一,〇六五	八,一六八,二九二	二,三〇九,一四三	七,七四一,五八〇	二,〇〇一,九二二
樟腦	斤	六三,〇〇〇	八七,七八二	一,〇八七,六三二	一,八〇一,三九五	一,八〇一,五一九	三,一六一,八三七	●七一三,八八七	●一,三六〇,四四二
錫	同	一九〇,八五九	五九,〇二七	五,六四〇,六二六	一,六九八,五一六	四,〇一六,六七六	一,三二〇,二四一	一,六二三,九五〇	三七八,二七五
酒精	升	六一三,二〇〇	二〇〇,〇六三	四,六八七,〇〇〇	一,五七〇,五三五	五,七五八,九九〇	一,七九六,三五五	●一,〇七一,九九〇	●二二五,八二〇

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	単位	十月 数量	十月 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	十四年累計 数量	十四年累計 価額	増減(●) 数量	増減(●) 価額
鹹魚及乾魚	斤	六,三五五,三二二	六〇二,〇六二	一四,一五六,一一四	二,〇一五,二〇八	八,三七三,四三七	一,四二一,七三四	五,七八二,六七七	五九三,四七四
セメント	同	二,一〇〇,六〇一	四四,〇二六	七一,四五一,七〇五	一,五三三,六〇六	三九,四〇五,二三三	八二六,二一九	三二,〇四六,四七二	七〇七,三八七
紙	同	三〇八,八七五	二七,七六九	四,五三二,四六八	三八三,〇八〇	五,四二五,六五七	四二四,八七六	●八九三,一八九	●四一,七九六
燐寸	哥	四,五一六	二,八八六	二四一,五四五	一七一,九二〇	五三八,四七九	四一四,三四四	●二九六,九三四	●二四二,四二四
苧麻	斤	六一,二八八	二〇,五七七	一,一九五,一八五	四五四,六九一	一,一〇三,九二〇	四二九,三一一	九一,二六五	二五,三八〇
貝柱	同	一九,〇二九	一三,〇六八	三八五,七七一	四九二,九七二	二三三,一〇八	二九三,六四二	一五二,六六三	一九九,三三〇
硝子罎	箇	四一四,二七〇	一〇,六三八	六,九一七,一〇〇	一八三,七九三	九,七六五,五三四	二六一,一九〇	●二,八四八,四三四	●七七,三九七
其他諸品		—	五〇九,六八二	—	六,四五二,〇五七	—	四,四一九,八三一	—	二,〇三二,二二六
計		—	四,四六二,九七二	—	四〇,七九八,九八七	—	三七,六六一,五九七	—	三,一三七,三九〇

□輸入

品名	単位	十月 数量	十月 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	十四年累計 数量	十四年累計 価額	増減(●) 数量	増減(●) 価額
大豆油	斤	一七,五四八,三五六	七九二,二六五円	二〇九,〇六六,八七二	一〇,七六一,一三一円	一六八,八〇〇,七二三	九,七一六,八六四円	四〇,二六六,一五〇	一,〇四四,二六七円
硫酸アンモニウム	同	一三,〇九二,八九三	一,〇六七,七八五	五九,一一八,五四三	五,四四八,五七一	三〇,〇三〇,〇九〇	三,二七一,六六七	二九,〇八八,四五三	二,一七六,九〇四
砂糖	同	—	—	二五,三三五,三一〇	三,一五二,三〇〇	二五,八六七,〇八四	三,三七六,四〇〇	●五三一,七七四	●二二四,一〇〇
大豆	同	二,三六七,八八四	一五二,〇〇二	三八,九一七,二六六	二,六八四,〇六二	三一,九四九,〇四八	二,六二五,一一三	六,九六八,二一八	五八,九四九
阿片	同	六,〇〇〇	一一一,〇〇〇	三九,二二三	九八七,二九五	六二,六八二	一,四七〇,二四〇	●二三,四五九	●四八二,九四五
ガンニー袋	箇	二八五,三〇〇	一六五,四五〇	二,七六八,一九九	一,八九八,九五六	二,六六〇,〇〇〇	一,九六〇,八三〇	一〇八,一九九	●六一,八七四
木材		—	一二九,七五二	—	一,五四六,八五九	—	一,三三〇,七三八	—	二一六,一二一
米(籾共)	斤	三,〇八一,五七九	二五〇,二〇三	九五,六〇六,一一〇	八,八八五,八〇五	一四,二二五,五九五	一,一九八,四一七	八一,三八〇,五一五	七,六八七,三八八
石油	ガロン	二四八,九四〇	一一三,〇三〇	二,〇一三,九八六	九七五,二二二	一,六二二,六九〇	一,〇七七,二〇七	三九一,二九六	●一〇一,九八五
包蓆	枚	七一〇,五〇〇	九二,〇七六	四,五七〇,二三〇	七七九,六〇九	三,八八三,〇一六	八六七,二七八	六八七,二一四	●八七,六六九
小麦	斤	二,〇四〇,四五一	一六一,四五二	一〇,〇七〇,五七四	八七一,三九九	一〇,四七二,六六六	九八八,〇七六	●四〇二,〇九二	●一一六,六七七
葉煙草	同	一二〇,〇五五	六二,三二五	一,二九六,四六九	六七八,一六三	一,二一一,一九〇	六八〇,五七二	八五,二七九	●二,四〇九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毛織物	方碼	一五、五七三	二六、五三二	一八八、三二五	二七三、九五〇	三三二、〇一七	五〇五、〇五七	●一四三、六九二	●二三一、一〇七
鹹魚	斤	六九七、〇二一	五三、〇九〇	一三、七六一、八五九	九六八、九四八	五、二七七、六六四	四八三、二三五	八、四八四、一九五	四八五、七一三
黄麻	同	一〇〇、一八八	一二、七九〇	二、五五七、三〇四	四三九、一一八	二、二四六、八七三	四三五、九三七	三一〇、四三一	三、一八一
苧麻布	方碼	一四、一八六	三、一一四	一、三一五、五九九	三三二、四八九	一、四〇九、六三二	四〇一、二〇六	●九四、〇三三	●六八、七一七
禮拜紙	斤	一〇七、〇五八	二五、七三六	一、二八四、八九八	三五四、〇〇八	一、〇一一、八四四	三二一、八一二	二七三、〇五四	三二、一九六
繰綿	同	七九、三二三	三六、一六二	六二七、一八九	三〇九、五七一	四一四、三九三	二八八、九四六	二一二、七九六	二〇、六二五
鐵	同	二〇三、二〇二	二〇、一〇三	七、〇二六、〇五三	六二六、三〇一	四、九九四、九三一	三二八、九四一	二、〇三一、一二二	二九七、三六〇
コンデンスドミルク	打	九六八	四、一二七	一一、一八四	五八、三七九	六四、六九五	三二七、〇八七	●五三、五一一	●二六八、七〇八
陶磁器		—	三、〇二六	—	二五九、五一八	—	二三五、五一八	—	二四、〇〇〇
唐紙	斤	三〇二、一四三	二六、五六八	二、四〇〇、七五二	二三七、六〇五	二、一〇五、一八七	二三九、五八三	二九五、五六五	●一、九七八
綿織物	方碼	一三、三四〇	八、八二三	四〇五、七九五	三一四、七三一	三三〇、〇一二	二六一、〇七一	七五、七八三	五三、六六〇
パラフインワックス	斤	—	—	三四八、一九五	八五、一八〇	五三三、五八一	一五九、二二四	●一八五、三八六	●七四、〇四四
錫	同	一〇、二〇七	一八、九四七	九五、六二七	一七二、三六四	八三、九三四	一五七、六四二	一一、六九三	一四、七二二
豆素麪	同	三七、八九二	一〇、五八一	四五五、三〇二	一三九、七八六	三八二、四六四	一四七、二四六	七二、八三八	●七、四六〇
石炭	噸	七〇四	七、九九五	八、六七二	一六四、五五六	九、四五六	一二三、七九五	●七八四	四〇、七六一
苧麻綿布	方碼	—	—	二二〇、三八九	九三、八六八	二九五、二九一	一四二、四六四	●七四、九〇二	●四八、五九六
機械用油	斤	五五、三三〇	七、四二〇	五〇三、八六九	八四、二五四	四九九、二七六	八〇、二三一	四、五九三	四、〇二三
輕油	ガロン	九、五六四	七、八〇四	二一九、八二七	二一八、二一〇	五四、九五〇	七二、五五〇	一六四、八七七	一四五、六六〇
其他諸品		—	五七八、八四一	—	六、一七二、七一五	—	五、八六〇、九八九	—	三一一、七二六
計		—	三、九六八、〇六四	—	四九、九五六、九九八	—	三九、一四六、八四七	—	一〇、八一〇、一五一

□移出

		十月		十五年累計		十四年累計		增減(●)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
			円		円		円		円
砂糖	斤	五七一、三〇〇	五七、二六二	七三四、八七四、一一三	九六、三六九、六八一	六六〇、八四九、六八一	九七、九九五、七三二	七四、〇二四、四三二	●一、六二六、〇五一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米	同	五五、五〇〇、七七〇	五、九四六、二五二	四〇六、六一四、〇六二	四六、一二八、〇五九	四五三、一〇四、六〇〇	六〇、五三五、七七二	•四六、四九〇、五三八	•一四、四〇七、七一三
芭蕉實	同	一八、九七三、四二五	九七四、三一三	一七〇、三七八、四八五	一〇、二七九、五二五	一三一、九一四、四六〇	八、三八六、六七六	三八、四六四、〇二五	一、八九二、八四九
酒精	升	五一五、七六〇	二六〇、八六五	六、七九七、五四〇	三、六五四、〇六三	六、〇九二、四三〇	三、二四八、八七八	七〇五、一一〇	四〇五、一八五
木材		—	二六七、一〇五	—	二、六〇六、〇三九	—	二、〇七九、二五二	—	五二六、七八七
樟腦油	斤	三七三、一三九	一四四、二四五	四、九五四、二九一	二、五〇六、七六二	四、二〇一、〇三五	二、〇二二、〇九六	七五三、二五六	四八四、六六六
切乾薯	同	一、三九一、一三〇	六二、一四〇	一三、一三九、五三〇	五七〇、六六〇	四七、九三七、二二〇	一、八七三、六一八	•三四、七九七、六八〇	•一、三〇二、九五八
鳳梨罐詰	打	一一、四二二	四一、七三一	四四一、七五八	一、五九一、〇一八	四八六、八六五	一、八六二、三三九	•四五、一〇七	•二七一、三二一
石炭	噸	九、六〇七	八九、八二〇	一一一、二七八	一、一一八、三三一	一五八、〇二四	一、五九六、五五八	•四六、七四六	•四七八、二二七
模造パナマ帽子	個	四〇七、七〇〇	一九三、五九〇	三、五〇六、九〇〇	一、三四六、七四五	二、八五五、六四〇	九六一、六二四	六五一、二六〇	三八五、一二一
鰹節	斤	一九二、〇六〇	一七九、六〇〇	一、四一九、三四二	一、六二九、八三九	一、〇三〇、六三七	一、一四九、四九九	三八八、七〇五	四八〇、三四〇
食鹽	同	二、八四六、八〇〇	一五、六八五	九二、七〇一、〇四〇	六九五、一一四	一三〇、五八一、五〇四	一、〇九〇、一八九	•三七、八八〇、四六四	•三九五、〇七五
樟腦	同	一六六、三三〇	二六四、〇〇〇	八四五、六六二	一、五四九、五一九	五三六、九二七	九一五、〇九二	三一八、七三五	六三四、四二七
鐵	同	九、〇五五、〇三八	一二八、九四七	六八、五八八、五一五	一、二七一、一六七	二九、六九八、六六四	六七四、五九九	三八、八八九、八五一	五九六、五六八
麻織物	碼	—	—	一、三七〇、八五〇	四〇三、二五〇	二、一〇六、四六二	五〇四、二九七	•七三五、六一二	•一〇一、〇四七
其他諸品		—	七四五、四七〇	—	六、三一三、三九六	—	五、九六二、四八九	—	三五〇、九〇七
計		—	九、四七一、〇三三	—	一七八、〇三三、一五八	—	一九〇、八五八、七〇〇	—	•一二、八二五、五四二

□移入

		十月		十五年累計		十四年累計		增減(•)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
米	石	一、〇六〇	円 四六、八四一	二一、五六五	円 八三一、七八九	六四五、八七一	円 一六、六五三、七八五	•六二四、三〇六	円 •一五、八二一、九九六
絹及絹織物		—	一、五六三、〇〇九	—	一五、九二四、三〇七	—	一二、九四七、一二九	—	二、九七七、一七八
肥料	斤	七、三四五、七三一	三四一、一四六	六九、八三五、四四四	三、四六七、〇六五	九一、三〇九、一七五	五、五八六、〇八九	•二一、四七三、七三一	•二、一一九、〇二四
鐵	同	三、一五一、四三九	三五九、三三二	四八、〇四一、一三三	五、三〇九、一九一	三八、八五三、八八七	四、九七六、二三九	九、一八七、二四六	三三二、九五二
鹹乾魚	同	七、九一五、九〇〇	七七〇、五七二	二七、一六九、五八〇	四、三一〇、八五〇	二八、五八四、三九三	四、五九〇、九〇三	•一、四一四、八一三	•二八〇、〇五三

小麦粉	同	一,一七二,五八九	一三七,〇六二	三,〇七六,五〇七	二,八〇四,九六八	三,六六九,五九二	三,〇八五,三七五	•五九三,〇八五	•二六〇,四四七
鍋	同	三五六,三七〇	一五〇,一六六	七,二六七,八六六	二,二二三,三三一	四,六八五,一二〇	一,九五三,〇五九	二,六〇二,七四六	二六一,一七二
紙		—	二五七,九四〇	—	二,五三五,〇八七	—	二,七三一,四五一	—	•一九六,三六四
ガンニー袋	箇	一二一,二〇〇	三八,〇七六	二,九三三,七〇〇	一,六五〇,〇八五	三,四一〇,〇九〇	二,〇一〇,五一一	•四八六,三九〇	•三六〇,四二六
鐵製品		—	二六五,四七四	—	二,三二八,八八二	—	一,八四三,三六七	—	二六六,五一五
木材		—	三八,二一一	—	二,八三五,二〇九	—	一,五八四,〇三四	—	一,二五一,一八五
絲類		—	一八一,二四九	—	一,七五七,二四〇	—	一,五八七,三四三	—	一六九,八九七
清酒	打	一六,一三八	一四五,四三九	九四,四三八	八五九,〇八一	一三三,三〇〇	一,一七三,四〇〇	•二八,八七二	•三一四,三一九
麦酒	同	一七,八六〇	九〇,五四三	四七三,〇三七	二,三六〇,一九五	三七九,二九二	一,八〇六,〇六五	九三,七四五	四五四,一三〇
紙巻煙草	千箇	一八,三六〇	二七七,二四三	七七七,八〇〇	一,八三三,三六八	六五四,一〇〇	一,三九二,〇〇〇	一二三,七〇〇	四三〇,三六八
メリヤス肌衣		—	三五九,四六七	—	一,一九三,七一三	—	九六六,五六五	—	二二七,一四八
燐寸	哥	一五二,五七九	一一〇,七九五	一,二五七,八二六	九五二,七〇一	一,六一一,一三七	一,二七一,〇六八	•三五三,四〇九	•三一八,三六七
罐詰食物		—	一三一,九〇三	—	一,五八〇,四六二	—	一,一四三,七九九	—	四三六,六六三
自轉車同部分品及附屬品		—	九九,〇三三	—	一,三〇八,五六五	—	九三二,〇八八	—	三七七,四七七
石油	ガロン	六七,〇七〇	三三,九一二	一,二四七,九九五	六五三,九九二	一,四五八,六〇〇	九三二,七七一	•二一〇,六〇五	•二七八,七七九
毛織物		—	一五九,四三五	—	八六七,八二〇	—	六八六,六五三	—	一八一,一六七
鐵道建設用材料	斤	三三四,七八四	二五,六三三	七,六一四,九九六	六〇三,七三八	八,四七三,一二八	七三六,四四一	•八五八,二三三	•一三二,七〇三
菓子類		—	一〇一,九五九	—	七九〇,六七三	—	六三六,二〇三	—	一五四,四六九
切組板		—	一七,五五二	—	六一三,九八三	—	六七九,〇七九	—	•六五,〇九六
醤油	石	一,〇六八	六二〇,一〇七	九,五八一	五八〇,八四三	八,五六六	五七八,一三五	一,〇一五	二,六〇七
石鹼		—	五三,六一五	—	六七六,一四九	—	六四四,四三六	—	三二,七一三
機械用油		—	七九,〇六五	—	四八三,七八九	—	五三〇,九〇六	—	•四七,一一七
陶磁器		—	一三三,〇四九	—	七〇五,九〇三	—	五二六,五四〇	—	一七九,三六三
砂糖	斤	五一七,三三七	二三五,五九八	三,〇五一,三六八	七五三,五三三	二,一二五,〇七三	五四六,七一一	九二六,二九六	二〇五,八二二
セメント	同	一,二四七,七九七	二三一,八四九	三,一四四,三六九	四四七,八七八	二,一五三,五八一	四五七,三五四	•八,二二三	•九,四七六

其他諸品	—	三,六七三,一八一	—	三五,四〇一,〇一三	—	三〇,〇〇九,四〇一	—	五,三九一,六一二
計	—	一〇,〇四〇,四六六	—	九八,三三三,三五八	—	一〇四,二〇五,九九〇	—	・五,九八二,七三三

□港別貿易額

港名	輸出 円	輸入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(・) 円	移出 円	移入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(・) 円
基隆	二,四四四,六七五	一,三五三,八六六	三,七九八,五四一	四七,三三〇,八〇七	五四,四七三,五六六	三,六四八,六八一	七,四七〇,五七六	七,一二五,七〇七	一四,五九八,二八三	一四七,四二八,七四七	一六一,二〇八,九八〇	・一三,七八〇,二三三
臺北	一,八六七,四四一	一三三,二〇七	一,九九九,六四八	二三,三三四,七〇一	二三,五七三,五六八	・五九七,六七七	—	—	—	—	—	—
淡水	四九〇,〇二四	一〇八,七八一	五九八,七〇五	三,〇九〇,二六六	二,七五九,五二八	一九〇,九四八	—	一〇五,九七五	一〇五,九七五	一四一,五七五	一三一,〇一〇	一,三三五
安平	—	六四,六六六	六四,六六六	一,二六八,四〇七	一,五一八,〇〇四	・二四九,五九七	—	七七六,二四三	七七六,二四三	九,六八四,七〇一	九,四〇一,六七五	二八三,〇二六
高雄	三八八,五八二	二,一五九,五五三	二,五四八,一三五	二五,八八六,二四三	二四,三二七,九一四	一,五五八,三二九	一,八八〇,五七五	二,一五八,八五五	四,〇三九,四三〇	一二七,四四〇,五四五	一三三,七五五,九八七	・五,三〇五,四四二
其他諸港	五六,一八〇	三五七,一四三	四一三,三二三	一,三三五,五五七	一,二八八,二六四	・四七,二九三	一九九,八八〇	三五三,八八九	四五三,七七九	一,六五七,六八〇	一,八二四,七〇〇	・一六六,九二〇
計	四,四四八,九七二	五,三九八,〇〇四	八,八四七,〇四六	九〇,七五五,九八五	九六,八八八,四四四	一五,九四七,五四一	九,四七〇,一〇五	一〇,〇五〇,四六六	一九,四二一,四八九	二八六,二四六,四二六	二九五,〇五四,九六〇	・八,八〇八,二二四

詩壇

青厓先生來遊乃擇十一月念八邀三臺名流設筵於東門官邸有作粲正

上山蕉庵

有客南遊駕大鵬。三臺秋氣正清澄。超群風格陶元亮。
憂國文章杜少陵。杖履連旬探勝概。壺觴一日會吟朋。
最欣賢俊如星聚。酬唱同挑五夜燈。

東門官邸雅集席上聯句仿栢梁體

東門邸開翰墨場。蕉庵　風流經國衆相望。松軒
未能斫地似王郎。伯漁　萬里鵬程高且長。碩卿
一曲昇平樂未央。國年　將興家國見禎祥。炳煌
清白人傳有姓楊。述三　愧無春草生池塘。純甫
賓主聯歡聚一堂。綠野　黃村丹蕊繞舍香。東軒
瀛海拾珠肥奚囊。成野　兵洗天河徧萬方。養齋
斫地狂歌也不妨。家珍　一枝健筆搗三唐。篁村
儘有葵心向太陽。雪漁　龍肝鳳髓有餘芳。天籟
半潭秋水落楓黃。岳陽　琴劍匆匆卸客裝。梅樵
青雲氣吐又眉揚。潤庵　只禱年豐穀滿倉。壺溪
羽觴飛月醉瓊漿。信齋　風騷樂趣異尋常。以南
叨陪剪燭話連床。種玉　詩家自古重三王。石崖
安且吉兮壽而康。茂笙　昇平有象自洋洋。龍庵
鐵石腸和錦繡腸。榕庵　水面無風起滄浪。涬山
席上吟詩趁晚涼。仲佐　男兒氣壯吐光芒。純青
絳霞掩映九霞觴。古邨　詩人溫厚又端莊。淡水
無限經綸腹底藏。子安　宵肝精勤有未遑。石衡
文章經濟重廟廊。文山　麗句清詞俗慮忘。無我
健筆如椽鑄鐵剛。雲石　尊前得句慰徬徨。肇藩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海島昇平國富强。沁園　家國安危賴助匡。獻堂
吟聲飛墜入東廂。宙堂　年來詩境愧踈荒。片山
一堂濟濟正冠裳。楸堂　黃花黃葉絢秋光。信山
健筆縱橫似鳳翔。東耕　是非何用問彼蒼。仙坡
壽同金石惟文章。青厓

次蕉菴總督瑤韻　國分青厓

老榕垂翼似雲鵬。高閣延賢霄漢澄。迂叟功名欽涑水。
醉翁襟度憶廬陵。江湖未可忘家國。尊酒何須論黨朋。
賓主惟談文字事。清歡不盡夜挑燈。

同題　勝島仙坡

南海飛帆似大鵬。壯游心與九天澄。遠尋千里東寧國。
幸伴三生杜少陵。翰墨因緣陪總督。芝蘭情契得新朋。
清談頗永斯良夜。傾盡杯樽剪盡燈。

謹次蕉菴督憲瑤韻　林獻堂

天池看運九霄鵬。秋老毘耶萬象澄。南國政聲希召伯。
江東詩品重徐陵。雅懷久已傾三島。詩簡如同錫百朋。
此日吟樽東閣啓。願隨騷客剪秋燈。

同題　陳槐庭

北溟鯤化九霄鵬。飛躍龍門爽氣澄。欲怕催詩及臧盾。
最欣折柬到於陵。延賓見說來三島。陪讌歡如錫百朋。
多喜殘冬官舍靜。朗吟環聚宿齋燈。

同題　洪以南

文章經濟富崔鵬。心共長天秋水澄。治策南荒施雨露。
政聲東閣徹山陵。登堂雅望神仙侶。折節歡交鷗鷺朋。
詩酒會盟開制府。吟餘韻事話青燈。

同題　謝雪漁

刺時詩不效來鵬。旣濁思潮倘可澄。甚望中流爲砥柱。
休教下就壞山陵。敗成世态是非論。進退黨淆眞僞朋。
有策治安書欲草。幾人清夜剔銀燈。

同題　林石厓

扶搖萬里看飛鵬。却順天風入霧澄。滄海橫流誰玉局。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鳳臺置酒此金陵。山河重寄君民澤。雅頌長存鵷鷺朋。
今比南皮更高會。豪吟徹夜有明燈。

同題　魏潤庵

雲程路迥税飛鵬。蓬島秋高淑氣澄。人物徵君推叔度。
文章師表仰廬陵。百年吏治關賢俊。百卷家藏足友朋。
今日玉堂清讌裏。夜深誰賦短檠燈。

同題　小松天籟

明公才力似風鵬。鯤島宣仁賦世澄。落落襟懷無芥蔕。
堂堂意氣轉憑陵。馳書故國招高士。置酒今宵會遠朋。
欲答恩情吟詠苦。但欣潦草共銀燈。
翰飛聯舞逐溟鵬。恰是新晴萬象澄。倚檻南椽人似玉。
開樽東閣肉如陵。三冬暖帶殘春氣。一字師爲耐久朋。
繁絃聲中天不夜。後園照徹自來燈。

同題　尾崎古村

[illegible]鵬。四面江山氣自澄。詞客觀風來上國。
[illegible]陵。扶輪作健凌千古。照乘珠投勝百朋。

記得南園當日意。東門今又見傳燈。

同題　鷹取岳陽

青蓮有賦偉哉鵬。家潤秋高氣正澄。聖世休明憐草澤。
恩波浩蕩酌蘭陵。壯懷共話經濟客。楨幹惟看稷契朋。
何幸微躬陪侍宴。星星霜髮閃銀燈。

同題　趙雲石

仰見圖南志展鵬。詩星朗朗采澄澄。愧無珠玉詞成杜。
願把珊瑚筆架陵。大雅登筵能下士。宏開雅會有高朋。
春風滿座寒林悅。不惜搜吟繼夜燈。
七鯤今日化爲鵬。萬里風雄天宇澄。嘉客絕憐光海島。
上公管鑰壽岡陵。文章千古高儒士。道義殊方盡友朋。
唱和詩成明月朗。心丹共照亮於燈。

同題　鄭沁園

乘興南游健逐鵬。天風蕩蕩碧空澄。江東詩卷今兼父。
海外仙源古武陵。文史三冬推積學。迓迎千里集高明。
酒酣共和陽春曲。官舍疏鐘正上燈。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同題　鄭養齋

帝鄕思謁擬騎鵬。雅頌同賡四海澄。精粕空慚對輪扁。珊瑚願把架徐陵。林泉有癖蛛成隱。物我忘機鳥亦朋。身世窮通誰料得。短長檠換讀書燈。

同題　倪希祉

雄圖健翮展雲鵬。一片詩心印碧澄。眞個清高同杜甫。也應剛直似陰陵。犵蠻花草迎仙侶。風雨竹蘭會友朋。聯句柏梁傾菊盞。光明大放九華燈。

婆娑風月駕遊鵬。無限心情似水澄。詩酒狂應嫌杜牧。人天音自美迦陵。星墩環樹霞堪吸。鈴閣連霄雲可朋。瀟洒吟筵歡附驥。輿餘共對碧玻燈。

同題　黃茂笙

九天雲路下騎鵬。爽氣迎人玉鏡澄。致遠靈禽須羽翼。爲高崧嶽自丘陵。清徽雅量梅調鼎。光霽襟懷月作朋。東閣大開文讌夜。筆花爭放射銀燈。

同題　黃石衡

南來杖履逐遊鵬。清淺蓬萊今正澄。神社北崇迴劍水。玉山東向拜桃陵。彊臣節鉞開新府。詞客文章重舊朋。喜與群賢叨末席。豪吟更盞又挑燈。

冠冕南州膺器識。垂天翼展一飛鵬。百里扶搖四海澄。琴鶴清高尙友朋。文章東國上岡陵。魚龍變化追韓孟。棨戟量材成玉尺。群英嘉會四窓燈。

同題　猪口鳳庵

南溟載筆駕鯤鵬。日日窮探物景澄。靈域漱泉翻貝葉。仙山踞石聽迦陵。鬪詩賭酒無虛夕。投轄連床有舊朋。東閣洗塵應適意。名流畢至共挑燈。

此宵何幸鵷隨鵬。頓覺湛然心地澄。晉世清辭推栗里。郇厨美酒出蘭陵。拍肩共是風流客。聯袂曾無勢利朋。中有嘉賓凭几坐。吟髭如雪映吟燈。

同題　山口東軒

京華二客伴溟鵬。嚴閣佳招爽氣澄。高厚厓翁媲喬嶽。斂莊仙老抗崇陵。治方四境休明日。文化三臺鼓吹朋。從此相期扶大雅。聯吟擧白燦銀燈。

同題　陳信齋

圖南壯志逐鯤鵬。濯足扶桑水月澄。白雪陽春歌郢客。文章道德羡廬陵。徑開望不虛三友。行示珍逾益十朋。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今夜霓裳同一詠。筆花紅射九華燈。

同題　高橋淙山

自適逍遙萬里鵬。圖南垂翼氣清澄。風流明督王摩詰。慷慨神仙杜少陵。想見昔人遊曲水。却欣今我接賢朋。苦吟兀坐詩難就。不厭三更月下燈。

搏擊扶搖鯤化鵬。培風羊角負清澄。中興偉業劉光武。千歲高風嚴子陵。書劍安民惟濟世。釣竿垂手是良朋。雍雍歌嘯承平象。一燭燈光續萬燈。

同題　張筑客

一例逍遙鵾與鵬。能安卑陋自心澄。山樓[illegible]遊海。釣艇羊裘嚴子陵。際會平原陪上客。眞成[illegible]閣滿高朋。野人雖少芻蕘獻。青史猶思對一燈。

同題　劉笠村

天地得志羨鯤鵬。一擧圖南寰海澄。樂自中流間日月。德宜上壽配岡陵。也忘客氣附仙[illegible]。不見官威對舊朋。興會何妨冬晝短。敢將卜夜續殘燈。

同題　松井松軒

[illegible]鯤鵬。軒外秋間風物澄。[illegible]

歸栖小島度丘陵。珠璣咳唾東都客。錦繡心腸南海朋。清興無涯陽已沒。[illegible]愧我共吟燈。

同題　[illegible]其春

[illegible]化沖霄萬里鵬。長天秋[illegible]澄。文章[illegible]摩詰。瀟洒風流億杜陵。對[illegible]一堂[illegible]。[illegible]騷壇此日[illegible]。[illegible]

同題　楊[illegible]

仙風吹下九霄鵬。[illegible]文章今日仰茶陵。[illegible]附驥[illegible]

同題　[illegible]

九天[illegible]

[illegible]

同題　[illegible]

[illegible]

俳壇

孕江選

北風の強き埃りや甘蔗刈　きよし
小春日や雀群れゐる秣桶　同
炭焼の径しつらへて冬に入る　同
枯草に散り亂れたる鷄毛かな　同
干布團うちかむりては運びけり　同
名月や官軍基地に錠かゝり　靜雪
竹筏や草鞋うち越す秋の水　同
龍膽や溜り澄みたる根なし水　同
竹鷄や青蘆深く鳴きつゞけ　同
流燈も終り間近きてすりかな　同
懐ろ（フトコロ）の足袋投げ出して疲れたる　瓦全城
山の湯の窓の薄陽や秋しぐれ　同
ぬか雨に弱き日ざしや小鳥網　同
相思樹の揉み合ふ山や季節風　同
裏は直ぐ隣の倉や竹の春　同
高椰子の次第明りや初御空　洋々
初詣社の下の大河かな　同
火籠（ホエロン）を下げたる客の來りけり　同
終列車遅れし驛の夜寒かな　同
下駄の音冴えて夜寒の亭子脚　同
朝鮮の燒栗も賣る樂天地　兆田
葱畑に水遣る媳婦や立ち踞み　同
甘藷燒いて遊べる佣仔や刈田中　同
いくつでも豚の子逃ぐる藁小積　同
脂濃き蒜の匂ひや土人街　同
秋寒く水邊の榻の映りをり　荏吾
日當れば霧流れゐぬ鹿の宿　同
裏川のつぎはぎ橋や末枯るゝ　同
藁車置かれて久し刈田中　同
海の日にまぶしく引くや鳴子繩　同
椰子の穗に明りて消えし花火かな　みさく
粃に迅き流れや鯊を釣る　同
ぬかづくや膝頭なるゴム落葉（嘉義神社）　同
ゴムの葉や霧の窓燈につや／＼と　同
鵯晴や猛り應へて窓近く　同

○募集　四季雜詠（十句）締切毎月二十五日、句稿は時報俳壇と明記のこと、臺北市東門町九七ゆうかり社宛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自十月二十一日
至十一月十四日

十月

▼二十一日
・後藤總務長官中南部檢分
▼二十二日
・長慶天皇皇統奉列の儀執行に就官衙學校休業す
▼二十三日
・新竹州竹東埤圳起工
▼二十四日
・澎湖教育會發會式擧行
▼二十五日
・私設鐵道業務研究會臺中に開く
・釀造研究會臺北に開く
▼二十六日
・故明石總督墓前祭執行
▼二十七日
・北白川宮大妃殿下御來臺、臺北市奉迎の儀あり
・南投神社鎭座式擧行
▼二十八日
・臺灣神社大祭典
・北白川宮大妃殿下臺灣神社御參拜
▼二十九日
・北白川宮大妃殿下南部へ御出發
▼三十日
・北白川宮大妃殿下、臺南、高雄方面御視察
・臺灣教育會教育功勞者表彰
・新竹州教育會發會式擧行
・臺南州國語演習會臺南市に開催
▼三十一日
・天長祝日　官衙學校拜賀式を行ふ
・北白川宮大妃殿下御歸北
・總督府社會事業助成金下付
・總督主催天長節祝宴を鐵道ホテルに開く

十一月

▼一日
・北白川宮大妃殿下御歸京の途に就かせらる
・皇太子殿下行啓記念運動會開催
▼二日
・行啓記念公學校聯合運動會擧行
▼三日
・行啓記念中學專門學校運動會を行ふ
・臺南州陸上競技會開催
・三等郵便局長會議開かる
▼四日
・全國中學校長會議準備打合せ會開催
▼五日
・臺灣軍南北對抗演習開始
▼六日
・實業聯合會臺灣支部會臺北に開催
▼七日
・臺北國語演習會樺山小學校に開催
▼八日
・全島一二等郵便局長會議を開く
・南北對抗演習終了、高雄に觀兵式擧行
・臺灣山岳會成立
▼十日
・高雄神社大祭執行
・內田、伊澤兩總督記念事業財團組織
▼十一日
・名古屋物産見本市臺北に開く
▼十二日
・長慶天皇皇統列格奉告祭各神社に執行
・中學校長團第一班來臺
▼十三日
・宜蘭線鐵道復舊工事竣成
▼十四日
・上山總督澎湖視察出發
・新高道路開通式擧行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

・南澳、ガオガン兩蕃和解式を行ふ

人事消息

自十月二十五日
至十一月十七日

▼松本晃吉氏（本誌評議員）十月二十五日歸臺
▼阿部滂氏　十月二十六日內地へ
▼並河圖書館長　同上
▼赤石定藏氏（本誌評議員）　同上京
▼木村泰治氏（本誌評議員）　十月二十七日歸臺
▼龜田遞信省統計課長（理學博士）　同上來臺
▼大島高農校長　十一月一日上京
▼木下內務局長　同內地へ
▼大倉喜七郎氏　十一月一日來臺
▼前田侯爵　同上
▼國分青崖氏　同上
▼國塚磨氏　十一月六日內地へ歸還
▼森臺銀頭取　同日內地へ
▼秋田代議士　十一月七日來臺
▼金子九大教授　十一月十一日內地へ歸還
▼加藤遞信部技師　同日上京
▼井村大吉氏（本誌評議員）　同上
▼關文彥氏　十一月十五日來臺就任
▼龜田博士　十一月十六日內地へ歸還
▼大倉喜七郎氏　同上
▼後藤總務長官　十一月十六日上京
▼一戶秘書官　同上
▼岡大藏省書記官　十一月十七日來臺

任、命

自府報第三千九百二十號
至府報第三千九百三十一號

▼十月十二日

臺灣總督府警務局長　本山文平
臺灣總督府警察官及司獄官練習所長ヲ命ス

臺灣總督府視學官　古山榮三郎
同　若槻道隆
（各通）同　小野正雄
同　山口重知
文教局督學室勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師　梅本英太郎
文教局督學室兼務ヲ命ス

臺灣總督府編修官　古山榮三郎
同　野上英一
同　土性善九郎
文教局學務課勤務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　坂口主稅
成德學院長ヲ命ス

臺灣總督府事務官　生駒高常
成德學院長ヲ免ス

▼十月十五日

臺灣總督府事務官　辰野龜男
財務局長富田松彥不在中代理ヲ命ス

休職臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　雲英元孝
復職ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　安井慧之助
文官文限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

鈴木外男
任臺灣總督府地方技師

臺灣衛生技師　鈴木外男
願ニ依リ本職ヲ免ス

▼十月十二日

臺灣總督府事務官　坂口主稅
文教局附屬博物館長兼務ヲ命ス

▼十月十三日

臺灣總督府醫學專門學校教授　宮原敦
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間獨、佛ノ二箇國ニ在留スヘシ

▼十月十五日

臺灣總督府地方技師　鈴木外男

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺中州勤務ヲ命ス
　臺灣衛生技師　宮川富士松
臺北州衛生技師ニ補ス
▼十月十六日
　臺灣總督府地方警視　山本正一
兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス
▼十月十五日
　臺灣總督府技師　伊澤貞吉
朝鮮ヘ出張ノ序ヲ以テ南滿洲及關東州ヘ出張ヲ命ス
▼十月十八日
　臺灣總督府財務局長　富田松彥
臺灣電力株式會社監理官ヲ命ス
　臺灣總督府地方技師兼臺灣總督府技師　山田拍採
免本官專任臺灣總督府技師
　臺灣總督府技師　梶原通好
任臺灣總督府地方技師
　臺灣總督府地方技師　梶原通好
臺北州勤務ヲ命ス
▼十月二十日
　臺灣公立中學校敎諭　吉本泰喜
任臺灣公立中學校敎諭（敍高等官七等）
　臺灣總督府技師　土井運篤
依願免本官
▼十月十四日
　臺灣總督府財務局長　富田松彥
株式會社臺灣銀行監理官ヲ命ス（大藏省）
　臺灣總督府事務官　中田榮次郎
株式會社臺灣銀行監理官富田松彥不在中代理ヲ免ス
▼十月二十日
　臺灣公立中學校敎諭　吉本泰喜
補新竹中學校敎諭
▼十月二十一日
　臺灣公立中學校敎諭　渡邊末造
任臺灣公立高等女學校長
　公立中學校敎諭　隈部至德
任臺灣公立高等女學校敎諭
　臺灣公立高等女學校長　渡邊末造
補彰化高等女學校長
　臺灣公立高等女學校敎諭　隈部至德
補臺南第二高等女學校敎諭
▼十月二十三日
　臺灣總督府警務局長　本山文平
　臺灣總督府財務局長　富田松彥
（各通）臺灣總督府專賣局參事　渡邊慶之進
臺灣總督府中央研究所評議會員ヲ命ス
　臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
（各通）臺灣總督府專賣局參事　杉本良
臺灣總督府中央研究所評議會員ヲ免ス
　臺灣總督府地方技師　關文彥
任臺灣總督府技師
▼十月二十一日
　臺灣公立高等女學校敎諭　平井莊次郎
東京、神奈川、栃木ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス
▼十月二十三日
　臺灣總督府技師　關文彥
營林所造林課長ヲ命ス
　臺灣總督府事務官　淺野安吉
營林所造林課長ヲ免ス
▼十月二十八日
　渡邊七治
任臺灣總督府地方技師
▼十月二十六日
　臺灣總督府中央研究所技師　大島金太郎
　臺灣總督府法院判官　伴野喜四郎
（各通）臺灣總督府統計官　原口竹次郎
上京ヲ命ス
　臺灣總督府圖書館長　並河直廣
東京、大阪、京都、奈良ノ三府一縣下ヘ出張ヲ命ス
▼十月二十八日
　臺灣總督府地方技師　渡邊七治
臺北市勤務ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼十月二十九日

任臺灣總督府地方理事官　臺南州屬　戸島嘉吉

臺灣總督府地方理事官　林田軍五郎
依願免本官

臺灣土木技師　松本圓次郎
願ニ依リ本職ヲ免ス

臺灣總督府地方理事官　戸島嘉吉
臺東廳勤務ヲ命ス

臺灣總督府内務局長　木下信
東京、大阪、岐阜、靜岡ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

「臺灣諸手續要覽」の出版

總督官房法務課内臺法月報發行所にては、這回臺灣に於て必要なる各般申請願屆書式を輯めて「臺灣諸手續要覽」を刊行した。本書は四六版四〇〇頁總六號二段組で定價二圓で其内容は左記の通りである。

第一類、恩給に關する手續　第二類、警察に關する手續　第三類、林野に關する手續　第四類地租に關する手續　第五類、兵事に關する手續　第六類、民事に關する手續（第一部　民法及商法、第二部　民事訴訟法、第三部　戸口及戸籍、第四部　登記―不動産―商業、第五部　民事調停）　第七類、産業に關する手續　第八類、通信に關する手續。

「森林生活者の手記」の刊行

著者青木繁氏は總督府高等農林學校に林政を講ずる傍、常に森林問題に對する世論の喚起に盡力しつゝある人である。其の理論と熱情は山岳國日本の將來を慮る愛林思想の鼓吹を以て一貫する。「森林生活者の手記」は卽ち著者の愛林思想を披瀝すると共に森林問題に對する深く且廣い探究の一端を示すものであるが、其の容式は隨筆的にやわらかな筆致を以つて一般讀者にも充分に興味を與へるものである。或は土俗學的研究より臺灣及日本本土の森林、樹木を觀察し、或は植物の成育を以て人類社會の生物學的社會生活理論等と對象せしめ、或は臺灣產有用樹草の歷史的、經濟的研究を發表し或は日本の山岳美と森林美を觀賞する等、あらゆる方面の觀察研究が二十四項に分つて載せてある。著者の不斷の研究と、愛林思想の發露とは、此處に最も有益にして、且趣味豐かな書籍として現れたものと云ひ得るであらう。（定價一圓、臺北市文明堂發賣）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

最近聯合軍の現狀調査……一
孫氏の得意は失意の初……二
孫傳芳の九江引揚に關する別報……三
革命軍の損失調査概數……五
九江の秩序漸く恢復……五
浙江省軍隊最近の調査……六
福建省軍（五省聯軍第四方面軍）の危機……七
周蔭人敗退後の福建局勢……八
閩粵第一會戰後周蔭人の福建固守……一一
第四方面軍周蔭人部殘存兵力の調査……一一
汀州・漳州を失ひし後の福建軍新計畫……一三
革命北伐軍最初の陣容……一三
廣東政府左右派首長の現勢……一四
閩粵第一會戰後の革命第一軍狀勢……一五
東三省商租權と日本の人口問題との關係……一六
上海浦東の職工模範村……一九

香港

一九二七年度新豫算……二一

佛領印度支那

一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易（一）……二三

馬來半島

護謨生產制限率改正……三七
護謨生產制限法一部改正……三七
海峽植民地新豫算……三八
英領馬來の行政組織と財政……三九
馬來の水產業……四四

蘭領東印度

新關稅定率法の制定……四九
日本セメントに對する蘭紙の評論並にパダン・セメント會社の內容及營業狀態……四九

暹羅

暹羅の鐵道（上）……五四
暹羅の漁業（下）……五八

英領印度

本年度緬甸米第一回豫想……六五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□最近聯合軍の現状調査

	官長	現状
第一師	陳儀	徐州に在り。
第二師	盧香亭	南北に奔走活動しつゝあるも未だ激戦せず。最近建昌・永修方面にて南軍二千と交戦中。
第十師	鄭俊彦	樂化にて奮戦。南昌・高安間の激戦に死傷一千五百を出したるも革命軍を撃破追撃中。
第一混成旅	楊世榮	蚌埠に在り。
第二混成旅	徐鳳春	富池口方面に駐屯。
第三混成旅	王普	陽新より通山に向け進軍中。
第四混成旅	劉鳳圖	富池口方面より德安方面に進軍中。
第五混成旅	楊賡和	南昌・高安間激戦に奮戦し、革命軍を撃破し、高安に向ひ進軍中。
第六混成旅	彭德銓	九月三十日より南昌・高安間の激戦にて死傷一千五百名を出したるも、よく奮戦し、革命軍を撃破して高安に進軍中。
第七混成旅	楊鎭東	銅鼓方面にて革命軍の奸策にかゝり全旅潰滅。
第八混成旅	顏景崇	德安の奪回に奮戦し、五百以上の死傷を出したるも、五・六時間にて革命軍を撃破し、現に德安・永修方面にて活動中。
第二十四混成旅	李俊義	德安の戦に五百の死傷を出し、其の旅團の一半を潰滅に歸せしむ。
第七十六混成旅	李實章	南通に在り。
砲兵混成旅	張國威	南京に在り。

以上江蘇・浙江・安徽三省の軍隊合計九師十一旅の中、五師九旅は江西に出動し、其の数十三萬と稱せらる。南昌附近激戦の結果三千以上の死傷者を出し、銅鼓・修水・武寧・德安間の激戦にも千以上の死傷者と、五・六千の潰兵を出し、合計一萬二・三千、實に約一割の兵員損失を見たる次第なり。

右の外江西軍の現状は左の如し。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隊別	官長	現狀
中央一師	郭知琢	南昌の章岡に死傷一千を出し、潰走兵多く現に五千ありて南昌を守備す。郭知琢は辭職せり。
中央二師	蔣鎭臣	吉安・萬安に在り革命・聯の兩軍に通ず。
中央六師	楊知軒	革命軍の侵入攻擊に潰走し鄱陽湖東部方面に散在す。
江西一師	唐福山	（同上）
江西四師	賴世璜	贛州方面に在り。革命軍に通ず。
江南一師	楊池生	革命軍の攻擊に潰滅。
第九混成旅	張鳳岐	樟樹鎭に在り（合計五千人）
補充旅	劉寶起	樟樹鎭に在り（合計五千人）

以上開戰當時は六萬と號されたるもの或は南軍に通じ、或は潰走潰滅して現在殘存せるは中央第一師・九混成旅補充旅合して一萬あるのみ。（十一月十三日―上海日報）

□孫氏の得意は失意の初

孫傳芳は江西戰の聯軍に利ありしを以て意氣稍蘇るの時忽ち浙江の變動に遭遇し、之をも一氣に解決し、多年棘を背に負ひし感ありし夏超を除去して浙江の局面は却りて從前よりも幾層の鞏固集結を見たりしより、其の意氣の洋々得々たるは推して知るべく、隨ひて蔣中正に對する和平問題も强硬なる態度を持し、遂に「南軍にして江西境外に退出せざらんか、我必ず九江に駐りて南京には還らず」と聲言するに至れり。乃ち和平問題の決裂は勿論、又更に黨軍を輕視するの態度を以て、連日に亙りやゝもすれば挑戰進逼の手段を用ひ次第に湖北・湖南の邊境を占領し、江西省內部に對しては賴世璜の款を通じ來れる機に乘じ、已に蔣鎭臣・唐福山等の部を結合して先づ第一に江西軍の系統を一統せんと欲し、後方兵力を補充する爲め豫備軍三千六百人を編成して二大隊に分ち（六中隊）警務處長王森に委任し、兼れて豫備軍訓練監及後方執法處長に任ぜしめ、上海兵工廠に命じ十月二十八日朝より百八十萬の子彈を運びて江西に赴き接濟せしめたり。然るに南軍は新に計を決し少數部隊を贛南に駐め、其の餘全部を擧げて江西より閩省境上に集中し、全力を以て福建を攻略せんと欲すと聲明せり。此の聲明の眞意は果して何を暗示するものなるかを知らずと雖も、後より之を觀れば或は聯軍攻擊の方向を轉ぜしめ、而して急に其の虛を衝かんとするの奇策なりしが如し。されば武昌を攻むるの際戰功最も多かりし南軍第四軍第十師長陳銘樞は蔣中正の電召に應じ、十月二十七日所部を率ゐて全軍急に江西に赴き意外の方面に出現せんとす。然るに孫傳芳は勝勢に乘じ各軍に南軍追擊を命じ三四日內に江西を肅靖して後更に兵を武漢に出すべきを吳佩孚側に告げ、而して後徐に福建を援けて兩廣を討伐し、黨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍を肅清し赤化策源地たる廣州を蕩平するを以て局を結へんと欲し勇氣實に抑ふべからざるものあるに似たり。顧りて吳軍方面を觀るに田維勤・靳雲鶚の各部は浦信鐵道線路（測量濟なるも未だ起工せざるもの）に沿ひ南に向ひて出で、穆陵監門青苔の各關よりして湖北の北部を迂回して敵の背後に出でゝ後之を包圍攻擊せんとし、武勝關外には魏益三・閻日仁・徐壽椿の三部軍あり。棘陽より損河に趨きて安陸に入り、目下正に應山に溯り廣水に出で鐵道線路に沿へる一帶の敵を夾攻しつゝあり。大勢に就きて觀るに、京漢鐵路北段の敵軍は三數日の後或は肅清されんかと思はる。此の外湖北の西境なる四川軍楊森の所部の前隊は已に進んで鍾祥に至り安陸なる聯軍と互に相呼應せんと待ち設けつゝありといふ。又武漢の形勢は如何といふに、黨軍內部の意見一致を缺き、啻に廣東・廣西・湖南・湖北の四派に分裂の形あるのみならず、鄧演達は江西に在るかと思へば忽ち湖北に在り、唐生智も北より東よりする情勢に驅使され、劉佐龍は何事も軍令を奉じつゝあるもとかく多病なる爲め多くは出動せず。唐生智の如き前方に出でゝ戰を督するも、聯軍と相持し蘄州蘄水の間に日を曠しうするのみならず、現に漢陽兵工廠機械竝に貴重品を長沙に運び去れる事實あり。故に武漢間には謠言盛に起り武昌に居るもの漢口に移り、漢口に居るもの亦租界に遷るもの多し。故に孫傳芳はいやが上にも樂觀し居たるものと見え部下の轉變者あるに氣づかずありしに、南軍は意外にも奇計を弄し、興國方面より轉戰し來るの部隊をして德安の北方に出現して聯軍と交戰せしめ、四日突然九江に向ひ猛攻を試みしめしなり。其の兵力は約二千人なれば聯軍にして豫め之に備へあらんか、何の驚動もなかりしならん。然るに此の時聯軍は馬廻嶺方面に出現せる南軍に對し輕視するに過ぎて布置やや遲きに失し、交戰二時間にして遂に敗走し、九江始めて廣東軍の手に落ちたり。是より先蔣介石の命を奉じ武漢より江西に出動せる陳銘樞軍約四千が陽新に集合し、山地の隘路を利用して聯軍の目を掩避し、一日よりして德安の北方に出現し、約一千は進んで九江に奇襲を仕かけたりとの情報あるは全く眞を傳ふるものといふべし。此の外聯軍失敗の原因は其の內部の不和ありし爲めにて、當時九江に在りし多數の浙江軍即ち周鳳岐所部が孫傳芳に忠なるを拒絶して九江の防護に當らざりし事實あり。孫は直ちに武穴に駛航し陳調元と反攻策を相談せるも纏らざりしものか、遂に七日朝決川艦にて南京に歸着し九日軍事會議を召集し暫く守勢を取るの方針を定め、反赤勢力者と提携し、特に山東側と密接の關係を保ち、江蘇・安徽・浙江の保持に力むることゝなれり。

（十月二十六日—十一月九日—九江・漢口・南京・上海各情報）

□孫傳芳の九江引揚に關する別報

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安徽北部紅萬字會監理王頤仙等の報告によれば、十一月四日午後、孫傳芳は九江の南方六千餘支里の地方に便衣の北伐軍現はれたるを以て直ちに部下一團を列車に載せ、九江より出發せしめしに、同軍は未だ其の目的地に達せざる以前に北伐軍の爲め全部武裝を解除されたり。一方該北伐軍は孫傳芳軍の軍服と着換へ原列車にて九江に迫り、九江驛に爆彈を投ぜしを以て、九江の孫軍は自己部下の軍隊の叛變せるものと誤認したり。孫は此の報告に接し直ちに周鳳岐軍に應戰を命じたるも、周は倉卒の事とて指揮平常の如くならず。孫はかゝる形勢に鑑み上流なる武穴に急航し陳調元に出兵反攻を命じたるも、陳は前方の戰事激烈にして、今や移動せしむべき軍隊なしと體よく拒絶したるを以て、孫は落膽の餘り遂に九江に歸來したるは夜の九時頃なりき。然るに此の時九江の市內にては十三箇所より國民軍の伏兵出現し、秩序大に亂れて銃聲暗黑なる市內に盛なり。故に紅萬字會の乘用船江靖も孫傳芳の乘用船も九江沿岸埠頭につかずして湖口に退けり。五日黎明孫は決川艦に移乘して上流に向へるも約二時間にして歸れり。此の時湖口の南北岸にも亦北伐軍の便衣隊出現し、湖口も動搖を生ぜしを以て孫は遂に全艦に下江を命じ、八日總司令部に劉宗紀參謀長を主席として軍政會議を開きたりといふ。

（十一月十二日―長報）

革命軍の對江西戰事

江西戰爭は發動より已に二箇月を踰えたるが、其の間を分ちて二期と爲すべし。第一時期は革命軍と江西軍との戰にて、革命軍の連勝に歸し贛南・贛西の江西軍を贛江の東岸に驅逐し、並に贛北・修水・武寧を占有し、攻めて南昌城に入る。是を革命軍の極めて優勢を占めたる時期とす。第二時期は革命軍と江蘇・浙江・安徽の聯軍との戰にて、戰線は變じて一字形と爲り、南は永豐・樟樹より南昌を經、北は永修・德安に至る。兩方共に主力を以て相接し戰爭極めて猛烈なり。而して南昌は双方共屢々得て屢々失へるを以て其の戰尤も劇しとす。蔣・孫兩總司令親しく軍陣に臨みて戰を督しつゝあれば、双方共輕進輕退する能はず。近日得る所の戰報に據れば、蔣は新喩・淸江の中偏高安縣屬の羅坊街に在りて師を督し、程潛は進んで德安に駐りて九江に迫近し、賴世璜の部は兩路より永豐・廣昌を占領し、分れて南城・臨川・樂安に向ひて追進し、朱培德・魯滌平は均しく淸江に駐りて、樟樹を攻奪せり。賴部第一師は譚軍と協同し九月二十六日吉安・吉水・三曲灘に克ちし後、楊如軒・楊池生の殘部と蔣鎭臣・陳修爵の殘部とは永豐に向ひて退却し、賴部第三團長温の兵は之を追擊し、同二十九日午前八時永豐城附近に到着し、敵と激戰すること八時間敵勢支へず頻りに樂安に向ひて退却せり。又同部第二師陳團及び李瀛濱は所部の步銃掩護隊を指揮しつゝ二十九日廣昌を占領し直ちに南豐に向ひて前進し南城・臨川の敵を追擊しつゝあり。

湖南省防軍部組成　唐生智は所部の第八軍を擴充して五師團・十一旅・三十一團と爲し、第二・三・四師の何鍵・李品仙・劉興の三師を以

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て作戦部隊と爲し一師は三旅、一旅は二團を管轄し、第一師葉琪・夏導師團周瀾を警備作戦部隊と爲して各三團を管轄せしむ。葉師團は新に出發して武昌・鄂城の間に向ひて赴き第七軍李宗仁の指揮を受けしめ、周師團は常・桃一帶に駐りて第九・十軍の防地を受けつぐ。此の外軍部直轄第一旅(熊震)第二旅(王錫燾)又直轄第二十五團(王德先)第三十團(夏葉裕)三十一團(范新帆)あり。皆湖南省々防軍部と爲し、熊震を長沙衛戌司令に任じ其管轄二團の外夏葉裕・范新帆の二團を出し、暫く熊震の指揮を受けしめ、省會及び附近腹部の各縣の防務警備を擔任せしむ、又王錫燾を寶慶より洪江に至る一帶の警備防務を兼任せしむ。尤も王部には別に王德先の一團を增加して暫く王の指揮を受けしむ。(以上十月十六日—新聞報)

□革命軍の損失調査概數

一、王柏齡の第一軍第一師三千は九月二十日前後の南昌附近の激戦に殆ど全滅潰走。

二、魯滌平の第二軍の約四千は九月三十日より三日に亘る激戦にて大部分潰走。

三、朱培德の第三軍の約四千も九月三十日より三日に亘る激戦にて大部分潰走。

四、程潜の第六軍約四千は九月二十日前後の南昌方面激戦にて大部分死傷潰走。

五、胡宗鐸の第七軍の五千は武寧方面に於て謝鴻勳と激戦し相當の死傷者を出したる上、德安占領後顔景崇と激戦し、約一千の死傷を出し殘部は何れにか潰走。

現在尙交戦中なる爲め聯・革兩軍の死傷潰走者を詳知する能はざるも、少くとも如上の死傷者潰走者を出し、兩軍とも大打擊を蒙れるは事實なり。(十一月十三日—上海日報)

□九江の秩序漸く恢復

黨軍第七軍の馬頭占領　九江十五日の消息によるに、黨軍第七軍が十二師と獨立第二師の各軍隊が前後湖口の下游に出發せる後、安徽南方の馬當鎮は第七軍に占領せられ、馬當鎮以下の華陽鎮は今現に劇戦中に在りと傳へらる。

國民會議召集成らば軍事行動停止　九江某公團首領が十四日に蔣介石に謁見し、江蘇・浙江各團體の和平請願團は奉天・山東軍の南下を拒絕し國民會議を召集して國是を解決せんと欲するの意あり。我が蔣公は此の種の主張を賛成さるゝや否やと問ひたるに、蔣氏は

最も深く賛成する所なりと答へ、同時に革命軍の宗旨は民族の幸福を求むるを以て主とす。故に國民會議にして眞に能く實現すれば吾覺革命の天職は盡きたる譯なれば、此の外に何の求むる所もなしと表明したり。此れによりて見るに蔣氏の意は積極的進取の意なきに似たり。

軍用票の正貨兌換　總商會長王汝芳等蔣總司令に謁見し軍用券の市面流通の取扱方を相談したるに蔣氏は云ふ、中央銀行は廣東にて最資本あり信用あるの金融機關なるが、今九江方面にては充分の信用なきは實に亦事勢の然らしむる所なり。但し當革命軍が省外に在りて行使せる券票は二種に過ぎず。(一)中央銀行臨時兌換券。此の券は現銀と兌換するに毫も割引なく同額を以て取扱はる。(二)中央銀行湖北・江西兩省通用券。此の券は小洋にて流通し、行軍中に應用し、頗る便利と稱す。湖北にては之を行使すること巳に久し。現に同種の通用券は巳に廣東より現銀小洋三十六萬餘元を送り來り、不日當地に兌換所を設立し隨時に兩替せしむべし。中央臨時兌換券に至りては將に該銀行長と南昌政治部と相談し現銀を送りて九江に來り、當地中央・交通兩銀行に交付し暫く代りて兌換せしむべければ更に疑慮なからんと。是に於て商會長等は實情に據りて各商號に通知したり。十五日九江縣・新縣長師古農は總政治部主任鄧演達等と共に總商會・警察廳各機關團體を召集し、九江縣署にて流通券票會議を開き取扱法を決定し、前記券票に對し、未だ臨時兌換所を設けざる以前に在りては概れ中央・交通兩銀行より暫時立換をすることゝしたれば、營業は大約十六日より取扱を始むべしといふ。

（十一月二十日—新聞報）

□浙江省軍隊最近の調査

新に浙江軍第五旅長に進級せる伍崇仁は陳儀省長の節制に歸せしより後、盧香亭の第二師及び鄭俊彥の第十師と同じく、一部の士官兵卒が道を贛東に取りて浙江に歸りたり。現に衢州防備の一帶は臨時警備隊を除くの外、更に陸軍の駐防とてはなし。故に特に該旅第十團に命じ蘭山・開化に出動して士官兵卒を收容するの事務を取扱はしむ。伍旅長は命を奉じて後第十團長陳啓元を派遣し、第一區水上警察署に向ひて商船五艘、民船四十餘艘の雇入方を託したり。第一營長楊其蕃・第二營長魏峨は官佐士兵を率ゐ、十九日午後三時江干より起程出發し、第三營長陳澤民及び團の本部は二十日に出發の事となり、同時に先づ副官を派遣し蘭谿衢州に至り代りて一切の手當を爲さしむ。

常州に駐れる第三師第九團第三營長陳禮樓は前に命令を受けて長興に赴き駐紮せるが、現に第十團が衢に赴くに依り、遺されたる南星橋の防地は第一師司令部より該團に命じて省城に來り駐紮せしめ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たれば凡そ二十日にて到着すべし。先づ杭州城驛を經て空車二十輛を召出して拱宸橋驛に在りて迎へ伺はしめ、時至れば轉送するに便するなり。

陸軍第二師が江西より浙江に返るに當り、其の威坪に到着せる一團が先づ出發して杭州に來り整理補充に從事中なり。尙第七團々附李玉麟の率ゐ來れる五百餘人、竝に第一支隊第二支隊は前後に常州に到るもの共計七百餘人は皆停留せず。相繼いで出發して福州城に來りたれば、當に總司令部より委員を派し妥に收容を爲さしむ。

第十五旅長韓光裕はもと省城の滿陽巷に駐りしが、今正に部隊の檢閱を行ふに因り、十八日晚方に於て第二十七團の兵士一連及び緝私營は杭州驛より特別車にて筧橋に赴きたるに、直ちに團長司達勝は驛にて之を迎へたり。（十一月二十日—新聞報）

□福建省軍（五省聯軍第四方面軍）の危機

永定の戰は福建軍の慘敗　同事省に於ける戰鬪は十月九日福建第三師長李鳳翔及其の部下第五旅長曹萬順第六旅長杜起雲の背叛に依り戰況極めて不利となりたるのみならず、周蔭人は衛隊四百を率ゐ匆々退却し、十月二十一日に至り永安の北貢川に逃避し（既に延平に到着せりとの說もあり）、こゝにて反攻を畫策しつゝありといふ。九日の戰は周蔭人の全敗なるが如く、其の一斑を揭ぐれば、同日周の股肱たる第二十四混成旅長劉俊は福建第三師李鳳翔の部隊中に混在せし國民革命軍第一軍第三師譚曙卿の砲兵團の砲彈に依り　市の入口にて戰死し、劉軍潰亂に陷り、周の旅長吳大洪も大勢非なるを知り、部下と共に投降し、ついで營長劉法愷・連長饒鴻建等雨下する彈丸の爲め戰死し營長莫清光重傷を負ふに至り、營長高金拔は白旗を揭げ投降し、周蔭人の携帶せる軍票約四・五十萬元、其他銃砲彈藥軍需品は鹵獲又は燒棄するの止むなきに至り、殊に退路及び側方上杭に在る李の第三師の退路遮斷を顧慮し、僅少の手兵を率ゐ逃避するに至れるなり。

周の慘敗は福建の危機に在り　周蔭人は貢川にて反攻を畫策せるも、上游の兵力は延平の蘇旅及永安の段團の外用ふべきものなく、しかも江西省境には賴世璜部隊の壓迫あり。福州省城附近の兵力も亦之を拔き用ふる能はざる情況なれば、泉州の孔昭同が第一師の張毅と協同し速に全力を擧げて先づ叛軍第三師を討伐するに非れば、周蔭人の運命は計るべからず。張毅は既に討赤命を下し其態度を明にしたるを以て、今遽に粵軍に欵を通ずることなかるべきも、元來周に對し眞に好意を有するものにあらず。殊に周の敗退と共に一時進入せる饒平・詔安附近を捨て南靖・漳浦の線に退却し一意漳州の保持に努めつゝあり。第三軍亦既に革命軍と合併したる今日本企圖の實現亦困難事に屬す。又既に平定せられたりと雖も、浙江の獨立を

企圖せるあり。又民軍は各地に於て蠢動しつゝあり。さらぬだに平素より周蔭人に對し些の好意を有せざる福建海軍は只其主腦者が吳佩孚竝に孫傳芳と密接なる關係を有せるを以て攻擊に協力せんとする態度なりしも、今や其態度灰色となり、過日後方總司令李生春は海軍と協力を策せんが爲め馬尾に到りしも海軍司令陳季良・陸戰隊隊長林忠は辭を設け面會を拒絕せりとの事なり。されば孫傳芳にして遂に南軍を江西省内より驅逐し、進んで武漢を回復し、五省聯盟の結束に努むるにあらざれば、福建省をして開戰前に挽回は困難なり。故に福建の混亂に陷らんとするの徵は濃厚となり北方人の家族は續々上海に向ひ逃避しつゝあり、福建人の富豪等亦南臺蒼前山(外人居留地)に移轉するもの少からず。

(十月二十八日―南支情報)

□周蔭人敗退後の福建局勢

周の敗退せる原因　周蔭人が今回師を率ゐて廣東攻に向へる兵力は雄厚なりしに拘らず、意外にも其の失敗の速かなりしは第三師曹萬順・杜起雲の二個旅の敵に款を通ぜし爲なり。第三師の不穩なるは會中早に聞く所あり。周が龍岩に到りし時も之が爲め遲々として兵を進めざりき。然るに第三師々長李鳳翔が廣東軍より命じたる第十六軍長職の委任狀を周に面呈して始終周氏に服從の意思を表示せるより、周氏は深く之を信じて疑はず、始めて第二十四旅劉俊及孫雲峰旅をして同時に進んで上杭・永定に駐り廣東を進攻せしめたり。然るに何ぞ圖らん李部の曹萬順・杜起雲の二個旅は其の指揮を奉ぜず、突然反旗を飜し、武平に向ひて出發せず、急に劉・孫の二旅の後方に向つて攻擊を加へたるに、同時に廣東の馮軼裴は又廣東軍二千餘人を派し、第三師の旗幟を假して前後に之を夾攻したり。福建軍は之が爲め戰はざるに巳に亂れ、周蔭人は龍岩より軍を率ゐて永定に向ひし時、忽ち李鳳翔が秘密に人を派して周氏に告げしむるに遭ふ。曰く部下の曹・杜二旅巳に廣東側の任命を受けて第一第二師長と爲り、戈を倒にして我が軍を反擊す。我れ師長たるも節制すること能はず如何ともしがたし。今當部隊を率ゐて長汀を固守して該軍の回竄せんことを防ぎつゝあり。望むらくは速に前方軍隊に命じて退卻せしめ、該逆軍の中つる所と爲るなかれと。周氏は此れに據りて直ちに龍岩に引返し只衞隊百六十八人を餘せるのみ。蓋し前進部隊は巳に曹・杜の截ち切る所となりて退きかへるに及ばざるなり。十月十四日周は龍岩に到りし後直ちに急電を泉州に駐れる孔昭同旅と興化に駐れる蕭勝標旅とに發し、各一團を出して往き援けしめたるに、意外にも孔・蕭兩旅の未だ出發に及ばざるに、曹・杜の兩旅と預て武平より汀州城へ潛行せる廣東軍一千餘人は巳に風の捲くが如くにして至り忽ち龍岩を包圍したり。周は四面に敵を受け又汀州各屬の民軍蠭りに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

潛越したるを聞き、深く衆寡敵し難きを計り、早くも僚屬を率同し、一百餘名の衛兵を具し、手槍兩銃を以て圍を潰して出で、十七日永安に至れり。十九日永安の地幽僻にして發展に資し難きを以て轉じて延平に赴き、前敵軍務を第一軍長張毅に渡して維持せしむることとしたれば、張は已に前敵各路軍隊を一律に調同し漳州を固守せしめたり。其の第十二師第二十四旅劉俊の所部及び第十二師砲兵團は皆道を閩邊に取り、十九日漳州に返り、又第一混成旅孫雲峰殘部は亦前方より迂同して長汀に至り李鳳翔の本部騎兵團と聯合したり。

李鳳翔部の内容と曹・杜　按ずるに李鳳翔の部は本と李厚基の舊部王獻臣旅の軍隊に係る。民國十二年王獻臣が興化に駐紮せし時、杜起雲は該處の土匪なりしが、王獻臣の招撫を受けたり。時に曹萬順は鹽務緝私隊團吉勝部の營長として王獻臣と交情あり。王が汀州に移駐するに及び杜起雲は之に隨ひて赴けり。未だ幾くならざるに、曹は退職して亦汀州に赴き之に投ぜり。李厚基が閩省を去るに及び、孫傳芳・周蔭人が閩省に來りたれば、王は省城に入り孫に謁したるに、曹・杜は李鳳翔(時に李は同旅長たりき)を擁戴せるに因り、電報を以て王獻臣の十大罪を訴へたるため、王の退職を餘儀なからしめたり。周は李鳳翔が其の舊屬たるを以て孫氏に力言し李を以て王の任を繼がしむ。王永泉を驅逐するの役に周また孫に請ひ張毅を第一師長、高義を第二師長、李鳳翔を第三師長と爲せり。其の時李は曹・杜擁戴の功あるに感じ曹を第五旅長、杜を第六旅長となせり。今回杜起雲は廣東側の運動を受け曹萬順と聯合し李を要して廣東に投降せんとす。李はいかにも周の恩に叛くに忍びず、婉曲に答へ廣東邊境に向ひ出發せしめ、しかる後本部を以て後方より之を擊たんと欲したり。然るに所部又汀州の治安を兼顧するの要あるを以て、密に曹萬順を司令部へ召し大義を以て之を責めて云ふ、杜起雲は本とより福建人なれば廣東に投ずるも惜むに足らず。然るに君は北方人なり。何ぞ賊に從ふを爲ん。尤も我に從ひ始終省軍を擁戴し杜起雲部を武裝解除し、かくして獲たる武器を以て君が部の及ばざる所を補充するに如かざらんと。曹は退くに及び杜起雲に面晤したる時、右の話を杜に告げたるに、杜は大に怒り途に人を派して密に廣東軍を汀州に入れ曹萬順部に協同し、出發を名とし長汀より道を上杭に取り、横に出で、省軍の要道をたち切らしめたり。此れ省軍が未だ戰はずして敗れし所以なり。

國軍反攻の計畫　周氏現に永安第一旅郭鳳鳴の部に在り、沙縣より命を奉じて到着せる第五混成旅殷乘義の一團及び前方殘部の退き集れるものを合せて目下已に五千人の衆を擁せり。周蔭人の直所部の精鋭を聚め永安より汀州屬に入り敵と最後の一戰を爲し、以て面目を立てんと。傳ふる所によれば周氏は己が部兵を率ゐて江西に入り孫傳芳軍と聯合して後、孫軍の補助を請ひ、再び江西邊より福建に入り、同時に張毅・孔昭同に電令するに力を合せて南軍を挾擊し漳州・泉州の地盤を保全することと二旬日間なるを以てし、周軍が目的に

到着するを待ち然る後前後より夾撃して此の耻を雪がんとすといふ。然るに延平に駐れる第三十混成旅並に第十二師第四十六團は十月二十日に忽ち兩營を出動せしめて省城に來り、督辦署衛隊第一混成旅の第三團の前に延平・建甌・古田の一帶に駐りしものは、現に亦各自の防地より陸續出動して省城に集れり。此の外建寧一帶なる第十一混成旅及び第一獨立團隊榮標等の部も續いて省城に來るの消息あり。聞く南軍は目下漳州を取らんとし張毅と孔昭同との部兵亦龍岩・永定を反攻し戰爭極めて烈しといふ。

戰爭倥偬の爲め楊砥中喪儀延期　海軍陸戰隊獨立團林壽國部の一二兩營竝に廈門駐紮の陸戰隊蘇・周の二營が楊砥中（故陸戰隊旅長）の靈柩の省城に入る爲め陰曆本月十九日に來省すべしとの事なるも、代理督辦署務薩厚璧竝に後方防務司令李生春と警務處長高文貴相談の上、高處長より薩省長に謀り、薩氏より之を楊氏家屬と其の治喪辦事處に傳諾し送葬の期日を延引することゝなりしかば、時節柄人心に恐慌を與へし謠言も陸戰隊の回防と廈門軍艦の來航なきとに依りて全く終熄せり。

省城福州の治安　周蔭人が龍岩より出走せる消息傳はりしより以來、福建在留の北洋軍閥は皆其の家屬を上海に送り、各機關の要人、卽ち煙酒公賣局長侯隆培・鹽運使馬克常等の如き亦皆眷屬を上海へ送りたれば、人民大に恐慌を生じ官商紳富亦皆之にならへり。故に上海は勿論近くは福州居留地の倉前山又は馬尾等の處、南門口及び堝尾一帶の埠頭には行李積んで山の如くなりき。後方防務司令たる李生春は叛變せる第三師の駐省辦公處が東大街に在りて、尙留守兵士約一連あるを見て、其の銃器兵械を押收して之を軍署に拘禁し、汽船便あるを待ち本籍地へ送り返すことゝせり。又匪徒の此の際城中に混入せんことを恐れ、七城門及び南公園・洋頭口等の處へ軍隊を增派し嚴重に戒備し行人車輛騎馬の檢査を爲せり。又城內の烏石山・于山・屛山は城中險要の處なるを以て、もとより砲隊の守れるに拘らず、一箇所に機關銃二臺、大砲一門づゝのみなれば今回更に軍裝局より十八日に大砲六門、機關銃十二臺を運び出して三山に分置し、十九日また大砲二門を小北嶺に運びて駐防に資し、附近には戰濠を多く掘り、同時に薩省長李司令より告示を出し、民間妄りに國南軍事を談ずるものあれば銃殺すべしといへり。尙城中にては二十二日より省城聯甲を發起し各街巷には皆木柵を設け小匪盜の防止に備へしむることゝなれり。

福建財政の困難　財政廳長翁紹藏は前に周・薩の命を奉じ商會に向ひ六十萬元を籌辦せしめたるも商會にては只其半數のみを認め得べしといふことなれば、薩省長は云ふ、此の如き討赤費は全く商民のみにては負擔しがたし。官吏も義務を盡すべきなりとて、十一月分各機關の薪水より餘事丁役を除くの外、省長より縣知事科員まで一律一箇月分を控除して之に當つるも可なりとの事なるも、尙ほ六十萬元の數を滿たすに足らず。故に商人組合に其の補充を要求し、聞かざ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れば軍紀に違ひ衣糧を誤らしむるものとして取扱ふべしといふ。

（十月二十七日—福州二十三日消息）

□閩粤第一會戰後周蔭人の福建固守

周蔭人は福建南部に失敗せしより後、永安・沙縣を經て延平に入り、後少からざる日子を過ぎ、福州軍政各界が頻りに福州歸還を電請し、鹽運使馬克常が十月二十八日親しく延平に赴き歸福を勸めたるに拘はらず、周は終始之を許さゞりしが、其の理由は左の諸原因によるといふ。

（一）周は戰爭に關し平生より其の雄を誇り居しに、今回は未だ戰はざるに退去せしを不面目なりとし、決して省城へは返らざるを誓ひ居れり。（二）延平は閩江の上游に位し萬山に環繞せられたる天然の險要なり。且つ前に傳ふる所によれば蔣介石は所部に命じ廣東より江西邊境に出で、吉水に至り、賴世璜と聯合し、三路を分ちて延平を襲取せんと欲したることあり。故に周氏は延平に在りて所部を督率し抵禦の策を籌備しつゝあるなり。（三）省城は防備堅固なるも外部より脅迫されて李厚基・王永泉の覆轍を踏まんことを恐れ居る結果省城には返らざるなり。聞く周督辦は深く今次の敗戰を以て自らの咎とし、曾て江蘇の孫傳芳へ辭職を請ひたるに、孫は再三慰留の電報を發し、同時に張毅等の各軍官に分電し同心合力して周督を援助し赤禍を掃除せんことを懇囑し、必要の時に遇はゞ當に三混成旅を派遣し衢州・嚴州より福建に入りて援助すべしと述べたれば、各軍官は誓つて周蔭人と生死を共にすべく宣言したり。されば孫・周間の團結尙堅きを見るべく、苟も意外の變なき限り廣東軍も未だ福建に於て志を得易からざるものあらん。

（十一月八日—福巡消息—新聞報）

□第四方面軍周蔭人部殘存兵力の調査

周蔭人督辦今回失敗の餘第十二師第二十四旅步兵全部と砲兵三連衞兵第一旅第一團步兵兩營・第一混成旅步兵二營・砲兵一連とを喪失せしを除くの外現に殘存せる周部兵力は左の如し。

（甲）殘存直系軍隊

（一）第十二師第二十三旅　李春生部　第四十五團は省城に駐紮し、第四十六團は水口・尤溪口・樟湖坂に駐る。

（二）第一混成旅　孫雲峯　第一團殘部は長汀に駐り、（現に連城に出動せり）第三團は永安・寧洋に駐る。

（三）第二混成旅　蕭勝標部　第一團は莆田に駐り、第二團一營は省城に駐り、第二營は仙遊に駐る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(四)第三混成旅　蔣啓鳳部　第一團は惠安・同安に駐り、(現に省城に歸る)第二團は省城に駐る。

(五)第二十九混成旅　孔昭同部　全部泉州同安に駐る。(現に出動して延平に赴く)

(六)第三十混成旅　孫埏部　第一團は邵武・光澤に、第二團は延平に駐る。

(七)衞隊第一旅　王炎部　第一團殘部は長汀に、(現に退いて歸化に至る)第二團第一營は古田・屏南に、第二營は水口に、第三營は省城の西鄕に、第二團(保安隊改編)は省城に駐る。(現に出動して延平・水口に至る)。

(八)第十二師砲兵團　江運珠部　第一營殘部は漳州より退きて同安に入り、第二營は省城に、第三營は延平に駐る。

(九)第十二師輜重工程騎兵各營は漳州より退いて同安に入る。

(十)新兵約二千名　省城に駐る。

以上共計約三萬人內外　銃兵器械子彈皆よく完備せり。

此の外　重砲共計　三門　迫擊砲　水手機關銃　二千餘挺

(乙)非直系軍隊

(一)第一師　張毅全部　漳州及び漳平・長泰・雲霄・漳浦縣等の縣に駐る。(現に皆退いて同安・泉州に入れりと聞く)

(二)第三師　李鳳翔殘部　長汀に駐る。(現に退いて寧化に入る)

(三)第一旅　郭鳳鳴部は沙縣永安に駐る。

(四)第四旅　陳國華部　太田・沙縣に駐る。

(五)第五旅　吳大洪部　只一團にて歸化・清流に駐る。

(六)第六旅　吳威部　永春・德化に駐る。

(七)第七旅　盧興榮部　尤溪に駐る。

(八)第十一混成旅　王麒部　第一團は將樂・泰寧に駐り、第二團及び砲工輜重營　福寧各屬に駐る。

(九)陸軍警備司令　何護崑部　建甌・崇安・浦城に駐る。

(十)安慶・漳平警備司令　楊漢烈部　安溪に駐る。

以上共計約二萬人內外　張毅・盧興榮を除くの外は銃兵機械等皆不十分なり。

此の外尙陳榮標等の部の獨立團及び遊擊隊第一・二・三・四等の隊あり。分れて永泰等の處に駐れるもの共計約一千餘人。

以上總計約五萬人內外に過ぎず。周蔭人は敗餘孫傳芳に指揮を請へるに孫は云ふ、閩南は收復し易く、閩北の防務緊要なれば反攻の必要なく、只戰區を縮小し、張毅をして漳州を放ち、李鳳翔に汀州を棄てしめ、更に重兵を派して泉州・福州を固守し、汀州方面を截斷せしむべしと。此れ周督辦が現に反攻計畫を捨て專ら閩北を固守する所以の原因なりといふ。(十一月八日ー福州消息)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□汀州・漳州を失ひし後の福建軍新計畫

汀州・漳州の陷落は何の劇戰もなしに行はれたるものにして、福建軍の漳州に在るもの即ち第一師と、汀州に在るの第三師及び第一混成旅衛隊旅は黨軍と小接觸ある毎に直ちに退きたるなり。張毅の第一師は同安に退き、第三師等は分れて寧化・連城に退けり。近日漳州・同安方面の戰局は如何といふに、黨軍已に進展して江東橋角尾に至る。張毅師團は重兵を以て長泰を扼守しけるに、黨軍は葉定國部を用ひて張軍の陣線を衝かしむ、現に黨軍の譚曙卿・馮軼裴・張貞・曹萬順・杜起雲の各部は皆漳州龍游に集中して未だ同安に入らず。同安已に黨軍の得る所と爲り、張毅退いて泉州に入ると傳ふるものあるも倘ほ未だ確かならず。安溪・永春の民軍・陳國輝・莊文泉・盧方珍の三部は皆已に黨軍の改編を受け、現に安永縣城に駐れる楊漢烈・吳威の兩部は亦漸く態度の變更を生じ、黨軍中へ附きしとの消息あり。泉州同安の形勢大に緊張せるを見る。某所の秘密諜報によるに福建當局は九江守を失ひしとの報を得しより福建省に對する軍事計畫は俄に變化し、汀州・漳州を放棄せしは其の第一步の行動にして、將來必要の時は再び泉州同安を放棄し、最後の結果或は福建全省を放棄し退いて浙江に入るに至らん。故に近來福州軍隊が積極に上游に出發するを除くの外、其の泉州同安に於ける軍隊は已に二路を分ちて上游に向ひて退き、一路は道を莆田・福清に取り福州を經て上游に入り、一路は莆田・仙遊より永泰を經て、後方を斷つには張毅の全師を以てす。或は又謂ふ、周蔭人は永定に失敗せしより後反攻の計畫未だ定らざるに、忽ち九江守を失ふの報に接し、福建軍がたとひ能く汀州・漳州を保全するも孤立無援を奈何せん。其の上江西に在る黨軍が兵を分ちて福建の上游を切り止めんには福建軍は首尾に敵を受け江蘇・浙江と聲氣を通ずる能はざるを知る。故に防禦線を短縮し汀州・漳州を棄て、大軍を召集して上游の建甯・泰甯・崇浦・光澤の一帶に集結せしめ、張毅・孔昭同・蕭勝標・蔣啓鳳の各部を用ひ、力を竭くして泉州・同安・莆田・仙遊を扼守せしめ、若し莆田・仙遊・泉州・同安にして守る能はざらんには福州を放棄して閩北を固守して江蘇・浙江と相聯通せんと決定したり。(十一月二十日―福州急信)

□革命北伐軍最初の陣容

本年六月初蔣介石は自ら革命軍總司令官の職に就き同時に所有手段を以て彼方時宜たる内部の結束を圖り、軍資の出所を求めて、早く第二・第四・第六・第七の各軍部隊を北江に集中し、北伐軍總司令に兼任し、北向出征したり。蔣介石嘗て豪語して曰く、吾二十師の

學生軍を養成し得ば以て支那全國を統一することは易々たるものなりと。而して今や外は對英罷工を續行し、內は反革命分子を驅逐して後顧の憂を除くや、一致團結せる一萬の學生軍と、更に之に共鳴せる何應欽・譚延闓・朱培德・李濟深・李福林・程潜・李宗仁の與黨を糾合して、二十師を率ゐ、自ら革命軍總司令となり、出師北伐を決行す。其の壯や想ふべし。並に其の配下に屬せる所謂革命軍に就きて其の編成內容を見るに左の如し。(現在多少の相違を生ぜり)

第一軍々長　何應欽　副黨代表　周恩來　參謀長　蔣伯誠
副官長　徐朝光　第一師長　錢大鈞　第十四師長　馮軼裴
第三師長　譚曙卿
第二軍々長　譚延闓　副軍長　魯滌平　參謀長　岳森
第四師長　張輝瓚　第五師長　譚道源　第六師長　戴岳
教導師長　陳嘉祐
第三軍々長　朱培德　副黨代表　朱克靖　參謀長　黃實
第七師長　王均　第八師長　朱世貴　第九師長　朱培德兼職
副師長　顧德恒
第四軍々長　李濟深　副軍長　陳可鈺　參謀長　鄧演存
第十三師長　徐景棠　第十師長　陳銘樞　第十一師長　陳濟棠
第十二師長　張發奎
第五軍々長　李福林　總指揮　李芳　參謀長　練炳章
第六軍々長　程潜　副黨代表　林祖涵　參謀長　張振武
第十七師長　吳鐵城(缺)　第十八師長　胡謙
第十九師長　楊源
第七軍々長　李宗仁　參謀長　白崇禧
軍事委員會直轄軍隊　第二師長　劉峙　參謀長　張治平
第二十師長　王柏齡　副師長　林振雄

(十月六日—廣東情報)(臺銀)

□廣東政府左右派消長の現勢

汪の復職は蔣の引退とならん　久しく閑散の地位に在りし汪兆銘は現に歸廣復職を宣布せるが、果して然らば汪必ず軍事委員に兼任し孫中山時代の陸海大元帥と多く讓らず。而して蔣中正の現勢力は必ず之が爲め急轉直下せん。蓋し汪の歸任は啻に蔣の引退のみならず、國民黨方面は汪の復職を俟ち從來の勞農主義を放棄して專ら人心を收攬し局面を轉回するを力め、純然たる孫中山主義に歸還せんされば蔣派を傳ふる李章達は已に公安局長を辭し汪氏の親戚沈良を副局長とせんとするの說あり。又蔣派張靜江の姪、張九燾は前に廣東大學校長に任する議ありしも、右派鄒天仇が入廣の後、張は校長を讓りたれば、廣東大學の勢力は已に漸く右派の占有する所と爲れり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各方面の左派に至りても汪の就任既に確實となりたるに因り、已に一般に軟化に趨くの色あり。（十一月十日―順天時報廣州消息）

□閩粵第一會戰後の革命第一軍狀勢

第一會戰に依る革命第一軍戰力の消耗　閩粵省境附近に於ける第一會戰は福建主力軍の後方に在りし福建陸軍第三師が、突如廣東軍側に內應せしため、福建軍は一時退却したり。廣東軍亦此の機會に乘じ福建軍を省外に驅逐するを得たりと雖も、其の受けたる損害に至りては、福建軍に比し却りて大にして、死傷者の數千二・三百人に達し、概して其の第一軍主力四千の三分の一の戰鬪力を消耗せしものと謂ふべし。

戰力補充の困難　革命第一軍長何應欽は第一會戰後直ちに廣東國民政府に向ひ兵力及武器彈藥の補充を請求せるも政府は長江方面の補救に急なる爲め之に應ずる能はず。故に第一軍方面にては自己獨力を以て補充を圖る必要に迫られ、財政の困難と共に兵員の增募も十分ならず、全く少數の俘虜を用ふるの外なき狀態に在り。而して武器彈藥の補給も亦同樣に困難なるものに似たり。

現在に於ける第一軍の態勢　戰力の恢復迅速を期する能はざる關係上、現在にては只僅に福建省內の要點に侵入占領せしめるのみにて、第一會戰の勝に乘じ延平附近に進出するの好機を失へり。今占領地點と時日・部隊の名を表列すること左の如し。

占領地點	占領時日	占領部隊	摘要
詔安	十月四日	獨立第四師（張貞の一部）	詔安・平和共に福建第一師張毅の放棄せしものなり
平和	十月二十四日		
龍岩	十月二十日	軍官學校學生隊（五百）	福建第三師に加入しありしもの
上杭	十月二十七日	革命第十七軍	李師長が衛隊と共に一時此地に駐れり
汀州府一帶	從來より	舊福建第三師の內應せるもの李師長は周督辦に服從	
古城（汀州西二十五吉）	十月十八日	革命第十四軍（賴世璜）	江西省贛州に在りしものなるも會昌・瑞金を經て侵入せり

内政上の新問題　廣東國民政府は其の政策として勞働者優待の方法を取り來れる結果として工人會の跋扈となり、今や之が對策を如何にすべきやは内政上重大なる問題たらんとしつゝある。

（十一月八日―南支情報）

□東三省商租權と日本の人口問題との關係

本年春夏の頃、日本新聞は東三省商租問題に關して宣傳し、一に中國時局の原狀に恢復せるを俟ちて卽ち談判の開始を行ひ、其交涉方法は北京に於ける芳澤公使より中央政府に對し直接交涉し、奉天方面は吉田領事より奉天當局に向ひ談判すべしと。又日本政府は駐滿日本領事に訓令を發し、五月初旬、奉天に於いて會議を擧行し、其開會の目的は滿蒙の各問題を商議するを以て主と爲すべし云々と。其後多くの日數を經過せしも、尙我が國（中國）の時局安定せざるにより、今日迄表示する所無かりしが、竟に近日奉天當局は委員を派遣し、日本に赴かしむべしと。而して各新聞は又東三省商租問題を記載し、又復舊事を重れて提議するに至れり。所謂商租權問題は、卽ち日本人の東三省の土地に對し、賃貸關係の商租權を撤消し、而して日本人と中國人とをして同じく土地の所有權を有せしむる事を主張せるものなり（新聞記載の南滿鐵道東京支店理事入江氏の談話を見るべし）。然れども實際は然らず、卽ち日本人の東三省の土地を租借せるは、今日より始まれるものにあらざるを以て、彼の解決を急ぐは、其更らに一歩を進めたる主張なるは、更に疑義の餘地なく、土地を設けて外人の所有權を承認すべしと云ふは、曾國を得んとするものならんや。竊に憶ふに、目下中日間の重要なる問題は、此れに過ぐるもの無く、國人にして之れを輕視せざれば幸なり。

日本は土地褊小なれども、人口の蕃殖甚だしきを以て、急遽國外の發展を望むにあらざれば、實際存在を圖るに足らざるなり。而して昨年國勢調査の後、今年食糧問題を研究せる結果とにより、東三省の商租權問題に對し、益々至急解決せんと欲するに至りしものにして、否らざれば卽ち生產せらるゝもの寡く、之れを食ふ者衆く、數十年を出でずして、日本人は將に生に安ずるを得ざるに至るべし。昨年十一月一日に於ける、日本の國勢調査に據れば、內地の人口は凡そ五千九百七十三萬六千八百二十二人にして一朝鮮・臺灣・樺太等の人口は其內に含まれざるなり。之れ本問題と甚だしき關係無きにより論ぜざりしなり―過去五年間に於ける每年の平均增加は七十五萬人に及び、日本高知縣の人口に相當す。故に每年高知縣に相當する土地を增加するにあらざれば不可なり。而して況や近來人口增加の尙此數に止まらざるに於てをや。先月日本新聞の記載する所に據れば、十四年度の人口調査は、其前年に比し八十七萬五千人の增加を示せり、故に每年高知縣の土地以上に大なる增加を見るにあらざれば、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

存在を圖るに足らざるなり。然れども土地は天然の賦與にして、無より有に化する事能はず、而して宇内を環顧するに、已に日本人の足を挿む土地無し。此れ日本人の充滿する患にして、終に我が（中國）東三省を以て尾閭と爲さゞるを得ざるに至れるなり。

日本内地の面積は、米國カリホルニア州一州に等しきに過ぎず、而して米國カリホルニア州の人口は三百萬人に過ぎざれども、而も日本内地は、六千萬人を飽容せるを以て、其人煙の稠密なる事は其極と謂ふべし。それ人口を以て土地面積と比較すれば、即ち和蘭・英國・白耳義等諸國の密度は、尙遠く日本に過ぐるを以て、人をして杞憂せしむるに足らざるものゝ如し。但し英國の領土は天下に遍く、而して和蘭・白耳義兩國は多く商工業の繁盛なる區域にして、國民生活も尙豐富に屬せり。日本内地は山多く、耕地比較的少きを以て、若し耕地面積と人口とを比較しなば、實際人口の最も稠密なる國と稱すべく、即ち一平方粁に就き約一千人を飽容する事となり、白耳義は約四百人、和蘭・英國は約二百五十人なるを以て、即ち人口の增殖率を以て論ずるも、亦日本を首位として一指を屈せざるべからざるなり。茲に各國に於ける每年一千人中の增殖率に就き列記すれば左表の如し。（民國十年調査）

日本	一二・四
英國	一〇・〇
佛國	三・〇
伊太利	一一・九
獨逸	一一・四

是によりて觀れば、日本は每年一千人中十二人强の增加にして、世界に於ける人口蕃殖の冠たり。故に人の充滿する患は、即ち目前にあるを以て、其各政黨の本年之れを新目標として揭げ、極力研究し、以て之れを解決せんと欲するは、怪しむに足らざるなり。

更らに日本の食糧問題を論ずるに、日本は彈丸的三島の地に於いて、人口の蕃殖頻りに加はり、而して土地の開墾殆んど盡きたるを以て、日本政府の已に憂慮する所となり、本年四月五日政務會議を開きし時、農林次官小山氏は、特に國内の食糧供求狀況に就き、大正四十四年四月に至る—即ち三十年後—は年一年に逼迫し、勢必ず全國に亙り盡く餓死すべしと推算し、會議中警告を提出し、此時に當りて擧國一致して食糧充實の研究に着手する政策の必要なるを力說し、以て此種の絕大なる危機を消滅せしむべく求めたり。茲に當日の推算情態及び小山氏の擬せる將來施行の方法を披露すれば、左の如し。

（一）人口　日本内地の人口は、現在五千九百七十餘萬人にして、每年一千人中、普通十二人强の增加に當れるを以て、即ち三十年後は、實に八千五百三萬人の多數に達するなり。

（二）平均每人の消費量　每人一年に食ふ雜糧の總量は、之れを過去二十年に徵すれば皆大增減無かるべし。但し米麥兩者の間に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、卽ち若干の變動無しとせず、其推移左の如し。(單位石)

	大正十四年	大正四十四年
米	一・一四〇	一・二〇一
大麥	〇・一四六	〇・〇三六
裸麥	〇・一二八	〇・〇六八
小麥	〇・一五四	〇・二三七

(三)三十年後の需要　上記人口と食糧の二點より之れを計れば、卽ち三十年後は、米一億二百十二萬五千石・小麥二千十五萬三千石・大麥三百六萬一千石・裸麥五百七十八萬二千石を要すべく、現在の消費量と比較すれば、大麥は五百五十七萬五千石を減じ、裸麥は百七十九萬石を減ずべしと雖、而も米は三千四百六十八萬九千石を增加し、小麥は一千百四萬三千石を增加すべし。

(四)將來日本內地の生產　今後道路・鐵道・水路・河川等を設けて破壞せしめず、人民をして其全力を集め、山阪海荒の地を開墾せしめ得ば、卽ち今後三十年間に於て、田地は四十萬二千二百町步に增加すべく、園藝地は十五萬一千百町步(町步は日本地積の單位なり)を減少すべし、技術方面の自然的改良により、水稻・陸稻は漸次豐收すべく、之れを已往二十年の經驗に證すれば、內地は米七千四百六十八萬九千石(現在は五千九百二十五萬一千石)を產すべく麥一千三百七十八萬三千石(現在は二千百十萬五千石)を產すべし。

(五)新領土の供給を加へたる結果　朝鮮・臺灣兩總督府は、現在已に其米產額增殖計畫の進行に努力し、漸次內地移入米額をして增加せしめ居るを以て、卽ち三十年後に於ける殖民地の狀態を推算すれば、其本地に於ける必需の供給を除き、尙一千七百一萬四千石の米を內地に供給するの能力を有すべし。是により三十年後、內地に於ける食糧の總計は、米は九千百七十萬三千石となり、麥は一千三百七十八萬三千石となるべし。然れども當時人民の生命に必要なる供求量に對する關係は、實際猶米一千萬石以上を缺き、麥一千五百萬石以上を缺く事となるべし。其供求の關係を計れば下の如し。

(單位千石)

	需求	供給	不足額
米	一〇二・一二五	九一・七〇三	一〇・四二二
麥	二八・九九六	一三・七八三	一五・二一三

以上の實情は小山氏の報告なり。

是より觀れば、卽ち日本にして荒地の開墾に盡力するも、三十年後に至り食糧は尙缺乏の虞あり。又聞くに小山氏は、政府に於て每年四千二百五十萬圓を準備し、以て耕地の改良及び擴張の用に備へ、米の恐るべき荒象を緩和すべく主張せりと。但し土地は報酬を受くる事漸減の法則に支配せらるるを以て、恐らくは亦救濟する所無かるべし。食糧缺乏の狀況斯の如く、人口蕃殖の狀況又彼の如くなるを以て、日本の此問題を解決すべき計は、只左の兩途に出づべきのみ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、產兒制限

二、滿蒙の移民

產兒の制限は、容易の事にあらざるなり。且つ日露戰爭以來、日本は環境の刺戟を受け、尙人口增加の必要ある事を感ぜり。故に墮胎者に對しては、槪して苛酷の刑に處せり。且つ此消極的方法は、尤も道德風紀と關係あるを以て、爲政者は何ぞ此政策を行ひ得べき。此政策にして旣に行ふ事能はざれば、卽ち唯積極的方法を取るの一法あるのみ、之れを換言すれば、卽ち國外への移民是れなり。然れども西に向ひて發展せんと欲するや、一卽ち米國に於ける排日の風潮は、今や尤も激烈にして、絕對に日本人の足を入るゝ餘地無し。南に向ひて侵略せんと欲するや、一卽ち南洋群島は、已に先に各帝國主義者の侵略占領せる所にして、亦日本人の染指し得る所にあらず。北に向ひて伸張せんと欲するや、一卽ち極寒の地にして寸草も生育せず、ありと雖も無きもの丶如く、且つ亦容易に得られざるなり。茲に至り、我が(中國)滿蒙を以て尾閭と爲さゞるを得ざるなり。土地は廣大無邊にして物產は蘊藏竭きざるを以て、旣に民を移して粟を得せしめ得べく、亦粟を移して民に得せしめ得べく、況や我が(中國)國政紊亂し、人民憔悴せる時代なれば、更に容易に取求し得べく、而して其侵略の野心を成せるなり。今や東三省の金融權・森林權・企業權等は、一として日本人の手中にあらざるは無く、餘す所は唯一の土地權のみなり。然れども土地權にして解決せざれば、日本人は尙自由に居住する方便無きなり。但し此土地權の喪失せる後、東三省の版圖は、尙我が國(中國)なりと謂ひ得べきや否やは知らざれども、國人の此點に關し、深長な考慮を願ふものなり。

東三省は我が(中國)土地なり。然るに日本人の敢て悍然商租權を提出せるは、實に二十一箇條にして之れが祟なり。惟ふに二十一箇條中第六條に曰く「日本官吏及び人民は南滿及び東部內蒙古に於て土地を租借及び商租し商業及び製造或は農業の爲めの建物の地と爲す事を得」と。夫れ二十一箇條は固より我が(中國)國民の終始承認せざるものなり。今にして若し其商租權を承認すれば、是れ二十一箇條を有效なりと承認せるものと異なる所無く、其關係は豈に僅に東三省一隅の問題なるのみならんや。今や此問題は已に敢へて實現すべき趨勢にあり、我が(中國)外交當局の嘗て之れに抵抗すべき方法を講究せしや否やは知らざれども、而も我が(中國)一般國民にして此問題に對し、若し對岸の火事の如く看做し、無關心なれば、他日臍を噬むも及ばざるなり。望む所は、國民の急遽起ちて直に之を追ひ、我が(中國)東三省の版圖をして自由に變色し得ざらしむる事なり。(上海總商會月報十月號方宗鰲)

□上海浦東の職工模範村

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海埠頭の苦力人口は二三十萬人を下らず。多くは邊僻の地區に就き茅屋を結びて住居し、或は五六家共同して一の瓦葺の家を租借し居れるが、不衛生の上に火事を生じ易き爲め、四川路なる青年會は特に浦東爛泥渡に在りて六畝(一畝は我が邦の六畝に當る)の地を購入して三十二戸の家屋を建て廉價に貸與することゝし、之を名付けて浦東職工模範村といひ、約十月末に十二戸だけ竣工せしむべし。今其の内容及各事情を記すること左の如し。

村の原因　上海滯在の苦力は大半他地より來りしものにて其の勞働により得る所の金は甚だ微少なれば前記の如き目白押の如き住み方を爲し居り、臥室・厨房・廁所の區別なく、其の混雜にして汚穢なること名狀すべからず。しかも戸内戸外到る處に廢物塵埃充積し、簡陋なる上に火事を起し易し。現に恒豐路の火災には一時に草屋七百餘棚を奮め盡され、歸るに家なきもの二千餘人に至れるが如き、此れ其の一例なり。更に每年疫疾の流行の爲め死亡するもの數ふるに堪ふべからず。故に此の諸弊害を除かんとてかく模範村を建設するに至れるなり。

村の布置　村の敷地は我が三段六畝歩にて、此の地上に三十二戸の家屋を建築せんとて、現に工事中のも計十二戸あり、二戸づゝ連接して一列を爲し、中間の空地を村人の運動場及び公社の用に供し、每戸住室・臥室・盥洗室・厨房の四種に分ち、室内の地は平地より一尺高くし、濕氣の侵入を免るゝ樣になし、壁には竹を用ひて之に石灰を塗り、屋上は氈布を用ひ更に磚瓦を以て之を蓋ひ、盥洗室は寢室の傍に置き、厨房は住室の傍に設け、其分を隔離したるは清潔と靜安とを保ち易からしむるに在り。公社と運動場とは村民の游息所に充てたり。

公社の事業　公社にて擧行すべき事業甚だ多きも、中に就き尤も必要なるものを見童の看護・消費組合・職業指導・節儉衛生・平民夜學及び娛樂社交・保險運動等とす。

村内の行政　村内の行政は暫く創辦人より代管し、英國の辦法に倣ひ、資金を捐助せる公正人士中より董事六人を擧げ、村戸聯合會の成立を俟ち、其の中より一人を推選して董事部を組織す。董事部の職權は收租の管理・公社事業の辦理及び居住規則の擬訂とす。又村戸聯合會は家每に一人を擧げ、一人每に一個の投票權を有せしむ。或は董事會の委任を受けて公衆に有益なる事務を建議するには、將來可能時期に達すれば董事を董事會に增加して全村の幸福を謀ることを得。

資金捐助の數　今次の捐助資金は一萬二千兩なるが、中國轉運公司韓玉麟及英米煙草公司の捐金を最大と爲す。三反六畝の地所購入費に六千兩を用ひ其の餘は家屋建築等の用に供し、三十二戸・每戸約二百九十六元の割合なり。

借家規則　(一)當村の規則を遵守すべし。(二)居住者は須く正當なる職業及び確實穩當の保證人あるべし。(三)屋數每に一家の居住

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を許すも單身客の混居を許さず。(四)居住者勞銀は二十元以内たるべし。(五)居住者は家族あるべし。(六)鴉片を吸ひ賭博するを許さず。(七)須く清潔を保持して任意に汚穢の物を拋棄すべからず。(八)家賃は停滯三箇月に至るを得ず。(九)村の門の定時に閉鎖せし後は要事あるに非れば出入するを得ず(十)花木を愛惜すべし。

借賃の處分　毎戸月に三元とし、百分の二十を修理費とし、百分の三十を村中の公共消費とし、百分の五十を貯蓄して利を生み、以て將來家屋を改造する用に供す。(十月二日—新聞報)

香港

□一九二七年度新豫算

十一月五日附香港政廳官報によれば、同月四日立法會議に於て通過した新年度豫算が次の如く發表されてゐる。總額一七、七四一、五四三弗となつて居て、之れを前年、前々年に比べると著しく減少して居る。今各歲出種目別に之を示せば次の樣である。

一九二七年度豫算

項目	歲出豫算額(弗)
總督費	一〇一、三一九
キャデット・サーヴィス	三一九、二〇〇
上級書記及會計官	一五五、二四八
下級書記官	七三三、一一六
民政長官部及立法部	四六、二七五
支那事務局	一一、七二九
財務局	一五、二六四
會計檢査部	四四、〇九二
北部地方局	二〇、九〇五
南部地方局	一〇、一八一
郵便局	一五五、三二一
輸出入局	八五五、七六七
港務局	七三七、一四六
王立氣象臺	三五、二七五
消防部	二三〇、七九九
高等法院	一四九、七七七
檢事總長	二二、五三八
刑事訴訟師	三八、七〇四
破産管財官	九、五四六
土地登記部	二三、六三三
香港判事	二、二〇六
九龍判事	二、二四八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

警務局	一、八二六、五九二
監獄局	五一二、一六七
醫務局	七八一、九九一
衛生局	六九五、三六三
園林局	九八、三二〇
教育局	一、一六三、九四三
土木局	一、四九二、二八一
同繼續事業費	一、五四〇、四〇〇
同特別支出費	三、七〇六、二六四
九・廣鐵道	六五〇、〇三三
防備志願兵團費	六四、二九九
帝國海軍志願兵豫備費	四〇、〇〇〇
雜支出	六七七、二二三
慈善費	九六、四七五
年金	六七五、九〇三
計	一七、七四一、五四三

佛領印度支那

□一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易（一）

一、海運

一九二五年船舶入港隻數及噸數表（前年對照）

船籍	一九二四年 隻	一九二四年 噸	一九二五年 隻	一九二五年 噸	差 一九二四年 隻	差 一九二四年 噸	差 一九二五年 隻	差 一九二五年 噸
佛蘭西	三三一	一、一七〇、三三八	二八九	一、二一三、四八四	四二	—	—	四三、一四六
英吉利	三四七	七四三、九六六	三〇六	七二九、一七九	四一	一四、七八七	—	—
獨逸	—	—	一〇	五六、八八七	—	—	一〇	五六、八八七
諾威	一二九	二六二、六二三	一三八	二六九、〇六〇	—	—	九	六、四三八
和蘭	四六	一二六、六一二	四九	一八〇、三三五	—	—	三	五三、七二四
米國	七一	二四二、九二五	三五	一七五、五一九	三六	六七、四〇六	—	—
日本	一九六	五六六、五六六	二六七	八六一、九四七	—	—	七一	二九五、三八一

船籍	一九二四年 隻	一九二四年 噸	一九二五年 隻	一九二五年 噸	差 一九二四年 隻	差 一九二四年 噸	差 一九二五年 隻	差 一九二五年 噸
瑞典	二	三三,九九二	—	—	二	三三,九九二	—	—
葡萄牙	一五	二三,五五五	二〇	二一,三三五	—	—	五	八,六七〇
丁抹	二六	二一,九四一	二八	二四,四九四	—	—	二	二,五五三
伊太利	一	五,三三八	二	一一,六四九	—	—	一	六,三一一
露西亞	五	二三,九三三	—	—	五	二三,九三三	—	—
支那	八三	一四四,一〇三	七七	一五〇,三三五	六	—	—	六,二三三
暹羅	五九	九,八八二	六二	一六,〇四五	—	—	三	六,一六三
智利	三八	五一,九三六	一四	二一,一九〇	二四	三〇,七四六	—	—
汽船計	一,三七八	三,四〇五,七〇六	一,三一七	三,七三一,三三九	一六五	一六九,八六三	一〇四	四九五,四四六
支那帆船	一,一八三	三三,七一六	一,四六二	四〇,五七〇	—	—	二七九	六,八五四
土人帆船	三六五	七,九五三	二四七	五,七九八	一一八	二,一五五	—	—
暹羅帆船	一一	一一八	二六	四〇二	—	—	一五	二七四
帆船計	一,五五九	四一,七九七	一,七三五	四六,七七〇	一一八	二,一五五	二九四	七,一七八
總計	二,九三七	三,四四七,五〇三	三,〇五二	三,七七八,一〇九	二八三	一七二,〇一八	三九八	五〇二,六二四

一九二五年船舶出港隻數及噸數表（前年對照）

船籍	一九二四年 隻	一九二四年 噸	一九二五年 隻	一九二五年 噸	差 一九二四年 隻	差 一九二四年 噸	差 一九二五年 隻	差 一九二五年 噸
佛蘭西	三一八	一,一〇二,一二五	二八五	一,一三一,一〇四	三三	—	—	二八,九七九
英吉利	三四四	七三五,七九三	三〇八	七一六,一八二	三六	一九,六一一	—	—

獨逸	—	—	一〇	五六、八八七	—	—	一〇	五六、八八七
諾威	一二九	一六八、一一〇	一三六	二六六、四三三	—	一、六八八	七	—
和蘭	四六	一三三、六五〇	四九	一七四、三六八	—	—	三	五一、七二三
米國	六七	二一七、八〇五	三三	一六〇、五八二	二五	五七、二二三	—	—
日本	二二六	五七四、五六九	二六七	八六五、六〇〇	—	—	七一	二九〇、〇三二
瑞典	一二	三三、九九二	—	—	二	三三、九九二	—	—
葡萄牙	一六	一三、三八八	二〇	二一、三三五	—	—	四	七、八三七
丁抹	二六	二〇、九九一	二七	三三、九六七	—	—	一	二、九七六
伊太利	一	五、三三八	二	二一、六四九	—	—	一	六、三一二
露西亞	五	三、九三三	—	—	五	三、九三三	—	—
支那	八〇七	一五三、六四六	七七	一四五、四六七	一〇	八、一七九	—	—
暹羅	五九	九、八八二	六三	一六、〇四五	—	—	三	六、一六三
智利	三六	五〇、三三八	一五	三三、七八八	二	二七、五四〇	—	—
汽船計	一、三六一	三、三三二、五五五	一、三一〇	三、六一二、二八六	一五一	一七一、一六五	一〇〇	四五〇、八九六
支那帆船	一、〇八七	三三、七六五	一、一三三	三五、五八九	—	—	一四六	二、八二四
土人帆船	四〇一	一〇、一五二	四〇一	二、七四二	一〇〇	八、四二〇	—	—
暹羅帆船	七	九三	二七	二二一	—	—	二〇	一二八
帆船計	一、四九五	四四、〇一〇	一、五六一	三八、五五二	一〇〇	八、四二〇	一六六	二、九五二
總計	二、八五六	三、三七六、五六五	二、八七一	三、六五〇、八三八	二五一	一七九、五八五	二六六	四五三、八四八

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前二表を見るに、一九二五年度印度支那の海運界船舶輸出入總計五、九二三隻、七、四二八、九四七噸、即ち入港隻數三、〇五二隻、同噸數三、七七八、一〇九噸、出港隻數二、八七一隻、同噸數三、六五〇、八三八噸を示してゐる。

之を前年度と比較すれば、一三〇隻、五七七、八七九噸、即ち入港船舶は一一五隻、三〇三、六〇六噸、出港は一五隻、二七四、二七三噸の増加となる。

次表は一九二四年の報告より、佛國汽船、其他外國汽船別により摘出したる數字と一九二五年の之に對する數字を比較したものである。

		一九二四年 隻數	一九二四年 噸數	一九二五年 隻數	一九二五年 噸數
入港	佛國汽船	二三一	一、一七〇、三六八	二八九	一、一三三、四八四
	外國汽船	一、〇四七	二、二三五、三三八	一、〇二八	二、五一七、八五五
	計	一、二七八	三、四〇五、七〇六	一、三一七	三、六五一、三三九
出港	佛國汽船	三一八	一、一〇二、一二五	二八五	一、一三一、一〇四
	外國汽船	一、〇四三	二、二三〇、四三〇	一、〇二五	二、四八一、一八二
	計	一、三六一	三、三三二、五五五	一、三一〇	三、六一二、二八六

即ち入港汽船は前年に比し、六一隻の減少を示してゐるが、噸數に於ては三二五、六三三噸の増加となつてゐる。

今少しく詳しく言へば、佛國汽船は、一九隻、二八二、四八七噸の増加、外國汽船は、四二隻の減少に對し、四三、一四六噸の増加となる。

出港汽船は前年に比し、五一隻を減じ、二七九、七三一噸の増加を示し、その中、佛國汽船は三三隻を減じ、噸數は反對に二八、九七九噸の増加、外國汽船は一八隻の減少に對し、二五〇、七五〇噸の増加を示してゐる。

次に各國汽船の印度支那入出港隻數合計をその順位に列擧すれば次の通りである。

	一九二五年	一九二四年
英吉利	六一四	六九一
佛蘭西	五七四	六四九
日本	五七四	四三二
諾威	二七四	二五八
支那	一五四	一七〇
暹羅	一二四	一一八
和蘭	九八	九二
米國	六七	一三八
丁抹	五五	五二
葡萄牙	四〇	三一
智利	二九	七四
獨逸	二〇	—
伊太利	四	一

けれども噸數の方から見れば、佛蘭西汽船が第一位に在り、以下日本、英吉利の順位に在る。以下先年對照一九二五年印度支那出入港各國汽船噸數を順位に揭げて見やう。

	一九二五年	一九二四年
佛蘭西	二,三四四,五八八	二,二七二,四六三
日本	一,七二七,五四七	一,一四二,一三五
英吉利	一,四四五,三六一	一,四七九,七五九
諾威	五三五,四八二	五三〇,七三三
和蘭	三五四,六九三	三三九,三六一
米國	三三六,一〇一	四六〇,七三〇
支那	二九五,八〇二	二九七,七四八
獨逸	二一三,七七四	—
丁抹	四八,四六一	四三,九三三
智利	四三,九七八	一〇二,二六四
葡萄牙	四二,四五〇	二五,九四二
暹羅	三二,〇九〇	一九,七六四
伊太利	二三,二九八	一〇,六七六

以上を通覽して、日本の前年第三位に在りたるものが、一九二五年には五八五、四一二噸を增加して第二位になりたること丶、一九一四年以來、來航絕無(一九二二年一隻來航)と言つてもよい獨逸船舶が一九二四年に於て實に二十隻、噸數に於て第八位を占めてゐることは注目に價する事實である。

帆船の分類は次の通りである。

	一九二四年 隻數	一九二四年 噸數	一九二五年 隻數	一九二五年 噸數
支那船	二,二七〇	六六,四八一	二,六九五	七六,一五九
土人船	七六六	一九,一〇五	五四八	八,五四〇
暹羅船	一八	二二一	五三	六二三
合計	三,〇五四	八五,八〇七	三,二九六	八五,三二二

次に印度支那が通商關係を保ちたる諸國との航海關係は次の通りである。

一九二五年中印度支那に入港せる汽船の出發地別

	出發地	佛國船 隻數	佛國船 噸數	外國船 隻數	外國船 噸數	合計 隻數	合計 噸數
汽船	佛蘭西	八三	六七六,一七八	一	五,五八三	八四	六八一,七六一
	佛植民地	五	八,二〇二	二	一一,九五八	七	二〇,一五九
	日本	一	一,五八五	七〇	二七八,八九二	七一	二八〇,四七七
	香港	九三	一三六,六三九	五八〇	一,二八七,三四八	六七三	一,四二三,九八七
	支那	四五	三二三,五一九	一一一	二七二,七一八	一五六	五九六,二三七
	比律賓	五	七,六八五	五四	二〇三,〇〇一	五九	二一〇,六八六
	暹羅	二五	二六,五七五	八三	九一,七三一	一〇八	一一八,三〇六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年印度支那より出でたる汽船の仕向地別

仕向地		佛國船 隻數	佛國船 噸數	外國船 隻數	外國船 噸數	合計 隻數	合計 噸數
汽船	佛蘭西	三八	四九九,六二五	五三	二三八,四二九	九一	七三八,〇五四
	佛植民地	五	八,〇九一	—	—	五	八,〇九一
	日本	一	八,一三三	一〇三	三一六,九九六	一〇四	三二五,一二八
	香港	八六	一三五,八〇七	四八六	九二〇,八三四	五七二	一,〇五六,六四一
	支那	三九	三七二,八五一	一四一	二八五,五六二	一八〇	六五八,四一三
	比律賓	四	六,三四五	三七	七七,八一七	四一	八四,一六〇
	他の南洋諸國	—	—	一	七,〇〇八	一	七,〇〇八
	暹羅	二五	三八,四四八	九一	九二,一四四	一一六	一三〇,五九二
	新嘉坡	二四	二八,七〇二	六九	二一五,〇七一	九三	二四三,七七三
	英領印度	—	—	五	一八,四七四	五	一八,四七四
	蘭領印度	八	六,四〇〇	三三	九五,一〇九	四一	一〇一,五〇九
	米國	—	—	一四	一〇一,八五二	一四	一〇一,八五二
	英國	—	—	四	二〇,九五一	四	二〇,九五一
	其他の歐洲諸國	—	—	二	一五,一六七	二	一五,一六七
帆船	支那	一〇	四三	一,〇三七	二九,三五九	一,〇四七	二九,四〇二
	暹羅	二三七	五,七五六	三五五	七,六三一	五九二	一三,三八七
	新嘉坡	—	—	九六	四,〇八二	九六	四,〇八二
合計		五三六	一,一二九,二八二	二,五一六	二,三五八,八二七	三,〇五二	三,[illegible],一〇九

仕向地		佛國船 隻數	佛國船 噸數	外國船 隻數	外國船 噸數	合計 隻數	合計 噸數
汽船	新嘉坡	四七	六一,五三七	八四	一六五,一四三	一三一	二二六,六八〇
	英領印度	—	—	六	三三,五九七	六	三三,五九七
	蘭領印度	三	二,四〇〇	四〇	一七三,九三八	四三	一七六,三三八
	米國	—	—	一三	七四,八三九	一三	七四,八三九
	南阿	—	—	一	九,四四五	一	九,四四五
	弗利加諸國	—	—	一	二,六六八	一	二,六六八
	英國	—	—	五	三四,〇一六	五	三四,〇一六
	獨逸	一	七,七七〇	一	六,五五三	二	一四,三二三
	其他の歐洲諸國	—	—	二	一五,一六七	二	一五,一六七
帆船	支那	三六	三三九	六四	[illegible]	九七	[illegible]
	暹羅	二〇八	三,四一〇	三三一	[illegible]	四八九	[illegible]
	新嘉坡	—	—	一〇五	[illegible]	一〇五	[illegible]
合計		[illegible]	一,一[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

二、外國貿易

一、一般貿易 (Commerce Général)

	輸入	輸出	合計
一九二五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九二四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
增加額	[illegible]	[illegible]	[illegible]

これを過去五年間の一般貿易と比較すれば

	輸入	輸出	合計
一九二〇年	一、〇九四、九五六、三七三法	一、一八一、三三〇、一三三法	二、二七六、二七六、五〇六法
一九二一年	一、〇七五、九三〇、五一七	一、四七三、一二四、五一七	二、五四九、〇五五、〇三四
一九二二年	一、〇六六、七三九、四八一	一、二七三、九〇〇、六二一	二、三四〇、六四〇、一〇二
一九二三年	一、五三四、八五一、七三三	一、四五三、七八六、〇九七	二、九八八、六三七、八三〇
一九二四年	二、〇二三、九二〇、四四七	二、二三三、四八〇、二三八	四、二五七、三九〇、六八五
平均	一、三五九、二七七、七一〇	一、五二三、一二二、三二一	二、八八二、四〇〇、〇三一
一九二五年	二、六四一、九四五、四七一	三、〇三三、四四〇、九八六	五、六七五、三八六、四五七

一九二五年の一般貿易を前年度に比較する時、貿易額十四億一千七百餘萬法(輸入六億一千八百餘萬法、輸出七億九千九百餘萬法)、即約三三%の増加を示してゐる。

これを詳細に類別すれば次表となる。

イ、一般輸入貿易

	一九二五年	一九二四年	増加額
實際國內消費額	一、七八〇、五〇一、三六七法	一、三八八、五九三、七六八法	三九一、九〇七、五九九法
通過額	四九八、三五二、四四七	四二一、七七四、八六七	七六、五七七、五八〇
保稅倉庫	二〇三、七四四、三二七	一二五、九四六、〇六九	七七、七九八、二五八
再輸出	八八、九〇四、一〇六	五〇、一六四、〇一八	三八、七四〇、〇八八
積換	一、八一〇、七〇三	五四八、一一〇	一、二六二、五九三
假輸入	七八、六三二、五二一	四六、八八三、六一五	三一、七四八、九〇六
計(一般輸入貿易)	二、六四一、九四五、四七一	二、〇二三、九一〇、四四七	六一八、〇三五、〇二四

實際國內消費額は約三〇%の増加を示してゐる。

通過貿易の荷物噸數を前二箇年と比較すれば次の通りとなる。

一九二三年　三二、五〇五噸
一九二四年　三五、一六三噸
一九二五年　三七、五八九噸

一九二五年の通過貿易額は、廣東・雲南等の印度支那總督府に對する敵對行爲により貨物運輸が妨害されなかつたとしたら、恐らく本數字以上によい結果を齎したことであらう。

次に印度支那各國別に於ける一般輸入貿易の増加額は次の如き割合となる。

交趾支那　三六〇、九三一、九八四法
東京　二四二、一五一、八一四法
東埔寨　一一、五七〇、二六九法
安南　三、三八〇、九五七法

ロ、一般輸出貿易

	一九二五年	一九二四年	増加額
特殊貿易	二、四五六、一八四、四三三法	一、七七一、五四一、三五三法	六八四、六四三、〇八〇法
通過	四九八、三五二、四四七	四二一、七七四、八六七	七六、五七七、五八〇
再輸出	八八、九〇四、一〇六	五〇、一六四、〇一八	三八、七四〇、〇八八
計(一般輸出貿易)	三、〇三三、四四〇、九八六	二、二三三、四八〇、二三八	七九九、九六〇、七四八

尙印度支那各國別に於ける一般輸出貿易の增加減少額は次の如し。

交趾支那　五九八、〇七七、八五六法(增)
東京　二〇六、三三三、七五二法(同)
安南　三、六八四、八一八法(減)
東埔寨　七六六、〇四二法(同)

(註)一般貿易は前表にも示す通り、輸入に於ては、國內實際消費額、通過、保稅倉庫、再輸出、積換、假輸入に係るものを合算したもの、又輸出は特殊貿易、通過、再輸出を合計したものである。

次に出て來る特殊貿易の輸入は、一般貿易の輸入の國內實際消費額に當り、輸出は一般輸出の特殊貿易に當る。從つて特殊貿易こそ純粹の外國貿易と見て差支へない。

二、特殊貿易(Commerce Special)

	輸入	輸出	合計
一九二五年	一、七八〇、五〇一、三六七法	二、四五六、一八四、四三三法	四、二三六、六八五、八〇〇法
一九二四年	一、三八八、五九三、七六八	一、七七一、五四一、三五三	三、一六〇、一三五、一二一
增加額	三九一、九〇七、五九九	六八四、六四三、〇八〇	一、〇七六、五五〇、六七九

これを過去五年の特殊貿易と對照すれば、

	輸入	輸出	合計
一九二〇年	八四八、一三〇、五〇四法	九八二、〇七二、六五四法	一、八三〇、二〇三、一五八法
一九二一年	八〇七、七二九、三六二	一、二八四、〇〇五、八八五	二、〇九一、七三五、二四七
一九二二年	八三九、三六三、一〇五	一、一一二、〇八二、四〇五	一、九五一、四四五、五一〇
一九二三年	一、〇九三、五二六、八二〇	一、一五四、八二三、六〇六	二、二四八、三五〇、四二六
一九二四年	一、三八八、五九三、七六八	一、七七一、五四一、三五三	三、一六〇、一三五、一二一
平均	九九五、四六八、七一二	一、二六〇、九〇二、七八〇	二、二五六、三七一、四九二
一九二五年	一、七八〇、五〇一、三六七	二、四五六、一八四、四三三	四、二三六、六八五、八〇〇

右表に示す通り、一九二五年の特殊貿易は、輸入三億九十餘萬法、輸出六億八千四百餘萬法、計十億七千六百餘萬法といふ著しき增加を示し、前年に比し三四%方增加した割合となる。

又前五箇年の合計平均二、二五六、三七一、四九二法に比較すれば、一九二五年の增加割合は實に八七%の增加を示してゐる。

イ、輸入貿易總說

	一九二五年	一九二四年	增加額
佛國及佛植民地	九五三、一六九、六〇六法	七二三、四〇八、四二〇法	二四〇、七六一、一八六法
外國	八二七、三三一、七六一	六六五、一八五、三四八	一五一、一四六、四一三
合計	一、七八〇、五〇一、三六七	一、三八八、五九三、七六八	三九一、九〇七、五九九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年には八九、六一四、七七三法といふ莫大な數字を示してゐる。

この著しく增加せる原因は、大部分ピアストル相場の昂騰により、佛本國間の商取引に良結果を齎したに因るものと見ることが出來る。

尙過去五箇年間の平均と比較する時、一九二五年輸入合計の增加は七八五、〇三二、六五五法（七八%の增加）といふ著しき增加を示し、その內譯は、佛國及佛植民地、五二七、三七一、四二一法、外國、二五七、六六一、二三四法となる。

今更に之を細別し、印度支那各國別の輸入統計を擧ぐれば次の通りである。

	佛國及佛植民地	外國	合計	一九二四年合計	增加額
交趾支那	五六五、六六三、三七五法	五一二、六四一、四一四法	一、〇七八、三〇四、七八九法	八一八、五一五、六二〇法	二五九、七八九、一六九法
東京	三三一、四九四、六九九	二八〇、八六〇、一四五	六一二、三五四、八四四	四九二、〇〇三、二六五	一二〇、三五一、五七九
安南	二七、九六七、二九九	一八、三三〇、八七二	四六、二九八、一七一	四六、〇三八、六九七	二五九、四七四
東埔寨	二八、〇四四、二三三	一五、四九九、三三〇	四三、五四三、五六三	三二、〇三六、一八六	一一、五〇七、三七七

重なる輸入品連年比較表（單位千法）（一九二五年の順位）

	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年
綿布	一〇五、六六四	一一九、四七三	一七六、六二八	一九八、二二九	二六四、六八二
石油及椿油	二五、九二〇	三〇、〇四二	六八、四二〇	九一、二〇一	一一一、一四六
金屬製品類	三六、一四〇	四四、〇四九	四八、八九三	七〇、九九二	八八、九二九
機械類	三四、四四九	四一、七〇四	三八、一二五	六四、八八五	八六、五三九
絹織物	二八、三三〇	二八、三三三	四五、一一五	四八、四八六	七四、〇四八
棉花	一二、一一三	一四、七七四	二三、五四七	五〇、七四二	六一、九二三
鐵及鋼鐵	二四、九三九	四〇、九〇四	三六、三一三	四五、〇六三	五六、六四一
自動車類	一三、〇三四	一五、四八八	一九、九三六	三五、一〇七	四九、一九四
小麥粉	一二、四一九	一二、八三八	一七、四三六	三二、二六九	四一、四五五
化學製品	九、七五五	六、七七四	二五、九一〇	二九、七八一	四一、三〇八
卷煙草	一三、四二三	八、三四六	一二、九九九	三三、〇二〇	三九、〇〇三
罐詰製品	一二、九七六	一七、三九六	二二、六三八	二四、六一八	三四、八三六
各種葡萄酒	一四、二九五	一三、一四〇	二四、一〇三	二四、六六一	三三、五四〇
綿絲	一二、九二〇	一六、九九七	二三、九五九	二七、一五七	三三、四一五
金塊及金棒	六三六	三、五一〇	八、六二三	一七、六一〇	二九、四三六
茶	八、二二五	七、六九一	一〇、八七五	二七、四二三	二七、五八二
砂糖	二六、六二七	二三、五二三	一二、四二六	一九、二七二	二六、〇三六

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及日本の磁器	一三、八一四	一一、一一四	一〇、七四七	一七、八七七	二五、〇六九
野菜	六、三一二	七、五三七	二、八二二	二三、一四八	二四、一五〇
兵器、火薬、彈丸	一五、五四九	一〇、四〇一	一五、五六四	二〇、二三六	三三、四三〇
加工皮及毛皮	五、一三六	四、九七七	七、二二〇	一二、一一三	一九、〇一六
食卓用果物	六、〇五七	四、八五一	一六、七四三	一五、九五三	一八、九〇一
毛織物	五、四一二	三、一四六	八、二三四	一〇、七一二	一八、三一六
檳榔の乾果	八、二二九	六、一三六	六、九七五	六、〇三〇	一八、三〇九
自轉車及部分品	二、九七三	三、七五八	八、〇五八	八、八六八	一五、一九八
蒸溜酒	三、五四八	四、二六六	五、三一七	八、三四三	一四、九〇四
砂糖入煉乳	四、三二五	五、七六二	一二、四三五	一五、四二三	一四、二七五
麻絲、麻縄、麻綱	一四、一二四	一、九四九	七、七四八	八、六八五	一三、九四五
衣服及下着	五、一四七	三、九四八	九、九四一	一三、八一七	一三、四六五
麻織物	四六、七四一	一三、一三六	一一、三一九	一、七八四	一三、九〇六
亞麻大麻絲	三、三七一	三、五四五	一一、七〇二	九、三七七	一二、二六二
支那産薬材	三、一八一	三、四二五	一一、〇八五	九、六一三	一〇、四六六
金銀細工寶石時計	二、九八一	六、〇七九	六、三四二	七、二五二	一〇、四三二
魚類	九五七	八七五	三、六一三	五、九九八	一〇、三七三
書籍、新聞、版畫及其他の印刷物	三七、九四六	三九、三九七	三、九六九	九、五五一	一〇、三四六
支那素麺	五、〇二九	四、七三二	九、七四六	一〇、四〇九	一〇、三二四
石炭の蒸溜より生ずる瀝青	一、六五七	一一五	九八六	七、五二三	九、五一四
模造紙其他	二、四三五	三、一五八	五、八九五	八、六五八	九、二六八
紙包み煙草	一、一二七	一、一九二	二、八四五	六、五六五	八、七三一
銅	六、七〇五	五、一一二	四、一三〇	七、四七二	七、六七四
家畜	一、六九九	一、七五四	三、九八五	七、二〇八	七、四五四

香入石鹸	八八三	一、一七九	三、〇〇三	三、一六六	七、二六〇
揮發油類	七、一三四	四、五四六	五、三一五	五、四二八	七、二四九
錫	二、九一三	一、六九四	一、九六三	六、〇六五	六、八八四
石炭	三一七	七三七	一、七三〇	六、五〇八	六、七九八
宗教用紙	五、七六八	六、五〇一	六、四七七	六、九二九	六、五三二
名稱の無い製薬	二、〇三六	三、五二三	五、九五〇	七、一七九	六、三三三
綿製洋傘	一、六四二	一、八八五	四、〇一三	五、九〇七	六、二七四
亞鉛板	二、八三四	二、六〇二	三、二七八	二、八四九	六、一九〇
各種支那紙及封筒	六、四八二	五、八四九	六、〇六六	六、一一四	五、六九三
染料	二、八七四	二、七二〇	四、〇六三	五、〇九五	五、五六四
亞麻、大麻、苧麻布	五五一	一、一九四	三、九一三	四、六〇五	五、三〇八
小間物、玩具	二、五八三	二、〇六一	二、四九三	五、〇三三	五、一二九
重油及石油滓	七四七	九四四	二、〇四四	二、九八〇	五、〇五一
砂糖入りビスケット	八一〇	一、四四七	四、五八六	四、二七四	四、九九〇
シロップ、ボンボン、砂糖漬は蜜ツケノ果物	一、一二六	一、二四〇	六、七九八	三、八五〇	四、四七九
セメント	四〇七	一、九九三	三、三五一	四、三六二	四、三六六
礦水	一、四四〇	一、八二三	三、七九一	四、〇八七	四、一六三
硝子製品	九三七	一、三八六	一、五六八	二、八二九	四、〇二六
オリブ油	五四九	一、〇七〇	一、五九五	二、〇四三	三、八七〇
白熱電燈	二、三六八	二、一一五	三、三五六	四、五三七	三、七七八
加工染料	一、三三七	一、〇〇四	一、七七九	三、八九二	三、七四三
硝子鏡	一、三八七	一、五四二	一、六〇〇	三、〇七六	三、六七一
乾酪	七三三	一、一三一	三、三〇八	二、七三三	三、四四四
シャム	二、六〇一	二、〇一七	四一一	三、三一四	三、二四五

麥酒	八八四	一、一一三	二、三六八	二、一〇八	二、四九四
線香	二、六四〇	三、〇五六	二、九三五	二、七九〇	二、四四四
骨牌	一、一八四	七一六	一、八六四	二、一六五	二、三〇〇
葉卷煙草	五四三	八二一	八九八	一、一一三	二、一九六
鼈甲	一、〇三一	九二八	二、八八七	二、四七八	二、一三四
梳きたる麻	一、九二九	二、四八六	三、一一七	三、五五〇	二、〇〇四
支那煙草	五七一	三一九	二、四〇〇	二、〇六四	一、八五三
木製品	九〇〇	一、一〇四	一、四四三	一、九六八	一、七七五
金箔	一三、六三〇	一八、〇九四	三、〇一六	二、〇二八	一、七五〇
鹽牛酪	八三〇	一、八三六	五、九九六	五、六五八	一、六三七
席、籠及帽子	一、九一七	一、五五二	一、六三九	一、三九六	一、二八一
チヨコレート	五九二	七六四	八五五	一、五六八	一、一三一

ロ、佛國及佛植民地輸入貿易

佛國及佛植民地輸入貿易に於ては、先に統計を擧げたが、更に之を佛本國と、佛植民地別にすれば次の通りとなる

	佛蘭西本國	佛植民地	合計
一九二五年	八八二、九一五、〇七〇	七〇、二五四、五三六	九五三、一六九、六〇六
一九二四年	六六〇、六六九、六六五	五一、七三八、七五五	七一二、四〇八、四二〇
増加額	二二二、二四五、四〇五	一八、五一五、七八一	二四〇、七六一、一八六

即佛國及佛植民地輸入貿易は前年に比し二億四千餘萬法といふ新増加を見せ、三三%の増加に當る。佛本國よりの輸入増加は同じく三三%、佛植民地よりの輸入増加は三五%に當つてゐる。

次に佛本國よりの主要輸入貿易品を列擧し、前年と對比すれば次の通りである（主として五百萬法以上の輸入品を擧ぐ）

品名	一九二五年 數量	一九二五年 價格	一九二四年 數量	一九二四年 價格	増減價額
各種魚類罐詰（サデン其他）	キンタル 二、〇五四	法 四、一九〇、九〇〇	キンタル 一、五五四	法 一、八六四、四〇〇	増 法 二、三二六、五〇〇
砂糖入ビスケツト	三、五八七	三、九四六、二〇〇	三、一九五	三、三二二、七〇〇	増 六二三、五〇〇
牛酪	一、四三六	二、二五八、五〇〇	四、三一四	六、六四五、二〇〇	減 四、三八六、七〇〇
オリーブ油	三、三二四	三、八六八、九〇〇	二、五四五	二、〇三六、四〇〇	増 一、八三二、五〇〇
葡萄酒 普通のもの	ヘクトリツトル 六八、五七三	二四、一五〇、一〇〇	ヘクトリツトル 六七、三五四	一六、三一七、四〇〇	増 七、八三二、七〇〇
葡萄酒 リキユール酒	ヘクトリツトル 四、九二六	二、八八一、七〇〇	ヘクトリツトル 五、八八二	三、五七〇、七〇〇	減 六八九、〇〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

沸騰酒	三、八五七 ヘクトリットル	五、八三三、二〇〇	三、六六九 ヘクトリットル	四、四二三、五〇〇	増 一、四〇八、七〇〇
葡萄酒製造品	三、三六四 ヘクトリットル	八、三六〇、二〇〇	三、七七九 ヘクトリットル	三、三九七、〇〇〇	増 四、九六三、二〇〇
火酒 精蜜を含むもの（ラム酒）	九六三 ヘクトリットル	一、一五五、九〇〇	八四一 ヘクトリットル	八四一、三〇〇	増 三一四、六〇〇
火酒 其他	一、二八九 ヘクトリットル	一、四二八、六〇〇	九四四 ヘクトリットル	一、〇二〇、一〇〇	増 四〇八、五〇〇
リキユール酒	二、六五九 ヘクトリットル	三、一九〇、二〇〇	二、三七五 ヘクトリットル	二、三七五、三〇〇	増 八一四、九〇〇
麦酒	二、二九六	九七五、八〇〇	二、三七五	八三一、四〇〇	増 一四四、四〇〇
礦水	一九、〇五九	四、一五二、五〇〇	二三、五三〇	四、〇六九、九〇〇	増 八二、六〇〇
セメント	一九、八四二	七五三、九〇〇	六九、七五九	二、〇九二、八〇〇	減 一、三三八、九〇〇
棒鐵	二三、二六二	二、三三六、二〇〇	一一、一六六	一、〇〇四、九〇〇	増 一、三三一、三〇〇
鐵力	一七、一二七	五、〇六八、七〇〇	三、一九六	七三五、一〇〇	増 四、三三三、六〇〇
鐵及鋼鐵線	三五、〇三三	五、九五三、七〇〇	二一、九八一	三、二九七、一〇〇	増 二、六五六、六〇〇
鐵及鋼鐵軌條	八九、四五一	八、九四五、一〇〇	一三三、八一二	一一、〇五三、一〇〇	減 二、一〇八、〇〇〇
鋼鐵棒及塊其他	一五八、七八四	一五、八七八、四〇〇	一三〇、五五一	一一、〇九六、八〇〇	増 四、七八一、六〇〇
亞鉛板	一三、六九二	五、七一二、五〇〇	五、四九九	二、〇八九、七〇〇	増 三、六二二、八〇〇
酸化鉛	二、一五二	六、六八一、七〇〇	一、九一五	五、一七〇、一〇〇	増 一、五一一、六〇〇
苛性曹達	二、一八六	五、五三二、六〇〇	一、〇七二	二、三五九、一〇〇	増 三、一七三、五〇〇
炭酸曹達	三、四五六	二、八二二、一〇〇	五、〇九六	八九三、二〇〇	増 一、九二八、九〇〇
炭化石灰	一六、一七四	二、九七〇、九〇〇	一一、三四四	一、八一五、一〇〇	増 一、一五五、八〇〇
香料石鹼	六、九五一	六、九四八、四〇〇	四、八五〇	二、九一四、四〇〇	増 四、〇三四、〇〇〇
公藥局方に在る無名製藥	二、六五四	五、八三九、五〇〇	二、九八六	六、五六九、一〇〇	減 七二九、六〇〇
普通の板硝子	一四、九五六	五、一五九、八〇〇	二四、〇七五	七、二二三、五〇〇	減 二、〇六三、七〇〇
生綿布	八、二五一	二四、七五三、二〇〇	五、四二六	一三、五六六、二〇〇	増 一一、一八七、〇〇〇
晒綿布	三五、七七四	一四八、一六四、八〇〇	二九、〇八五	一〇〇、三〇四、四〇〇	増 四七、八六〇、四〇〇
色染綿布	一五、八二四	五一、二三六、八〇〇	一四、八七五	四〇、一六二、二〇〇	増 一一、〇七四、六〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

綿織物	色染絲にて作りたる綿布	六一	二五六、八〇〇	一七八	六二四、一〇〇	減	三六七、三〇〇
	形付け綿布	一、〇五五	六、三五六、六〇〇	一、一二〇	五、六一五、八〇〇	増	七四〇、八〇〇
	綳帯	二九一	一、二五六、〇〇〇	二一五	七七五、六〇〇	増	四八〇、四〇〇
	無地網目織	六七	三一九、八〇〇	六六	二六四、八〇〇	増	五五、〇〇〇
	木綿毛布	三、五五〇	四、一七一、三〇〇	二、七〇三	二、六四七、五〇〇	増	一、五二三、八〇〇
	靴下、シャツ類	三四六	七二七、〇〇〇	三九一	六八三、六〇〇	増	四三、四〇〇
	組紐物	九七	八一七、七〇〇	七八	五四五、二〇〇	増	二七二、五〇〇
	リボン	九一	五四五、七〇〇	九八	四八九、六〇〇	増	五六、一〇〇
	蠟引きもの	三九六	三八〇、五〇〇	三三九	二六三、一〇〇	増	一一七、四〇〇
	絹絲の混ぜ織物	三九二	一、六四四、六〇〇	二七五	九六三、二〇〇	増	六八一、四〇〇
	其他の混ぜ織物	一七四	五六二、九〇〇	一八三	四九四、八〇〇	増	六八、一〇〇
毛織物	衣服用羅紗類其他	一、〇六六	六、五二六、一〇〇	九二四	四、七一三、一〇〇	増	一、八一四、〇〇〇
	シャツ、靴下類	二二九	一、〇八四、七〇〇	一〇八	五三三、七〇〇	増	五五一、〇〇〇
	毛布	一、九六四	六、五九九、三〇〇	七五九	二、一二四、一〇〇	増	四、四七五、二〇〇
	混ぜ織物	五五九	二、八一六、二〇〇	五一六	二、一六七、四〇〇	増	六四八、八〇〇
絹織物	無地 生絹布	五	一六二、三〇〇	一六	三九八、五〇〇	減	二三六、二〇〇
	無地 黒色以外の色もの	三〇三	八、二二七、五〇〇	一二五	三、〇〇三、八〇〇	増	五、二二三、七〇〇
	他の絲を混ぜたもの 無地	二五二	五、四四一、九〇〇	一二三	四、〇一一、八〇〇	増	一、四三〇、一〇〇
	他の絲を混ぜたもの 綾織	—	六、〇〇〇	三八	七六八、八〇〇	減	七六二、八〇〇
	シャツ、靴下類	七	二九三、六〇〇	一四	四三三、九〇〇	減	一三九、三〇〇
	他絲の混つた絹リボン	五二	九九五、一〇〇	八八	一、四一五、〇〇〇	減	四一九、九〇〇
	人造絹織物	一〇二	一、四六三、八〇〇	六	七七、二〇〇	増	一、三八六、六〇〇
	裁縫せるリンネル切れ	四三一	六、二〇五、一〇〇	六一五	七、三七五、八〇〇	減	一、一七〇、七〇〇
	印刷用紙	二四、八七一	七、〇四九、一〇〇	一八、九七二	五、四四六、六〇〇	増	一、六〇二、五〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

紙又ハ厚紙（模造紙）	四六九	二六九、五〇〇	八三八	三六六、九〇〇	減	九七、四〇〇
紙又ハ厚紙（其他）	二、七八〇	六九四、九〇〇	八、三八七	二、〇九六、九〇〇	減	一、四〇二、〇〇〇
靴	九一、九五二足	九、一九五、二〇〇	六六、〇五四足	五、二八四、三〇〇	増	三、九一〇、九〇〇
機關車	六、九六〇	五、六〇二、六〇〇	六、〇九七	四、二六八、二〇〇	増	一、三三四、八〇〇
發電機	三、四四六	二、九六三、九〇〇	一、四一五	一、〇六一、三〇〇	増	一、九〇二、六〇〇
電氣裝置機械	四、一五八	一九、一二八、二〇〇	二、九九〇	一一、九五九、〇〇〇	増	七、一六九、二〇〇
製粉機、据附機、重量秤	一八、三八九	六、三四四、二〇〇	一八、二九二	五、四八七、七〇〇	増	八五六、五〇〇
蒸汽々罐以外の鑄物、鋼鐵製、機械部分品類	一八、五四六	五、七二五、四〇〇	一四、三九〇	四、〇五八、八〇〇	増	一、六六六、六〇〇
銅製、若しくは銅と二種以上の金屬合金製の部分品	一四、一三九	七、一八九、五〇〇	九、九二六	四、二七八、六〇〇	増	二、九一〇、九〇〇
絶縁したる電線	七、六七六	九、七一〇、六〇〇	七、二四三	七、九六七、六〇〇	増	一、七四一、〇〇〇
鐵金物	一二七、三八四	三一、一二三、八〇〇	一二四、七九九	二〇、三四一、二〇〇	増	一、七八二、六〇〇
鑄物製導管	四六、四四八	八、五九二、八〇〇	九、九八六	一、五九七、七〇〇	増	六、九九五、一〇〇
鐵及鋼製釘	二〇、六〇〇	六、六二一、三〇〇	二〇、二八三	五、六七九、三〇〇	増	九四二、〇〇〇
鏍旋、頭輪付鏍旋、附金等	二三、六五九	五、〇一二、三〇〇	一三、一一四	三、一四一、二〇〇	増	一、八七一、一〇〇
兵器、彈藥	—	一五、四三四、六〇〇	—	一三、一〇七、一〇〇	増	二、三二七、五〇〇
自動車	二七、六四九	四二、三四二、七〇〇	三二、四五五	三三、六七〇、二〇〇	増	八、六七二、五〇〇
自轉車及部分品	六、二五八	一五、一一三、六〇〇	四、二〇〇	八、八一九、三〇〇	増	六、二九三、三〇〇
鐵道用車輛中箱、車臺、ボッギー等	九、五三七	二、七六五、六〇〇	一、二二三	三〇三、一〇〇	増	二、四六二、五〇〇
護謨ギユタペルシヤ製被蓋、汽管、外輪、塊、卷帶	四、六二五	二六、一二六、四〇〇	四、三六一	一八、三一五、八〇〇	増	七、九一〇、六〇〇
羊毛製フートル織帽子	一四六、七七六個	二、六四一、九〇〇	二四三、六七七個	一、四六二、一〇〇	増	一、一七九、八〇〇
綿張洋傘	四三九、四九七個	五、七一三、五〇〇	三七三、五三〇個	四、八五五、九〇〇	増	八五七、六〇〇
絹張洋傘	六五、七二一個	三、〇八八、四〇〇	一五、五三六個	七三〇、二〇〇	増	二、三五八、二〇〇

佛國各植民地よりの輸入品の主なるものを擧ぐれば、次表の通りである。

品名別	一九二五年 數量	一九二五年 價格	一九二四年 數量	一九二四年 價格	增減額 價額
葉巻煙草	キンタル 一七	法 三二二,二〇〇	キンタル 一三	法 一三六,六〇〇	增 法 一八五,六〇〇
巻煙草	一五,三八二	三六,九一八,二〇〇	一三,八三三	三〇,七九六,五〇〇	增 六,一二一,七〇〇
他の加工煙草	四,八六七	八,五〇八,六〇〇	二,九二〇	六,四〇一,六〇〇	增 二,一〇七,〇〇〇
普通葡萄酒	ヘクトリットル 三七七	一二七,四〇〇	ヘクトリットル 二六六	六六,二〇〇	增 六一,二〇〇
美術及手工に使用する石及土	二六,三三七	二〇九,〇〇〇	—	—	增 二〇九,〇〇〇
滲塩或は岩塩(粗、精製品共)	七四,〇〇〇	一,〇三六,〇〇〇	—	—	增 一,〇三六,〇〇〇
生絲	二,八四五	二,四四六,六〇〇	一,八三五	一,三七六,三〇〇	增 一,〇七〇,三〇〇
絹織物 生絹布	四,九九八	一二,七五五,二〇〇	三,四三〇	八,五八〇,一〇〇	增 四,一七五,一〇〇
絹織物 晒絹布	八二六	三,四二八,四〇〇	五三	一八三,八〇〇	增 三,二四四,六〇〇
絹織物 色染	一,六四二	五,三二五,四〇〇	一,五一五	四,〇九〇,〇〇〇	增 一,二三五,四〇〇
絹織物 色絲にて作りたるもの	三九	一六五,七〇〇	一	三,三〇〇	增 一六二,四〇〇

即佛本國よりの輸入品中、最も重大なる增加を示したものゝ、品名及增加額を更に順位に列擧すれば次の通りとなる。

晒絹布の四七、七六〇、四〇〇法の增加、生絹布の一一、一八七、〇〇〇法、色染絹布の一一、〇七四、六〇〇法、自動車の八、六七二、五〇〇法、護謨製被蓋、汽管、外輪、塊、卷帶の七、一九〇、六〇〇法、普通葡萄酒の七、八三二、七〇〇法、電氣裝置機械の七、一六九、二〇〇法、鑛物製藥管六、九九五、一〇〇法、自轉車及部分品の六、二九三、三〇〇法、黑色以外の無地色物絹布の五、二一三、七〇〇法、葡萄酒より製造した火酒の四、九六三、二〇〇法、鋼鐵棒、塊及其他の四、七八一、六〇〇法、毛布の四、四七五、二〇〇法、香入石鹼の四、〇三四、〇〇〇法、苛性曹達の三、一七二、五〇〇法、絹張洋傘の二、三五八、二〇〇法、兵器彈藥の二、三二六、五〇〇法、炭酸曹達の一、九一八、九〇〇法、發電機の一、三〇九、七〇〇法、オリーブ油の一、八三二、五〇〇法、絹製毛布の一、五二八、八〇〇法、酸化鉛の一、五一一、六〇〇法、沸騰葡萄酒の一、四〇八、七〇〇法、機關車の一、三三四、四〇〇法、羊毛製フートル織帽子の一、一七九、八〇〇法、炭化石灰の一、一五五、八〇〇法、自動車部分品の一、〇六七、二〇〇法、等である。

反對に減少した主なるものゝ品名及び減少額を擧ぐれば

牛酪の四、三八六、七〇〇法、普通の板硝子の二、六〇二、七〇〇法、鐵及鋼鐵軌條の二、一〇八、〇〇〇法、紙或は厚紙其他の一、四〇二、〇〇〇法、セメントの一、三八八、九〇〇法、裁縫せるリンネル切れの一、一七〇、七〇〇法、等である。（未完）

ポーレル氏報告（M. Borel）一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易（印度支那經濟事情所載）に據る。

馬來半島

□護謨生產制限率改正

十一月一日附海峽植民地政廳官報第六十五號々外を以て本年十一月一日より向ふ一月末日に至る制限第四年目第一期間護謨輸出に對する制限率は八十パセントと決定された。

□護謨生產制限法一部改正

英國植民省は一九二六年十一月一日以降一九二七年十月末日に至る、向ふ一箇年間英領護謨生產地域からの輸出制限に關する規則を左の如く改訂した。今其要項を示せば次の通りである。

卽ち本年十一月一日以降錫蘭及馬來地方から輸出される護謨は次の規則に從ふ要がある。而して此の規則は少くとも向ふ一箇年間は繼續される。けれども、同期末に於て更に此の一時的制限法を續行する事に決定すれば、其時同規則に何等かの變更が企てられるであらう。

規則

第一條　倫敦に於ける護謨の平均價格が一期間（三箇月一期）一封度當り一志九片以下一志三片以上の場合、次期に最低税率の下に輸出される標準生產額の百分率は十パセント方減少される。併し乍ら此規程の下に實施される低減率が百パセントを基準とする場合次期の減少率は八十パセントとなる。

第二條　若し一期間の平均價格が一封度一志九片以上二志以下となる場合、若し次期輸出制限率には何等變更はない。さり乍ら三期間を通じて前記一封度當り平均價格が一志九片以上である時には、次期の制限率は十パセントを增加する。

第三條　次に或る一期間の平均價格が一封度二志又は其れ以上の場合、次期の百分率は十パセント方增加される。併し乍ら此規程の下に施行される增加率が八十パセントを基準としたる場合、次期の增加率は百パセントとなる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四條　之れに反して、或る一期間其平均價格が一封度一志三片の際には、次期制限率は六十パセントに低減される。

第五條　更に或る一期間三志を超過したる場合、次期の制限率は百パセントとなる。

第六條　以上の外如何なる場合にも、此の輸出制限率は百パセント以上ともならねば又六十パセント以下ともなることもない。

（新嘉坡フリー・プレス十月二十五日）

□海峽植民地新豫算

十一月十二日海峽植民地官報第六十七號に掲示された一九二七年度政務費に對する豫算細目は次の様である。本豫算案は十一月三日に開かれた立法會議を通過したものである。

一九二七年歲出豫算

項目	歲出豫算額（弗）
公債費	三七、一〇六
年金、退職賜金、賞與金、其他	一、三七二、九五四
慈善費	二一、六二四
總督費	一四五、一〇一
文官費	七二七、二六一
書記官費	八九〇、二八五
民政長官及地方理事官	一三八、五四八
政府委員諮書官	一八、一二〇
農務部	五二、一一八
會計檢査局	二四、九五六
外部會計檢査局	七六、〇一二
支那人、印度人、移民保護局	九一、〇四二
產業組合費	二三、五九六
宗教費	二五、二五六
教育費	一、四二八、五〇五
漁業費	一二〇、一七一
林務費	四六、五五四
植物園費	一〇四、一七八
輸出、輸入及統計費	三五、九三二
土地及地方費	二四六、八四八
法務費	三五三、八九四
海事費	五九八、四三八
海事測量費	七一、八七三
警務費	四四九、五一六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

保健部	五七〇、〇二五
社會衛生部	一三五、三二六
病院及施療院	二、三四五、三七二
陸軍費＝	
一、一般防備費	三、六五〇、〇〇〇
二、地方軍備費	三七五、四四四
雜支出	八、〇九八、八八〇
專賣費	二、五七五、二二一
ラッフルズ博物館及圖書館	五四、七五一
警務費	二、七八七、八六〇
政狀調査局	一九、五九八
郵便局	一、八三五、二五二
印刷局	二一一、九九一
監獄局	四〇四、〇二三
土木局	四八三、一七三
土木繼續事業費	八二四、七一五
土木臨時費	七、五三二、九六二
測量部	五一七、五六九
通運費	二五九、四〇〇
財務費	一〇八、三九五
獸醫費	六〇、一一一
計	三九、九四九、九六六

此中法律によつて控除される金額次の如し。

公債費	三七、一〇八弗	一般防備費	三、六五〇、〇〇〇弗
年金及其他	一六、一七一弗	計	三、七〇三、二七九弗
差引			三六、二四六、六八九弗

□英領馬來の行政組織と財政

本稿はアール・オー・ウインステッド氏の「英領馬來」と題する著述に據つたものであるが、馬來一般の行政組織に就いて簡單に說明して居ると惟はれるので此處に譯述することゝした。

一　行政

海峽植民地　一八二六年迄新嘉坡は印度最高政廳の直接支配下に屬したが、同年彼南マラッカを共に一政廳內に合併し總督本部を彼南に置いた。一八三二年前記三植民地がベンゴール政廳に移管された時新嘉坡は行政上の中心地となつた。

一八五七—八年印度ベンゴール土著兵の背反後、貴族政治を行ひ民情に通曉せず、陸海軍の設備費先に監獄設置費として重税を課した結果は、印度政府の管轄外におく事を英國下院に歎願された程で

ある。當時三植民地は帝國々庫に一負擔となることを懸念されてゐたが、一八六七年四月一日付 Order in Council により皇領植民地として植民大臣に移管された。而して當植民地は依然防備費を支拂ふの要あり、其金額に就て久しく論議せられ、一八九五年に至つて陸軍費は總歳入の一七½パセントに決定したのである。

斯くて植民省移管後、海峽植民地總督は行政・立法兩會議の協贊を俟つて政務を司り且つ軍司令官をも兼掌してゐる。

總督は法律に準據して土地の讓渡をなし、判事・政務委員及治安判事を任命し、年俸百磅卽ち一千弗以下の官吏を解雇し、年俸前記以上の官吏に對しては停職を命じ、有罪犯人を立法會議に附議して赦免し、死刑囚の場合には必ずしも立法會議の審議を經ず單獨に赦免する權限がある。

行政會議の議員は軍司令官・民政長官・彼南理事官・檢事總長・財務局長及土木局長である。總督の召集によつて開催される會議は、總督の所在する何れの植民地に於ても開催する事が出來る。此處に於ては緊急問題であるか或は協議せる事項が一般の利福を害しないものを除く總ての重要問題に就て附議されればならぬ。若し總督が其決議を無視する場合直ちに其事由を本國政府に報告しなければならない。而して斯かる會議に於て總督のみが審議に對して質問を發することが出來る。されど若し或事項を論議せる一議員の成文請願書を拒絶する場合、其請願文竝に拒絕の理由を每六箇月外務省に送るべき議事錄に記載しなければならぬ。

立法會議の組織は行政會議々員及總督が皇帝の勅許を得て何時でも任命することの出來る官吏非官吏兩議員より成る。非官吏議員は任期三箇年なるも再任を許される。總督は會議の議長となり、若し已むを得ざる事情の爲め不在の時は書面を以て總督より任命せられた議員之れを司る。立法會議は法律の制定、裁判所の構成、政府歳入の徵集竝に支出に關する規則手續等を制定する權限がある。而して議員は總督のなすべき支出に關する提案を除く質問に對して討議をなす事が出來る。緊急の場合及本國の法律竝に條約上の義務に抵觸せざることを要件として、離婚、總督自身の爲にする贈與、官吏の定員俸給の增減、貨幣及銀行券、銀行の創設或は變更、差別的輸入稅の賦課に關する法律、條約上の義務と兩立せず若くは陸海軍と相互に干涉し、或は英國皇帝若しくは海峽植民地に居住せざる英國臣民の權利、又は英合衆王國の通商海運に有害と懸念される法律、歐洲人が受けざる制限拘束に歐洲系統でない人民のみを苦しめる法律及皇帝が既に勅許を與ふる事を拒む規定を有する法律の制定に關しては必ず皇帝の批准を要するのである。普通法律案は三讀會を經て議決される、けれども法律が緊急なるか何等修正の提案無き場合には出席議員の大多數の同意を以て一回の會議を以て通過する事が出來る。然れども之等の法律は總て英皇帝の批准を要するのである。

海峽植民地現行法律は地方法律の中に含まれ、之れは英國議會を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

通過したる法律及印度立法會議の制定せる法律にも適用されてゐるものである。又印度刑法及刑事訴訟法は少しく變更された儘で採用され、英國裁判所法に基く民事訴訟法が施行されてゐる。

高等法院は主席判事及三名の陪席判事より成立し、三植民地に於ける巡回裁判並に民事裁判の開廷をする。又海事裁判を取扱ひ、特殊の事件の上告は樞密院に廻付するけれども、其多くは高等法院を以て海峽植民地に於ける終審上告裁判所とするのである。請求裁判所に於て判事は小金額の民事訴訟を代辯者として受理し、警察裁判所は管轄權內の事件を卽決處理するのである。又治安判事は免許裁判所を開廷する。

行政幹部は民政長官、彼南・馬拉加理事官、財務・土木の各局長、檢事總長、支那人事務局長、警察總長、衛生局長、會計檢査局長より成る。二、三の局長、教育部長、測量部長、林務官、農務部長、鐵道總長及勞働長官等は何れも馬來聯邦州をも兼任し、後の五者はクアラ・ルムプールに駐在して居る。此他彼南・ウエルズレイ領・マラッカ及ディンディンス地方を管理する地方官吏あり、其職務は大體馬來聯邦州同官吏と同一である。

新嘉坡及彼南は何れも選擧によるもの、及び總督より指命される非官吏議員より市會を構成し、一般官吏及土木衛生技師の補佐を受ける議長がある。官職上マラッカ理事官は同市會の議長である。

馬來聯邦州　聯邦州一切の行政支配を管理する最高權者は植民大臣に歸屬する。かるが故に、議會の責任は其權限に單獨の制限を與へてゐる。而して帝國に利害關係を有する事項に干涉し、高官の昇進、任命及罷免事務を掌る。

一八九五年に至る迄四州理事官は海峽植民地總督にのみ從屬し、同總督に對して議事錄年報及豫算を報告してゐたのである。總督は屢々馬來人及其事項には至つて門外漢であつた。又兎角道路鐵道の設備の不完全なる爲め視察は頗る困難、加ふるに通信連絡は大遲延の儘に放任してゐたのである。又行政方針は頗る廣汎なる主義に依る結果不統一となり、司法行政、課稅及土地問題の解決方法には重大なる差異があり、州によつて通過する法律は屢々不統一であつた。斯くて一八九三年初期リポン子爵は隣接相接近せるスランゴール及ネグリ・スムビランの聯合を主張した。時の總督クリーメンチ・スミス卿 (Sir Cecil Clementi Smith) は此提案に賛意を與へたけれども、却つて總理事官の下に四州を聯合し、總督及四統治者の權限は依然舊態の儘におくことを提案したのである。一八九五年チャールス・ミッチエル卿 (Sir Charles Mitchell) は聯邦計畫に贊成討論を要約し、總督は政府委員の名目の下に其權限を行使せしめ、立法若しくは財政上の權限を有せざる聯邦會議又は純粹の諮問機關を任命し、各州に官吏を任命する代りに聯邦全體を總轄する一人の官吏を以て之れを統轄せしむる案を推提したのである。時の植民大臣チャムバーレン氏 (Mr. Chamberlain) は之れを諒とし、又ノランク、ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ウエッテンナム卿（當時は單に氏）は各々統治者を訪問し其承諾を得る樣に委託せられ、其使命は成功を博した。ス卿は總務理事官に任命され、諮問會議又は謁見（ダーバー）は一八九七年ペラッ州クアラ・カンサル（K. Kangsar）、一九〇三年クアラ・ルムプールに開催せられた。斯くして輿論は遂に鑛業並に栽培業代表者を含め、財政を支配し統一ある立法を制定する中央機關存在の必要を認むるに至つた。一九〇九年馬來統治者との協定を以て、聯邦諸州に對し共通の利害を有し又は一州以上に影響を及ぼす一切の事項の合同協定及聯邦を通じ或は一州以上に行はれんとする法律の適用並に實施を決議する聯邦會議の成立を見たのである。州會議を通過した法律又は今後通過すべき法律は州會議を通過せる法律の規程に抵觸する部分を除いて依然州內に完全なる效力を有するのである。而して同教・禮拜堂・年金及土人酋長並にプングーループ（Penghulu）に關する問題、政府委員の意見で統治者の權利特權に影響し、又は其他の理由で政府委員が州會議に於て處理するを至當と考へる其他の問題は專ら州會議に附託されるのである。各州歲出入豫算案は聯邦會議に於て審議されるけれども、直に公告を以て州會議に通知される。新議員は政府委員、總務理事官、四統治者及理事官にして、此他非官職議員は栽培者、歐・支人鑛業者及一般商業者間より代表者が選任されるのである。

其後州會議は各州統治者、重要なる馬來人酋長及歐・支團體の代表者より成立し、死刑宣告の認證、カチ及馬來人頭目を任命し、カチの意見に對し上告をなし、農業地を鑛業地へ請願變更すること、馬來人保留地に於ける土地、馬來人以外の刑事犯追放、禮拜堂の建築用地を讓渡せる等多種多樣の事件を處理したのである。

總務理事官は外見上獨立の權限を有し、彼に從屬する理事官に對し自己の名目を以て命令を發し、上官の承認を要する事項に關してのみ政府委員の管轄に屬した。元來政府委員並に植民大臣の職權上の侵害に對し各統治者の長となる、けれども之等統治者は皇帝の代表者を除ける理事官等の命令には從ふことを肯んじたのである。然れども交通機關は漸次開發し政府委員は隨意に馬來州を視察することを出來、聯邦會議は各州の利害に關して安全なる保障辨となつた。一九一一年總務理事官の名稱は總務長官（Chief Secretary）と變り、從前よりは一層密接なる關係を有する政府委員の主要顧問となつた。而も依然理事官に對し命令を發する權限を有し、理事官等は長官の手を經て政府委員に請願することが出來る。

總務長官の下に一人の秘書官がある。其下に財務部長・法律顧問・支那人事務局長・勞働長官・鐵道總長・土木部長・鑛務部長・土地部長・貿易關稅部長・教育部長・農務部長・郵便電信部長及博物館長・森林部長・醫務部長・測量部長の各長官が所屬する。而して各理事官は當該州に於ける最高行政權限を有し、其下に左記の如き多數官吏、即ち秘書官一名、各州の行政長官たるのみならず理事官の管理下に土地を讓渡し、地代及租稅を徵集し衞生委員會を管理し、理論上各地方

行政の各部内に責任ある地方官、郡又は大地方にある或る課を管理する副地方官、州の財務・土木・鑛務・警察・教育・森林・醫務及其他の事務を執掌する課長が存在するのである。良家の馬來人は副地方官及副行政官となり、更に上官に昇進したものもある。

馬來聯邦州　馬來聯邦州には主席裁判官の下に獨立せる司法部がある。同州にある裁判所は (a)裁判長の裁判所及上告裁判所より組成する高等法院 (b)第一級及二級警察裁判所 (c)回教徒の離婚を處理するカヂ裁判所 (d)馬來人頭目卽ちプングールー裁判所に分れてゐる。而して上告裁判所は主席裁判官の管理に屬する二人又は其以上の裁判官より成立する。民事に於ては樞密院へ終審上告する事が出來る。此裁判制度は印度に行はれてゐるものに對し如何にも無法の如く見えるが、馬來行政官に對し更に權限を附加するの件は同地方に多數の種族が雜居せる關係上甚だ困難に思はれる。

都市は衛生委員會の管理下にあり、政廳は官吏のみならず、一般人をも任命する。此の如く大都會すらも尙ほ政廳の援助を要すること大なるが故に之等の機關に獨立の市政を布く事は有害且つ不適當と思はれる。

機會ある每に、農業・教育・マレーリヤ防遏手段等に關する事項を協議する委員會及委員は民間側をも含めて政廳より任命せられてゐる。

二　財　政

海峽植民地　二十世紀の初期以來海峽植民地の歲入は著しく增加し、一九〇一年七、〇四一、六八六弗(約七〇〇、〇〇〇磅)の歲入は、一九一一年一一、四〇九、二二一弗(一、三三一、〇七五磅)、一九二〇年には四二、四六九、六二〇弗(四、九五四、七八九磅)卽ち過去十年間に於て其增加は特に顯著である。

歲入の主なる項目は所得稅及官業收入である。

早くから同植民地は自由港區なるが故に、輸入稅は少く殆んど贅澤品のみに限られてゐる。事實輸入稅は酒類・煙草及石油に限られ、一九二〇年全歲入の十三パセントに過ぎないのである。

歲出額も亦著しく增大し、一九〇一年七、三一五、〇〇一弗(約七二〇、〇〇〇磅)、一九一一年九、〇八五、三八九弗(一、〇五九、九六二磅)一九二〇年には三九、二六〇、三一八弗(四、六八〇、三七〇磅)に達した。されど一九二〇年度は產米の賣買上に於ける大損失と年々海峽植民地によつて支拂はれる防備費を遙に凌駕する額を植民地資金より本國政府に支出せる爲め歲出は例年に無い巨額を示した事は注目しなければならぬ。

馬來聯邦州　一八九六年聯邦成立後之等諸州の歲入は著しく增加した。成立第一年卽ち一八九七年の全歲入は八、二九六、六八七弗(當時の磅相場に換算すれば八二五、〇〇〇磅)、一九二〇年には七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、二七七、一四六弗(八二五、〇〇〇磅)に上つた。今之れを人口一人當り歳入額を算出すれば、一八九七年約十五弗(一磅十志)のものが、一九二〇年には約五十五弗(即ち六磅十志)に增加した事となるのである。

又歳出は歳入の增加に比較すれば、左程重要とも思はれぬけれども一八九七年八、七九五、三一三弗(約八五〇、〇〇〇磅)、一九二〇年には一〇〇、四三三、四七一弗(即ち一一、七一七、二三八磅)に達してゐる。

然るに一九二一年同地方も亦世界的不況の影響を受けて輸出二大宗品たる錫及護謨は非常なる逆境に陷つた、之れが爲めに一九二一年歳入額は前年同額に比して著しく減收を來したのである。

錫輸出稅は總歳入に對する割合頗る小率であるけれども、常に重要なる財源となつてゐる。即ち一八九七年聯邦州總歳入の三分の一に達したるものが、一九二〇年には僅に六分の一にしか過ぎない。又護謨輸出稅は比較的近代のもので、一九二〇年總歳入の六パセントに達する。

同州收入の中より現在英領馬來に接近する地方に至る鐵道網敷設費に一六〇、〇〇〇、〇〇〇弗(一八、六六六、六六六磅)を投じたのを見ても、鐵道收入は諸種の歳入中甚大にして一九二〇年總歳入の殆んど四分の一を占むる事は敢て奇異とするに足らぬ。

通貨　馬來全帶に亘つて使用されてゐる通貨は總て海峽植民地のもので、其標準貨幣は海峽植民地の弗貨である。

銀弗貨の流通は都市には稀で、巨額の現金取引には專ら海峽植民地政廳の發行する紙幣を以てして居る。五十仙貨幣は弗貨同樣無制限の範圍に亘つて通用する法貨で、此他二十仙(約六片)、十仙(約三片)及五仙(約一片半)と云ふ各種の補助銀貨がある。尙ほ一九二一年始めて鑄造された五仙ニッケル貨幣が流通してゐるが、其範圍は頗る狹く未だ弘く一般には及んでゐない。小額の現金取引には一仙靑銅貨(約一ファーシング)、½仙・¼仙の銅貨が通用してゐる。

然れども近代紙幣の流通の盛んなることは特筆すべきものである。一九一七年銀高騰の結果小銀貨の流出著大となり、已むを得ず十仙紙幣の發行を見るに至つた。而して此紙幣は小額の釣錢に大に利用されて居る。

通貨上の立場より見たる英領馬來は一九〇六年前迄銀貨國であつて倫敦間の爲替率は銀に對する磅價に應じて昇降して居る。けれども、一九〇六年海峽植民地弗貨は二志四片てふ一定の磅價を維持し、爾來倫敦宛電信爲替率は前記二志四片より僅に一ファーシングを上下して居るに過ぎない。

□馬來の水產業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

註　同地方の漁業に就いては、最近當課に於て南支那及南洋調査第百二十六輯として出版した「英領馬來の漁業」を參照せられたい。

凡そ大洋には獨特固有の動物群がある。卽ち魚類は支那から祕露へと何の礙も無く遊弋するけれども、而も過半數の移動は一定の區域に限られてゐる。從つて支那海に稀有にして全然知らない種類のものが印度洋に大群をなして游泳するかと思へば、又之れと正反對の場合もあるのである。亞細亞の最南端に終る馬來半島の海岸線一千哩は、各種魚類に豐富な印度洋と支那海とを明に區別して居る。鱸族にはカルカッタの Cock-up (土語 Siakap)、クヰーンズランド Groper (タミール語 Kurapu、土語 Kerapu、ブルネイ Kurapa、比島 Garropa)及濠洲の黑色斑點岩鱈等の種類を含有して居る。新嘉坡ロードへ向ふ東方入口を通過する船客は水深の深い水道に於て獨木舟を漕へ、絕えず釣竿を凝視して騷いで居る一團の漁師群を見受けぬものは無い。而して一端釣竿に引掛かれば西は紅海、東方日本に居る各種の大型鯵 (土語 Parang-Parang) を引上げ得るのである。

馬來近海に於て發見される數百種魚類の中、食用に供されぬものは極めて少い。まふぐ、魚虎(ハリセンボン) (土語 Buntal)の如き有毒魚類は、一見不味さうに見えるけれども、其有毒部分を摘除する方法を會得せる人々によつて食料に供される。されど主なる商業用の魚類は眞名鰹(土語 Bawal)、比目魚(ヒラメ)(Ikan lidah, Ikan sa-belah)、鰆(Tenggiri, Tongkal)、まあぢ(Chencharu, Selar, Daing belang, Chermin, Talang)、鯵、鱸 (Seakap, Kerapu, Ikan merah)及大鯛(ダイ) (Kerisi)である。眞名鰹は、恰も緬羊の如く群をなして押し合ひへし合する性質あるを以て、ヒシヤ〳〵又はポチヤ〳〵と水音を立て乍ら漁網に突入する恐なものである。馬來近海には二十種内外の比目魚を產するが其中の二種は、夫々クヰーンズランドをひよう及濠洲海岸に棲む比目魚と呼んで居る。通常之等は淺海底に密着するが故に、其小魚の大量は大網と巾着網に依て捕獲されるのである。外海を航行する漁舟は鰹、鮪(土語Tongkol)及西班牙鯖(Tenggiri)の大量を捕獲して相當收入を擧げることが出來る。殊に後者西班牙鯖は食道樂家のみならず、北東モンスーンの頃東海岸沖合に澤山の釣絲を垂れる釣魚愛好者にとつて頗る愉快なものである。海岸地方で乾鹽魚用に捕獲される魚類中、まあぢ族は其大部分を構成して居る。各地鯡屬は大きく頗る重要である。其種類は學名 Shad(ニシン)(土語Teubok)、Sprat(ニシン)、鰯(Tamban)及ひしこ(Bunga ayer)から罐詰にしたものは俗にマカッサル紅魚で知られる白魚(White bait 土語 Bilis)に至る迄の種々の大きさのものがある。鯡(土語Telor Terubok)の鯑(ハラゴ)は頗る美味なるが故に、スマトラ沖で漁獲せる鯡の鯑は乾燥鹽漬とした上輸出に供される。併し最も多く且つ最も美味なる馬來產魚は眞紅色 Ikan merah(學名Luitanus spp.)を含む鯛類で新嘉坡附近にざらに見受けられる。又鯛に屬し帶黃・銀白色の帶を有し薔薇色を呈せる小型の Kerisi(學名Synagris

spp.）は南西モンスーンの吹き寄せる時期、東海岸沖合に漁遊するパハン州馬來人王女によつて屢々釣取される。併し乍ら東海岸に居住する馬來人に對し釣魚として最も痛快なるものは、鰡（土語 Belanak, Kedera, Anding）である。河川氾濫し、太陽西に傾き季節風は強風の如く、波は海岸に打寄せ、鰡が産卵するに利便な食料又は避難所となる帶黄色泡沫の多い頃、馬來人は魚群と燭色投網との間丁度壁の樣に直立する波頭の上に所持する網を移動しゐる爲海岸に群をなして集つて來るのである。不幸にして此地方漁海には漁獲範圍又は季節に何等制限がない結果鰡は年々減少して居ると云ふ。而して赤色、鰡（土語 Biji nangka）の習性及其分布狀況に就ては殆んど知られてゐない、從て商業上にも重要とは云へない。鱚（土語 Bulus-bulus）は年中捕獲することが出來る代りに大量は存在しない。子鱚親鱚は孰れも走雲の陰を見ても直に沙中に身を埋める樣な甚だ臆病なものである。此鱚釣は鰡獲に次いで樂なものである 卽ち必要なものは、輕い釣竿・細い索具・車蝦又は小牡蠣の餌に加ふるに砂質の淺海岸に潮さしが流れて居ることである。土語 Gelama と稱ふ魚類は最も多く、其大群は深海に引網を張るトレンガヌー及ケランタン漁民によつて捕獲され、鹽漬乾燥した上カレーの調味用に輸出される。軟鰭類（Scopelidae）の最も有名なる一部門は Lumi 又は Luli と云ふもので、馬來人は肉質柔軟なるを以て、蔑視してゐるけれども、印度生れの英人は孟買鴨を乾燥鹽漬したものに於てこれを賞美して居る。

さんま、'Gar pike'、飛魚族（學名 Scombresociae）には馬來人間に奇妙な傳說のあるダツ屬（俗稱 Belone 土語 Todak）を含む。嘗て之等の魚類は舊新嘉坡を襲ひ海岸に住する人々を殘らず刺殺した、爾來子供等はバナナ莖の動搖するにつけても其嘴の刺すかの如き心地を以て恐れてゐる。神童の訓誡には此種の忠告をするのであるが尙ほ彼等が賢明になり過ぎ敵人となることを畏れて殺さしめるのである。今日馬來人漁師は餌索につき纏ふ凧によつて臆病且つ狡猾なダツ屬を魚釣するのである。軟風に向つて凧を飛ばしておけば一時間內に尤に十二尾以上を捕獲することが出來る。此他經濟上價値の無いものには、口型大きく、下方に稍々突出した前顎を以て、海面上にある昆蟲に水を射出して巧に殺害せしめる吹管魚（土語Sumpit-sumpit）、捕獲後クークーと鳴くに因んでつけた Gerut-gerut 嘗て一丈八尺のものが新嘉坡市場で賣られたと云ふ帆魚（土語 Ikan Selayur）、泥地に確固と胸鰭を据え、尾にある器官から呼吸し乍ら頭部を持擧げ周圍を注意して見廻す蝦虎魚（ハゼ）及小沙魚（コハゼ）（土語 Tembakol, Belachak）等の奇魚が存在して居る。尙は商業上には鮫とえひが擧げられる。マドラス州では之れを産婦に乳源を與へるものとして、鹽漬した上滋養品と看做されてゐる。鮫鰭は內地市場で賣られるが、又は乾燥の上支那に輸出され調理上重要なものである。爾來馬來地方に於て魚油は餘り取引されなかつたが、他の國々では鮫、えひの肝臟及魚市場に於ける調理物（Dressings）から藥用・膏藥用並に石鹼の製造に價値あ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る魚油を製造して居る。魚皮の利用價値に就ては未だ知られてないが、最近鮫・えいの皮が鞣皮に、其腸詰が美麗なるキッドに製造し得る方法が發明された。又鰾は魚膠製造用に支那歐羅巴に向け送られる。之等は鮭、アナゴ及絲魚(Thread-fish)の氣胞又は鰾なのである。

馬來には蟹・車蝦・川蝦・眞珠貝・食用牡蠣・ほたてがひ・烏貝・珊瑚及海綿に就て今此處に云ふべき餘地がない。曾て眞珠は價額八百磅程ケランタン海岸から產出したと云ふ。岩牡蠣も盛んに產してゐるが、土人は三年の成熟期を待たない爲に殆んど市場には知られてない。比島には挿木から花の樣に海綿を產して居る。

馬來半島住民は、使徒時代に使用した樣な頗る原始的漁業法を採用するを以て、海產業は近代產業と云ふより寧ろ人種誌に屬する。即ち Munshi Abdullah の自叙傳によれば「新嘉坡開港八箇月頃、マラッカから釣魚魚船が來て、パランパランを多數に捕へ歸つたのである。當時其魚類は決して釣針に懸らず、海岸二、三十碼に於て、尤に捕獲したのである。其れ以前新嘉坡人は、魚類を槍突する以外何等捕魚法を知らなかつた。一年後新嘉坡には Haji mata-mata と云ふマラッカ人が來て角網(ケロン Kelong)、Belat と稱へる漁業用杭網を作つた、其後未だ人は魚篩 (Jeremal) を設けた。最初漁業用杭が出來上つた時、Telok Ayer 沖合で大漁をした。殊に Tenggiri は無數であつた爲に總てを喰盡すこと出來ず、鰓のみを取つて樽桶に鹽漬し船に賣却したものを除いてはどんどん拋棄したものである」と。

今此處に地方に行はれてゐる方法を簡單に分類すれば、大體入つた儘出ること出來ぬ漁篩・捕網・針釣・魚簗及權の種々がある。馬來人の使ふ大型漁網篩は三原理に基いて居る。第一の型(土語 Jeremal)には、沈水し得る篩又は引裂いた籐製の敷物のある大垣に寄集めた棒を以て追ひ入れる。其時篩を揚げて、中にある魚を捕獲するのである。第二の種類には Belat, Kelong, Sirok の幾種類があつて、魚類は最奥點に達する迄次第に小さくなつてゐる連續した圍中に突入する。其時入口は閉じ、干潮投網又は陸揚籠によつて高き位置に上げて乾燥せしめるか、若しくは沈下した篩を上げて漁獲物を表面にあげて捕獲するのである。次に第三種篩(土語 Belat lengkong)は、淺い水中に長列の籐製篩を直立した竹に結び付けたもので、海岸の一部分を切離し、潮が引く時に泥又は小池中に殘る樣な仕掛になつたものである。馬來近海に於て使ふ網はあらまし流し網(土語 Pukat)、大網又は曳網 (Pukat tarek; Pukat China)、固定巾着網、錐形投網 (Jala) 及地網又は揚網 (Tangkal) の種々に類別することが出來る。流し網は強い水流が勢よく魚を運び入れる水路又は澪に直角に置かれる。引網は沖を去る地點に半圓狀に設けて於て、其後大勢の人々の力で漸次海岸に引寄せるのである。

固定巾着網は豚・山羊を養ひ又は肥料とする爲め小海老・車蝦及幼魚を捕獲する支那人によつて主に使用される。河口で使用するもの(土語 Ambai)には魚を入進せしむる所の二本を寄集めた棒の頂點に

巾着網を括りつけてゐる。此巾着網は澤又は水流に設ける、之れを棒に結付けたもの(土語 Gombang)と、土語 Pompang と云つて水中に定着せしめるものとがある。

比較的淺い海床に産卵する魚類は直正鮮である。多くの海産魚類の卵の様に浮卵—卽ち浮泛性ある爲め浮動するのである樣に、之れも然うである。從て海岸の産卵地に就て記述することは頗る困難である。然し乍ら産卵期に拘らず、之等の魚類は季節風的水流に逆つて遙か海中沖合に移住するが、其卵は横流れによつて海岸に引寄せられ、之等の卵から産れ出る無數の子魚は、支那人によつて重に使用される數千の巾着網の中で死亡するのである。西海岸に於て今一つ魚類の敵とすべきものは、鑛山の沈泥である。斯の沈泥物は鯉の樣な鮮魚を害する許りで無く鮮の樣な海産魚類をも害する、且又之の爲め魚類に河川の上流に昇ることを妨げるならば、其結果卵は死亡し海又は河口に産卵しなければならなくなるのである。此の樣に馬來近海に於て經濟的に重要なる魚類は五百種以下である。鰤の多い魚の棲む位置・産卵地・子魚の養魚地及季節々々による移住の時期及場所を發見することは大に必要である。之等一切の報告は魚類の保存に必要な許りで無く、數多の漁夫に最も良い條件に於て大量に漁獲する爲め必要缺く可らざるものである。漁業部は最近海産生物學に對する方針を變改した、從て其中重要なる結果を得ることが出來やう。

鐵道竝に冷藏設備に就て、馬來に於ける魚類の取引は未だ幼稚である、支那海を擁する半島東海岸では每年魚類が數百噸程捕獲出來るが、新嘉坡迄二十四時間以内で航海出來る蒸汽船でも、其途中冷却設備の無い爲め魚類は總て乾燥して終ふ。其上河に立つてゐる棒や淺海に於ける碎け浪によつて北東モンスーンの時期漁業は出來ない。恐らく將來之等の缺陷は蒸汽トロール船及海岸に點在する島嶼に冷藏所を設置することによつて容易に解決出來やう。

「魚類は米食民にとつて贅澤品ではない、寧ろ生活必需品である」とは陳腐の言葉である。一九二〇年乾魚五千噸、鮮魚七千噸以上も馬來聯邦州にある駐在所に送られた。加ふるに海峽植民地・ケランタン・トレンガヌー及パハン各地には海産魚類がある。實に漁業はトレンガヌー在住馬來人約三萬人にとつて主なる職業である。而して此地方漁師は單に全馬來を通じて最も熟練した漁師である事は勿論、西海岸の漁業を獨占せる支那人によつて決して手を付けられて無いのである。一九二〇年トレンガヌー州から新嘉坡に移出された魚類の價額は正に三萬磅に達して居る。每年南東モンスーンの季節支那人から資金の融通を受けたトレンガヌー住民は新嘉坡・ディンディンス及彼南迄漁船を驅つて漁に出掛けるのである。

(From "British Malaya" by R. O. Winstedt.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度

□新關稅定率法の制定

ヘット・ニュース・フワン・デン・ダッハ紙の採聞するところに依れば、稅制改革委員長は、同委員會で作成した輸入稅改正草案を近日中に各商業會議所竝に貿易商組合に送附し、その意見を徵する由である。

而して改正案は前記諸團體の意見を聽取した上で政府に決定的提案を爲す筈であるが、内容は全然判明して居ない。

現在稅制改革委員會は、現行規定と全く相異る新關稅定率法の起草に從事して居り、其大要は輸入品を各グループに別ち之に各種の輸入稅を賦課せんとするものであるが、政府は之に依つて稅金の正當なる賦課を期待して居るのみならず、猶直接稅（所謂所得稅の如き）を輕減し得る程度の收入を得んことを欲して居るのである。

本草案を爲すに委員の最も困難を感じたるは稅金を各クラスに區分することであつて、斯る區分は未だ嘗て行はれたことがないので、如何なるクラスに幾何の種類の又は價格の物品を入れるべきやは絶對に想像がつかないのである。

然れども、去る一月一日以來財務部に於ては新法の立案濟のものに依つて現今まで輸入された物品のクラス別排列を行つて居り、之に商業會議所竝に貿易商組合の意見を加味して以つて目的を達せんとして居るのである。（Het Nieuws van den Dag, Oct. 26, '26.）

□日本セメントに對する蘭紙の評論
竝にパダンセメント會社の内容及營業狀態

バタヴィア・ニュースブラッド紙は、スマトラ西海岸インダルン（Indaroeng）に於ける印度セメント工業の現況、竝に一九二五年一月十四日國民參議院議員シュムッツエル博士（Dr. Schmutzer）の政府に提出せる左の質問に關する論説を掲げて居る。

政府は、メダン・セメント工場が日本セメント工業の行へるダンピングの影響を著しく蒙つて居る事實を知れりや。

政府は印度セメント工業に時宜的援助を與ふる意志有りや。

政府は本質問に對する回答に一箇年半を費し、一九二六年七月十七日漸やく次の樣な回答をなして居るのである。

一、政府は、日本セメント工業が印度セメント工業と激甚な競爭

なして居ると云ふことを否認する譯ではないが、「ダンピング」云々は、之を稱ふるに缺くべからざる生産過剩なる要素を必要とするが故に之を不當と認めるものである。前記競爭は、事實圓價低落の結果益々激しくなつて來て居るが、政府の判斷を以つてすれば、圓爲替相場は一般に國內購買力と同一歩調を辿り居る故に、眞の價格競爭に非ざるものと認められるのである。其上圓價は一九二五年の始め以來甚だしく昇騰して居るのである。

二、政府は、政府の建築物造營に際し價格の一〇%をパダン・セメントに拂戾しすることは事實良策と認める。斯る特種的優遇は領內の如何なる生産業に對しても與へられて居り、且印度中央物品供給局新行規定(Bijblad No. 9450)第六章中には斯く規定して居るのである。前記關係規定の適用よりしても、政府は印度セメント工業に時宜的援助を與ふるを欲せざるものではないことは明らかであるが、質問者の云ふが如き猶一層有效なる方法即ち財政的援助を與ふることには不贊成である。

三、政府は、蘭印セメント市場にダンピングの行れて居る事實を絕對に信ずることが出來ない。又、蘭領印度の商業政策は英領印度竝に比律賓のそれと立脚點を全然異にして居るが故に、政府はセメント輸入稅の引き上げを爲すが如き意嚮は毛頭無いのであると。

其間バタヴィア・ニュースブラッド紙は、政府の新聲明—一九二六年十月—は、農務部の發行に係る「一九二五年に於ける貿易年報」中に揭ぐるものと全然相違して居り、前記年報には「生産品は需要者の注文殺到した結果に實行狂盛なりしが、賣上高は日本の競爭激しかつた結果著しく減退した」と述べて居る。

此處に至つて確實に日本はダンピングを行つて居ると稱するを得、高い運賃を要するにも係らず新嘉坡並に海峽植民地の自由市場に於ける賣却は、爪哇に於けるよりも多く利益を擧げることが出來る事實を以つてしても明らかである。日本より爪哇へセメントを輸送する各船舶は是る好市場を利用することなく新嘉坡を通過すると云ふことは、明らかに印度のセメント市場を獨占したる後價格の引上げを爲さんとする日本の故意的競爭に外ならないのである」と揭げて居る。因に同紙は猶農商工務部は政府の好個の顧問であるが、自國產業保護に必要なる又は適當なる方法に關する意見を追つて發表する意嚮を有するや否やを詰つて居る。

以上はバタヴィア・ニュースブラッド紙の揭げて居るところである。

パダン・セメント工業會社は、引續き激甚なる外國の競爭と戰つて來たが、吾々の意見を以つてすれば是は外國の低廉なる船賃に因るものと見られ、同社は蘭日K・P・M社の協力に依りセメントのパダンより爪哇への運賃を輕減するを得たのであるが、現在日本のダンピング・システムは輸送ストックを低廉な價格を以て爪哇市場に投入し以つて印度セメント工業を驅逐せんとする外何等他の目的なし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に新嘉坡及び其他の港灣を經由して來るのである。斯る場合に於ては、後に至つて世人は勝利者を稱揚し、－現在に於ても確かに相當稱揚して居る――それのみならず其他の方法を以て大損失を招かしめるのである。

印度工業は既に一萬人の勞働者を有し、將來に於ては之以上の人員が之に依りパンを得んとして居るのである。又人口過剩の脅威は刻刻迫りつゝあり、耕作地も亦殆んど現在以上に擴張する餘地がなく、其間耕作方法を改善し以て收穫の莫大なる增加を計ることも可能性が尠い。此の點に對しては爪哇人は保守的である。

若し印度に工業的可能性があるとしたならば、吾人は印度工業を逐次的に且つ周到なる注意を拂ふと共に擴張したならば、猶一萬人位の農業に就職し得ない者に職業を提供することが出來ると信ずるものである。而して兎に角全力を擧げて現存工業の維持に力むべきであると思ふ。各種工業は印度の經濟を擁護する上に於て各々其の役割を遂行し、且錯綜せる共同生活並に國家の繁榮を築き上げるに必要なる土臺石の一つとして缺くべからざるものであると思ふ。

其他、過般スラバヤに起つた同盟罷業の原因調査委員會の報告書中にも政府側の注文の多くは、印度工業を無視して居ると云つて機械工場經營者は嘆いて居ると報じて居る。若し之が事實であるならば、政府の本工業に對して採つた態度は間違つて居つたのである。

吾々は日本のダンピングに依り、善良な印度の事業が倒壞されるを防止せざるべからざるべく、且多大の困難に遭遇して本植民地に設立された工業の維持並に擴張に有ゆる手段を講ずべきである。然し之れが附隨的決定を爲すは勿論甚だ困難である。

輸出が著しく輸入を超過し且物產の大部分が、外國が顧客であらればならない樣な物產である印度に於ては、之を自己の工業として立たしめんが爲めに保護するには、本工業に對する熱烈な希望條項以外の多くの他の要項を必要とするのである。

極端に錯綜せる貿易關係は、常に附隨的保護を爲すを得せしめない場合がある。而し政府は、外國競爭を自由に爲さしめる場合と雖も印度の事業を絕滅せしめる怖れあるものと認めらるゝダンピング政策に對しては何等かの手段を講ずるを得るのである。

幸にも、今回本問題は國民參議院議會に上提せられ、農商工務部の年度報告中の報告文と共に審議せられる事と思考せられ、本問題解決の曙光を見出すであらうと信ぜられるのである。

而して印度中央物品供給局の制定した一〇%拂戾しを臨時增加するか又は從前通りの協定價格を以て國有造營物の建築にはインダルン(パダン)セメントを使用すべき旨を規定したならば、本方法こそは實に前にも揭げた如く自國產業の保護に必要な要項である。

斯の如くにして一產業否印度の總ての產業は、政府の深甚なる同情を受け、而して外國のダンピング政策に對抗すべきであると思ふ。

次に參考にまでパダン・セメント會社の營業狀態並に其內容を附言して置くことにする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

パダン・セメント會社の營業報告

蘭領印度に輸入せらるる日本製ポートランド・セメントは、今や蘭印輸入セメント市場に於ては殆んど絕對的優越の地位を占めて居るのである。試みに以上過去五年に亘る爪哇及マッヅラ輸入セメントに對する日本セメントの地位を見れば

年次	爪哇及マッヅラに輸入せられたセメント數積	日本よりの輸入セメント	其步合
	噸	噸	
一九二二	四一七、九〇三	一〇三、一四九	二割四分七厘
一九二三	三六七、九三〇	二三、六二三	六　分
一九二四	二四九、一四五	一四八、二四二	五割九分六厘
一九二五	四〇〇、五一七	三五二、〇九六	八割七分九厘
一九二六　一月—六月	三一四、四三三	二六九、九三八	八割五分五厘

卽ち一九二三年度を除外し漸次確實に優勝な地位を確保するものと言ふ事が出來る。蘭領東印度は國內セメント工業をスマトラ島パダンに企業するものであつて、蘭領東印度政府は國內產業保護の見地から絕えず之に援助を與へてゐるのである。次に一九二五年度に於けるパダン・セメント會社の營業報告を見るに次の如くである。

一、會社の名稱

Nederlandsch—Indische Portland Cement Maatschappij

（蘭領東インド・セメント會社）

一、本社及工場所在地

本社をアムステルダムのプリンス、ハンドリックカード一二三番地に設置す。（No. 123 Prins Hendrik—Kade Amsterdam）工場を蘭領東印度スマトラ島パダン、インダルン及びブキットガランに設定す。（Indaroeng & Boekit, Ngalan, Sumatra）

一、存續期間

一九八四年十二月三十一日迄

一、設立登記事項

資本金　五、〇〇〇、〇〇〇盾

一株の額面　一、〇〇〇盾

拂込資本金　二、六四六、〇〇〇盾

積立準備金　二一七、三四九盾七九仙

義務公債　五三一、〇〇〇盾（一九一八年）

同　二、〇〇〇、〇〇〇盾（一九二〇年）

一、配當金

一九二〇年に於ては　二〇％

一九二一年に於ては　八％

一九二二年に於ては　五％

一九二三年一九二四年及一九二五年　無配當

一、株價

一九二六年六月二十九日八百六十盾で取引があつてから以來取引はない。同年八月二十四日買手呼は八〇〇盾であるが賣手は八三〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居さなつてゐる。(バタビヤ市場)

一九二五年度 Nederlandsch—Indische Portland Cement Maatschappij 營業報告

一九二五年度に於けるパダン・セメント會社の一日平均のセメント生產高は一、六〇〇樽で、之を一九二四年度に於ける一、四〇〇樽さ比較する時は二〇〇樽の生產增加を示して居るのである。鉸釘濟セメント生產高は一九二四年に於ては四一六、一九八樽であつたが、一九二五年には五九〇、六〇二樽になつた。一九二四年度に於て Boekit Poetoes 港に送られたものは五一〇、八七六樽であつたが、一九二五年度には五七七、二九五樽に及んだ。今では既に第四號竈は擴大せられたので更に一〇〇、〇〇〇樽の生產增加を期待されてゐる所である。一九二五年初期九箇月間にあつては日本セメントの猛烈な競爭により、パダン・セメント價格も値引せねばならぬこさゝなり、是れがため必然的に生產原價の低減を招致せしめた。若し生產原價が依然さして高く遂に低減し得ないものさすれば、パダン・セメント會社は遂に日本セメントさの競爭に堪へ得ないのである。故に更に生產原價を低減し他さの競爭に備へるため新たに第五號竈を註文した。一九二年の初期には到着の豫定である。一九二五年の後期に入り蘭印セメント市場は稍々立直しを見る樣になり、パダン・セメント會社は初めて若干の利益を得たさ言はれて居るが未だ配當する迄にはならぬ。一九二五年も亦前二年さ同樣に止むを得ず無配當を續けるに至つたのである。一九二五年度に於ての營業費は四三〇、〇〇〇盾であつて、一九二四年度の二四八、〇〇〇盾さ比較すれば殆んど倍額にも近い程の增大であるが、此の中には原價償却費二〇八、〇〇〇盾（一九二四年は二五、〇〇〇盾）を含んでゐるのである。猶原價償却費二〇八、〇〇〇盾の中には、一九二三年度の積立利益金七八、〇〇〇盾を含んでゐる。

一九二六年六月のセメント生產高は六一、〇〇〇樽さの報告に接したが、過般スマトラ島パダン地方を襲つた地震の爲め一竈は少し破損したが七月二日修理が出來、それ以來全能力を擧げて生產に努力したのである。パダン・セメント工場使用の石炭は地震の爲め運搬通路に當つてゐる Anei 隧道が破壞したゝめ約三週間石炭輸送の途が杜絕せられたのである。然し蘭印政府はエンマ港に貯藏した石炭を直ちにパダン・セメント工場に融通してくれたので、幸に大きな痛手を被むることはなかつたのである。然し七月のセメント生產高は決して其の生產高を減じては居ない。

一九二六年上半期に於てのパダン・セメントの生產高は三十三萬樽である。日本セメントの激烈な競爭を念頭に入れる時はパダン・セメント會社の成績は又良好であるさ言ふ事が出來るさ信ずる。若し一九二六年下半期に於ての成績が上半期さ同成績であるさすれば、必ず多額の配當をなし得るさ思はれる。一九二六年に於てはパダン・セメント會社の財政狀態は大いに改善される可く、隨て過般註文し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た新竈の支拂も直になし得ると共に義務公債の大部分をも返却し得て猶配當をなし得る見込である。最近蘭領印度に於て鐵筋コンクリート建築事業が盛んとなつて來たのでパダン・セメントの將來も亦有望であると信ずるのである。

一、一九二五年十二月末日に於ての Nederlandsch-Indische Portland Cement Maatschappij の貸借對照表を示すに（括弧内は一九二四年度のものを示す）左の通りである。

資產		
未拂株券	二、三五四、〇〇〇盾	（二、三五四、〇〇〇盾）
權利代	一盾	（一盾）
營業機械	四、九三三、〇六五盾	（四、九九七、二一四盾）
備品	四七、八〇三盾	（五八、三三〇盾）
原料品	三三、〇七九盾	（二九、九五二盾）
設備貯藏品及び營業品	六一五、六九九盾	（五一二、一九〇盾）
債務者	二二二、六八三盾	（二〇六、六一七盾）
現金	九九、七三八盾	（一三四、一一三盾）
生產品ストック	一三七、五六九盾	（一九一、一三〇盾）
合計	八、四二四、三三八盾	（八、四八二、三七一盾）
負債		
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇盾	（五、〇〇〇、〇〇〇盾）
準備金	三二六、六四三盾	（二二七、三四九盾）
打歩	一三五、二四一盾	（一三五、二四一盾）
一九一八年度義務公債	五三一、〇〇〇盾	（五三一、〇〇〇盾）
一九二〇年度義務公債	二、〇〇〇、〇〇〇盾	（二、〇〇〇、〇〇〇盾）
債權者	五三九、二七八盾	（五九六、一〇五盾）

損益勘定による總利益高は四三一、〇五四盾（三二六、八一三盾）であつて、此の中營業費四三〇、七〇八盾（二四七、八九九盾）を含んでゐる。本店營業費は二六、九三四盾（二七、二〇八盾）利息三九、〇一七盾（三二、六六四盾）

義務公債利息一五一、八六〇盾（一五一、八六〇盾）原價償却費及重役賞與金を二一三、二四二盾（一一五、〇八〇盾）とす。

（Soerabajasche Handelsblad Nov. 3, '26. 及び十五年八月二十八日南洋協會スラバヤ日本商品陳列所報告）

暹羅

□暹羅の鐵道（上）

暹羅に關する吾人の知識は、多くの場合小尺度の地圖や地理學教科書の簡單なる記事から得られる事實に過ぎない位のものであるから、本論の序文として暹羅王國の地勢・人口及び其の經濟狀態の概要に就て聊か述べる必要がある。是等要素の同國鐵道の開發に及ぼ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す影響は日増に増加し、今や同國運輸政策を指導する要點として認められてゐる。

暹羅王國は總面積約二〇萬平方哩を有して略々十五度に亘る緯度の間に介在し、其の最北端は北緯二〇度三〇分に位して熱帶に屬してゐる。領域の大部は十二度の緯度線以北にあつて、殘餘は僅に馬來半島の細長き部分、即ち時として其の幅二〇哩を出でざる狹少なる領域を含むに過ぎない。後者地域は一般に沿岸平野よりなり、馬來半島の脊骨を形成する山脈の支脈が所々に横つてゐる。北緯一二度以北の地域は、山脈に包容せられる廣袤千里の平野であつて、湄南河及び其數多の支流の流域をなし、北部は地勢聳立して其の高さ八、四五〇呎に達し、東西の最廣なる部分は約四八〇哩に及んでゐる。佛領印度支那・英領馬來及び緬甸と隣接し、暹羅灣及びベンガル灣に臨んで一、三〇〇哩の海岸線を有してゐる。

人口九五〇萬人にして一平方哩に付き平均四八人に當る。但し全國を通じて一樣にこの平均數を有するものではなく、湄南河口を去る二十五哩の地點に位してゐる首都及び盤谷郡は特に人口稠密で、首府のみの人口(五七〇、〇〇〇)にて既に全人口の六パセントを有し、國民生活及び貿易の中心をなしてゐる。盤谷に亞ぐ都市はチエンダ・マイ、であるが、而も人口三五、〇〇〇人を有するに過ぎない。地方は概して人口稀薄であるが故に、旅客輸送は暹羅鐵道の主要事業となつては居るが、英印度及び蘭領印度に見るが如き密度に到達して居ない。

暹羅にて最主要なる生産品で且最重要なる輸出品は米穀であつて、殆んど國内各地に於て栽培され、河川流域の平野殊に湄南平原は稻禾の發育極めて良好である。穀物の搬出は主として水運に依つてゐるが、籾の鐵道出廻額も年二〇〇、〇〇〇噸を超へ、全噸量の四分の一以上を占めてゐる。此他主要輸出品として木材(特にチーク材)、家畜・豚・魚類及び林産物があり、此中家畜及び豚類は鐵道輸送品の重なるもので、木材は主として水運に依り搬出せられる。輸入品は實に有ゆる種類の製品に亘り、特に綿布・絹・食料品・金屬及び機械類は其の主要品であつて、多額の包裝貨物となつて大部分鐵道により内陸に輸送せられる。

暹羅の輸出入品は、其の約九〇パセントは盤谷港を經由する爲め、盤谷は鐵道運輸の中心點をなして居る。ナコン・シータムマラーツ、シンゴラ及びカンタンダの如き南部暹羅の諸港は何れも盤谷と鐵道連絡を有し、特に家畜の輸出に付て益々重要の度を加へつゝあつて、將來馬來半島の發展に伴ひ、恐らく該半島貿易品の大部分を取扱ふに至るであらう。

一九二三—二四年(暹暦は四月一日を年始とす)に於ける貨物總輸送額は九七五、九二七米突噸、他に二一一、四二一頭の家畜輸送があり、依つて得たる收益計六、四五二、六八七銖、一銖は〇、四四弗)であつた。又同年中の旅客輸送數は約五、〇五〇、〇〇〇人(内四、九三

三、〇〇〇人は三等客)にして、此收入五、九五七、三九三銖、卽ち鐵道運輸に依りて上げたる同年の總收入は一二、四一〇、〇八〇銖に及んだ。

暹羅に於ける鐵道交通系統創設に對する第一步は、一八八七年盤谷と北部國境チエング・サン線の踏査に發してゐる。然し該豫備調査は直に建設を實現するに至らず、其後幾何もなく政治上の顧慮から他方面に鐵道敷設を實施することゝなつた。當時東部國境に對する佛國との關係切迫せしこと及び東部暹羅の貿易が西貢に移轉されんとする恐のあつたことゝで、盤谷よりコーラットに鐵道(延長二六四粁)を敷設し以て盤谷の位置を強固にすることに決し、一八九二年其の建設事業は請負として開始せられた。右請負の落札者は英國人であつたが、政府を代表して請負者の處理をなせる暹羅鐵道局は落札者にあらざる獨逸人派の手中に陷つた。この當然の結果として其處に多くの軋轢を惹起したので、一八九六年政府は此契約を解除し、直營事業として該建設工事を引繼いだ。斯して一八九七年に至り本鐵道第一區七三粁が開通し、一九〇〇年にはその殘部が竣工開通した。現時東北線と稱するものは卽ち本區劃の鐵道である。

東北線の完成に先だち、最初詮議せられた北部暹羅に至る線路の敷設計畫が復活し、盤谷の北方九〇粁のバーン・パーシー迄は東北線を利用することゝなつた。一九〇九年該延長工事は、デン・チヤヤ(Den Jaya)(盤谷より五三三粁)迄、竣工したが、當時の狀況より推せば之が經濟的頂上であつて、此上北部暹羅山地に延長工事をなすのは却つて多大の失費に歸し、且將來の運輸豫想額も案外少く事業に比してそれ程の利益は上らないものと目せられた。從つて工事は三年間中止せられて居たが、一九一二年チエング・マイ、(七五〇粁)を最終驛とする計畫の下に再び工を起すに至つた。然るに本工事未だ完結せざるに暹羅は世界大戰に參加(一九一七年七月二十二日)した爲め、戰時狀態にあつて鐵道材料を得ること甚だ困難で工事は頗る遲延した。

盤谷より直接分岐してペッリュ(Petrieu)に至る第三次線は、所謂東方線であつて、一九〇八年に竣工し運輸事務を開始した。

是より前一九〇〇年に湄南河西岸に沿ひペッチヤブリーに至る一線(一五二粁)が起工されたが、之が所謂南方線で一九〇三年竣成した。本線は當時既に將來馬來聯邦鐵道と接續すべき見込であつたので、該鐵道と一致せしむる如く軌道を一米に決定した。

以上記述したる工事は總て元の帝室鐵道局の手により遂行されたのであるが、此鐵道局は前述の如く獨逸人勢力下にあつたので、軌道は歐洲式に廣軌(一、四三五米―但し南方線を除く―)を採用し、車輛も輕車ではあるが、全然歐洲型とした。

一九〇九年に至つて英國の勢力擡頭し、英領馬來政府は南方線を延長して馬來鐵道と連絡せしむる目的を以て、暹羅政府に總額四、〇〇〇、〇〇〇磅を貸付けた。斯る事情より本延長線の敷設及び作業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は自然英國の保護の下に置かれねばならぬ事になつた。卽ち暹南東岸の鐵道が全然獨逸人により管理せらるゝ如く、其の西岸に於ける本工事を處理する爲めに第二鐵道局が組織され、英國人の技師が之を監督することゝなつた。延長工事は着々進捗し、一九一七年ケダ州國境のパダン・ブサルに至る鐵道（盤谷より九七四粁）が開通し、並に馬來鐵道との接續を完成した。同時にカンタング・シンゴラ及びナコン・シータムマラーツに至る延長一五八粁を算する支線も亦運轉事務を開始した。本工事竣成の結果馬來鐵道との車輛交換自由となり、且新嘉坡及バンコック・ノーイ間一、九〇〇粁の直通列車を運轉し得るに至つた。

此時暹羅が同盟軍側として世界大戰に參加せし事は、見苦しい二局分立を改造するに非常に好都合となり、宣戰布告と同時に國內の全獨逸人は之を敵國人として送還したので、監督職員を失つた暹南東岸線は、南方線と共に統一せる鐵道局に併合せられ、鐵道局長官としてプラチャトラ王殿下（H. R. H. Prince Purachatra）が任命せられた。殿下は暹羅國王の御兄弟の一人で、非凡の才能を有し精力家にして觀察力に富み、將に擔任せんとする此難事業に對し、十分なる教養と經驗とを有する適材であつた。暹羅鐵道の第二次發達期とも稱せらるゝ時代は卽ち此改造から始まつたもので、豫て進行中であつた計畫は凡て着々として進捗し、同時に將來の鐵道擴張に關して遠大なる新計畫が樹立せられた。

旣に建設中であつた北方線の延長工事は、多くの自然的障害―恐らくクン・タル（Khun Tal）隧道（延長一、三六〇米）は最難工事であつたであらう―を排して敢行され、一九二一年末に現在本線の最終驛たるチエング・マイに至る七五〇粁の開通を見るに至つた。本線は客車及び貨車の普通列車を運轉する外、一九二二年十一月より一週二回直通急行を補足運轉して、之に寢臺及び食堂車を附屬し、盤谷チエング・マイ間を二十五時間半にて通過せしめてゐる。

一九二一年に東北線及び東方線を更に延長せんとする計畫が樹てられた。卽ち東北線を延長してウボル・ラーチャターニー（Ubol Rajthani）（盤谷より五七五粁）に其の最終驛を置き、同時にコーラット（盤谷より二六四粁）を起點として東北方に進み、コーン・カン（盤谷より四五二粁）に至る重要な一支線を建設せんとする計畫である。ウボル・ラーチャターニーは佛領國境を去る一〇〇粁にある一都市で、水路に依りメコン河と連絡してゐる。是等延長線は、隨分有利であるに拘らず交通不便の爲從來遲々として發達せざる、東部暹羅地方の開拓に資すること莫大であらうと矚目されてゐる。本稿を草せんとする時（一九二五年七月一日）、ウボル線はブリーラム（Briram）（盤谷より三七六粁）迄開通し、コーン・カン支線は其の土工作業を開始するに至つた。

此間、東方線を佛領國境のアラニア・プラテサ（Aranya Pradesa）（盤谷より二五四粁）に延長せんとする計畫も亦實行の途にあつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、同じく前記期日に於てクラビン(Krabin)(盤谷より一五一粁)迄開通した。商業上の見地より言へば、本鐵道の沿線は左程重要なる土地と稱するを得ないが、佛領印度の道路系統と相連絡せるを以て、盤谷及び西貢間の陸上輸送の便があり、加ふるに將來佛鐵道の延長せられたる曉は是等兩首都を通ずる鐵道に依り直通運輸をなし得るは明白である。

新鐵道長官は南方線に關しても亦留意する所があり、ハード・ヤイ(Hand Yai)驛(盤谷より九二八粁)より英領ケランタン境スンゲイ・ゴロック(盤谷より一、一四二粁)に一支線を補設して、馬來鐵道東廻線と接續せしめた。該東廻線は未だシンガポール迄全通してゐないが、一九二七年末にはケランタン及びパハン兩保護領を通ずる鐵道工事を終り、盤谷シンガポール間の直通を見るべく期待されて居る。スンゲイ・ゴロックに至る暹羅線は既に一九二一年より開通し、前記保護領に於ける建設工事に多大の援助をなして居る。

一九二二年南方線に食堂車及び寢臺車附急行列車を配して、バンコック・ノーイ及びペナン間約一、一〇〇粁を三十四時間で運轉するに至つた事は、南方線の一大改善と言ふべきである。初め本急行車は一週一回であつたものを其の後毎週二回に増加されたのであるが、盤谷歐洲間の旅行に之を利用すれば、シンガポール經由の汽船航路により盤谷ペナン間を旅行するに比較し、旅行時日を滿一週間短縮し得るの便があるので非常に好評を博して來た。(未完)

(Far Eastern Review, No. 5, May, '26.)

□暹羅の漁業(下)

淡水魚類

暹羅の淡水に棲息せる魚類には、物理學上及び生物學上の諸條件が其生殖作用及び發育作用に至極良好らしく、之が今日の如く屬種に富みたる魚類の發展を來したもので、有用魚類に頗る富みて風味佳良なるもの多く、此點に就ては其他熱帶諸國の魚類は比肩すべくもない。

淡水魚類中最も多種を包有し數量最も豐富なのは鯉科(Cyprinidae)であつて、河川湖沼運河何れにも棲息してゐるものがある。又鯉科の中最も多量な屬は puntius で、彼の有名な pla tapien kao, pla tapien tong, pla tapien sai, pla kahae 及び pla soi と共に、最も豐量なる Pla kam cham は之に屬してゐる。之に亞いで豐富な屬には Dangila があり、この中には pla sa, pla soi nok kao の一般名の下に包有されてゐる諸種を含んでゐる。Cyclocheilichthys 屬に屬するものゝ多くは國中到る所に發見せられ、中には今日迄學名を有しないものもあり、殆んどは pla nam lang 及び pla takok の土名で知られてゐる。Osteochilus 屬は著名なるもので、其中普通に棲息する種類

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は pla prom 及び Pla prom kua men である。其他著名にて廣汎に分布してゐる鯉には Chirrhina, Ham pala, Culter and Chela Parabarbus, Morulius, Luciosoma, Leptobarbus, Macrochirichthys 及びこの種族中最大なる Catla 等がある。尙之等の魚類は主として植物を常食としてゐる。

鯉に亞いで重要なるは鯰であつて、暹羅に於ては七科に分れて甚だ多種を包有し、中には頗る豐富にて廣く分布し、又極めて賞味されて其消費の驚く可き著額に上つてゐるものがある。其形體十糎に充たないものも數種類あるが、メコン盆地の大 pla buk の如きは長さ三米に及んでゐる。本魚は大部分肉食であるが、或者は美味なるものを常食とする習癖を有し、又中には有らゆる汚物を食餌として居るものもあり、或は Pla kao の如く他の魚類を常食とする攻擊的掠奪者たるものもある。

蛇頭魚類(サーペント・ヘツデツド・フイシユ) (Ophiocephalus) は、沼、池及び淺流等に一般に棲息せる最有用魚類中に加へられてゐる。中には巨大なるものもあつて、國中到る所に於て生魚、乾物共に主要產物とされ、其消費も亦著しく多額に上つてゐる。此種の魚類は大氣呼吸器を有し長時間空中にて生息し得る爲め、市場にては常に生きた儘で販賣されてゐる。同種中最も重要で最好なるものは pla chon であり、最大なるものに pla chado があり、又其他に pla kasong 及び pla lawn と稱するものもある。

Hairfin科 (Osphronemidae) には pla kadi, pla salid 及び Pla ret がある。後者プラー・レットは長さ半米に達し、諸外國にては淡水魚類中最も賞味されるものゝ一つである。是等魚類は凡て滯水に棲息する魚類で池にて養殖することが出來る。尙上記中プラー・サリットは廣く地方で消費され、又其乾物は重要輸出品となつてゐる。

此他多くの淡水魚類はあるが、其中次揭の如き相當の價値あるものがある。尤も中には分布の廣汎に渡るものもあるが、唯地方的にしか分布しないものもある。——鰻 pla lai、ソエザー・メック(靑魚に似た魚) pla chalat 及 pla Krai、攀木魚(クライミング・パーチ) Planor、パーチ(鱸に似た魚) pla mor chang yieb、縞パーチ pla kapong lai、ラビリンシッド pla wi、棘鰻(スピニイ・イール) pla kathing、アンチョービー(ひしこ屬の一種) pla meo, pla hang kai等、シユーサイング・フイシユ pla sua、スレツド・フイシユ Pla nuad pram、したびらめ pla lin ma、pla lin kwai、諸種の沙魚 pla bu。

產卵の爲めに淡水に上つて來る魚類が數種あるが、其中いしなぎ (pla kapong) は重量二〇瓩以上に達し、恐らく河魚中最佳なるもので、盤谷市場にては最も好評を博してゐる。Pla kapong の有する數多の種類は、凡て pla kapong deng 等と各別名を以て認められてゐるが、Late には唯一種存するに過ぎず、其他は屬の大いに相異するのみでなく、科さへも相異するものである。本魚は暹羅灣頭部に注ぐ湄南其他の河流に上り、チヤンタブーン河と結合せるクロング及

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

び Paknam Wain クロングの東海岸は特に豐富である。本魚の需要は頗る多く、且其市價の高價である爲め、漁夫は孜々として本魚の漁撈に當るやうになり、而も同時に産卵期であらうと何時であらうと何等の保護をも加へられない。こんな具合であるから依つて來るべき當然の結果として、此種の魚類の數は昔日より餘程減少し、而も今尚右の狀態を免れ得ないので、將來尚一層の減少あるものと見て差支ない。右顧問は本魚の衰退を阻止し數量を保存する建策を提出する意響で、産卵其他の習性、魚獲方法、發育及び幼魚の減少等に關し特に調査する所があつた。

　其他特に研究する價値のある洄游河魚は鯡科の魚 pla talumpuk であつて、同魚は鯡科の中有數なるもので緬甸及び印度にても存し、暹羅と同樣高價なる食用魚とされてゐる、湄南其他の河川に於ては浮刺網（ドウリフテング・ギルネット）を以て專問的に漁撈され、漁獲物は、需要甚だ多き爲め市場に達することは至極稀で、直接漁業地で買上げられる程である。同魚は長さ六〇糎位で、十一月より二月の間に湄南河に入り、Klong Yai 邊迄溯江する。産卵は一月二月に初まり、好適なる産卵地は Pakret である。此種の魚類は暹羅では豐富でなく、其漁業も停滯してゐるやうで、湄南河に於ける三〇艘のボートにて年々漁獲する數量は一〇、〇〇〇を超えない。然し北米合衆國大西洋岸の諸川にては、本魚の一種にて最も有用なる魚類と認められてゐるものがあり、其漁獲高は年々約二百萬餘に上つてゐる。

鹹水魚類

暹羅の海岸には種々雜多なる種類よりなる魚群が常時に集來し、其中には最も佳良で商業上最も有用なる熱帶魚を包有してゐる。右魚類の中或ものは廣汎に亘り不規則なる洄游をなして、一年の中には數箇國の管區内に現はれ、又自由游泳種には比較的小範圍内でモンスーンにつれて確定した規則正しい洄游をなしてゐるものもある。尚海岸魚類及び海底魚類には多少定着性を有するか又は少くとも廣汎な洄游をしないものもある。商業上有用なる魚類は何れも是等の各種に屬してゐる。尚暹羅灣は頗る淺く其何れの部分を問はず魚類の生活に適してゐる。魚類は逐次微細なる浮游動物及び浮游生物として知られてゐる植物有機體の豐富なる所を趁うて生活を營むものであつて、暹羅灣及び半島西海岸に於てはこの浮游生物が極めて豐富多種に存在してゐる。魚類の豐量は即ち右浮游生物の豐量と相俟つものであつて、實に全魚類は直接間接に浮游生物に依つて養はれるのである。

　鯡類似の魚類の世界的集團が能く暹羅に於て發見され、同群中には現在將來共に價値あるものが交在するが故に重要視されてゐる。頗る豐量にして時期々々に於ける漁獲物の顯著なる要素をなせる屬・種は多々あるが、之を擧げると次の如くである。

　Pla lang kio, pla ok kalue 等（鯡類—Clupea—）、之は魚群をなして屢々夥しき數量に上り漁獲頗る豐量である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Pla luk kluey(Dussumieria)、之は細長き、背の肥えた、鰯を想はせる種類で、通常豊量である。

Pla put, pla lek, pla taluek 等 (Pellona)、

Pla kok (Anodontostoma)

Pla dab lao(Chirocentrus)、之は大なる細長き銀色の魚で、淡水種に同じ土名を有するものがあるが之とは別種である。

今一つ數量の豊富なのと、現在同樣將來も重要なるものとして著名なる科がある。之はひしこ(Engraulidae)で、純粹種—殆んど pla meo と呼ばれてゐる—の多くは其商業的漁獲の數量が確知されてゐる。中には大なる形體に達するものもあり、且將來は何れも現今の用途に比して遥かに優れたる利用を有するものと認められてゐる。銀色の側線を有する小形で半透明なるものは pla kluey と呼ばれて多數の種に分れ、彼の著名なマカッサー魚卽ち pla deng—暹羅は之を輸入するが製造はしない—の起源として興味あるもので、主として人の食料よりも家畜の飼料に適してゐるとされてゐる。

此他重要なる鹹水魚に鰣屬(Pla kabok)があり、大量多種に棲息してゐる。

Thread-fins (pla kurao)、中には大なる形體に達するものがあり、廣く乾燥されて地方消費及び輸出用に充てられる。眞名鰹 (pla chalamet)、pla chalamet kao 及び pla chalamet dam 等數種類があつて、凡て優れたる風味を有してゐる。太鼓魚、之には pla ma 及び pla chuet があり、前者は形體大で後者は小である。種類多樣で極めて豊量—殊に磯近くには—に棲息する。魳、pla nam dogmai 及び pla sark がある。Groupers、之には pla karang, pla tukae 等及び其他 sea bass 科の多くの代表的魚類がゐる。濠洲鯛屬及び鯉屬の魚類及び之と關係ある科の魚類は殆んど、屢々深海に集る。諸種の鯖屬魚類、之には風味佳良なるそうだがつを (pla inai)、鮪 (pla o, pla o lang dam) 及び 鯖 (pla lang, pla tu) の三種があり、最後者は暹羅の鹹水魚類中最も重要なるものである。多種を有するしたびらめ (pla lin ma)、其數種は大型で、西歐で著名なる同魚と比較すれば風味は頗る佳良である。鰺科 (Carangidae) の Crevalle 其他に屬する多種、pla sikun, pla ta to, pla hang kiew, pla takrong, pla kakai, pla hang keng, pla pom nang 及び pla chala の如きで、時として竹の杙罠に懸る優秀なる魚類である。中には數日又は數週に亘り全く信じられない位多數に發見され、廣く乾燥される。鮎屬魚類の pla tukang, pla kot 等及び此他多數の硬骨魚類、尙亦鮫卽ち pla chalam 雁木えひ卽ち pla kaben 及び 鋸鮫屬の魚類卽ち pla chanak 等は凡て消費されてゐる。

Pla tu に就ては特筆しなければならない。該種は日本より印度にかけて棲息してゐるが、入手せる報告に依れば、暹羅灣ほど豊量に存し且重要漁業をなしてゐる所は何處にもない。尙暹羅の參考書には全部本魚を鯡科の一種の pilchard 又は鰯として記載してゐるが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

之は奇拔な誤解である。

貽貝

暹羅に於ける軟體動物の資源は、豐富かつ多種多樣であり價格も高價である。既に稍々廣汎に渡つて利用されてゐるものがあるが、中には殆んど又は全然利用されてゐないものもある。現今特に優秀なるものが二、三あり、最も重要なる軟體動物は貽貝即ち hoi malangpu 及び hoi kapong で、海岸近傍に廣汎なる地域に亘り且密集して繁殖し、人又は家畜殊に家鴨の食料として廣く漁撈されてゐる。主要なる種類は暹羅の海岸一般に分布し、其豐量なると漁撈の容易なることに依り頗る廣汎に亘つて撈取されてゐる。

牡蠣

暹羅海岸の多くの場所殊に海水の淡水と混和する河口又は河口近くに於ては、牡蠣 (hoi nang rom) が大型に育ちて肥滿し、良好なる風味を有してゐる。牡蠣は軟泥上にては死滅して仕舞ふものであるが、暹羅海岸にはこの軟泥が多い爲め、廣大な牡蠣床を作るには物的條件が一般に良好でない。故に成熟せる牡蠣は、深石又は今少し小さな石の存する海底にのみ棲息してゐる。具合よく、長く石に附着すれば、牡蠣は充分に生育し、恐らく餘りに肥大し過ぎて其結果强靱となるであらう。小なる牡蠣は潮の滿干する岩礫の多い海岸にて稠密に生育し、廣く撈つて地方消費に充てられてゐるが、深水に生ずる大なるものは、潛水に依り或は干潮時に剝ぎとり、屢々必要時の使用に當てる爲めに磯にて養殖される。大都市の市場に於ては牡蠣の取引は極少量に過ぎず、殆んど地方にて消費され、特に注文のありたる時に撈取されてゐる。右顧問の調査中に訪問したる牡蠣産地は Krat, Koh Chang, Koh Proot, Lem Sing, Koh Samit 及び東海岸の Sriracha、バンドン入江に於ける Koh Prah 其他の地方、Lakon 灣に於ける諸地方、シンゴラである。

牡蠣の豐富に存する其他の地方とは條件の本質的に相異せる Koh Prah の牡蠣に就て特に引例して見よう。同島は Tapi 河の河口を去る十六粁の沖合にある岩石の多い小高い小島であつて、同島を周る岩石には立派な牡蠣の附着せるので著名である。干潮時に露出するものは小型であるが、深水には大なるものがあつて、先帝チュラロンゴルン陛下はバンドン巡幸に際し頗るこの牡蠣を賞美せられ、爾後永年保護せられる所となつた。商業上の見地より見れば、貝殼の形狀良く、肉は豐かなクリーム色をなして肥滿し、且すぐれたる風味を有して、實に絶好なるものである。小型の牡蠣は柔軟であるが、肥大し切りたる時は幾何か硬靱となる。沖合の岩より採取したるもの又は磯に養殖したるものより選別したる牡蠣は、一〇〇箇二銖で小賣される。

廣く分布して豐量に存するは赤貝 (hoi kreng) で、既に右顧問の發見したる赤貝は十種に上つてゐる。之は小軟體動物中にて最も普通なるもので、屢々市場に販賣されてゐるのを見掛ける。鹹水には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此他數多の貝類があつて、廣く沿海民の食用に供せられ、時として市場に送らるることもある。Hoi takrom, hoi pokpot, hoi jub jang 等が其で、尙淡水軟體動物中にも hoi tark, hoi harang 及び hoi kom 等は食用に供せられてゐる。所々に於て木材を損傷し且大なる形體に達するふなくひむし (prieng) は通常生で食膳に上されてゐる。小海扇(ホタテガヒ)は暹羅灣の深海に棲息し、Koh Samit 及び Lem Sing 沖のものは最も著名であるが、漁業として採取するに足る程豐量に存するか否かは現下の所では不明である。然し其貝柱は美味で滋養分に富めるが故に、盤谷其他の都市に供給せられる食料品中に加へれば歡迎せらるゝに相違なく、實行良好なる事は保證する。

プラー・ムク (Pla Muk)

章魚・眞烏賊・擬烏賊類は凡て總括してプラー・ムクと稱せられ、鹹水には夥しく棲息してゐて、偶々捕獲されゝば市場に搬出して食用に販賣される。其乾燥物は廣く支那より輸入せられ、支那人在住地には常に店頭に飾られてゐる。

眞珠貝

數種類の眞珠貝 (hoi muk, hoi charap) が豐富に存し、諸所に於て眞珠採取の目的で撈集されてゐる。暹羅灣及び半島西海岸に於ては數種の小型な薄殼眞珠貝が採取され、同灣西側の Koh Samet では美しい虹色の眞珠母を有する殼の極めて薄き大なる鞍形種が豐富に採取されるが、之から採取したる眞珠は常に小型であつて、通常醫藥用として支那人に賣却される。緬甸のメルゲイ群島にて採取される大型で高價なる眞珠貝は、或は暹羅の西海岸沖にも發見せられるかも知れないが、プーケット縣知事の所言に依れば、暹羅の海灣にては同種のものは採取されてゐない。此他數種類の厚殼鹹水種—白色又は眞珠光の眞珠母を有し、釦用、象眼用等には好適である—が採取されて小量の輸出が行はれてゐる。又大河に充滿してゐる厚殼の淡水蛤屬の中には釦用として價値を有するものが何か發見されるかも知れない。比島其他の地に於て規則的に使用されてゐる window-pane shell が當國海岸の諸所に豐富に存するが、今尙利用はされてゐない。

小水産資源

海參の商名を有する沙喉(ナマコ)屬卽ち沙噀は海岸到る所に多數に棲息し半島暹羅の西側は最も重要なる産地である。內臟を抽出し天日に乾燥したるものは、食料として殊に支那人間に價値を有してゐる。

暹羅の水産資源にて顧る等閑に附せられてゐるものゝ一に海産藻類卽ち海草がある。この藻類は魚類、軟體動物、甲殼類に比し差程重要ではないが、然し有力なる富源であつて、相當注意を拂ふ必要がある。小量の藻類は生の儘又は乾燥されて海岸の諸所に於て地方的に消費せられ、且盤谷との間に小取引の現存することは事實であるが、今や國際市場を有する或種藻類の利用を增加すべき秋である。全海岸一般に生ずる種類は sarai hai 卽ち馬尾藻草であつて、野菜の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

如く時々煮沸して食用に供せられ、其他諸種の綠色海草も同樣なる方法に食膳に上されてゐる。最も有用にて將來有望なるは多汁質葉莖を有する種で、之を煮沸すればジエリを生ずる。Sarai pom nang と稱する普通の赤色種は煮沸し立てを食せられ、又は必要時の使用に當てる爲め天日に乾燥し、ジエリを採るに用ゐる。Sarai vun と稱する纖維の一層細かい赤色種が他にあるが、右種よりは佳良なるジエリを製し、Rayong 其他諸地方にては西南季節風時に海岸に打寄せられるので、著額に採取されてゐる。之は定期的商品であつて、商人は盤谷より之が買收に出懸ける。尙此他に堅厚く鹿角の如き枝なした赤色多汁なる種があつて、其形狀より Sarai kao kwang と呼ばれ、Lem Sing 其他の地にて採集され、Sarai pom nang と同樣に食用に供せられる。此他の經濟的藻類殊にジエラチンの豐富なる藻類の存否を確め、又之を市場向に調製する最良方法を沿海民に指示する爲め特に調査すれば有利であつたかも知れない。海草ジエラチンは寒天（アガーアガー）の名の下に東洋に於ては料理用品として需要があり、西洋にては流動體の清澄劑及び細菌學上に於ては黴菌人工繁殖媒體として需要を有してゐる。

漁業の一般的重要性

漁業に從事し之に依つて生計を營める漁夫の員數、漁舟・漁具及び其他海岸漁業設備の投資額、又は漁獲高等に付て暹羅全般を語るに利用し得る統計の現存しないことは、漁業の管理及び保存の爲め悲しむべきことである。殊に重要なのは、主要種魚類の漁撈に使用せられる網及び罠の數と相關聯せる、連年の其年產額比較統計表である。然し統計の存否如何を問はず同國漁業は、至極廣汎に渡る重要なるものであること、同國基礎的事業中農業に亞いで第二位を占めてゐること、沿海民の主要職業であること、暹羅人の消費せる主要なる動物食料品を生產しつゝあること、及び政府に一大收入を齎す財源であることは、斷言して憚らないのである。同國漁業は之を生計手段として見るも、國家の富・食料・收入の給源として考究するも、其孰れを問はず、同國現在及將來の必要に充當すべく之を奬勵、維持、保護する爲めに、政府は之に愼重なるの注意を拂ふ價値あるものである。

歲入局々長として永年漁業と密接なる關係を有せられたヒア・インドラ・モントリー閣下の見積に依れば、暹羅の水產品年產額は二五、〇〇〇、〇〇〇銖代である。該見積は、輸出され又は內國商業に廻りたる水產品の統計等の諸報告中利用すべき出所凡てを基礎としてゐるが、尙正規の貿易に包含されずして只漁民間に於て地方的に消費せられる魚類・甲殼類・軟體動物等の甚だ著額に上ることに注目する時、右見積は恐らく內輪な見積であると思はれる。

內陸諸水の漁業

繁殖地として控置せられてゐる數個所は之を別とし、有らゆる河流・運河・沼澤・湖水に於て何かの種類の漁獲が行はれてゐる。河川で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

水流又は潮流の強き所では、杙で支へ又は浮標に繋いだ巾着網卽ちポンゲパンゲが普通に使用せられる生産的な型の網である。水流の方向に直角に集團してこの網を設置し、二、三網より二五、三〇網を有する一連の線に之を延ばし、其最も長きに至ると實際の河幅の半分乃至三分の二又は五分の四に迄及んでゐる。尤も此際舟の通過の爲め小間隔を殘して置く。尙袋は小魚及び小海老をも逃らさぬ位の細目の網である。諸種の引網・刺網(uan)は物的條件が良好なる所では何處にても使用せらる。大小、形狀、使用方法を異にする叉手網及び抄網 (chon yai, chon pai, yok yaw 等) は岸・塞・舟より、又は歩きながら使用せられる。諸種の小柳枝罠及び籠卽ちsomsan, ichu, rahut, chanang, chut tom, daktom, sainawn, baklam, lawpyun, lawphai 等は半職業用及び家庭用として使用せられ、投網 (hae) は到る處で見受けられる。投網は通常單獨で使用せられるが、時としては八艘乃至十五艘の舟が組合つて一度に投入することもある。湖沼の水が狹隘なる出口より流出する所では、諸種の型の柵を設けて魚類の逃出を防ぎ、引網等 (kalang, chipyui, lee等) を使用して梁(ヤナ)(seraen) 上で漁獲される。柳鮠 (pla soi) の洄游期には、網目の緻密な小叉手網をせつせと使用してゐる人々が河岸に列をなし、事實幾百萬となく漁獲され、生魚又は乾製燻製として、或は兩岸に沿うて一列に配置してある野外煮沸桶で油を抽出するに使用せられる。パークナムポー以南の湄南河及び之と連結する諸流に沿へる家庭では軒別同魚用叉手網を備へてゐる程で、人類に依つてなされる用途の廣大なるは勿論、肉食魚類に依つて消費せられる所亦莫大に上るを見れば、同魚は恐らく暹羅に於ける最有用魚類であらう。

農務者の配慮に依り、Dha Luang に於ける Pasak 河の堰にフィシュ・ラダーー魚類の堰を上る裝置ーを準備することを正當と認められた。

地方市場には一般に良質の淡水魚類が豐富であり、運輸の利便の存する所では盤谷に多量の積出をなしてゐる。尙容易に死なゝいプラー・チョン、プラ・モー、プラー・クライ等の如き種類は、生きたる儘端艇で市場に搬送される。此他農家の家庭では莫大なる魚類を消費してゐる。蓋し淡水魚の主要價値は、廣大なる商業的漁業を支持する所以に存するものでなくて、幾百萬の農夫、小商人及び其家族に、安價にして利用の容易な、且營養豐富な動物食料を供給する所以にあるものと思はれる。

英領印度

□本年度緬甸米第一回豫想

本年度植付純面積二、六八一、八〇〇英反で、之を昨年及一昨年度に比較するときは左の通りである。

	每年十月第一回純植付反別 (英反)	翌年十二月最終純植付反別豫想 (英反)	翌年二月最終收穫豫想 (英反)
一九二六—二七年度	二、六八一、八〇〇	未詳	未詳
一九二五—二六年度	二、六六九、三〇〇	二、七六六、六〇〇	二、八四〇、〇〇〇
一九二四—二五年度	二、〇八五、五〇〇	二、七二四、三〇〇	二、八二五、〇〇〇

以上昨年度と大差無く而も前二箇年の最終に純植付反別は兩者略々同一であるが、本年度も大差無く約千百八十萬英反と見、作柄も英反當り平年作額三十バスケットと推測すれば、本年度全收穫は籾七百三十萬噸と成り輸出能力三百六十五萬噸、玄米に換算すれば約二百八十三萬噸となる。尙近年は面積の増加に連れて、輸出能力は半額以上に達し、旁々現在豫想の通り進行するものとすれば玄米約三百萬噸は輸出に振向けることが出來るものと思はれる。（地方別植付面積表省略）（華南銀行報告—十一月十一日）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二七年度豫算
Le Budget de 1927. (le T. Oct. 6, 7, '26. P. 1.)

植民地開發問題と海運
La Mise en Valeur des Colonies et Notre Marine Marchande. (le T. Oct. 10, '26.)

エリオ氏急進黨總理辭退せん
M. Herriot Quitterait la Presidence du Parti Radical. (le C. S. Oct. 12, '26. P. 1.)

佛蘭西の行政改革
La Réforme Administrative de la France. (F. I. Oct. 28, '26. P. 1.)

臺灣及澎湖島に客死せる我佛蘭西海陸軍人は朋友日本人の保護の下に靜かに眠り居れり
Les Marines et Soldats Français Morts à Formose et aux Pescadores Reposent Sous la Garde de la Leurs Camrades Japonais. (E. E. I. No. 490, Oct. 31, '26. P. 9.)

不安定な極むる法貨幣問題
Unstable French Franc a Pressing Problem. (A. Vol. XXVIII. No. 719, '26. P. 589.)

■兩米大陸■

北米合衆國

米の植民政策は比島現狀によりて支持せらる
U. S. Colonial Plan Held up by P. I. Status. (P. H. Oct. 28, '26.)

マレーリアは容易に防壓さるべしさ
Malaria can be Controlled at Low Cost, Says Rockfeller Man. (P. H. Nov. 3, '26.)

米は對比政策に新機軸を見出さんとす
New Motives Injected into P. I. Policy. (P. H. Nov. 21, '26.)

景氣不景氣の割合—株式は安定を示す
The Current Ratio in Prosperity and Depression. Utilities Show Great Stability. (A. Vol. XXVIII. No. 718, '26. P. 531.)

■亞弗利加■

一般

南阿弗利加の鐵鋼工業
De Zuid-afrikaansche ijzer en Staalnijverheid. (L. N. e. H. No. 44, Oct. 29, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一回市營魚市場の成績
De eerste Gemeentelijke Vischveiling. (H. N. v. d. D. Oct. 15, '26.)

蘭印に於ける土人護謨
De Bevolkingsrubber in Ned-Indië. (H. N. v. d. D. Oct. 15, '26.)

一九二六年に於ける爪哇、マヅラの水稻、陸稻、玉蜀黍の生產竝に收穫面積の見積
Raming van de Productie en de te Oogsten Oppervlakten van Sawapadi, Padigogo en Mais op Java en Madoera in 1926. (H. N. v. d. D. Oct. 16, '26.)

スラバヤに於ける華僑の地位
Chineesche Situatie te Soerabaja. (S. Hb. Oct. 18, '26.)

南スマトラ鐵道の延長計畫
De Zuid-Sumatra Spoorweg. (H. N. v. d. D. Oct. 19, '26.)

各試驗所の集中
De Centraliseering van de Proefstations. (H. N. v. d. D. Oct. 23, '26.)

蘭國々會の開院
De Opening der State Generaal. (H. N. v. d. D. Oct. 23, '26.)

新關稅定率法制定案
De Nieuwe Tariefwet. (H. N. v. d. D. Oct. 26, '26.)

蘭印石油會社(N. I. A. M.)油田の視察
Een Bezoek aan de Olieterreinen. (S. Hb. Oct. 26, 27, 28, '26.)

プール•マンヂ(日本農園)事件
De Poeloe Mandi-affaire. (H. N. v. d. D. Oct. 27, '26.)

油田問題
Aardolie-aangelegenheid. (S. Hb. Nov. 2, '26.)

日本セメントに對する蘭紙の評論
Japansche Cement. (S. Hb. Nov. 3, '26.)

統治者の更迭と政治狀態
De Bestuurswisseling en de Politieke Toestand. (S. Hb. Nov. 5, '26.)

稅關組織の改正案
Douane-reorganisatie. (H. N. v. d. D. Nov. 5, 8, '26.)

ニユー•ギニア探險の結果
De Nieuw Guinea-expeditie. (H. N. v. d. D. Nov. 6, '26.)

蘭印の都市條令
Stadsgemeente Ordonnantie. (S. No. 365, '26.)

英　系　南　洋

サラワクに居住する放牧人種に就いて
Nomad Hunters of Sarawak. (S. F. P. Nov. 12, '26.)

濠　洲　及　新　西　蘭

西部濠洲の資源と貿易一瞥
Western Australia. By E. G. Semmens. (I. O. Vol. VII. No. 10, Oct., '26. P. 588.)

一九二六年六月末に至る一箇年間のニウ•ジーランドの輸出貿易
New Zealand's Export Trade. (Com. R. No. 41, Oct. 11, '26. P. 120.)

濠洲海岸の調査報告
Survey of Australian Coast. (N. C. D. N. Oct. 27, '26.)

■ 歐　羅　巴 ■

英　　國

第一回英帝國植民會議の開催
The First Colonial Conference. (S. F. P. Oct. 21, '26.)

英帝國の重要地たる英領諸島
The British Isles—Mainstay of the Empire Still. (N. C. D. N. Nov. 9, '26.)

英帝國會議の目的
Constitution of British Empire. (H. D. P. Nov. 22, '26.)

佛　蘭　西

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

O. Vol. VII. No. 10, Oct., '26. P. 572.)

馬尼剌鐵道會社現況
Manila Railroad Co. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 475.)

米國の織物市場としての比島
The Philippine Islands as a Market for American Textiles. (Com. R. No. 42, Oct. 18, '26. P. 152.)

比島國旗祭の開催に就いて
Flag Day to be Observed To-day. (P. H. Oct. 30, '26.)

比島南方に活躍する邦人
Japanese are Davao Leaders. (P. H. Oct. 31, '26.)

モーロー人は基督敎比島人の外敵と見做さる
Moros Painted as Eternal Enemies of Christian Filipinos. (P. H. Oct. 31, '26.)

ネグロス•パネイ地方產糖豫想
Big Crop Predicted for Negros Panay. (P. H. Nov. 2, '26.)

比島新年度豫算上院を通過す
1926 Appropriation Bill Finally Passed by Senate. (P. H. Nov. 4, '26.)

比島國立營養研究所設置の理由
Plea for Establishment of Gov. Institute for Study of Nutrition in P. I. (P. H. Nov. 4, '26.)

ベーコン案は比島上院の權限を殺がんとす
Bills Drafted to Curtail Power of P. I. Senate. (P. H. Nov. 7, '26.)

コタバト縣狀一般と主要產業
Cotabato and its Potential Resources. (P. H. Nov. 7, '26.)

ウッド總督の施政は專斷なりと
Leader Say Wood's Action is Arbitrary. (P. H. Nov. 11, '26.)

ボード•オブ•コントロール撤廢せらる
Board of Control is Abolished by Wood. (P. H. Nov. 11, '26.)

我々の權利は獨立のみによりて擁護せらると
Only Independence Will Protect Our Rights, He States. (P. H. Nov. 12, '26.)

東洋人を遇する方法を處理するに非ざれば戰爭は免れずと
East and West War Seen Unless Way of Dealing With Orient is Revised. (P. H. Nov. 14, '26.)

ギルモーアはウッド不在中臨時總督たらん
Gilmore Will be ad interim Governor Here. (P. H. Nov. 17, '26.)

對比統治政策ウッドによりて畫餅に歸す
American Principles of Government Set at Naught. By Wood. (P. H. Nov. 18, '26.)

比島ボード•オブ•コントロールの沿革、組織及び機能
The Constitution of the Creation, Nature and Function of the Board of Control. (P. H. Nov. 21, '26.)

蘭領東印度

蘭領東印度に於て使用する特別急行汽關車
Express Locomotive with Individual Axle Drive for the D. E. I. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 478.)

日本以外の各國が凝望する植民地ニウ•ギニア
Colonies for Everyone But Japan. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 451.)

蘭印•馬來間に於ける協同調査の必要
Need for Research. Co-operation Between N. E. I. and Malay. (I. O. Vol. 7, No. 10, Oct., '26. P. 602.)

スマトラのタンジョン•パレイ地方旅行記
Along Future Trails of Civilisation. By M. O. Wydeness. (I. O. Vol. VII. No. 10, Oct., '26. P. 561.)

日本農園に於ける苦力虐待事件
Mishandelingen op een Japansche Onderneming. (H. N. v. d. Oct. 13, '26.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

完成される大事業
Les Grands Travaux à Exécuter. (F. I. Oct. 25 & 26, '2.6 P. 1.)

オセアニアに於ける印度支那土人の勞銀
La Main-d'œuvre Indochinise en Océanie. (le C. H. Oct. 26, '26. P. 1.)

印度支那に於ける土木事業
Les Travaux Publics en Indochine. (le C. H. Oct. 29, '26. P. 1.)

日本の野心
Les Ambitions Japonaises. (le C. H. Oct. 29, '26. P. 1.)

暹羅印度支那條約に就て
A Propos de la Convention Siamo-Indochinoise. (le C. H. Oct. 30, '26.)

愛國主義者安南人
Les Nationalistes Annamites. (E. E. I. No. 490, Oct. 31, '26. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 490, Oct. 31, '26. P. 12.)

印度支那土民の公示意見
L' Opinion Publique Indigène dans les Colonies. (E. E. I. No. 490, Oct. 31, '26. P. 15.)

西貢より盤谷に至る鐵道
Le Chemin de fer de Saigon à Bangkok. (E. E. I. No. 491, Nov. 7, '26. P. 1.)

馬　來　半　島

新嘉坡市土木工事進捗
Singapore Municipal Engineering Activities. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 468.)

馬來聯邦州鐵道現況
F. M. S. Railways. (I. O. Vol. VII. No. 10, Oct., '26. P. 603.)

二十五英加以上の護謨園に對する新課税規則
Rubber Restriction. New Assesment for Areas Over 25 Acres. (S. F. P. Oct. 23, '26.)

生產制限規則一部改正
Restriction Important New Rules. (S. F. P. Oct. 25, '26.)

海峽植民地に於ける漁業試驗
De Visscherij-proeven in de Straits. (H. N. v. d. D. Oct. 28, '26.)

馬來聯邦州に於ける諸鐵道
Federated Malay States Railways. (E. E. No. 11, Nov. 4, '26. P. 325.)

地方分權制問題と政府委員の地位
Devolution. The Position of the High Commissioner. (S. F. P. Nov. 19, '26.)

暹　羅

一九二四年十月—一九二五年九月に亘る帝室調査局の報告
Toward the Burma Frontier. (B. T. Oct. 22, Nov. 2, '26.)

一九二四年—二五年度郵便・電信・電話事務に關する當局の報告
Posts and Telegraphs. (B. T. Oct. 29, '26.)

一九二三—三四年の文部省の教育事業及一九二四—二五年度同事業に關する統計
Education in Siam. (B. T. Nov. 3, 4, 5, 6, '26.)

英　領　印　度

聖都として見たるプリ市
Puri, the Sacred City of the Oryias. By A. Somerville. (I. O. Vol. VII. No. 10, Oct., '26. P. 583.)

印度の金物輸入狀況
The Hardware Imports of India. (Com. R. No. 42, Oct. 18, '26. P. 144.)

金の供給と物價に及ぼす影響
Gold Supplies and Effect on Price. (N. C. D. N. Nov. 8, '26.)

■南　洋　諸　國■

比　律　賓

比島巡歷中のトムソン大佐
Colonel Thompson in Manila. By W. Roff. (I.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

廣東不法課税の新計畫
Canton's New Scheme of Illegal Taxation. (N. C. D. N. Nov. 1, '26.)

支那と諸强國間に於ける諸問題
The Thorny Problems of China and the Powers. By L. H. Dolsen. (C. H. Vol. XXV. No. 2, '26. P. 221.)

倫敦スペクテーターの對支政策の論調
The "Spectator's" Idea of a Policy for China. (N. C. D. N. Nov. 3, '26.)

香港新豫算に對する概評
The Budget. Reflections and Criticisms. (H. D. P. Nov. 3, '26.)

上海に於ける自動車輸入狀況
Motor Vehicles in Shanghai. (E. E. No. 11, Nov. 4, '26. P. 322.)

支那の砂糖生產竝に需要
De Suikerproductie en Consumptie van China. (L. N. e. H. No. 45. Nov. 5, '26.)

新豫算に對する總督の聲明
The Budget Passed. (H. D. P. Nov. 5 '26.)

甘肅陜西に於ける國民軍の地位
The Position of the Kuominchun in Kansu and Sensi. By Vincent de Ruayle. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 10, Nov. 6, '26. P. 268.)

現在の支那情態に對する歷史的背景
Historical Background for Present China Conditions. By Norman Barry Maine. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 10, Nov. 6, '26. P. 261.)

商標法と治外法權
The Trade-mark Law and Extra-territoriality. By N. F. Allman. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 10, Nov. 6, '26. P. 264.)

香港大學に對する名士の所見
The University of Hongkong. (H. D. P. Nov. 10, '26.)

支那に於ける無電の獨占
The Wireless Nonopoly in China. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 460.)

支那の支白條約廢棄
China Abrogates the Sino-Belgian Treaty. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 11, Nov. 13, '26. P. 285.)

佛 領 印 度 支 那

印度支那に於ける航空軍隊
La Aeonautique Militaire en Indochine. (le C. S. Oct. 11, '26. P. 1.)

總督府の十箇月
Dix Mois de Gouvernement. (le C. S. Oct. 12, '26. P. 1.)

一九二六年上半期に於ける印度支那輸出貿易
Les Exportations Indochinoises pendant le Premier Semestre. (le C. S. Oct. 12, '26. P. 2.)

印度支那總督の改革案
Les Reformes de M. Alexandre Varenne. (le T. Oct. 12, '26. P. 1.)

總督府評議員會の改革
La Réforme du Conseil de Gouvernement. (F. I. Oct. 20, 22, 27, '26. P. 1.)

河内に於ける印度支那行政訴訟會議
Conseil du Contentieux Administratif de l'Indochine à Hanoi. (le. T. Oct. 21, '26. P. 1.)

安南及支那の戰術
La Tactique Annamite et Chinoise. (A. T. Oct. 22, 23, '26. P. 1.)

土木事業の發展
Le Développement des Travaux Publics. (le C. H. Oct. 23, '26. P. 1.)

安南の將來
L' Avenir de l' Annam. (E. E. L. No. 489, Oct. 24, '26. P. 15.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ボルシェヴィズムの危機
The Crisis of Bolshevism. By Theodor van Rentein. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 242.)

■亜 細 亜■

一 般

極東貿易運送に従事する快速石油船
Fast Motorships in Far Eastern Trade. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 489.)

日本の資本は何處より來るか
Where is Japan's Capital to Come From ? (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 453.)

檳榔樹の栽培
La Culture de l'arequier. (le C. S. Oct. 15. '26.)

日本の拓殖銀行設立計畫
Een Japansche Kolonisatie Bank. (H. N. v. d. D. Oct. 15, '26.)

日本に於ける護謨工業
L'Industrie Caoutchouc au Japan. (F. I. Oct. 20, '26. P. 1.)

南洋貿易會議に就て
De Handelsconferentie voor de Nanyo. (S. Hb. Oct. 29, '26.)

支 那 及 香 港

支那茶の調製及賣買
Preparation and Marketing of Chinese Tea. (Com. R. No. 41, Oct. 11, '26. P. 81.)

一九二六年上半期間に於ける天津の機械輸入
Machinery Imports into Tientsin During First Half. (Com. R. No. 41, Oct. 11, '26. P. 103.)

滿洲に於ける鐵道の發達
Railway Developement in Manchuria. (Com. R. No. 41, Oct. 11, '26. P. 110.)

廣東の附加税
The Canton Surtaxes. (C. E. T. No. 3295. Oct. 14, '26. P. 725.)

支那に於ける日本の宣傳
La Propagonde Japonaise en Chine. (le C. S. Oct. 14, '26. P. 1.)

支那と白耳義
China and Belgium. (C. E. T. No. 3296, Oct. 21, '26. P. 748.)

支那に於ける阿片
Opium in China. (C. E. T. No. 3296. Oct. 21, '26. P. 752.)

支那に於ける共産黨の惡鬼
The Bolshevik Bogey in China. (C. E. T. No. 3297, Oct. 28, '26. P. 763.)

勞農露國と支那
Soviet and China. (C. E. T. No. 3297, Oct. 28, '26. P. 772.)

前週中支那の地位に於ける發展
Developments in the China Situation for the Past Week. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, Nov. 6, '26. P. 252.)

滿洲に於ける日本管理の二十年
Twenty Years of Japanese Administration in Manchuria. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 231.)

支那の治亂に關する理由八條
Eight Reasons for China's Present Troubles. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 232.)

萬縣事件に於ける米國の意見
American Opinion on the Wanhsien Incident. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 232.)

支那に於ける露國と大英國
Russia and Great Britain in China. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 234.)

上海經濟調査
Economic Research for Shanghai. By Eleanor M. Hinder. (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 9, Oct. 30, '26. P. 240.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋記事
海外重要記事索引

臺灣總督官房調査課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. Analist. (No. 718—719, '26.)

A. T. L'avenir du Tonkin. (Oct. 11—Oct. 30, '26.)

B. T. Bangkok Times. (Oct. 19—Nov. 15, '26.)

C. E. T. China Express and Telegraph. (No. 3295, Oct. 14—No. 3297, Oct. 28, '26.)

C. H. Current History. (Nov. '26.)

Com. R. Commerce Reports. (No. 41, Oct. 11—No. 42, Oct. 19.)

C. W. R. China Weekly Review. (Oct. 30—Nov. 13, '26.)

E. E. Eastern Engineering. (No. 11, Nov. 4.)

E. E. I. L'évéil Économique de l'Indochine. (Oct. 18—Nov. 7, '26.)

F. E. R. Far Eastern Review. (No. 10, Oct., '26.)

F. I. France-Indochine. (Oct. 11—Oct. 30, '26.)

H. D. P. Hongkong Daily Press. (Oct. 30—Nov. 27, '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (Oct. 13—Nov. 9, '26.)

I. O. Inter Ocean. (No. 10, Oct., '26.)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong. (Oct. 11—Oct. 30, '26.)

le C. S. Le Courrier Saigonnais. (Oct. 11—Oct. 20, '26.)

le T. Le Temps. (Oct. 2—Oct. 20, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (Oct. 22—Nov. 12, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (Oct. 26—Nov. 17, '26.)

P. H. Philippine Herald. (Oct. 8—Nov. 20, '26.)

S. Statist. (Oct. 10—Nov. 19, '26.)

Sb. Staatsblad. (No. 365, '26.)

S. F. P. Singapore Free Press. (Oct. 19—Nov. 20, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (Oct. 9—Nov. 5, '26.)

*　*　*

■ 世　界 ■

一　般

電力利用に成功しつゝある製糖業
Electricity in the Development of the Sugar Industry. (F. E. R. Vol. XXII. No. 10, Oct., '26. P. 491.)

結核諸病に對するワクチンの新研究
The New Vaccine for Tuberculosis. By W. Davis. (C. H. Vol. XXV. No. 2, Nov., '26. P. 231.)

ホップの國際貿易狀況
International Trade in Hops. (Com. R. No. 42, Oct. 18, '26. P. 148.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN